

# 第 15 回川越市市民意識調査 報告書

令和 7 年 2 月

川越市



# 川越市民憲章

先人の輝かしいあゆみにより、すばらしい歴史的遺産をもつ川越。わたくしたちは、このまちに生きることに誇りをもつて、さらに住みよい魅力あふれるまちづくりをすすめていくことを誓い、ここに市民憲章を定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りたかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうるおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。

市の木（かし）



市の花（山吹）



市の鳥（雁<sup>かり</sup>）





# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	3
2	調査の内容 .....	3
3	調査の設計 .....	3
4	調査結果の表示方法 .....	3
5	集計結果の有意性について .....	5
6	回収結果 .....	6
7	回答者の属性 .....	8
<b>II</b>	<b>調査票と回答</b> .....	<b>13</b>
<b>III</b>	<b>調査結果の分析</b> .....	<b>41</b>
1	都市基盤・生活基盤について .....	43
(1)	主に利用する駅 .....	43
(2)	利用する駅への移動手段 .....	46
(3)	川越市の将来像 .....	48
(4)	普段よく利用する移動手段 .....	51
(5)	交通手段の利用状況・利用意向 .....	53
(6)	川越シャトルを利用したことがない理由 .....	59
(7)	デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由 .....	59
(8)	川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由 .....	60
(9)	川越市の歴史的風致の向上 .....	61
(10)	歴史的風致の向上した点 .....	62
2	産業・観光について .....	63
(1)	川越市の観光への満足度 .....	63
(2)	川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況 .....	64
(3)	文化財保護のため、行政が行うべき支援 .....	69
(4)	観光振興のために必要な施策 .....	70
(5)	買い物の状況 .....	73

(6) 買い物で不便を感じていない理由	75
(7) 買い物で不便を感じている理由	77
(8) 商店街に望むこと	80
(9) キャッシュレス決済の利用	83
(10) 農業に期待すること	84
(11) 農業を身近に感じるか	87
<b>3 教育・文化・スポーツについて</b>	<b>89</b>
(1) 外国籍市民が増えることによる効果や影響	89
(2) 興味のある文化・スポーツイベント	91
(3) 文化活動の頻度	94
(4) 文化活動を行っていない理由	96
(5) スポーツ・運動の実施頻度	98
(6) スポーツ・運動を始めてからの期間	100
(7) スポーツ・運動の実施場所	101
(8) 望まれるスポーツ施設	102
(9) 望まれるスポーツ教室	103
<b>4 保健・医療・福祉・子どもについて</b>	<b>104</b>
(1) 福祉への関心	104
(2) 福祉総合相談窓口の認知状況	106
(3) 障害者差別解消法の認知状況	107
(4) 地域包括支援センターの認知状況	108
(5) 胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診状況	110
(6) 子宮頸がん検診、乳がん検診の受診状況	114
(7) がん検診を受診していない理由	117
(8) 児童虐待を減らすための効果的な方法	119
(9) 児童虐待に関する国・県・市等の施策の認知状況	120
<b>5 環境について</b>	<b>121</b>
(1) 川越市の環境への満足度	121
(2) 環境に関する情報の入手先	123

(3) 資源ごみの収集回数への認識	126
(4) 収集回数を増やす品目	127
(5) 収集回数を増やすための経費	128
(6) 家庭ごみ収集の有料化	129
(7) 地球温暖化対策への考え方	130
(8) まちの緑化への活動内容	131
(9) まちの緑化への施策	135
<b>6 地域社会と市民生活について</b>	<b>138</b>
(1) 防災対策として必要な施策	138
(2) 水・食料の備蓄量	141
(3) 家族等との安否確認手段	143
(4) 関心のある人権問題	145
(5) 人権意識を高めていくために必要な取組	148
(6) 市民活動への参加意向	151
(7) 参加したい市民活動の分野	152
(8) 市民活動に参加していない、参加したいと思わない理由	153
(9) 自治会への加入状況	154
(10) 自治会に加入していて良かった、加入したいと思う理由	156
(11) 自治会に加入していない、参加したいと思わない理由	157
(12) 自治会への加入を考えてもいい、参加したいと思える条件	158
(13) 自治会に加入していないことで困っていること	159
(14) 「地域会議」が設立されていること・活動していることの認知状況	160
(15) 市民センター・連絡所での手続きの認知状況	161
(16) 住民票等の取得手続きで利用している施設	162
(17) 市役所・川越駅西口連絡所を利用する理由	163
(18) 住民票や戸籍などの手続の他に市役所で必要な手続き	164
(19) 証明書等の「コンビニ交付」サービスの認知状況	165
(20) 「コンビニ交付」サービスを利用したことがない理由	166
<b>7 市政全般について</b>	<b>167</b>
(1) 「広報川越」の閲覧状況	167

(2) 広報川越でよく読むコーナー	169
(3) 広報川越を電子版配信のみとした場合の利便性	169
(4) 地域にある掲示板の閲覧状況	170
(5) 市の情報の入手方法	171
(6) 市の情報提供に対する満足度	173
(7) 今後、利用したいと思う情報提供の媒体	175
(8) 必要な市の行政情報	178
(9) 市民・行政が協働したまちづくりの実態	180
(10) 地域の生活環境の満足度	182
(11) 市職員へのイメージ	185
(12) 行財政改革と行政サービスのあり方	188
(13) 行財政改革の推進のために必要な取組	189
(14) よくなってきた施策／力を入れるべき施策	191
(15) 川越市への定住意向	199
(16) 住み続けたいと思う理由	202
(17) 転出したいと思う理由	204
(18) 川越市への愛着	205
(19) 希望する市税納付方法	207

## 8 市政運営に対する意見・まちづくりへの要望 .....208

# I 調査の概要



## 1 調査の目的

この調査は、市民の市政に対する意見・要望・生活環境・重点施策・定住意識等の実情を的確に把握し、今後のまちづくりを進めていくための基礎資料とすることを目的としている。なお、この調査は昭和 56 年度以降 15 回目となっている。

## 2 調査の内容

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| (1) 都市基盤・生活基盤について    | (5) 環境について        |
| (2) 産業・観光について        | (6) 地域社会と市民生活について |
| (3) 教育・文化・スポーツについて   | (7) 市政全般について      |
| (4) 保健・医療・福祉・子どもについて | (8) あなた自身のことについて  |

## 3 調査の設計

調査地域	川越市全域
調査対象	市内在住の満 18 歳以上の男女
標本数	3,000 人
抽出方法	川越市住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送配布ー郵送回収または Web 回答
調査期間	令和 6 年 10 月 1 日（調査票発送）～令和 6 年 10 月 31 日

## 4 調査結果の表示方法

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示しているため、その合計値が 100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- (4) 令和 3 年に実施したアンケート調査との比較に際しては、前回調査と表現している。
- (5) 図表及び文章中では、選択肢を一部省略している場合がある。
- (6) 誤差を考慮し、n が 20 未満のものについてはコメントしていない。
- (7) 男女別、年代別、地区別では無回答があるため、男女、年代、地区の各項目の n の合計と全体の n は一致しない。

(8) 標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、次の公式によって算出される。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差  
 N = 母集団数  
 n = 回収数 (比率算出の基数)  
 P = 回答の比率 (%)

今回の調査の実際の質問にあてはめてみると、「あなたは、利用する駅へ主にどのような手段で行きますか。」(問2)という質問に答えた人は1,475人であり、そのうち、44.3%の人が「徒歩」と答えた。それぞれの数値を公式に代入すると、次の誤差が算出される。

$$2 \sqrt{\frac{303,289 - 1,475}{303,289 - 1} \times \frac{0.443(1 - 0.443)}{1,475}} \doteq 0.026$$

したがって、±2.6%が誤差の範囲となる。つまり、この回答に対する川越市民の真の値は41.7%~46.9%の間と考えられる。

**【今回の調査の標本誤差早見表】**

回答の比率	90% (または10%)	80% (または20%)	70% (または30%)	60% (または40%)	50%
標本誤差	±1.6%	±2.1%	±2.4%	±2.5%	±2.6%

**【各回答比率における標本誤差早見表】**

回答の比率 (P) 基数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,475	± 1.6%	± 2.1%	± 2.4%	± 2.5%	± 2.6%
1,000	± 1.9%	± 2.5%	± 2.9%	± 3.1%	± 3.2%
400	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
200	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
100	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	±10.0%
50	± 8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

## 5 集計結果の有意性について

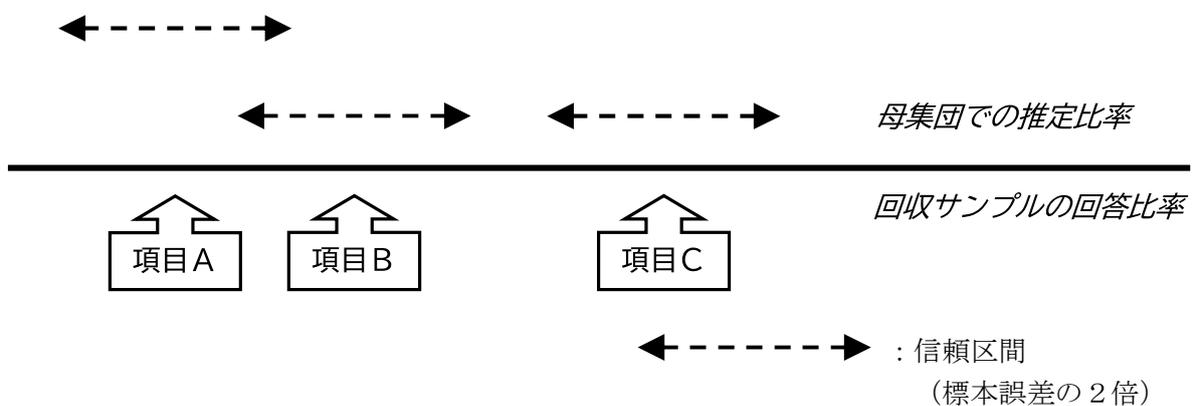
今回の調査は「標本調査」であり調査対象となる母集団への標本誤差が必ず生じる。そのため、どの程度までアンケート調査結果に基づく評価ができるのかという有意性が重要な問題となってくる。

今回調査では、有効サンプルが1,475票であり、回答比率がちょうど50%の場合、標本誤差は±2.6%となる。したがって、アンケート調査結果で得た50%という集計結果を、実際の母集団にあてはめるには標本誤差±2.6%の誤差が生じることになり、母集団の傾向として評価する際には、50%ではなく50±2.6% (=47.4%～52.6%) という一定の幅を持った値（信頼区間）として取り扱う必要がある。その結果、その信頼区間に基づいて母集団の評価をする場合、少なくとも評価対象となる項目の回答比率の差が5.2% (=標本誤差の2倍) 以上でなければ意味をなさない、つまり有意性を持たないことになる。（下図参照）

そのため、アンケート調査結果に有意性を持たせ、母集団へ効果的に反映させるためには、ある程度の回収サンプル数が必要とされており、例えば、100票程度の場合、その調査結果の標本誤差は、回答比率50%において±10.0%となり、信頼区間は20.0%にも上ることになる。このような状況では評価どころではなく、アンケート調査自体が意味をなさない。こういった事態を招かないためにも、通常の標本調査においては、回収サンプル数が1,000票は必要と考えられる。

今回のアンケート調査の場合、回収サンプル数が1,475票であり、評価に当たっての前提条件はクリアされていることが分かる。ただし、標本誤差が生じるので、評価・分析にあたっては信頼区間（今回調査の場合は5.2%程度）未満の差異は切り捨てて考える必要がある。

### 【項目Bは項目Aよりも有意に高いといえない場合】



※この場合、項目Cについては、項目A、項目Bそれぞれよりも有意に高いといえる。

## 6 回収結果

### (1) 市全体の回収

内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
市 全 体	303,289	100.0%	3,000	1,475 (郵送回収 1,200) (Web回収 275)	49.2% (40.0%) (9.2%)

### (2) 性別、性年齢別の回収結果

区 分	内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
市 全 体		303,289	100.0%	3,000	1,475	49.2%
男 性		150,122	49.5%	1,500	597	39.8%
女 性		153,167	50.5%	1,500	829	55.3%
そ の 他		—	—	—	1	—
答えたくない		—	—	—	18	—
無 回 答		—	—	—	30	—

男 性	区 分	内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
	全 体		150,122	100.0%	1,500	597	39.8%
	18・19歳		3,367	2.2%	41	12	29.3%
	20～29歳		19,615	12.6%	194	50	25.8%
	30～39歳		20,439	12.9%	207	53	25.6%
	40～49歳		25,705	16.3%	285	83	29.1%
	50～59歳		28,226	17.9%	326	120	36.8%
	60～69歳		19,089	12.5%	202	113	55.9%
	70歳以上		33,681	25.6%	245	166	67.8%
	無回答		—	—	—	0	—

女 性	区 分	内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
	全 体		153,167	100.0%	1,500	829	55.3%
	18・19歳		3,266	2.1%	31	5	16.1%
	20～29歳		18,748	12.2%	194	57	29.4%
	30～39歳		18,617	12.2%	195	94	48.2%
	40～49歳		23,606	15.4%	266	148	55.6%
	50～59歳		26,161	17.1%	289	174	60.2%
	60～69歳		18,827	12.3%	208	141	67.8%
	70歳以上		43,942	28.7%	317	209	65.9%
無回答		—	—	—	1	—	

## (3) 地区別回収結果

内 訳 区 分	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有効 回収数	回収率 (%)
本 庁 地 区	92,526	30.5%	741	330	44.5%
芳 野 地 区	4,530	1.5%	100	44	44.0%
古 谷 地 区	8,782	2.9%	132	59	44.7%
南古谷地区	20,954	6.9%	223	131	58.7%
高 階 地 区	46,545	15.3%	401	157	39.2%
福 原 地 区	17,743	5.9%	195	94	48.2%
大 東 地 区	29,824	9.8%	286	138	48.3%
霞ヶ関地区	27,377	9.0%	265	163	61.5%
川 鶴 地 区	4,879	1.6%	102	71	69.6%
霞ヶ関北地区	14,685	4.8%	166	52	31.3%
名 細 地 区	25,552	8.4%	249	96	38.6%
山 田 地 区	9,892	3.3%	140	77	55.0%
無 回 答	—	—	—	63	—
計	303,289	100.0%	3,000	1,475	49.2%

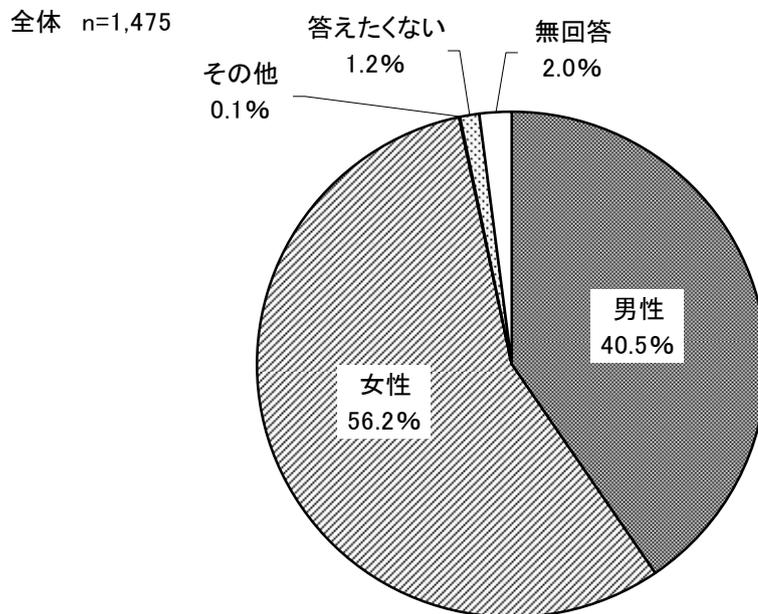
【地区別区分図】



## 7 回答者の属性

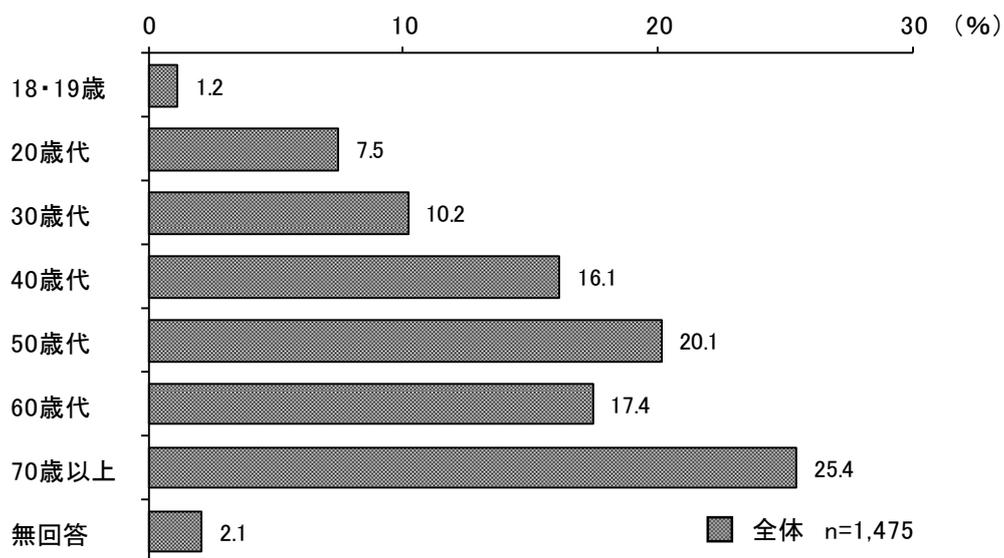
### (1) 性別

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)



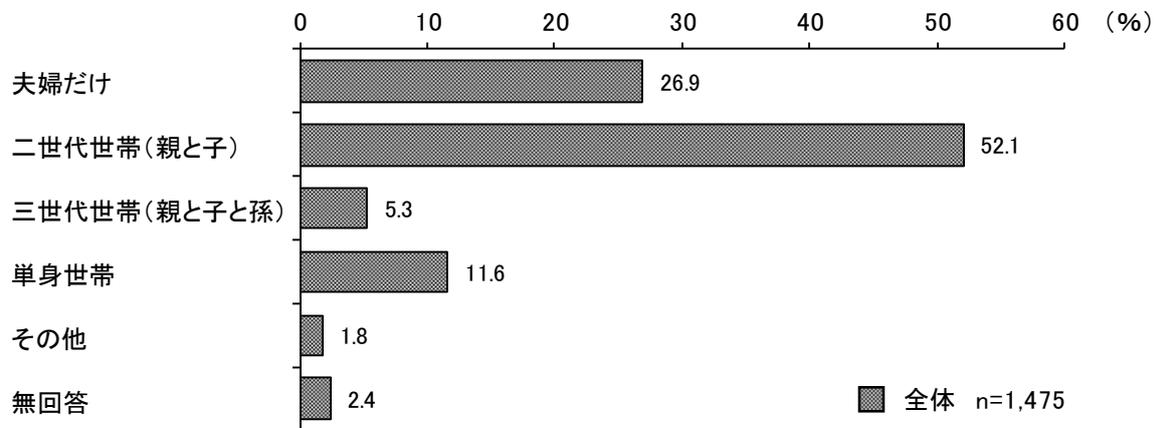
### (2) 年齢

F 2 あなたの年齢はいくつですか。(1つのみ)



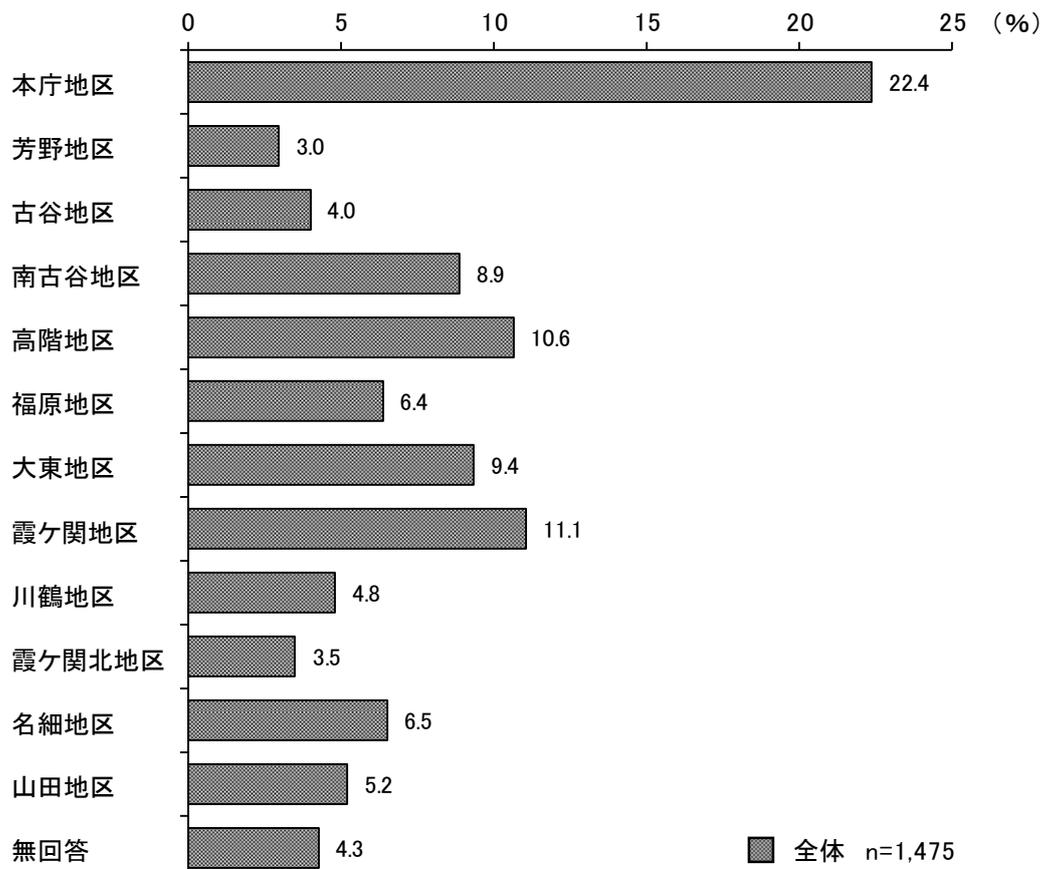
## (3) 家族構成

F 3 あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか。(1つのみ)



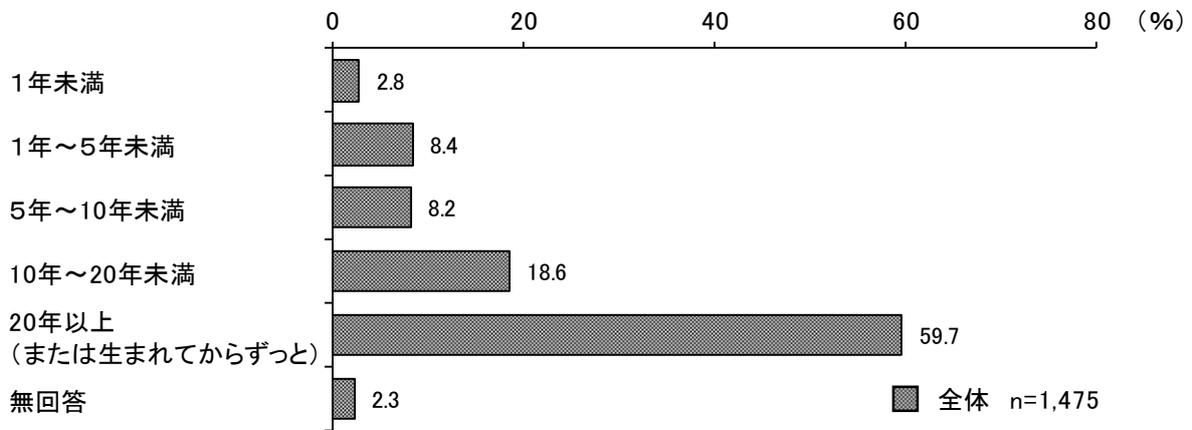
## (4) 居住地区

F 4 あなたは、どちらの地区にお住まいですか。(1つのみ)



(5) 居住年数

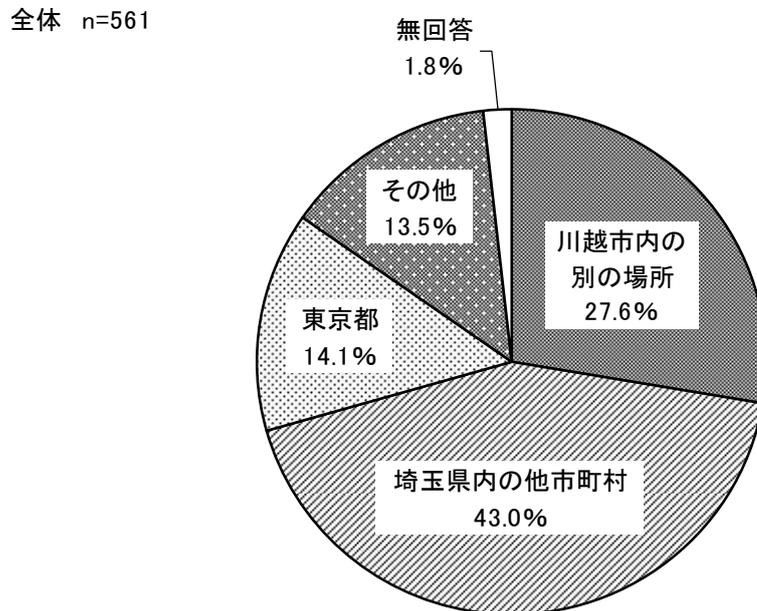
F 5 あなたは、川越市の現在の場所に何年くらい住んでいらっしゃいますか。(1つのみ)



(6) 前居住地

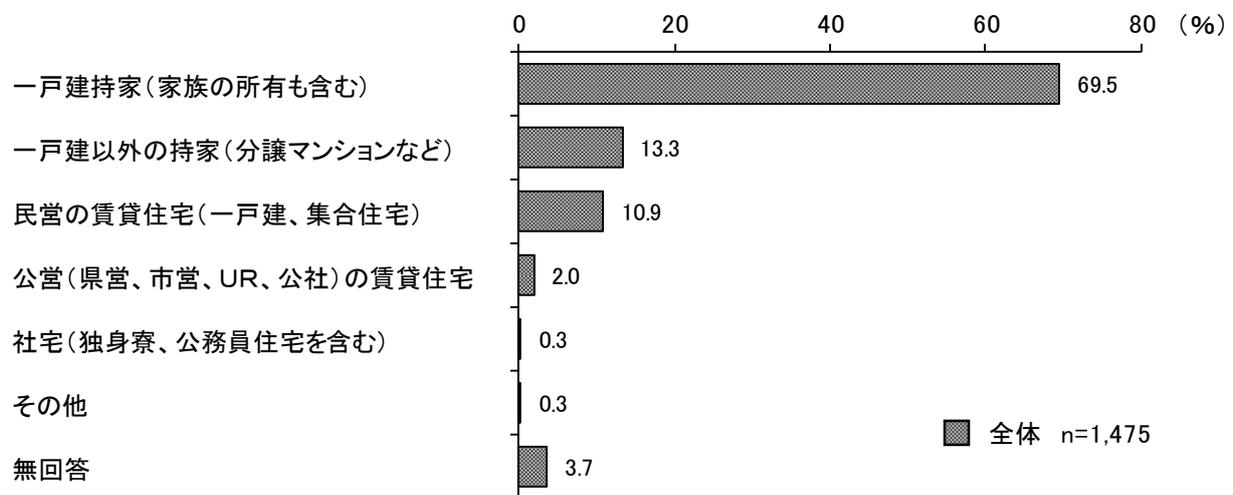
【F 5で「1年未満」「1年～5年未満」「5年～10年未満」「10年～20年未満」と回答した方におたずねします。】

F 5 - 1 現在の場所に移る前はどこにお住みでしたか。(1つのみ)



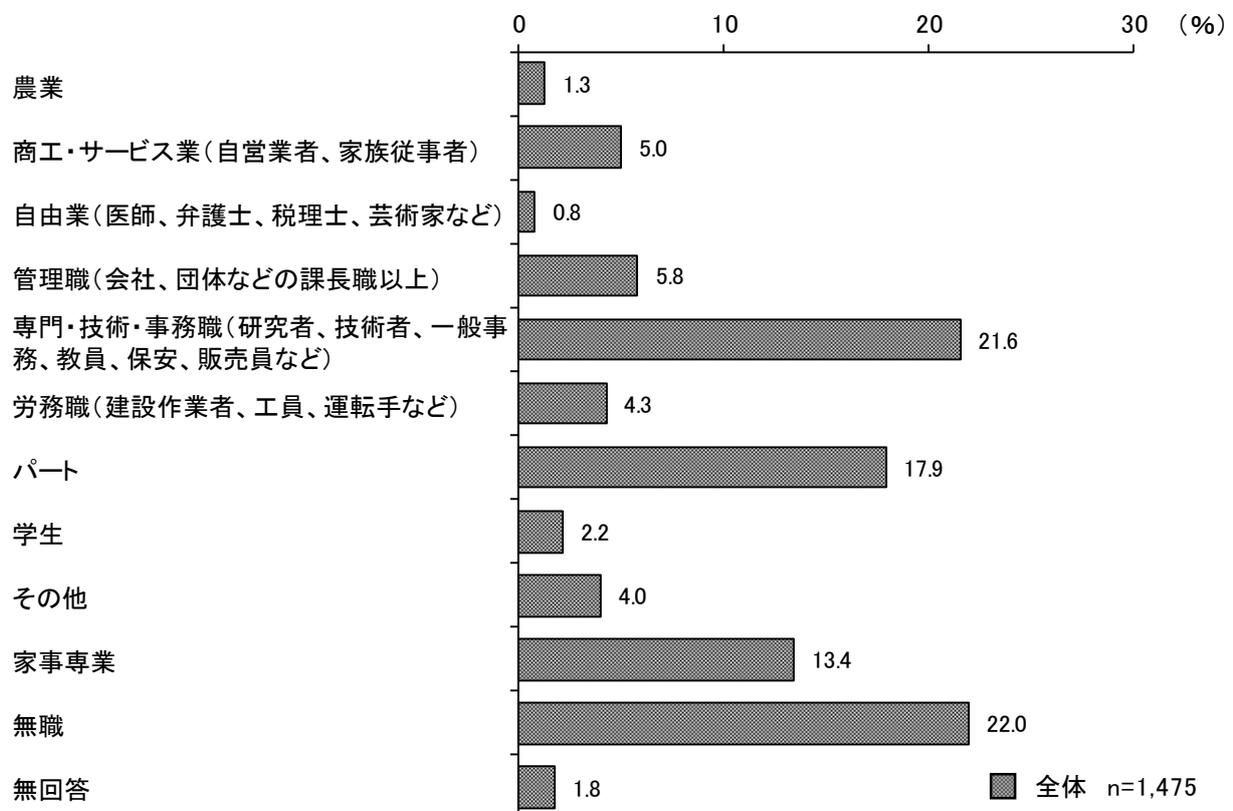
## (7) 住居形態

## F 6 あなたの住宅の種類はどれですか。(1つのみ)



## (8) 職業

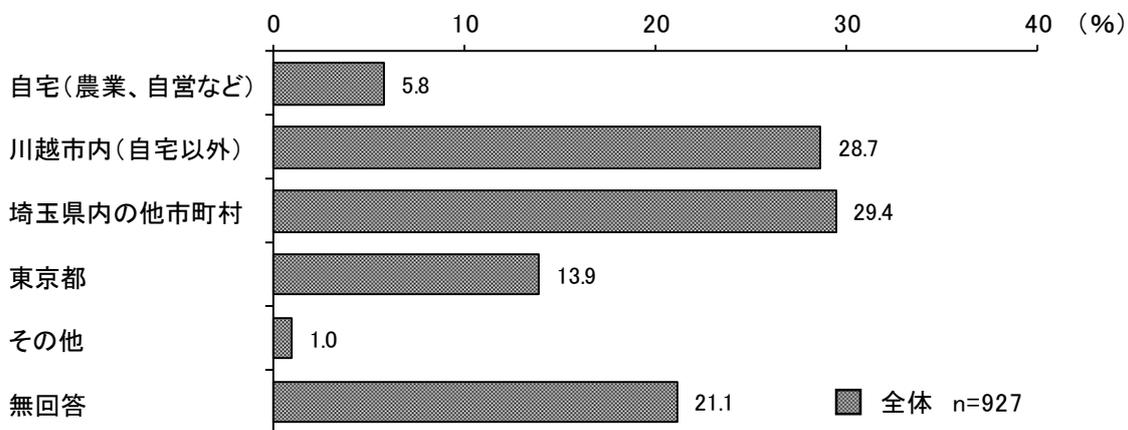
## F 7 あなたのご職業は何ですか。(複数ある場合は、主となる職業を1つ選んでください)(1つのみ)



(9) 通勤・通学先

【F7で「農業」から「その他」のいずれかを回答した方におたずねします。】

F7-1 あなたの通勤・通学先はどこですか。(複数ある場合は、主な場所を1つ選んでください)  
(1つのみ)



## Ⅱ 調査票と回答



## 川越市市民意識調査 ～ ご協力のお願～

日頃皆様には、市政の発展のために深いご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。  
さて、市では10月上旬から10月下旬にかけて市民意識調査を行います。

この調査は、生活環境に関する意識、市政に対するご意見など市民生活の全般にわたり、皆様のご意見をお伺いし、それを今後の行政施策への資料とするために行うもので、今回の調査は昭和56年度以来15回目です。

この調査は、住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民の中から、3,000人を無作為に選ばせていただき、お願いするものです。調査結果はコンピュータで統計的に処理しますので、ご回答いただきました皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

令和6年10月

川越市長 川合善明

### ご記入に際してのお願い

1. 対象となったご本人がお答えください。
2. ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
3. 回答は最初から1問ずつ、最後までお答えください。ただし、質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
4. 回答は、該当する選択肢の番号に○印をつけてください。質問によっては、回答する数を「1つ」「いくつでも」などと指定しておりますので、その範囲内で回答をお願いします。
5. 「その他」に回答した場合、その具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
6. 市政全般に関する調査であることから、質問が多岐にわたっておりますので、時間がかかる場合は、休憩をはさみながらご回答ください。
7. 郵送の場合は、**令和6年10月18日（金）**までに調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。

※お名前やご住所の記入は必要ありません。

インターネット回答の場合は、次のURLまたは、右の二次元コードからアンケート画面へ移動し、最初に表示される入力欄に調査票右上記載の調査票IDを入力してお答えください。

<https://wss3.5star.jp/survey/login/qiwyz22e>



※調査票IDは、重複回答を防ぐためのもので、個人を特定するものではありません。

調査の内容、考え方、記入の仕方などについて、ご不明な点がございましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

### 川越市 市民部 広聴課 広聴担当

〒350-8601 川越市元町一丁目3番地1（本庁舎3階）

TEL 049-224-5011（直通） FAX 049-222-5454

※各選択肢に続く数値は回答結果（％）を表している。

## 1. 都市基盤・生活基盤についてお伺いします。

### 問1 あなたが主に利用する駅はどこですか。（1つのみ）n=1,475

JR川越線		東武東上線		西武新宿線	
1 南古谷	11.3	7 新河岸	10.4	13 本川越	2.8
2 川越	9.6	8 川越	21.4	14 南大塚	6.4
3 西川越	1.4	9 川越市	6.6	15 新狭山	0.3
4 的場	3.0	10 霞ヶ関	10.2	16 その他の駅	0.1
5 笠幡	2.8	11 鶴ヶ島	9.5	無回答	0.8
6 その他の駅	0.3	12 その他の駅	3.3		

### 問2 あなたは、利用する駅へ主にどのような手段で行きますか。（1つのみ）n=1,475

1 徒歩	44.3	3 自転車又はオートバイ	20.9	5 その他	0.7
2 バス	15.6	4 家用自動車	17.8	無回答	0.7

### 問3 あなたは、川越市をどのようなまちにしたら良いと思いますか。

次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで）n=1,475

1 緑の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち	10.6	11 人と人とのつながりを感じる地域	11.5
2 ものづくりの盛んな工業のまち	1.4	コミュニティ活動の活発なまち	
3 活力あふれる商業のまち	7.9	12 交通事故、犯罪及び火災のない	36.7
4 農業を大切にするまち	6.7	安全性の高いまち	
5 歴史的遺産を活かした観光のまち	20.7	13 県西部の中心都市	4.6
6 スポーツの盛んな健康づくりのまち	2.9	14 住環境の整備された住宅のまち	7.6
7 子育てのしやすいまち	18.2	15 環境保全を推進する地球にやさしいまち	4.6
8 こども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち	29.8	16 市民と行政がともに知恵と力を	6.2
9 公園や広場などが多いおいしいのあるまち	11.3	出し合う協働のまち	
10 教育や文化の香り高い教養のまち	6.1	17 その他	2.4
		無回答	1.1

### 問4 あなたが普段よく利用する移動手段は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。（3つまで）

n=1,475

1 徒歩 (杖やシルバーカー、車イスなどの利用も含む)	51.6	6 自動車（運転）	63.5
2 路線バス	21.5	7 自動車（同乗）	26.3
3 タクシー	5.8	8 自動二輪車（原付自転車含む）	4.3
4 川越シャトル	4.1	9 自転車（自己用）	44.0
5 デマンド型交通かわまる	0.3	10 自転車（シェアリング・レンタル）	0.7
		11 その他	2.0
		無回答	0.3

問5 次の交通手段の利用状況や利用意向について、教えてください。

※①から③のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ) n=1,475

交通手段	利用したことがある	利用したことはないが		知らない	無回答
		利用してみたい	利用するつもりはない		
①川越シャトル	23.6	31.7	29.8	12.5	2.4
②デマンド型交通かわまる	0.7	18.6	23.6	53.2	3.9
③川越市自転車シェアリング	4.3	24.4	40.7	25.9	4.7

- ➡ ①の項目で、「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方⇒ 問5-1へ  
 ➡ ②の項目で、「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方⇒ 問5-2へ  
 ➡ ③の項目で、「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方⇒ 問5-3へ

【問5の①で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

問5-1 川越シャトルを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも) n=907

1 自宅付近・目的地付近にバス停がない	30.2	4 他の移動手段があるため、必要性を感じない	60.0
2 運行便数が少ない	23.6	5 その他	5.1
3 運賃(利用料金)が高い	2.3	無回答	6.2

【問5の②で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

問5-2 デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも) n=622

1 自宅付近・目的地付近に乗降場がない	19.9	5 予約をするのが面倒	18.6
2 利用方法がわからない	33.8	6 希望日時に予約が取れない	1.9
3 運賃(利用料金)が高い	4.5	7 目的地が運行区域外にある	6.3
4 他の移動手段があるため、必要性を感じない	49.5	8 その他	2.9
		無回答	6.9

【問5の③で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

問5-3 川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも) n=961

1 自宅付近・目的地付近にステーション(駐輪場)がない	26.6	4 自転車を持っている	47.1
2 利用方法が難しい	9.3	5 使う機会がない	41.9
3 利用料金が高い	2.5	6 その他	4.1
		無回答	4.1

問6 あなたは、この10年間で川越市の歴史的風致(歴史的な建造物や歴史・伝統を反映した人々の活動等)が向上したと思いますか。(1つのみ) n=1,475

1 向上した	} 問6-1へ	12.4	4 低下した	2.8
2 ある程度向上した		20.5	5 わからない	39.9
3 特に変わっていない		23.5	無回答	0.8

【問6で「向上した」「ある程度向上した」と回答した方におたずねします。】

問6-1 どのような点でそのように感じますか。(いくつでも) n=485

1	歴史的建造物の修理や復原による町並みの整備	44.3		
2	歴史的建造物の様式に合わせた新築建物の増加	19.6		
3	歴史的建造物を活用した店舗の増加	46.4		
4	歴史的な地区での道路の美装化	19.8		
5	歴史的な町並みを散策する観光客の増加	66.8		
6	歴史的な町並みがマスメディアで紹介される頻度の増加	68.9		
7	川越氷川祭の山車行事(川越まつり)の賑わい	26.6		
8	その他	1.9	無回答	0.2

## 2. 産業・観光についてお伺いします。

問7 あなたは、川越市の観光について、どのように感じていますか。(1つのみ) n=1,475

1	満足	14.0	3	ふつう	36.3	5	不満	2.8
2	やや満足	33.6	4	やや不満	10.0		無回答	3.2

問8 市内には多くの観光スポットや伝統行事がありますが行ったこと(見たこと)がありますか。また、①から⑳の項目で次世代に残したいと思うもの(文化財)を3つ選んで回答欄に項目番号を記入してください。※①から⑳のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

※回答欄に項目番号を3つ記入してください。n=1,475

	行ったことがある	機会があれば行ってみたい	知っているが行ったことがない	知らない	無回答
①蔵造りの町並み	94.8	0.9	1.8	0.5	2.0
②菓子屋横丁	93.2	1.6	2.1	0.5	2.6
③川越まつり会館	54.7	8.3	25.7	7.0	4.3
④時の鐘	92.4	1.4	2.7	0.6	2.9
⑤川越市産業観光館小江戸蔵里	59.1	7.7	11.5	17.1	4.7
⑥旧山崎家別邸	25.6	15.5	26.6	26.6	5.7
⑦川越城本丸御殿	66.2	8.5	13.2	8.3	3.7
⑧市立博物館	53.5	12.4	21.0	8.7	4.4
⑨市立美術館	44.7	14.7	25.0	10.6	4.9
⑩川越氷川神社	89.8	2.4	4.2	0.7	2.8
⑪三芳野神社	35.8	11.0	14.2	33.3	5.7
⑫喜多院	88.7	2.8	3.9	2.0	2.6
⑬中院	54.4	10.8	10.0	20.8	4.0
⑭仙波東照宮	49.5	11.2	12.5	21.9	4.9
⑮蓮馨寺	74.5	5.0	6.5	10.1	3.9
⑯熊野神社	62.6	8.1	12.5	12.2	4.6
⑰川越水上公園	85.7	3.3	7.1	0.7	3.2

	行ったことがある	機会があれば行ってみたい	知っているが行ったことがない	知らない	無回答
⑱伊佐沼	83.7	2.4	5.5	4.7	3.6
⑲川越まつり	90.0	3.3	3.1	0.5	3.2
⑳石原のささら獅子舞	3.7	11.3	15.0	62.6	7.4
㉑老袋の弓取式	2.2	11.1	11.7	68.9	6.2
㉒老袋の万作	2.0	10.0	10.3	71.3	6.4
㉓南大塚の餅つき踊り	3.2	9.8	12.1	69.0	6.0
㉔ほろ祭	4.1	8.9	6.9	73.8	6.3
㉕初大師（喜多院）	51.9	9.5	11.9	21.2	5.5
㉖小江戸川越花火大会	58.7	11.9	20.9	4.2	4.3
㉗春まつり（舟運）	17.8	19.0	28.0	29.2	6.1
㉘川越百万灯夏まつり	69.5	7.7	13.1	5.4	4.4
㉙縁むすび風鈴（氷川神社の夏の行事）	41.7	12.7	25.0	15.3	5.4
㉚河越館跡	21.2	10.8	16.1	45.4	6.5
㉛山王塚古墳	9.4	11.4	14.6	58.1	6.5
㉜コエトコ（旧川越織物市場）	6.6	12.7	13.8	60.4	6.4

次世代に残したいと思うもの（文化財）			
①蔵造りの町並み	59.7	⑱伊佐沼	2.8
②菓子屋横丁	15.1	⑲川越まつり	47.7
③川越まつり会館	1.7	⑳石原のささら獅子舞	0.3
④時の鐘	38.7	㉑老袋の弓取式	0.5
⑤川越市産業観光館小江戸蔵里	0.5	㉒老袋の万作	0.1
⑥旧山崎家別邸	1.8	㉓南大塚の餅つき踊り	0.3
⑦川越城本丸御殿	20.8	㉔ほろ祭	0.3
⑧市立博物館	1.9	㉕初大師（喜多院）	2.0
⑨市立美術館	1.1	㉖小江戸川越花火大会	8.1
⑩川越氷川神社	20.5	㉗春まつり（舟運）	1.4
⑪三芳野神社	0.8	㉘川越百万灯夏まつり	6.3
⑫喜多院	24.1	㉙縁むすび風鈴（氷川神社の夏の行事）	1.8
⑬中院	2.2	㉚河越館跡	1.4
⑭仙波東照宮	3.0	㉛山王塚古墳	1.1
⑮蓮馨寺	1.6	㉜コエトコ（旧川越織物市場）	0.7
⑯熊野神社	0.8	無回答	6.5
⑰川越水上公園	5.8		

**問9 文化財の保存・活用のため、行政が行うべき支援は何だと思いますか。(1つのみ) n=1,475**

1	文化財の修理・維持のための金銭的な支援	65.4
2	インターネットやチラシなどを用いて文化財の情報を広く知らせる支援	23.6
3	文化財について研究を深め、報告書を出版するなどの学術的な支援	4.7
4	行政の支援は特に必要でない	3.1
	無回答	3.1

**問10 あなたは、住民が住みやすく、観光客が快適に滞在できる街になるためにどのような施策が必要だと思いますか。**

次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで) n=1,475

1	駐車場の整備	22.8	11	交通問題(渋滞、歩道狭い、迂回路等)の改善	52.4
2	トイレの整備	20.3	12	滞在時間の延長(宿泊施設の充実、夜間ライトアップの実施等)	7.3
3	観光スポットへのアクセスの向上	10.8	13	無料Wi-Fiの整備	2.1
4	来訪者に対する案内情報の発信	4.3	14	観光客のマナー向上啓発(食べ歩き、ゴミのポイ捨て等)	35.1
5	国内外への観光情報の発信	4.1	15	その他	2.6
6	休憩施設の整備	9.4	16	わからない	0.9
7	観光施設のバリアフリー化	4.3		無回答	0.6
8	乳幼児用の設備や施設の整備	3.6			
9	観光スポットの整備	6.9			
10	体験型観光の充実	3.7			

**問11 食料品等の日常の買い物で不便を感じていますか。(1つのみ) n=1,475**

1	不便を感じていない ⇒問11-1へ	75.5
2	不便を感じているが、特に支障はない	19.3
3	不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある	3.9
	無回答	1.4

} 問11-2へ

【問11で「不便を感じていない」と回答した方におたずねします。】

**問11-1 あなたが日常の買い物に不便を感じていない理由は何ですか。(いくつでも) n=1,113**

1	店が近くにある	72.5
2	公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある	53.5
3	宅配サービス・通信販売・移動販売等を利用している	14.8
4	その他	0.9
	無回答	0.5

【問 11 で「不便を感じているが、特に支障はない」「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」と回答した方におたずねします。】

問 11-2 あなたが日常の買い物で不便を感じている理由は何ですか。(いくつでも) n=342

1	店が近くにない	61.7	8	買い物を手伝ってくれる人(家族等)がいない	7.9
2	自転車などの交通手段がない	5.3	9	重いものが持てないため、一度に	18.1
3	自動車やバイクなどの交通手段がない	7.0		少量しか買い物ができない	
4	バス・電車などの交通の便が悪い	25.1	10	近くに品揃えの良い店がない	43.9
5	身体上の理由でお店に行くことが困難	7.6	11	買い物ができる時間に店が開いていない	7.6
6	育児のため買い物に出かけにくい	7.3	12	その他	7.3
7	介護のため買い物に出かけにくい	4.1		無回答	1.2

問 12 商店街にどのようなことを望みますか。次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)

n=1,475

1	魅力向上(店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など)	56.1
2	イベントの開催(商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など)	23.1
3	地域住民へのサービスの充実 (ポイント(スタンプ)カード、宅配サービス、地域通貨など)	33.2
4	観光客へのサービスの充実(インバウンド需要、多言語対応、無料Wi-Fiの整備など)	4.7
5	キャッシュレス決済の充実	18.9
6	広告の充実(フェイスブック、XなどのSNSによる情報発信)	3.4
7	周辺設備の充実(駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など)	53.3
8	環境問題への貢献(観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など)	21.8
9	コミュニティスペース (空き店舗を活用した子育てサロン、リモートオフィススペースの提供など)	7.8
10	その他	3.6
	無回答	2.9

問 13 あなたはスマートフォンを利用したキャッシュレス決済を利用していますか。(1つのみ)

n=1,475

1	よく利用している	41.6	3	利用していないが今後利用したい	10.0
2	利用したことがある	20.0	4	利用していない(今後も利用しない)	26.8
				無回答	1.6

問 14 あなたが農業に期待することは何ですか。(いくつでも) n=1,475

1	安全安心な農産物の提供	78.4	5	川越産農産物の加工品を扱う商店等の充実	22.8
2	農産物直売機会の充実	52.4	6	田園風景の保存	25.6
3	農業にふれあえる機会の充実	14.4	7	その他	3.4
4	川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実	23.6		無回答	1.0

問 15 農業を身近に感じますか。(地場農産物の購入や市民農園の利用、田園風景などを通じて、暮らしの中で農業を身近に感じますか)(1つのみ) n=1,475

1	農業を身近に感じる	63.8	2	農業を身近に感じない	34.6	無回答	1.6
---	-----------	------	---	------------	------	-----	-----

### 3. 教育・文化・スポーツについてお伺いします。

問 16 あなたは、外国籍市民が増えることについて、どのような効果や影響があると思いますか。  
(いくつでも) n=1,475

1	まちに活気が生まれる	15.3	6	日本語が通じない場面が多くなる	22.4
2	地域に新たな文化や交流が生まれる	37.8	7	ルールやマナーを守らない人が増える	67.8
3	外国語に慣れる	9.4	8	治安が悪くなる	46.4
4	外国のことに関心を抱くようになる	22.8	9	特に変わらない	3.9
5	外国籍市民の知人・友人が増える	12.5	10	その他	3.1
				無回答	1.4

問 17 あなたは、どのような文化・スポーツイベントに興味がありますか。  
次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで) n=1,475

1	クラシックコンサートやオペラの鑑賞	22.0	6	知識や技能、教養を高めるための講座や教室	20.0
2	落語や歌舞伎など古典芸能の鑑賞	15.7	7	日頃の活動を発表できる市民参加の音楽祭・文化祭	8.5
3	文化人などの講演会	7.2	8	市民参加のスポーツ大会	7.6
4	著名な画家などの美術展	11.9	9	地域の伝統行事や祭り	34.9
5	プロスポーツの観戦	32.1	10	その他	2.4
				無回答	3.3

問 18 あなたは、文化活動をどの程度行っていますか。(1つのみ) n=1,475

※「文化活動」とは、クラシック音楽、ポピュラー音楽、邦楽、民俗芸能、演芸、文芸、美術等における活動(文化財・歴史的遺産の保存・活用活動は含みません)を想定しています。

1	月数回以上	5.6	4	半年に1回程度	8.7
2	月1回程度	3.9	5	年に1回程度	12.3
3	1～3か月に1回程度	4.4	6	ほとんど行っていない、または行っていない ⇒問 18-1へ	64.5
				無回答	0.7

【問 18 で「ほとんど行っていない、または行っていない」と回答した方におたずねします。】

問 18-1 文化活動をほとんど行っていない理由は何ですか。(1つのみ) n= 951

1	興味がない	32.8	5	一緒に活動する仲間がない	6.4
2	時間がない	26.3	6	いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない	11.9
3	近くに活動の場所がない	6.5	7	参加費、受講料、交通費などの費用がかかりすぎる	4.3
4	自分が参加できる催しがない	9.3	8	その他	2.3
				無回答	0.2

問 19 あなたは、1回 30分以上のスポーツや運動をどの程度していますか。(1つのみ) n=1,475

1	ほとんど毎日	} 問 19-1、 問 19-2へ	9.1	4	週に1日 ⇒ 問 19-1、問 19-2へ	8.6
2	週に3～5日		11.9	5	月に1～3日	7.7
3	週に2日		11.2	6	ほとんどしていない	49.2
				無回答	2.4	

【問 19 で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」「週に1日」と回答した方におたずねします。】

問 19-1 スポーツや運動を初めてからどの程度期間が経過していますか。(1つのみ) n=602

1	6か月未満	8.1	3	1年以上	78.4	無回答	4.3
2	6か月以上1年未満	6.1	4	わからない	3.0		

【問 19 で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」「週に1日」と回答した方におたずねします。】

問 19-2 あなたは、スポーツや運動をどこで行っていますか。(いくつでも) n=602

1	小・中学校の施設	4.2	3	公共のスポーツ施設	16.6	5	自宅周辺	52.8
2	高校・大学の施設	2.5	4	民間のスポーツ施設	24.8	6	その他	10.3
							無回答	6.3

問 20 あなたは、今後、川越市内にどのようなスポーツ施設があると良いと思いますか。(3つまで)

n=1,475

1	多目的グラウンド	43.6	6	ソフトボール場	1.6	11	陸上競技場	4.1
2	テニスコート	8.6	7	サッカー場	9.3	12	ラグビー場	2.6
3	武道場	4.7	8	バスケットボールコート	8.2	13	その他	12.5
4	プール	28.1	9	体育館	28.8		無回答	9.5
5	野球場	13.4	10	スケートボード場	5.8			

問 21 あなたは、川越市にどのようなスポーツ教室の開催を望みますか。(3つまで) n=1,475

1	健康体操	34.9	8	ランニング	7.3	15	バレーボール	4.3
2	ダンス	14.6	9	サッカー	6.2	16	野球	7.7
3	バスケットボール	5.3	10	スケートボード	3.9	17	ラグビー	2.0
4	剣道	2.6	11	テニス	7.7	18	その他	11.9
5	ゴルフ	8.5	12	弓道	6.1		無回答	9.3
6	柔道	2.2	13	太極拳	10.3			
7	ヨガ	27.1	14	ウォーキング	20.9			

#### 4. 保健・医療・福祉・子どもについてお伺いします。

問 22 あなたは、福祉に関心がありますか。(1つのみ) n=1,475

※「福祉」とは、「生活困窮者・障害者・高齢者・子どもに関する福祉のほか、地域における身近な支え合い」などを想定しています。

1	関心がある	56.8	3	どちらともいえない	35.4
2	関心がない	6.7		無回答	1.1

問 23 福祉総合相談窓口を知っていますか。(1つのみ) n=1,475

1	利用したことがある	6.0	3	知らない	50.4
2	知っているが、利用したことはない	42.7		無回答	0.9

問 24 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(1つのみ) n=1,475

1	法律の内容を含めて知っている	6.2	3	知らない	66.1
2	内容は知らないが、法律があることは知っている	26.5		無回答	1.2

## 問 25 高齢者の身近な相談窓口である「地域包括支援センター」を知っていますか。(1つのみ)

n=1,475

1	利用したことがある	13.1	3	知らない	38.0
2	知っているが、利用したことはない	48.2		無回答	0.7

## 問 26 あなたは過去1年間に次の検診を受けたことがありますか。

(治療や診断のための検査は除きます)

※①から③のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ) n=1,475

	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答
①胃がん検診(バリウム検査または胃カメラ)	57.6	7.7	19.6	12.1	3.1
②肺がん検診(胸部エックス線撮影)	47.7	12.8	26.6	9.9	3.1
③大腸がん検診(便潜血検査)	51.7	12.7	21.4	11.0	3.2

【女性の方におたずねします。】

## 問 27 あなたは過去2年間に次の検診を受けたことがありますか。

※①、②のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ) n=829

	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答
①子宮頸がん検診(子宮頸部細胞診検査)	55.4	12.9	15.3	13.9	2.5
②乳がん検診(乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕)	57.5	12.9	15.2	11.9	2.4

【問26、問27でひとつでも「受けていない」と回答した方におたずねします。】

## 問 28 がん検診を受診しない理由は何ですか。(いくつでも) n=1,051

1	自分は健康だから関係ない	7.3	5	検診に出かけるのが面倒	22.6
2	受診方法がわからない	10.9	6	結果に不安がある	6.4
3	経費がかかる	17.6	7	症状があれば診察を受ける	39.1
4	受診したいが時間がない	19.4	8	がん治療を受けている	1.8
				無回答	16.2

## 問 29 児童虐待を減らすためにはどのような方法が効果的だと思いますか。

次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=1,475

1	児童虐待に関することの普及・啓発	20.0	6	児童相談所等の権限の強化	42.2
2	子育て世代の相談体制やサービスの充実	41.4	7	市・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化	50.7
3	虐待をしてしまう保護者への支援	32.8	8	その他	3.6
4	地域住民の見守りなど協力体制の構築	27.3	9	効果的な方法はない	1.5
5	虐待を禁止するという条例の制定	14.1	10	わからない	3.9
				無回答	2.1

**問 30 児童虐待に関する国・県・市等の施策を知っていますか。(いくつでも) n=1,475**

1	オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン	10.8	5	埼玉県虐待通報ダイヤル「#7171」	14.4
2	児童相談所虐待対応ダイヤル「189」	19.4	6	川越市児童虐待防止SOSセンター	18.1
3	オレンジリボン運動	10.6	7	親と子どもの悩みごと相談@埼玉	8.8
4	埼玉県虐待禁止条例	9.6	8	知っているものはない	51.3
				無回答	3.6

**5. 環境についてお伺いします。**
**問 31 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。(1つのみ) n=1,475**

※「環境」とは、地球温暖化、廃棄物問題、生物の多様性、都市のみどりまで幅広く捉えた環境を想定しています。

1	満足	6.1	3	ふつう	58.3	5	不満	3.3
2	やや満足	19.1	4	やや不満	10.7		無回答	2.4

**問 32 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。**

次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=1,475

1	テレビ	65.4	4	雑誌	2.5	7	市が発行する冊子	10.8
2	ラジオ	6.5	5	広報川越	44.7	8	公民館などの講座	0.6
3	新聞	24.3	6	インターネット	49.5	9	その他	2.2
							無回答	1.6

**問 33 資源ごみの収集回数は適当だと思いますか。(1つのみ) n=1,475**

1	多い	0.1	3	少ない	23.7		無回答	2.0
2	適当	70.1	4	わからない	4.1			

**問 34 収集回数を更に増やすなら、品目は何が良いですか。(1つのみ) n=1,475**

1	びん・かん	11.3	3	紙類	19.0		無回答	6.9
2	ペットボトル	25.4	4	プラスチック製容器包装	37.4			

**問 35 収集回数を増やすため、経費が増えることについて、どのように思いますか。(1つのみ)**

n=1,475

1	やむを得ない	37.8	3	わからない	8.5
2	負担増は避けるべき	50.9		無回答	2.8

**問 36 ごみ処理費用負担の公平性の観点から、家庭ごみ収集を有料化することについて、どのように思いますか。(1つのみ) n=1,475**

1	賛成	4.5	3	どちらかという反対	36.1	5	わからない	8.3
2	どちらかという賛成	12.7	4	反対	37.1		無回答	1.4

**問 37 川越市は、「小江戸かわごえ脱炭素宣言」を表明し、2050年脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策を推進します。**

**あなたは、地球温暖化対策について、どのように思いますか。(1つのみ) n=1,475**

1	地球温暖化対策は必要であり、自分でできることに取り組んでいる	43.3
2	地球温暖化対策は必要だが、何をしたら良いかわからない	46.0
3	地球温暖化対策に取り組む必要はない	3.3
4	わからない	5.7
	無回答	1.8

**問 38 あなたは、緑を増やすために、①現在どのようなことをしていますか。また、②今後どのようなことをしたいですか。(それぞれいくつでも) n=1,475**

	庭や家のまわりで木や花を育てる	ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる	生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する	市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる	近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする	地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する	特に何もなし	無回答
①していること	49.8	28.8	6.5	3.7	0.9	1.4	34.0	3.1
②したいこと	17.3	13.8	7.0	11.1	7.9	11.1	35.3	17.4

**問 39 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。**

**次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=1,475**

1	公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい	64.5
2	樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい	38.0
3	緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい	22.0
4	市民農園の整備を推進してほしい	15.9
5	樹林の保全への市民参加のしくみをつくってほしい	11.3
6	ボランティア活動などの広報をもっと充実させてほしい	10.4
7	その他	5.4
	無回答	3.8

## 6. 地域社会と市民生活についてお伺いします。

問 40 あなたは、防災対策として、どのような施策が必要だと思いますか。

次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=1,475

1	市民の防災意識を高めること	43.5
2	自主防災組織を育成すること	11.8
3	飲料水や食料などの生活物資を確保すること	50.2
4	下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること	53.3
5	農地の整備を推進し、水害対策を図ること(農業の多面的機能)	11.5
6	避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること	36.7
7	救急・医療体制を充実させること	37.6
8	消防車、防火水槽などの消防力を充実させること	7.1
9	その他	2.0
	無回答	1.4

問 41 東日本大震災以降、個人で3日以上の水や食料の備蓄が必要といわれていますが、あなたは何日分準備していますか。(1つのみ) n=1,475

1	1日分準備している	14.9	3	3日以上準備している	33.7
2	2日分準備している	22.7	4	準備していない	27.5
				無回答	1.2

問 42 あなたは、災害が起きた際、家族等との安否確認手段を決めていますか。(いくつでも)

n=1,475

1	予定避難場所を決めている	33.4	4	その他	1.8
2	災害用伝言板サービスを利用することにしている	5.9	5	特に決めていない	56.5
3	災害用伝言ダイヤルを利用することにしている	8.4		無回答	1.3

問 43 現在、日本の社会には基本的人権に関わる問題がいくつかありますが、あなたが関心のあることは何ですか。(いくつでも) n=1,475

1	女性にかかる人権問題	33.6	8	犯罪被害者等にかかる人権問題	20.7
2	子どもにかかる人権問題	37.4	9	アイヌの人々にかかる人権問題	6.0
3	高齢者にかかる人権問題	32.5	10	インターネットによる人権侵害	47.5
4	障害のある人にかかる人権問題	33.2	11	北朝鮮当局による拉致問題	19.8
5	同和問題	5.2	12	災害時における人権への配慮	24.3
6	外国人にかかる人権問題	10.7	13	性的少数者にかかる人権問題	12.3
7	HIV感染者、ハンセン病患者 などにかかる人権問題	5.6	14	その他	0.7
			15	特になし	10.0
				無回答	1.7

**問 44 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めていくためには、今後どのような取組が必要だとお考えですか。(いくつでも) n=1,475**

1 慣習や社会の仕組みを改善していく	50.4	8 人権に関する作文や絵画などのコンクールを行う	3.7
2 家庭の中で取り組んでいく	27.0	9 民間団体の力を活用する	8.8
3 学校教育の中で教えていく	61.2	10 人権意識は向上しており、取り組む必要はない	1.3
4 市町村が啓発活動を積極的に行う	22.2	11 個人の意識の問題であり、介入する必要はない	3.4
5 自治会など地域ぐるみでの取り組みを行う	13.1	12 その他	1.3
6 企業や職場での啓発活動を行う	19.3	13 取り組んでも変わらない	2.1
7 講演会・シンポジウムなどを開催する	7.9	14 わからない	7.5
		無回答	2.4

**問 45 あなたは、市民活動に参加したいと思いますか。(1つのみ) n=1,475**

※「市民活動」とは、「営利を目的とせず、社会や地域の課題の解決に向けて自発的・自主的・継続的に行う活動(宗教活動や政治活動を主な目的とする活動は除く)」を想定しています。

1 現在、参加している ⇒問 45-1へ	5.9
2 今は参加していないが、今後機会があれば参加したい ⇒問 45-1、問 45-2へ	27.7
3 参加したいとは思わない ⇒問 45-2へ	30.9
4 わからない	32.3
無回答	3.2

**【問 45で「現在、参加している」「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と回答した方におたずねします。】**

**問 45-1 あなたが参加している、または参加したいと思う市民活動の分野は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n= 495**

1 保健・医療の推進	12.1	11 子育て支援・こどもの健全育成	25.1
2 見守り等の福祉活動	29.1	12 情報化社会の推進	4.2
3 生涯学習の推進	14.7	13 科学技術の振興	3.8
4 まちづくりの推進	18.0	14 経済・観光の活性化	7.9
5 文化・スポーツの振興	22.0	15 職業支援活動	3.8
6 環境・美化活動	23.0	16 災害対策活動	11.7
7 防犯・交通安全活動	17.6	17 市民活動の支援	6.3
8 人権・平和活動	3.6	18 その他	1.6
9 国際交流の推進	7.3	無回答	3.8
10 男女共同参画の推進	2.6		

【問45で「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」「参加したいとは思わない」と回答した方におたずねします。】

問45-2 参加していない、または参加したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも) n=864

1	きっかけや機会がない	38.1	6	お金がかかりそう	5.8
2	参加できる活動や団体の情報がない	19.3	7	新たな人間関係を築くのが億劫	16.3
3	活動する時間がない	40.9	8	長く住むつもりがない	0.7
4	興味の持てる、自分のできそうな活動がない	18.3	9	参加するメリットを感じない	13.0
5	活動するための知識や技術がない	14.6	10	その他	4.7
				無回答	7.8

問46 自治会への加入の有無について、教えてください。(1つのみ) n=1,475

1	加入している	}	問46-1へ	76.8
2	今は加入していないが、今後加入したい			0.6
3	今は加入していないが、以前加入していた	}	問46-2、問46-3、問46-4へ	6.1
4	加入していない			13.6
	無回答			2.8

【問46で「加入している」「今は加入していないが、今後加入したい」と回答した方におたずねします。】

問46-1 あなたが自治会に加入していて良かった、または加入したいと思う理由は何ですか。(いくつでも) n=1,142

1	地域の人との親交を深める事ができる	40.9
2	地域の情報を得ることができる	52.2
3	地域の活動に参加することができる	23.6
4	災害時に助け合える体制を築くことができる	29.3
5	子どもたちを地域で安心して育てることができる(防犯対策になる)	24.2
6	地域の要望を、自治会を通じて行政等に陳情することができる	14.4
7	その他	10.7
	無回答	2.8

【問46で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問46-2 あなたが自治会に加入していない、または加入したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも) n=291

1	自治会のことがよくわからない	32.6	5	加入するメリットを感じない	34.7
2	活動に参加する時間がない	23.0	6	加入していなくても困らない	39.9
3	役員などの仕事の負担が大きい	26.1	7	その他	8.2
4	会費の負担が大きい	15.8		無回答	5.2

【問46で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問46-3 あなたが自治会への加入を考えてもいい、または加入したいと思える条件は何ですか。(いくつでも) n=291

1	自治会・町内会の活動が明確である	21.6	5	活動や行事に気軽に参加できる	16.2
2	自治会に加入する明確なメリットがある	46.4	6	仕事や学業が忙しくなく活動に参加する時間がある	21.3
3	役員や班長などの業務負担がない (もしくは少ない)	40.2	7	その他	6.5
4	会費が無料(もしくは安い)	30.9		無回答	12.0

【問46で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問46-4 自治会に加入していないことで、困っていることは何ですか。(いくつでも) n=291

1	地域の人とのつながりがない	12.4	5	回覧板が回らないため、地域の情報が得られない	7.2
2	地域の行事に参加できない	3.1	6	その他	1.7
3	災害時に不安がある	10.7	7	困っていることはない	67.4
4	ゴミ集積所を使わせてもらえない	0.7		無回答	6.5

問47 各地域における課題の解決に取り組むため、地域ごとに各種団体や個人が参加して「地域会議」が設立されていること・活動していることをご存知ですか。(1つのみ) n=1,475

1	知っている	13.5	2	知らなかった	82.8	無回答	3.7
---	-------	------	---	--------	------	-----	-----

問48 住民票や戸籍などの証明書の取得、印鑑登録、住所変更(転入・転出など)や戸籍の届出(婚姻・出生など)は、市民センターや川越駅西口連絡所でも手続きができることをご存知ですか。(1つのみ) n=1,475

1	知っている	90.3	2	知らなかった	8.3	無回答	1.4
---	-------	------	---	--------	-----	-----	-----

問49 住民票や戸籍などのお手続きをする場合、どこを利用されますか。(1つのみ) n=1,475

1	市役所	} 問49-1へ	27.0	3	市民センター	53.2
2	川越駅西口連絡所		18.0		無回答	1.9

【問49で「市役所」または「川越駅西口連絡所」と回答した方におたずねします。】

問49-1 「市役所」または「川越駅西口連絡所」を利用する理由は何ですか。(いくつでも)

n=663

1	市民センターでできる手続きを知らなかったため	13.1
2	市民センターの場所を知らないため	14.9
3	市役所(または川越駅西口連絡所)が一番近い	61.4
4	市民センターが比較的混雑していないことを知らないため	6.3
5	住民票や戸籍などの手続の他に市役所で必要な手続きがあるため ⇒問49-2へ	26.5
6	その他	8.6
	無回答	2.1

【問 49-1 で住民票や戸籍などの手続の他に市役所で必要な手続があるためと回答した方におたずねします。】

問 49-2 住民票や戸籍などの手続の他に市役所で必要な手続は何ですか。(いくつでも)n= 176

1 介護保険など、福祉に関する手続	44.9	4 転校など、学校に関する手続	5.7
2 国民健康保険など、医療保険に関する手続	50.0	5 申告や納税相談など、税金に関する手続	30.1
3 児童手当や保育園など、こどもに関する手続	17.6	6 その他	7.4
		無回答	1.1

問 50 証明書等の「コンビニ交付」サービスを知っていますか。(1つのみ) n=1,475

1 知っていて利用したことがある	27.4
2 知っているが利用したことはない(マイナンバーカードを持っている) ⇒問 50-1へ	47.7
3 知っているが利用したことはない(マイナンバーカードを持っていない)	13.2
4 知らなかった	10.7
無回答	1.1

【問 50 で知っているが利用したことがない(マイナンバーカードを持っている)と回答した方におたずねします。】

問 50-1 利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも) n= 703

1 端末の操作方法が分からない	18.3
2 職員のいる窓口の方が安心	42.2
3 セキュリティー対策が万全か不安	19.9
4 マイナンバーカード取得後、証明書を取得する必要がなかった	49.6
5 その他	5.5
無回答	1.8

## 7. 市政全般についてお伺いします。

問 51 あなたは、「広報川越」をご覧になりますか。(1つのみ) n=1,475

1 よく読む	} 問 51-1、問 51-2へ	35.4	3 読まない	13.6
2 ところどころ読む		50.0	無回答	1.1

【問 51 で「よく読む」「ところどころ読む」と回答した方におたずねします。】

問 51-1 広報川越でよく読むコーナーを選んでください。(いくつでも) n= 1,259

1 特集・企画記事	61.0	3 催し・募集	61.2	5 保健・健康	46.2
2 ニュース	36.9	4 情報アラカルト	33.5	6 ふおとニュース	9.5
				無回答	1.9

【問 51 で「よく読む」「ところどころ読む」と回答した方におたずねします。】

問 51-2 紙の広報川越を配布せず、電子版の配信のみとした場合、不便だと感じますか。

(1つのみ) n=1,259

1 不便ではない	36.1	2 不便	61.7	無回答	2.2
----------	------	------	------	-----	-----

**問 52 情報を入手するため、お住まいの地域にある掲示板をご覧になることがありますか。**

(1つのみ) n=1,475

1	よく見る	4.5	3	ほとんど見ない	35.1
2	ときどき見る	24.4	4	全く見ない	34.3
				無回答	1.8

**問 53 あなたは、市の情報をどのような方法で取得していますか。(いくつでも) n=1,475**

1	市のホームページ	39.6	4	広報川越	78.4
2	市のX・フェイスブック・LINE	8.4	5	その他	4.0
3	メール配信サービス	6.8		無回答	2.0

**問 54 あなたは、市の行政に関する情報提供について、分かりやすく提供されていると思いますか。**

(1つのみ) n=1,475

※「情報提供」とは、「広報川越」や市のホームページなどによるお知らせや情報公開制度による公文書の公開などを想定しています。

1	分かりやすく提供されている	14.0	3	あまり分かりやすく提供されていない	13.8
2	おおむね、分かりやすく提供されている	64.9	4	分かりやすく提供されていない	3.9
				無回答	3.3

**問 55 市が情報を提供している方法のうち、あなたが今後利用したいと思う方法は何か。**

(いくつでも) n=1,475

1	市のホームページ	51.1
2	広報川越 (毎月1回発行)	70.5
3	公共施設での掲示や配付物	12.3
4	メール配信サービス	12.7
5	市のSNS (川越市公式X、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント)	18.4
6	市の公式YouTubeチャンネル (川越市チャンネル)	4.7
7	自治会回覧板	28.9
8	川越市掲示板	5.4
	無回答	2.0

**問 56 あなたが今必要としている市からの情報は何か。**

次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=1,475

1	医療や健康づくりに関する情報	46.6	9	市の施策・計画に関する情報	14.2
2	福祉サービスに関する情報	25.4	10	地域のお祭りやレクリエーションの場の情報	12.5
3	スポーツ施設と利用方法の情報	7.2	11	市民のボランティア・サークル活動の情報	3.4
4	文化施設や催し物の情報	15.3	12	マイナンバーの情報	9.0
5	生涯学習講座に関する情報	6.2	13	子育て(支援)に関する情報	10.6
6	災害時の対応の情報	39.6	14	その他	0.9
7	交通渋滞や道路工事等の情報	13.2	15	特にない	5.2
8	ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報	33.3		無回答	1.8

問 57 あなたは、市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じていますか。(1つのみ)

n=1,475

1	市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている	4.3
2	ある程度、市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている	41.8
3	市民と行政で一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない	41.9
4	市民と行政で一緒にまちづくりを行っていない	7.9
	無回答	4.1

問 58 あなたの住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。

※①から⑰のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ) n=1,475

		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
保 健	①ごみの回収	46.6	40.2	8.9	2.3	2.0
	②排水のはけぐあい	32.7	34.9	19.0	10.6	2.8
	③予防接種・定期健康診断	35.3	47.7	10.4	2.8	3.8
	④休日や夜間の急病の時の安心さ	16.4	43.6	27.3	8.9	3.8
安 全	⑤子どもが外で遊ぶときの安全性	9.4	46.2	30.5	8.3	5.5
	⑥高齢者の外出や散歩の安全性	11.1	44.0	34.2	7.3	3.4
	⑦自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性	12.5	40.4	31.1	12.5	3.5
	⑧夜道の明るさ(防犯灯)	9.6	32.9	35.3	19.5	2.6
	⑨まわりの道路の安全性	7.2	32.2	38.3	19.6	2.7
利 便	⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ	38.8	38.6	13.6	5.9	3.1
	⑪通勤・通学時の便利さ	25.1	38.5	21.2	9.4	5.8
	⑫公園・広場等の利用のしやすさ	15.8	42.0	27.0	9.8	5.4
	⑬公民館・集会場等の利用のしやすさ	14.4	48.2	25.2	7.2	5.0
快 適	⑭ばい煙・排気ガスからの快適さ	20.6	47.7	20.2	5.6	5.9
	⑮工場・車等の振動、騒音からの快適さ	22.4	43.1	21.6	7.8	5.2
	⑯周囲のにおいの状態からの快適さ	24.3	48.3	16.1	6.2	5.0
	⑰プライバシーの保持	23.1	54.6	14.5	2.6	5.2

問 59 市役所職員のイメージについてどう思いますか。それぞれのイメージについて評価してください。※①から⑦のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ) n=1,475

	良い	どちらかといえば良い	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
①親切	28.7	59.1	6.9	1.9	3.4
②能率的	18.0	56.5	18.2	3.3	4.0
③積極的	14.8	53.8	23.4	3.5	4.4
④サービス心	17.2	55.0	19.8	3.7	4.3
⑤身だしなみ	27.3	63.5	4.2	1.1	3.9
⑥態度	24.9	57.8	10.7	2.7	3.8
⑦言葉づかい	27.9	61.6	5.4	1.6	3.6

**問 60 持続可能な行財政運営を行うため、行財政改革と行政サービスのあり方について、どのよう  
にお考えですか。（1つのみ） n=1,475**

【参考】川越市の財政状況について

本市は県内の自治体と比べて経常的な経費の割合が高く、将来の備えである財政調整基金残高(市の貯金にあたるもの)が十分ではありません。少子高齢化の進行などにより支出の増や収入の減が見込まれる中、このままでは行政サービスの水準を維持することが難しくなると予測されます。

1	行財政改革の範囲は最小限に留め、現状のサービス水準の維持を優先してほしい	23.2
2	行財政改革を計画的に進め、現状でサービス水準の高い部分の見直しはやむを得ない	26.7
3	行財政改革を積極的に進め、限られた財源の範囲内でのサービスを提供すべきだ	22.2
4	その他	3.6
5	よくわからない	20.3
	無回答	4.1

**問 61 川越市が行財政改革を推進する上で、あなたが重点的に取り組む必要があると思うものは何  
ですか。次の中から3つ以内で選んでください。（3つまで） n=1,475**

<b>【歳出削減】</b>		
1	事務事業の選択と集中	19.7
2	外郭団体や特別会計等の経営の見直し	24.8
3	大規模公共事業の抑制	14.6
4	公共施設の集約化や複合化、廃止	13.6
5	公共施設や窓口業務などの民間委託化	16.4
6	行政サービスの見直しや効率化による職員数の抑制	21.9
7	デジタル技術の活用などによる業務効率化	38.2
<b>【歳入確保】</b>		
8	税収確保のための徴収体制の強化	9.5
9	ふるさと納税（寄附金）の拡充	29.2
10	公共施設の使用料等の引上げ	7.9
<b>【その他】</b>		
11	その他	4.9
	無回答	8.5

問 62 市政全般について、「よくなってきた施策」、また、「力を入れるべき施策」をそれぞれ3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。n=1,475

施策一覧	よくなってきた施策	力を入れるべき施策
1 市民参加の行政	2.8	2.2
2 市の行政に関する情報提供	8.8	2.8
3 行財政改革の推進	1.6	5.6
4 市税等の債権回収	0.5	2.6
5 インターネットを活用した行政サービス	23.6	8.4
6 保育所・幼稚園・認定こども園	7.0	7.7
7 子育て支援の充実	11.0	15.5
8 社会福祉	5.2	11.1
9 保健・医療	7.9	12.0
10 文化・スポーツ活動の振興	5.0	3.5
11 社会教育の充実	0.8	2.0
12 歴史的環境の保全	17.2	3.5
13 学校教育の内容・施設・環境の整備	7.1	9.9
14 中心市街地の基盤整備と活性化	11.3	2.4
15 周辺地域の基盤整備と活性化	2.2	7.0
16 土地利用（用途地域の見直しなど）	1.6	7.1
17 道路、交通網の整備	9.1	20.7
18 水道事業	1.7	1.6
19 下水道整備	4.0	8.7
20 公園・緑地の整備	6.4	11.1
21 住宅	2.6	1.9
22 就労の支援	1.2	7.4
23 農業振興	1.1	6.0
24 商工業振興	1.6	1.3
25 観光による地域振興	29.4	4.4
26 地球温暖化対策の推進	0.9	6.9
27 環境衛生	2.1	2.9
28 自然環境の保全	1.4	4.6
29 河川・水路の改良整備	8.7	16.5
30 コミュニティの育成	0.6	1.8
31 男女共同参画	0.8	1.1
32 交通安全	2.0	7.7
33 防犯	2.1	20.3
34 防災体制の充実	1.4	14.1
35 消防・救急体制の整備	2.7	5.7
36 消費者対策	0.5	3.5
37 葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	18.4	1.9
38 特にない	8.4	2.2
無回答	13.0	9.7

問 63 あなたは、これからもずっと川越市に住み続けたいと思いますか。それともよそに移りたいと思いますか。(1つのみ) n=1,475

1 住み続けたい	} 問 63-1へ	52.5
2 どちらかというに住み続けたい		36.1
3 どちらかという和市外に転出したい	} 問 63-2へ	6.6
4 市外に転出したい		1.8
無回答		3.0

【問 63 で「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と回答した方におたずねします。】

問 63-1 川越市に住み続けたいというのは、特にどのような理由からですか。  
次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで) n= 1,306

1 自然環境がよい	13.2	6 教育・文化環境がよい	1.8
2 生活環境がよい	32.4	7 自分の家(土地)だから	47.9
3 鉄道・公共交通の便がよい	20.4	8 住みなれて愛着があるから	39.9
4 商売や勤務の関係で	5.7	9 その他	1.9
5 地域の間人間関係がよい	5.7	10 わからない	1.1
		無回答	0.2

【問 63 で「どちらかという和市外に転出したい」「市外に転出したい」と回答した方におたずねします。】

問 63-2 市外へ移りたいというのは、特にどのような理由からですか。  
次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで) n= 125

1 自然環境がよくない	13.6	6 教育・文化環境がよくない	9.6
2 生活環境がよくない	26.4	7 住宅の関係で	10.4
3 鉄道・公共交通の便がよくない	30.4	8 勤務地が遠いため	16.0
4 商売や勤務の関係で	6.4	9 その他	22.4
5 地域の間人間関係がよくない	6.4	10 わからない	6.4
		無回答	0.8

問 64 あなたは、川越市に愛着をお持ちですか。(1つのみ) n=1,475

1 持っている	44.9	4 持っていない	2.2
2 どちらかというを持っている	37.4	5 わからない	5.9
3 どちらかというを持っていない	7.3	無回答	2.2

**問 65 あなたが市税（国民健康保険税を含む）を納める方法として希望するのは次のどれですか。次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで） n=1,475**

1	金融機関 及び ゆうちょ銀行・郵便局の窓口	28.5
2	市役所収税課・各市民センターの窓口	8.3
3	口座振替	37.2
4	コンビニエンス・ストア	39.5
5	スマートフォン決済アプリによる納付	19.3
6	インターネット（パソコン・スマートフォン等を使用）を利用したクレジットカードによる納付	16.3
7	インターネット（パソコン・スマートフォン等を使用）を利用したネットバンキング・口座振替（ダイレクト納付）による納付	6.8
8	その他	1.1
	無回答	2.4

## 8. あなた自身のことについておたずねします。

**F 1 あなたの性別を教えてください。（1つのみ） n=1,475**

1	男性	40.5	3	その他	0.1	無回答	2.0
2	女性	56.2	4	答えたくない	1.2		

**F 2 あなたの年齢はいくつですか。（1つのみ） n=1,475**

1	18・19歳	1.2	4	40～49歳	16.1	7	65～69歳	8.4
2	20～29歳	7.5	5	50～59歳	20.1	8	70～74歳	12.4
3	30～39歳	10.2	6	60～64歳	9.0	9	75歳以上	13.0
							無回答	2.1

**F 3 あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか。（1つのみ） n=1,475**

1	夫婦だけ	26.9	4	単身世帯	11.6
2	二世帯世帯（親と子）	52.1	5	その他	1.8
3	三世帯世帯（親と子と孫）	5.3		無回答	2.4

**F 4 あなたは、どちらの地区にお住まいですか。（1つのみ） n=1,475**

1	本庁地区	22.4	5	高階地区	10.6	9	川鶴地区	4.8
2	芳野地区	3.0	6	福原地区	6.4	10	霞ヶ関北地区	3.5
3	古谷地区	4.0	7	大東地区	9.4	11	名細地区	6.5
4	南古谷地区	8.9	8	霞ヶ関地区	11.1	12	山田地区	5.2
							無回答	4.3

**F 5 あなたは、川越市の現在の場所に何年くらい住んでいらっしゃいますか。(1つのみ) n=1,475**

1	1年未満	} F 5 - 1へ	2.8
2	1年～5年未満		8.4
3	5年～10年未満		8.2
4	10年～20年未満		18.6
5	20年以上(または生まれてからずっと)		59.7
	無回答		2.3

【F 5で「1年未満」「1年～5年未満」「5年～10年未満」「10年～20年未満」と回答した方におたずねします。】

**F 5 - 1 現在の場所に移る前はどこにお住みでしたか。(1つのみ) n= 561**

1	川越市内の別の場所	27.6	3	東京都	14.1
2	埼玉県内の他市町村	43.0	4	その他	13.5
				無回答	1.8

**F 6 あなたの住宅の種類はどれですか。(1つのみ) n=1,475**

1	一戸建持家(家族の所有も含む)	69.5
2	一戸建以外の持家(分譲マンションなど)	13.3
3	民営の賃貸住宅(一戸建、集合住宅)	10.9
4	公営(県営、市営、UR、公社)の賃貸住宅	2.0
5	社宅(独身寮、公務員住宅を含む)	0.3
6	その他	0.3
	無回答	3.7

**F 7 あなたのご職業は何ですか。(複数ある場合は、主となる職業を1つ選んでください)  
(1つのみ) n=1,475**

1	農業	} F 7 - 1へ	1.3
2	商工・サービス業(自営業者、家族従事者)		5.0
3	自由業(医師、弁護士、税理士、芸術家など)		0.8
4	管理職(会社、団体などの課長職以上)		5.8
5	専門・技術・事務職 (研究者、技術者、一般事務、教員、保安、販売員など)		21.6
6	労務職(建設作業員、工員、運転手など)		4.3
7	パート		17.9
8	学生		2.2
9	その他		4.0
10	家事専業		13.4
11	無職		22.0
	無回答	1.8	

【F7で「農業」から「その他」のいずれかを回答した方におたずねします。】

F7-1 あなたの通勤・通学先はどこですか。(複数ある場合は、主な場所を1つ選んでください)  
(1つのみ) n=927

1 自宅(農業、自営など)	5.8	4 東京都	13.9
2 川越市内(自宅以外)	28.7	5 その他	1.0
3 埼玉県内の他市町村	29.4	無回答	21.1

最後に、市に対するご意見やこれからのまちづくりについてのご希望がありましたら、ご自由にお書きください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

**お忙しいところ、ご協力をいただきありがとうございました。**

記入漏れがないか、もう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

**10月18日(金)まで**にお近くの郵便ポストに投函してください。



### Ⅲ 調査結果の分析



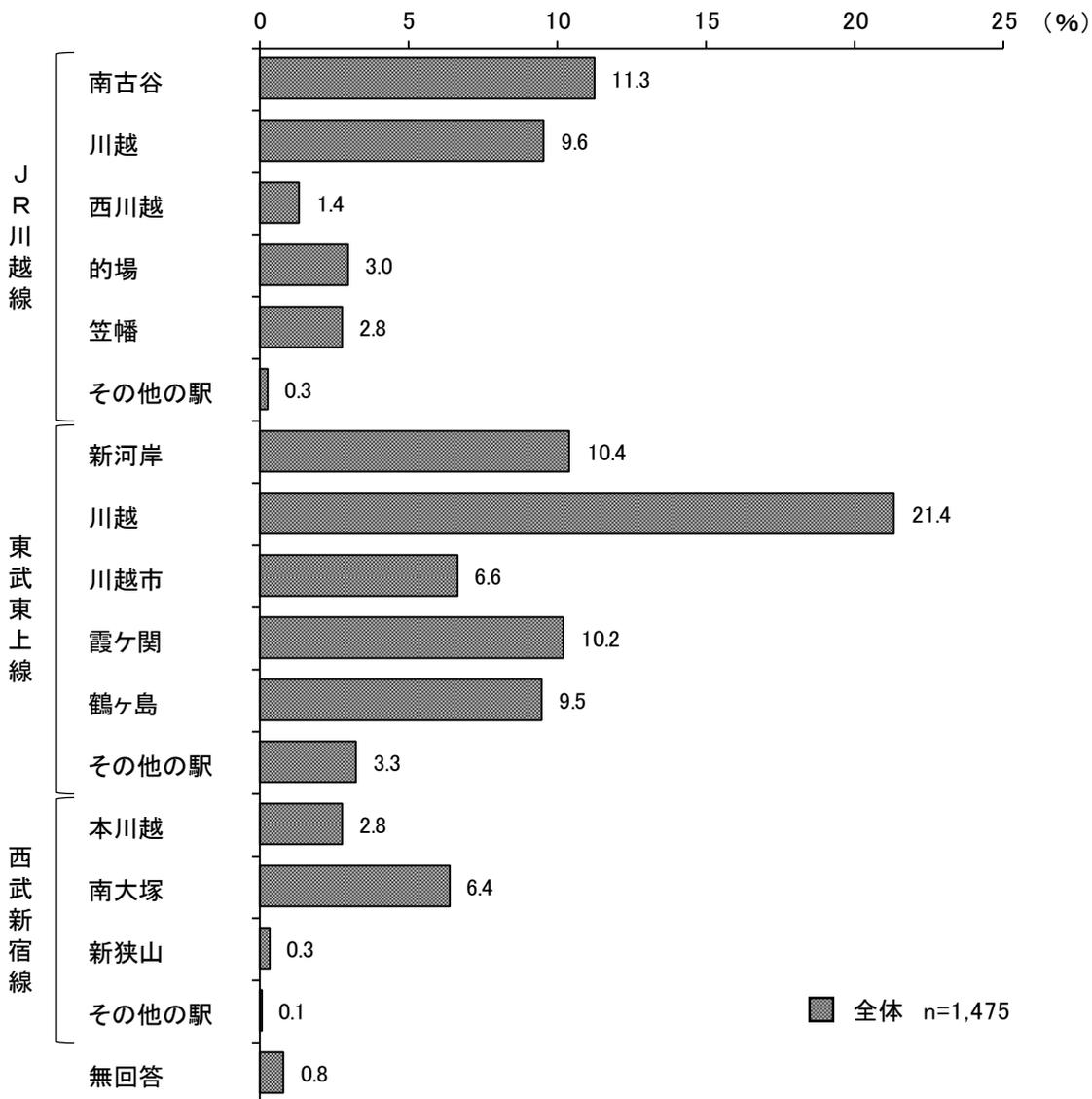
# 1 都市基盤・生活基盤について

## (1) 主に利用する駅

◇東武東上線「川越」が21.4%

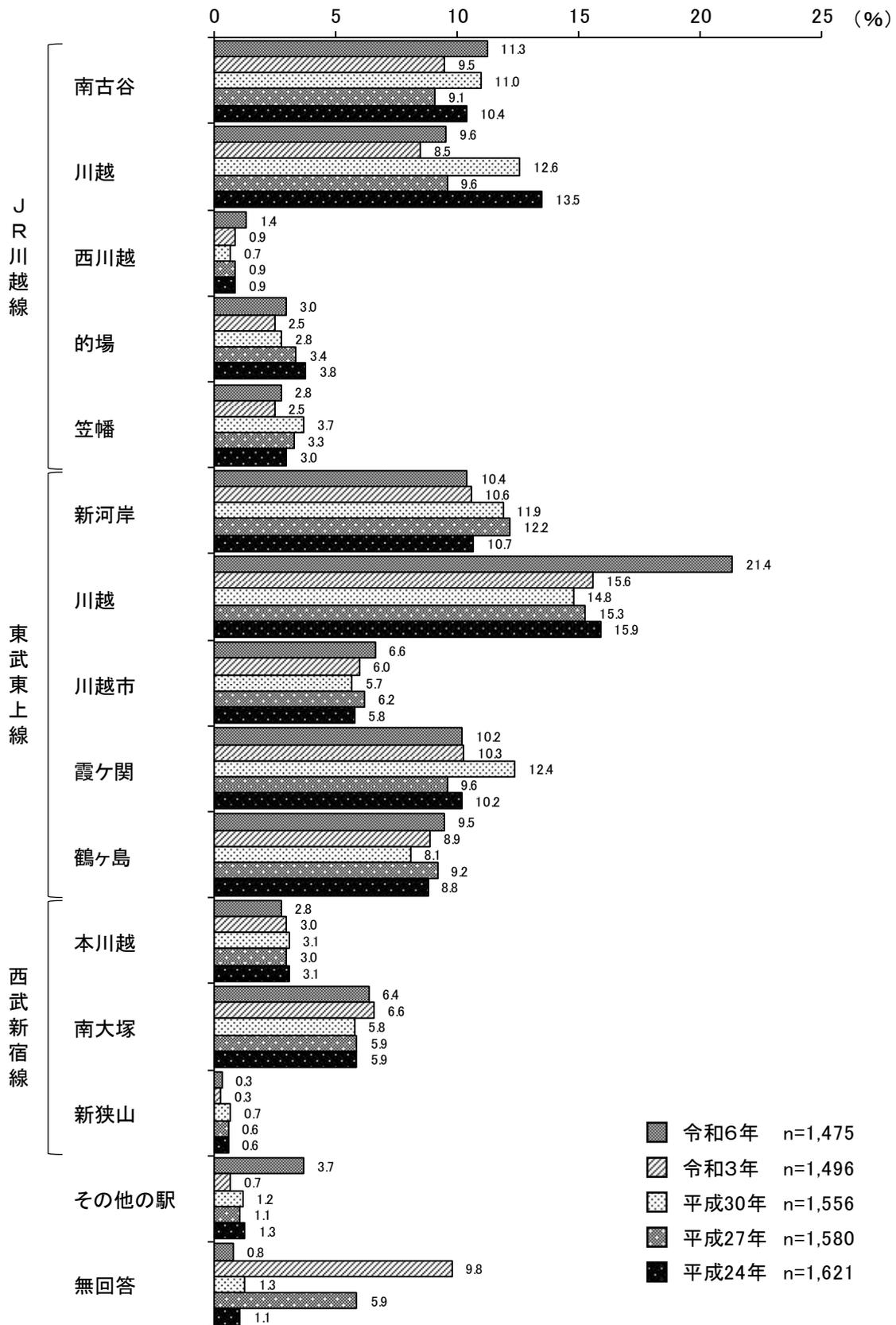
### 問1 あなたが主に利用する駅はどこですか。(1つのみ)

主に利用する駅については、東武東上線「川越」が21.4%で最も高く、次いでJR川越線「南古谷」が11.3%、東武東上線「新河岸」が10.4%、東武東上線「霞ヶ関」が10.2%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、東武東上線「川越」は前回調査より 5.8 ポイント増加している。



※令和6年の「その他の駅」は、JR川越線、東武東上線、西武新宿線それぞれの「その他の駅」の合計

■ 居住地区別（上位5位）

居住地区別に上位5項目をみると、東武東上線の利用率の高さがうかがえる結果となっており、『本庁地区』、『福原地区』、『山田地区』では「川越（東武東上線）」、『霞ヶ関地区』、『霞ヶ関北地区』では「霞ヶ関」、『川鶴地区』、『名細地区』では「鶴ヶ島」、『高階地区』では「新河岸」がそれぞれ1位となっている。

また、J R川越線をみると、『芳野地区』、『古谷地区』、『南古谷地区』で「南古谷」が、西武新宿線をみると、『大東地区』で「南大塚」が1位となっている。

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	n=1,475	川越(東武東上線)	南古谷	新河岸	霞ヶ関	川越(JR川越線)
		21.4%	11.3%	10.4%	10.2%	9.6%

【居住地区別】

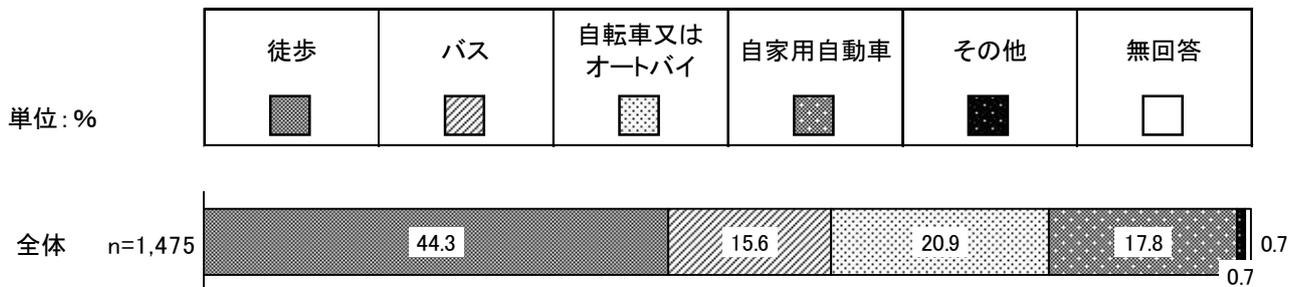
本庁地区	n=330	川越(東武東上線)	川越市	川越(JR川越線)	本川越	西川越
		43.3%	23.6%	18.5%	7.3%	4.2%
芳野地区	n=44	南古谷	川越(東武東上線)	川越(JR川越線)	川越市	笠幡 本川越
		36.4%	31.8%	18.2%	4.5%	2.3%
古谷地区	n=59	南古谷	川越(東武東上線)	川越(JR川越線)	その他の駅(JR川越線) その他の駅(東武東上線) 本川越	
		45.8%	32.2%	15.3%	1.7%	
南古谷地区	n=131	南古谷	新河岸	川越(東武東上線)	川越(JR川越線)	その他の駅(東武東上線)
		87.8%	4.6%	3.1%	2.3%	1.5%
高階地区	n=157	新河岸	その他の駅	川越(JR川越線) 川越(東武東上線)		
		75.8%	19.7%	1.3%		
福原地区	n=94	川越(東武東上線)	新河岸	川越(JR川越線)	南大塚	その他の駅(東武東上線)
		45.7%	17.0%	14.9%	10.6%	7.4%
大東地区	n=138	南大塚	川越(東武東上線)	川越(JR川越線)	新狭山	川越市
		57.2%	22.5%	13.8%	2.9%	1.4%
霞ヶ関地区	n=163	霞ヶ関	笠幡	的場	鶴ヶ島	川越(JR川越線)
		46.6%	20.9%	18.4%	6.7%	2.5%
川鶴地区	n=71	鶴ヶ島	笠幡	川越(東武東上線)	霞ヶ関	的場 その他の駅(JR川越線) 新河岸 川越市
		85.9%	2.8%	2.8%	2.8%	1.4%
霞ヶ関北地区	n=52	霞ヶ関	的場	鶴ヶ島	笠幡	川越(東武東上線)
		61.5%	19.2%	13.5%	3.8%	1.9%
名細地区	n=96	鶴ヶ島	霞ヶ関	その他の駅	川越(東武東上線)	南古谷 新河岸
		62.5%	30.2%	3.1%	2.1%	1.0%
山田地区	n=77	川越(東武東上線)	川越(JR川越線)	川越市	本川越	霞ヶ関
		49.4%	19.5%	13.0%	10.4%	3.9%

## (2) 利用する駅への移動手段

◇「徒歩」が44.3%

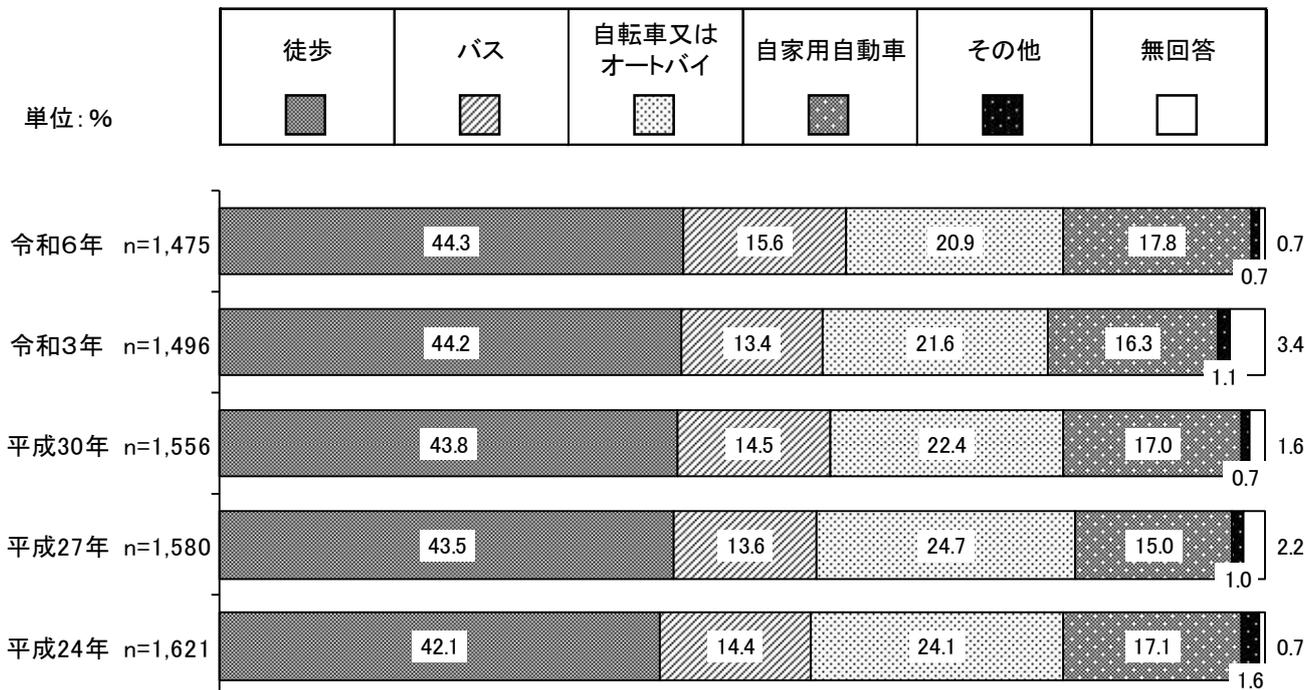
### 問2 あなたは、利用する駅へ主にどのような手段で行きますか。(1つのみ)

利用する駅への移動手段については、「徒歩」が44.3%で最も高く、次いで「自転車又はオートバイ」が20.9%、「自家用自動車」が17.8%、「バス」が15.6%となっている。



### ■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



■ 居住地区別

居住地区別でみると、「徒歩」では、『霞ヶ関地区』が 65.6%で最も高く、次いで『霞ヶ関北地区』が 63.5%、『本庁地区』が 58.5%となっている。

「バス」では、『山田地区』が 55.8%で最も高く、次いで『川鶴地区』が 47.9%、『福原地区』が 39.4%となっている。

「自転車又はオートバイ」では、『高階地区』が 34.4%で最も高く、次いで『大東地区』が 27.5%、『福原地区』が 26.6%となっている。

「自家用自動車」では、『芳野地区』が 70.5%で最も高く、次いで『古谷地区』が 45.8%、『山田地区』が 27.3%となっている。

単位: %	徒歩	バス	自転車又は オートバイ	自家用自動車	その他	無回答
全体 n=1,475	44.3	15.6	20.9	17.8	0.7	0.7

【居住地区別】

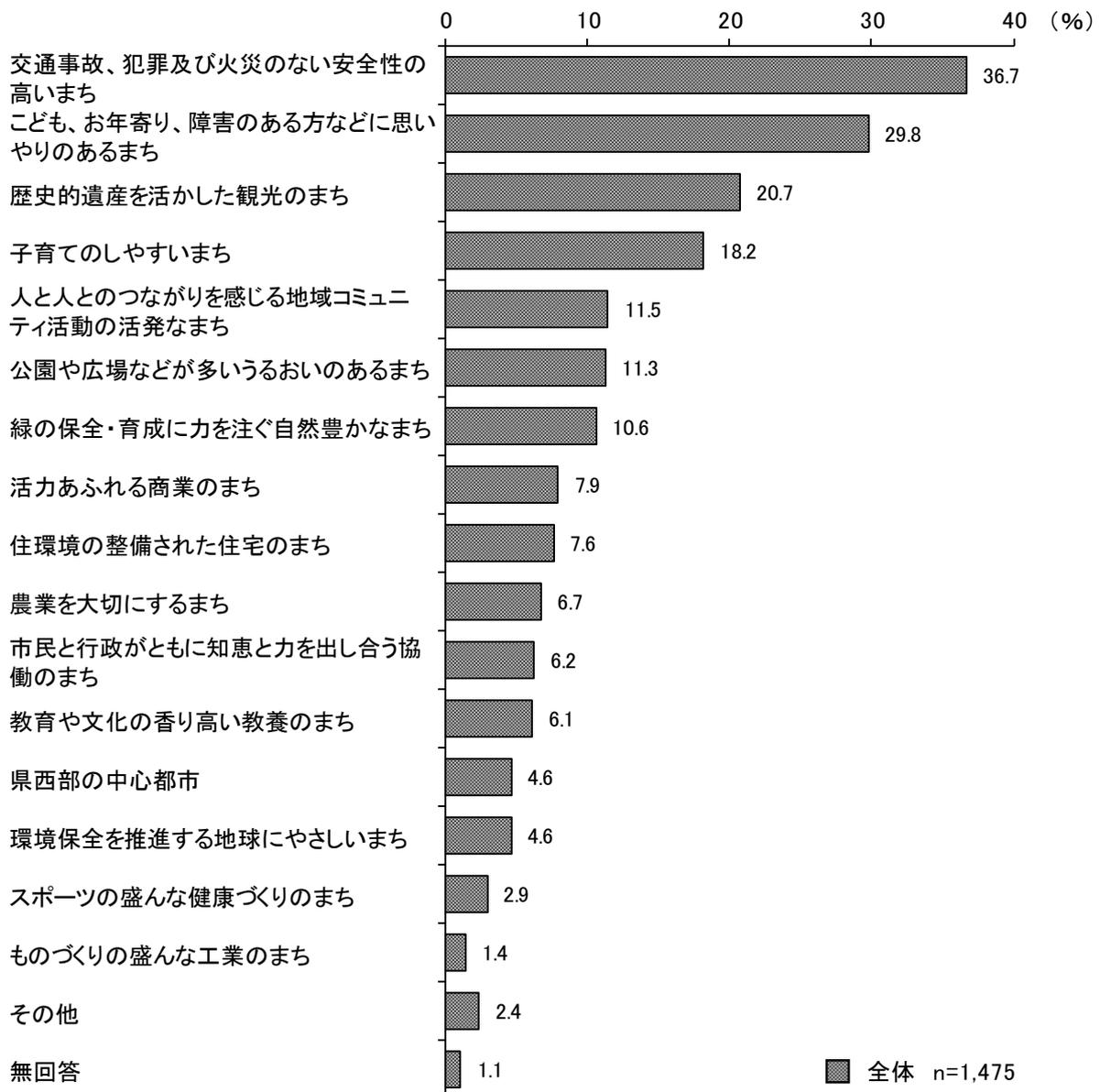
本庁地区 n=330	58.5	11.5	20.3	9.1	0.3	0.3
芳野地区 n=44	2.3	13.6	4.5	70.5	4.5	4.5
古谷地区 n=59	8.5	35.6	8.5	45.8	0.0	1.7
南古谷地区 n=131	51.9	3.8	24.4	18.3	0.8	0.8
高階地区 n=157	56.7	0.6	34.4	6.4	1.3	0.6
福原地区 n=94	8.5	39.4	26.6	24.5	1.1	0.0
大東地区 n=138	44.9	15.2	27.5	12.3	0.0	0.0
霞ヶ関地区 n=163	65.6	4.9	12.9	14.1	1.2	1.2
川鶴地区 n=71	12.7	47.9	21.1	18.3	0.0	0.0
霞ヶ関北地区 n=52	63.5	7.7	13.5	15.4	0.0	0.0
名細地区 n=96	46.9	3.1	24.0	25.0	1.0	0.0
山田地区 n=77	1.3	55.8	14.3	27.3	1.3	0.0

### (3) 川越市の将来像

◇「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」が 36.7%

**問3 あなたは、川越市をどのようなまちにしたら良いと思いますか。**  
**次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで)**

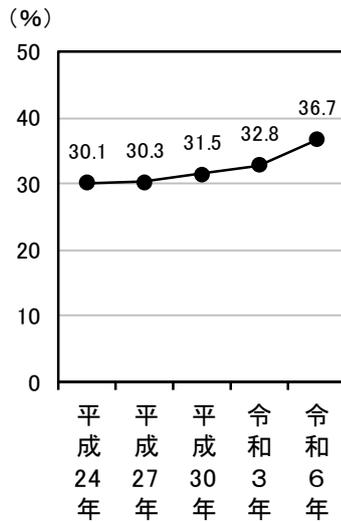
川越市をどのようなまちにしたら良いと思うかについては、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」が 36.7%で最も高く、次いで「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」が 29.8%、「歴史的遺産を活かした観光のまち」が 20.7%、「子育てのしやすいまち」が 18.2%となっている。



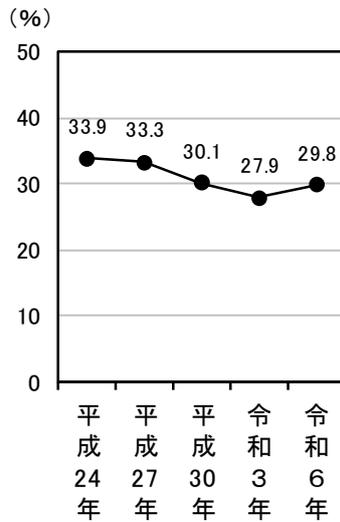
■ 時系列での比較（上位6項目）

上位6項目を時系列で見ると、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」は増加傾向にあり、令和3年度と比べ3.9ポイント、平成24年度と比べ6.6ポイント増加している。「子育てのしやすいまち」は令和3年度と比べ1.3ポイント減少しているものの、平成24年度と比べ4.3ポイント増加している。また、「歴史的遺産を活かした観光のまち」は平成30年度を境に増加から減少に転じており、令和6年度は平成30年度に比べ6.0ポイント減少している。

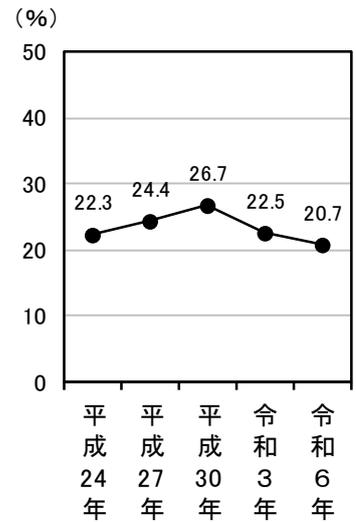
交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち



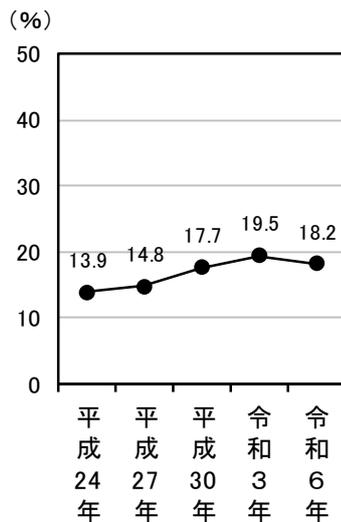
子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち



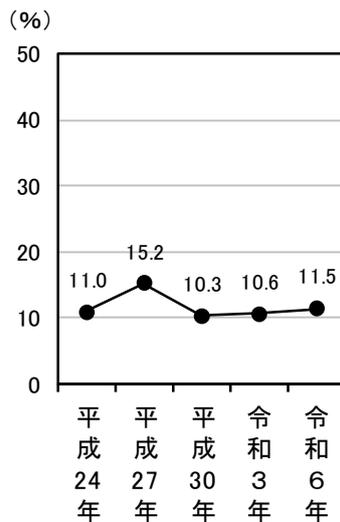
歴史的遺産を活かした観光のまち



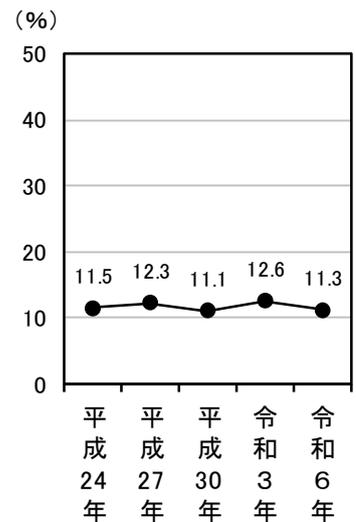
子育てのしやすいまち



人と人とのつながりを感じる地域コミュニティ活動の活発なまち



公園や広場などが多いうるおいのあるまち



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」、「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」は、女性が男性より8ポイント以上高くなっている。「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」は男女20歳代、女性50歳代、60歳代で4割台となっている。「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」は、男女ともおむね年代が高くなるほど増加傾向となり、男性60歳代以上、女性50歳代以上で3割以上、女性70歳以上はほぼ5割となっている。また、「子育てのしやすいまち」は、男女とも30歳代が最も高くなっている。

単位：%	交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち	子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち	歴史的遺産を活かした観光のまち	子育てのしやすいまち	人と人とのつながりを感じる地域コミュニティ活動の活発なまち	公園や広場などが多いうるおいのあるまち
全体 n=1,475	36.7	29.8	20.7	18.2	11.5	11.3

【性別・年代別】

男性 n=597	31.5	25.5	22.4	17.1	12.6	10.7
男性18・19歳 n=12	8.3	16.7	33.3	25.0	8.3	33.3
男性20歳代 n=50	40.0	16.0	20.0	30.0	6.0	14.0
男性30歳代 n=53	32.1	7.5	18.9	41.5	9.4	5.7
男性40歳代 n=83	37.3	13.3	27.7	28.9	6.0	7.2
男性50歳代 n=120	33.3	25.0	26.7	12.5	10.8	7.5
男性60歳代 n=113	22.1	30.1	31.0	12.4	15.9	15.9
男性70歳以上 n=166	32.5	38.0	12.0	5.4	18.1	10.2

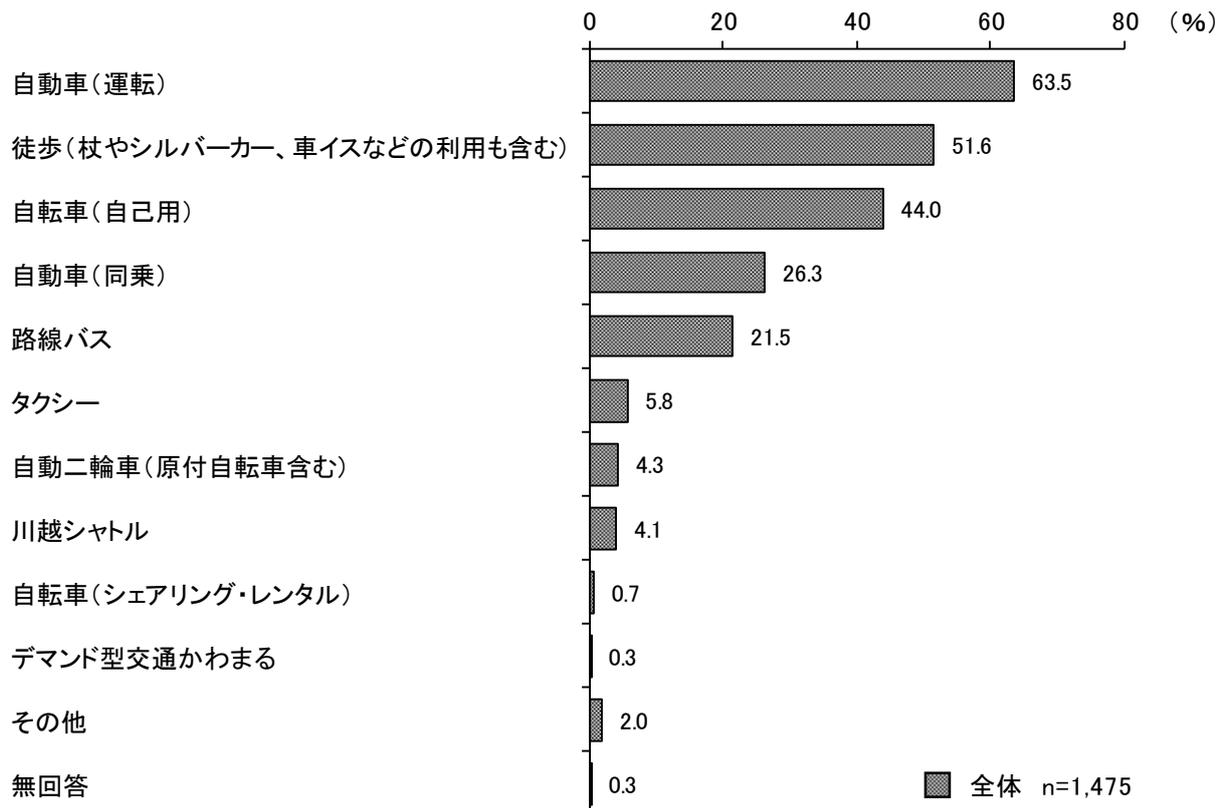
女性 n=829	39.6	33.7	20.0	19.1	11.0	11.3
女性18・19歳 n=5	60.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=57	45.6	12.3	19.3	28.1	8.8	14.0
女性30歳代 n=94	38.3	16.0	20.2	54.3	5.3	11.7
女性40歳代 n=148	35.8	26.4	26.4	33.8	6.1	10.1
女性50歳代 n=174	42.5	31.6	24.7	10.3	5.7	9.8
女性60歳代 n=141	40.4	39.7	16.3	8.5	17.0	12.8
女性70歳以上 n=209	37.8	50.7	13.4	4.3	17.7	12.0

## (4) 普段よく利用する移動手段

◇「自動車（運転）」が63.5%

**問4 あなたが普段よく利用する移動手段は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。（3つまで）**

普段よく利用する移動手段については、「自動車（運転）」が63.5%で最も高く、次いで「徒歩（杖やシルバーカー、車イスなどの利用も含む）」が51.6%、「自転車（自己用）」が44.0%、「自動車（同乗）」が26.3%となっている。



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「自動車（運転）」は男性でより高く、男性40歳代、60歳代で8割台、50歳代、70歳以上で7割を超えている。一方、「自動車（同乗）」は女性でより高く、女性20歳代、30歳代、70歳以上で4割台となっている。また、「路線バス」は、男性はいずれの年代も2割前後なのに対し、女性は30歳代が7.4%でもっとも低いが、40歳代以上は増加傾向となり、70歳以上は28.2%と高くなっている。

単位：%	自動車（運転）	徒歩（杖やシルバーカー、車イスなどの利用も含む）	自転車（自己用）	自動車（同乗）	路線バス	タクシー
全体 n=1,475	63.5	51.6	44.0	26.3	21.5	5.8

【性別・年代別】

男性 n=597	73.7	54.9	44.1	12.6	21.9	6.5
男性18・19歳 n=12	25.0	66.7	83.3	25.0	16.7	0.0
男性20歳代 n=50	60.0	56.0	48.0	30.0	22.0	10.0
男性30歳代 n=53	69.8	54.7	47.2	15.1	18.9	5.7
男性40歳代 n=83	83.1	55.4	41.0	9.6	19.3	4.8
男性50歳代 n=120	75.8	57.5	34.2	10.0	24.2	10.0
男性60歳代 n=113	80.5	52.2	47.8	8.8	20.4	7.1
男性70歳以上 n=166	71.7	53.6	45.2	11.4	24.1	4.2

女性 n=829	56.7	49.6	44.1	36.1	20.9	5.3
女性18・19歳 n=5	20.0	80.0	100.0	60.0	20.0	0.0
女性20歳代 n=57	43.9	57.9	47.4	40.4	14.0	1.8
女性30歳代 n=94	63.8	47.9	41.5	41.5	7.4	2.1
女性40歳代 n=148	68.2	47.3	51.4	29.7	18.2	0.7
女性50歳代 n=174	62.1	47.1	40.2	30.5	21.3	4.0
女性60歳代 n=141	63.8	44.7	44.0	36.2	23.4	6.4
女性70歳以上 n=209	40.2	54.5	41.6	41.1	28.2	11.5

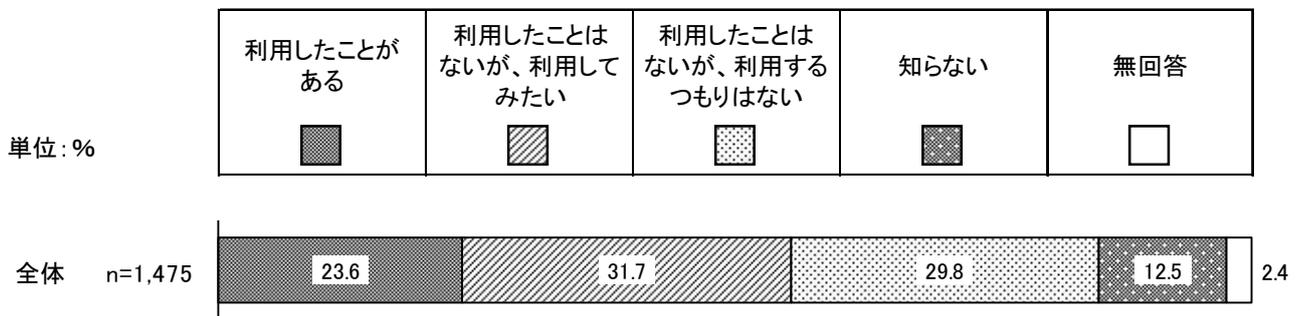
**(5) 交通手段の利用状況・利用意向**

- ◇川越シャトル : 「利用したことがある」が 23.6%
- ◇デマンド型交通かわまる : 「利用したことがある」が 0.7%
- ◇川越市自転車シェアリング : 「利用したことがある」が 4.3%

**問5 次の交通手段の利用状況や利用意向について、教えてください。**  
 ※①から③のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

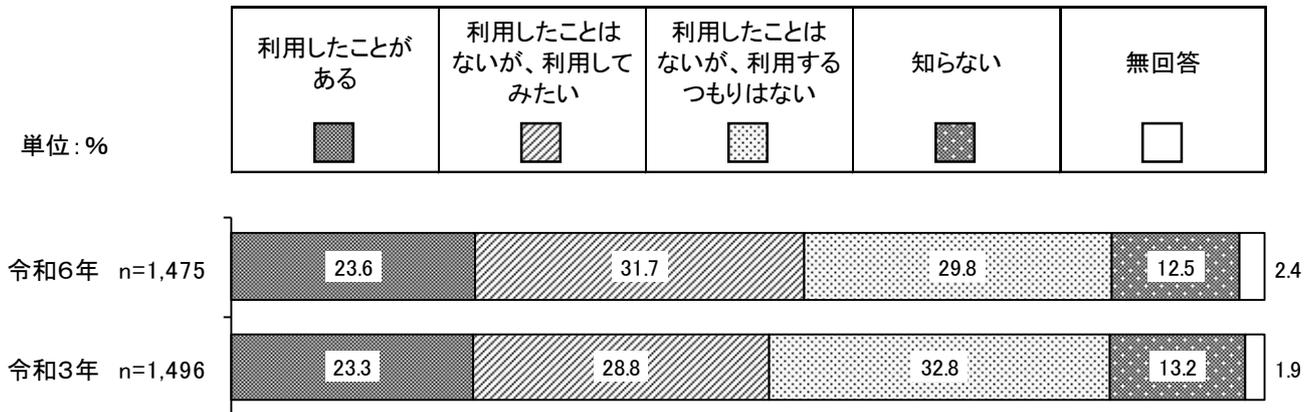
**①川越シャトル**

川越シャトルの利用状況等については、「利用したことはないが、利用してみたい」が 31.7%で最も高く、次いで「利用したことはないが、利用するつもりはない」が 29.8%、「利用したことがある」が 23.6%、「知らない」が 12.5%となっている。



**■ 時系列での比較**

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



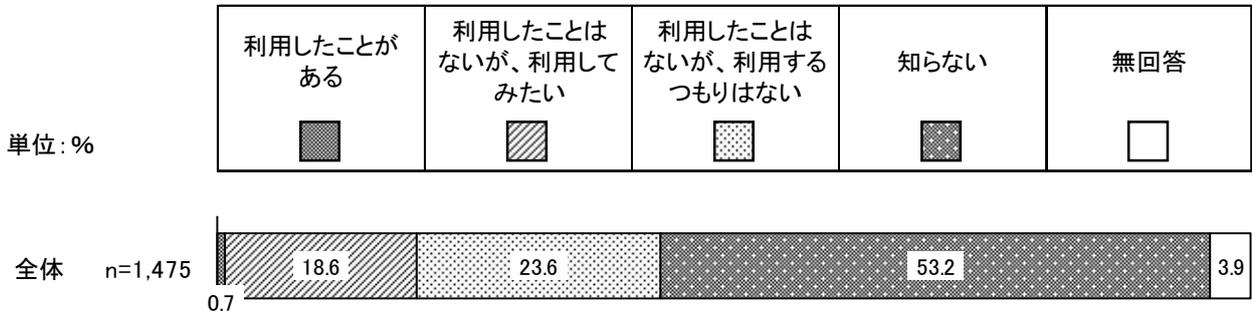
■ 居住地区別

居住地区別でみると、「利用したことがある」では、『大東地区』が37.7%で最も高く、次いで『高階地区』が32.5%、『古谷地区』が28.8%となっている。また、「利用したことはないが、利用してみたい」では、『霞ヶ関北地区』が44.2%、「利用したことはないが、利用するつもりはない」では、『福原地区』が43.6%、「知らない」では、『川鶴地区』が26.8%で最も高くなっている。

単位：%	利用したことがある	利用したことはないが、利用してみたい	利用したことはないが、利用するつもりはない	知らない	無回答
全体 n=1,475	23.6	31.7	29.8	12.5	2.4
【居住地区別】					
本庁地区 n=330	26.4	25.5	34.2	12.4	1.5
芳野地区 n=44	15.9	22.7	40.9	18.2	2.3
古谷地区 n=59	28.8	39.0	25.4	5.1	1.7
南古谷地区 n=131	26.7	32.1	26.7	12.2	2.3
高階地区 n=157	32.5	33.8	22.9	8.3	2.5
福原地区 n=94	10.6	33.0	43.6	9.6	3.2
大東地区 n=138	37.7	29.0	19.6	11.6	2.2
霞ヶ関地区 n=163	20.9	34.4	31.9	10.4	2.5
川鶴地区 n=71	15.5	36.6	19.7	26.8	1.4
霞ヶ関北地区 n=52	17.3	44.2	28.8	7.7	1.9
名細地区 n=96	21.9	37.5	22.9	15.6	2.1
山田地区 n=77	6.5	37.7	42.9	11.7	1.3

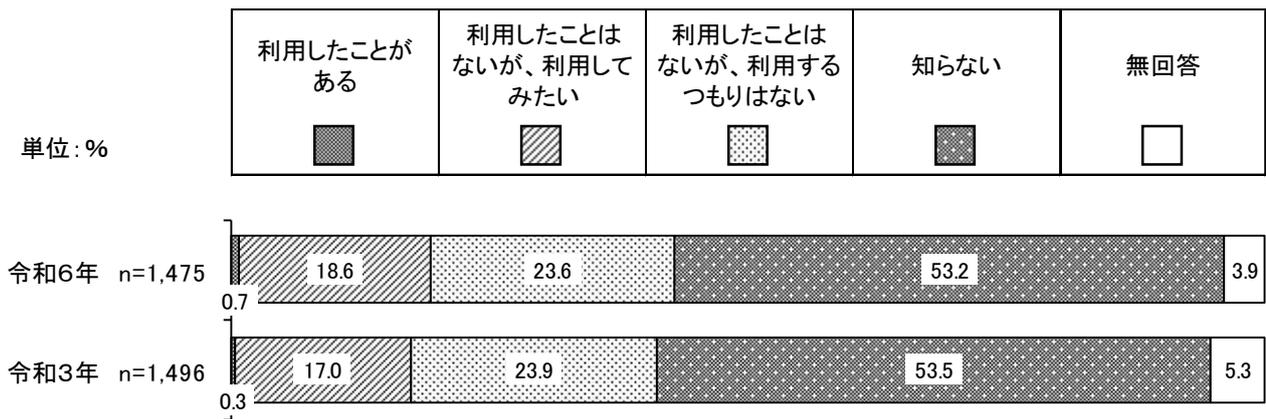
## ② デマンド型交通かわまる

デマンド型交通かわまるの利用状況等については、「知らない」が 53.2%で最も高く、次いで「利用したことはないが、利用するつもりはない」が 23.6%、「利用したことはないが、利用してみたい」が 18.6%、「利用したことがある」が 0.7%となっている。



## ■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



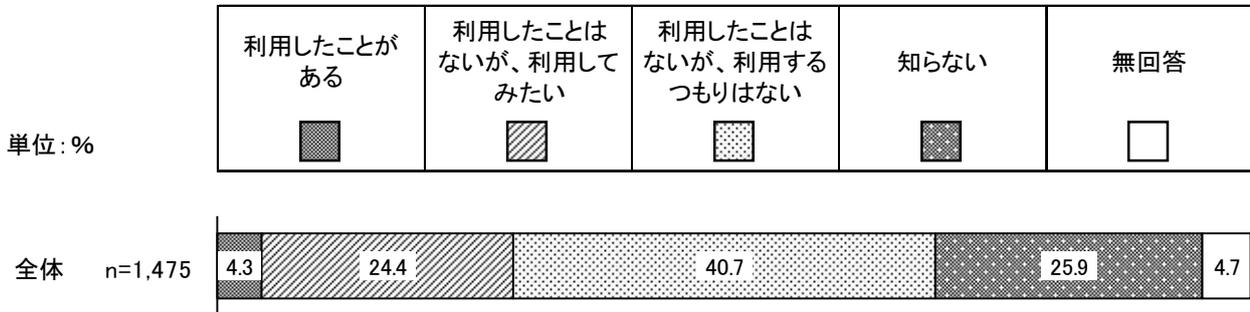
■ 居住地区別

居住地区別でみると、「利用したことがある」では、『南古谷地区』が2.3%で最も高く、全ての地区で1割未満となっている。また、「利用したことはないが、利用してみたい」では、『古谷地区』が27.1%、「利用したことはないが、利用するつもりはない」では、『福原地区』が34.0%で最も高くなっている。「知らない」では、『本庁地区』が63.3%で最も高く、次いで『霞ヶ関北地区』が61.5%、『芳野地区』が56.8%となっている。

単位：%	利用したことがある	利用したことはないが、利用してみたい	利用したことはないが、利用するつもりはない	知らない	無回答
全体 n=1,475	0.7	18.6	23.6	53.2	3.9
【居住地区別】					
本庁地区 n=330	0.3	10.3	23.6	63.3	2.4
芳野地区 n=44	0.0	11.4	27.3	56.8	4.5
古谷地区 n=59	0.0	27.1	23.7	49.2	0.0
南古谷地区 n=131	2.3	23.7	27.5	42.0	4.6
高階地区 n=157	0.6	25.5	26.1	42.0	5.7
福原地区 n=94	0.0	11.7	34.0	52.1	2.1
大東地区 n=138	0.7	21.7	19.6	52.9	5.1
霞ヶ関地区 n=163	0.6	24.5	21.5	49.1	4.3
川鶴地区 n=71	0.0	23.9	15.5	56.3	4.2
霞ヶ関北地区 n=52	0.0	21.2	17.3	61.5	0.0
名細地区 n=96	0.0	20.8	22.9	52.1	4.2
山田地区 n=77	0.0	14.3	27.3	54.5	3.9

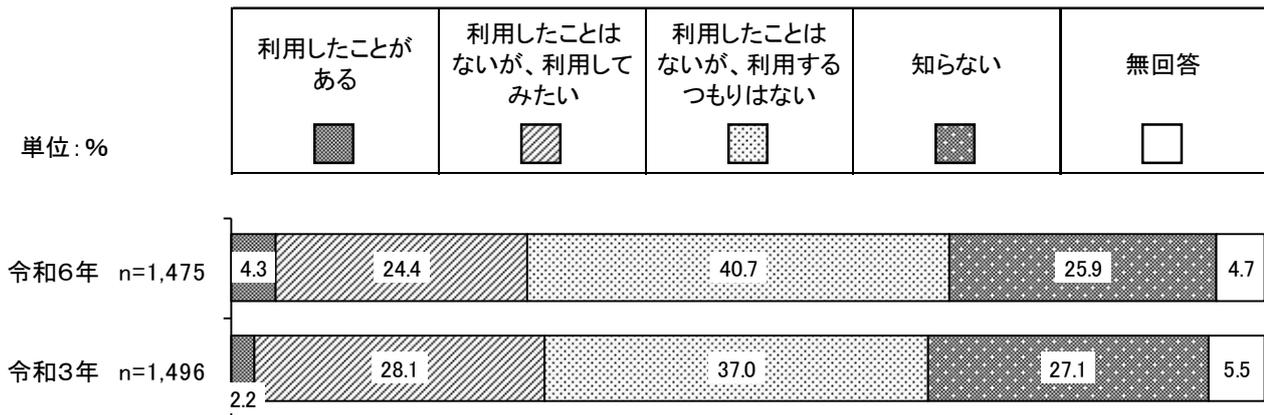
### ③川越市自転車シェアリング

川越市自転車シェアリングの利用状況等については、「利用したことはないが、利用するつもりはない」が40.7%で最も高く、次いで「知らない」が25.9%、「利用したことはないが、利用してみたい」が24.4%、「利用したことがある」が4.3%となっている。



### ■ 時系列での比較

時系列で見ると、「利用したことはないが、利用するつもりはない」は前回調査より3.7ポイント増加、「利用したことはないが、利用してみたい」は3.7ポイント減少している。



■ 居住地区別

居住地区別でみると、「利用したことがある」では、『本庁地区』が7.9%で最も高く、全ての地区で1割未満となっている。また、「利用したことはないが、利用してみたい」では、『古谷地区』が39.0%、「利用したことはないが、利用するつもりはない」では、『本庁地区』が54.2%で最も高くなっている。「知らない」では、『霞ヶ関北地区』が50.0%で最も高く、次いで『川鶴地区』が43.7%、『名細地区』が37.5%となっている。

単位: %	利用したことがある	利用したことはないが、利用してみたい	利用したことはないが、利用するつもりはない	知らない	無回答
全体 n=1,475	4.3	24.4	40.7	25.9	4.7

【居住地区別】

本庁地区 n=330	7.9	21.2	54.2	14.5	2.1
芳野地区 n=44	2.3	13.6	45.5	34.1	4.5
古谷地区 n=59	6.8	39.0	39.0	15.3	0.0
南古谷地区 n=131	4.6	29.0	36.6	21.4	8.4
高階地区 n=157	3.8	26.1	37.6	28.0	4.5
福原地区 n=94	2.1	24.5	39.4	30.9	3.2
大東地区 n=138	2.2	29.0	42.0	21.0	5.8
霞ヶ関地区 n=163	3.7	22.7	35.0	33.1	5.5
川鶴地区 n=71	0.0	28.2	23.9	43.7	4.2
霞ヶ関北地区 n=52	1.9	25.0	21.2	50.0	1.9
名細地区 n=96	1.0	22.9	34.4	37.5	4.2
山田地区 n=77	5.2	22.1	51.9	16.9	3.9

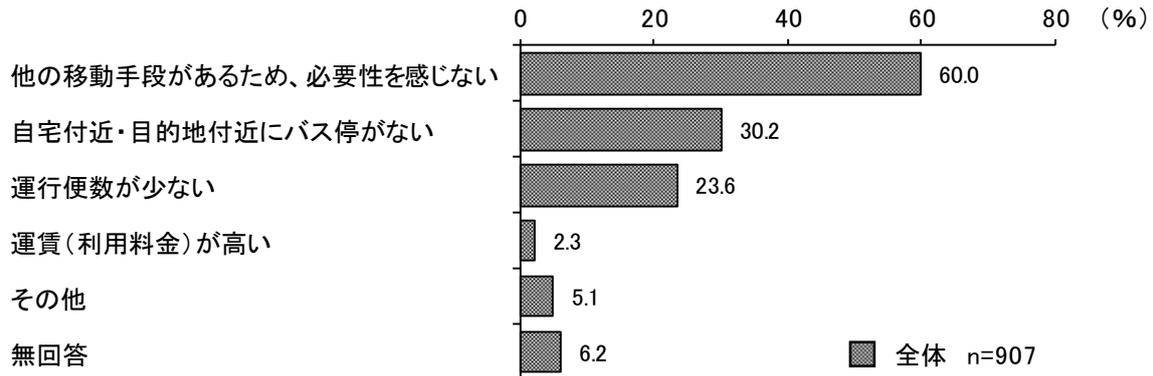
## (6) 川越シャトルを利用したことがない理由

◇「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が60.0%

【問5の①で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

### 問5-1 川越シャトルを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも)

川越シャトルを利用したことがない理由については、「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が60.0%で最も高く、次いで「自宅付近・目的地付近にバス停がない」が30.2%、「運行便数が少ない」が23.6%、「運賃(利用料金)が高い」が2.3%となっている。



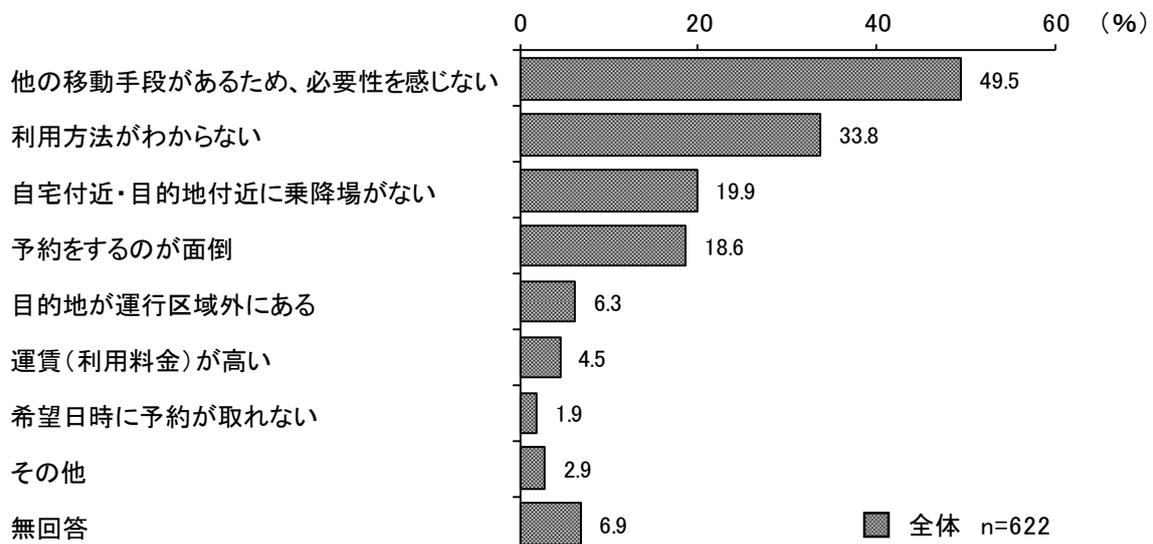
## (7) デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由

◇「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が49.5%

【問5の②で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

### 問5-2 デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも)

デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由については、「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が49.5%で最も高く、次いで「利用方法がわからない」が33.8%、「自宅付近・目的地付近に乗降場がない」が19.9%、「予約をするのが面倒」が18.6%となっている。



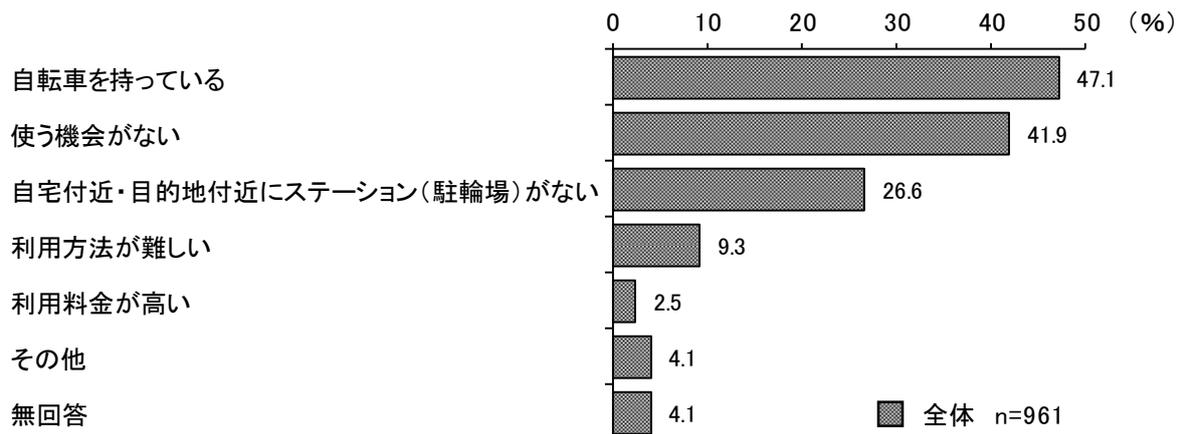
## (8) 川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由

◇「自転車を持っている」が47.1%

【問5の③で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

### 問5-3 川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも)

川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由については、「自転車を持っている」が47.1%で最も高く、次いで「使う機会がない」が41.9%、「自宅付近・目的地付近にステーション(駐輪場)がない」が26.6%、「利用方法が難しい」が9.3%となっている。

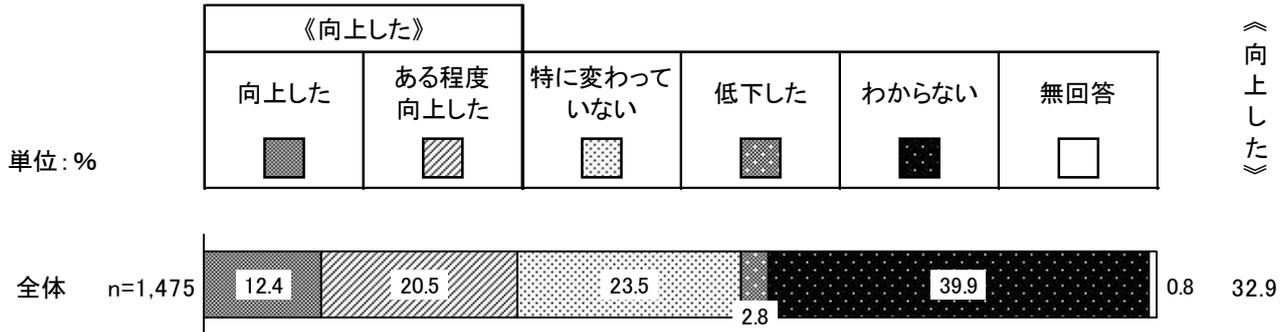


(9) 川越市の歴史的風致の向上

◇ 《向上した》が32.9%

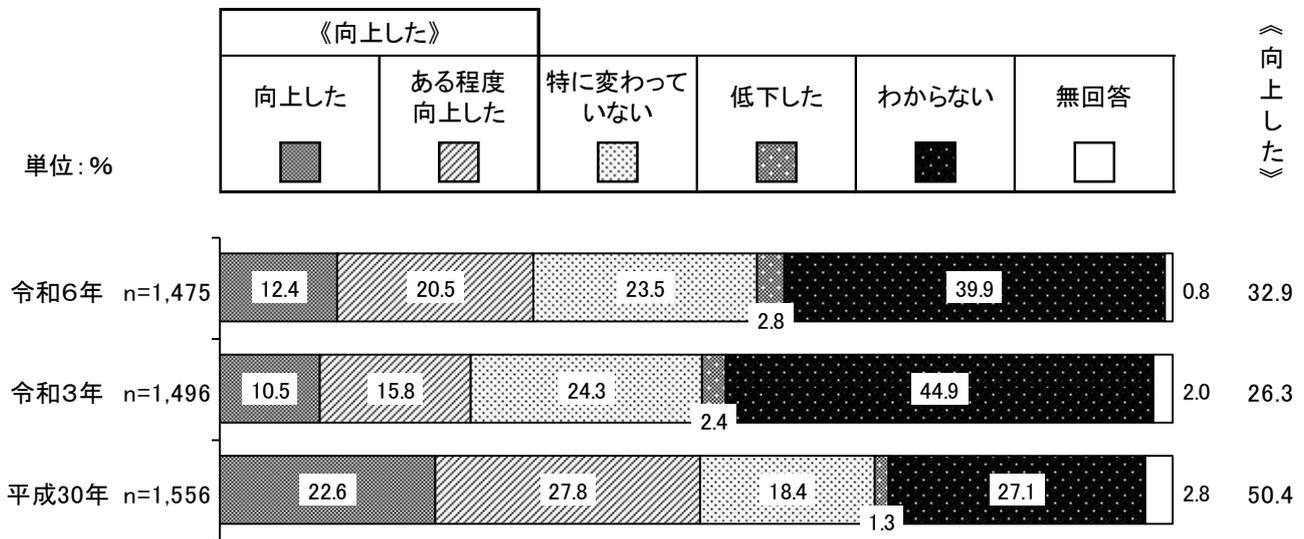
**問6 あなたは、この10年間で川越市の歴史的風致（歴史的な建造物や歴史・伝統を反映した人々の活動等）が向上したと思いますか。（1つのみ）**

川越市の歴史的風致の向上については、「向上した」、「ある程度向上した」の合計値《向上した》が32.9%となっている。一方で、「特に変わっていない」は23.5%、「低下した」は2.8%となっている。



■ 時系列での比較

時系列で見ると、《向上した》は前回調査より6.6ポイント増加している。



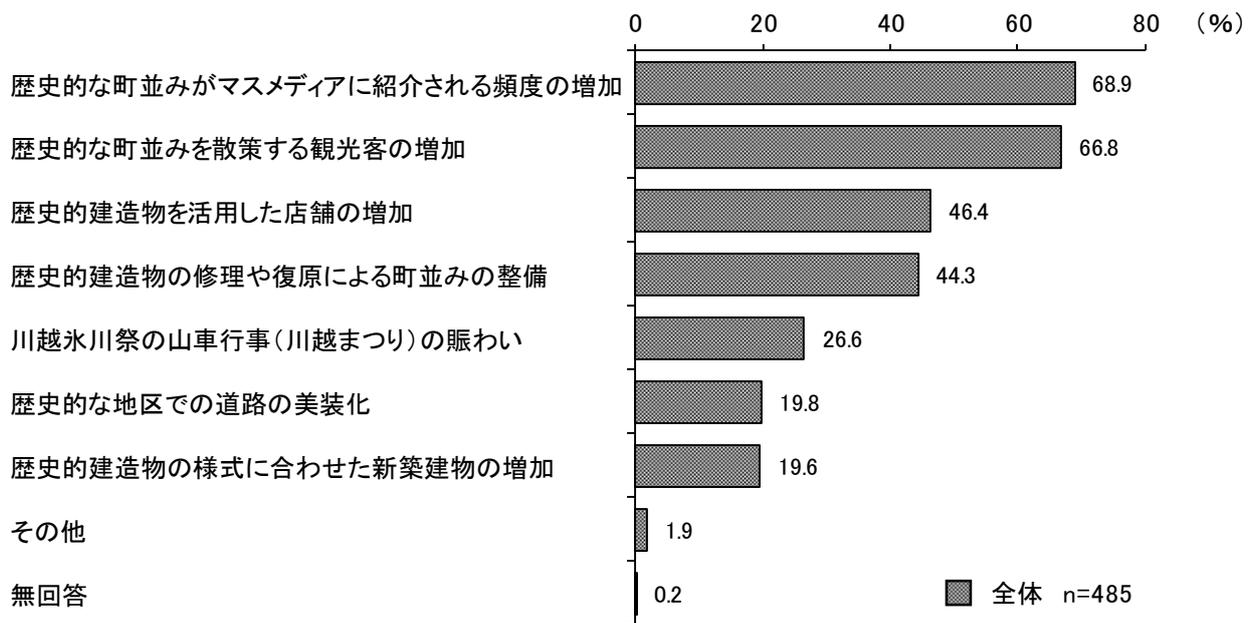
(10) 歴史的風致の向上した点

◇「歴史的な町並みがマスメディアで紹介される頻度の増加」が 68.9%

【問6で「向上した」「ある程度向上した」と回答した方におたずねします。】

問6-1 どのような点でそのように感じますか。(いくつでも)

歴史的風致の向上した点については、「歴史的な町並みがマスメディアで紹介される頻度の増加」が 68.9%で最も高く、次いで「歴史的な町並みを散策する観光客の増加」が 66.8%、「歴史的建造物を活用した店舗の増加」が 46.4%、「歴史的建造物の修理や復原による町並みの整備」が 44.3%となっている。



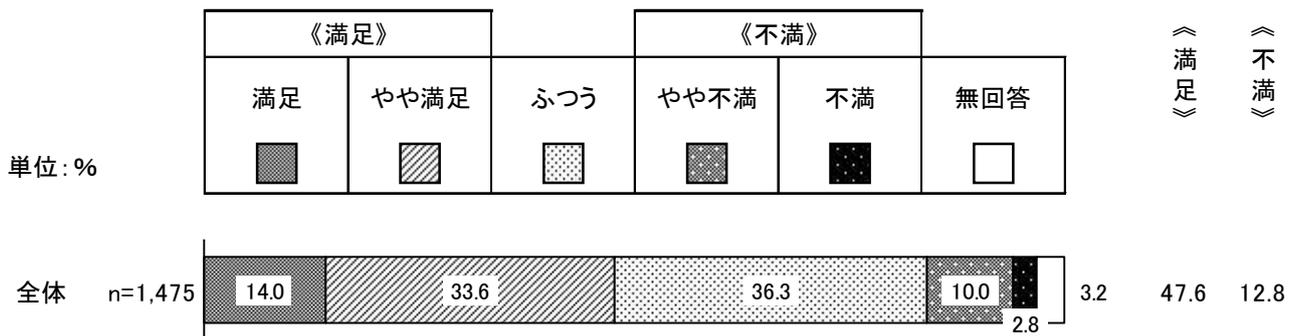
## 2 産業・観光について

### (1) 川越市の観光への満足度

◇ 《満足》が47.6%

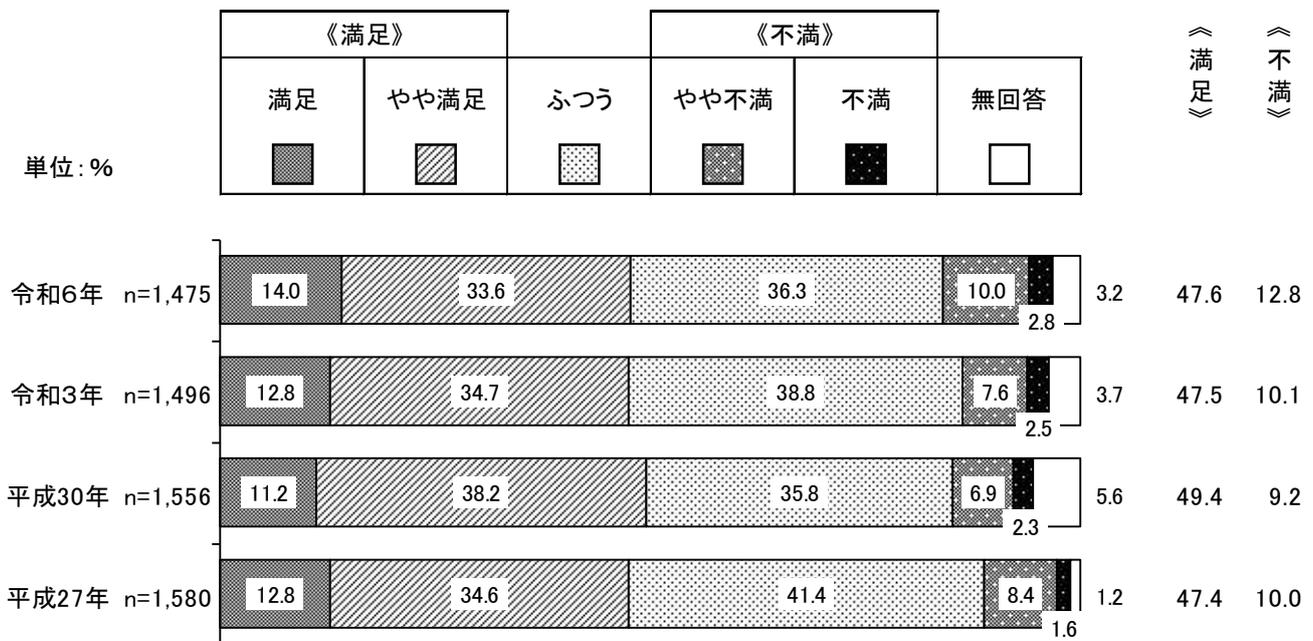
#### 問7 あなたは、川越市の観光について、どのように感じていますか。(1つのみ)

川越市の観光への満足度については、「満足」、「やや満足」の合計値《満足》が47.6%である一方、「やや不満」、「不満」の合計値《不満》は12.8%と、《満足》が34.8ポイント上回っている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《満足》は過去の調査結果と大きな差はみられないが、「普通」が減少し、《不満》が増加傾向にある。



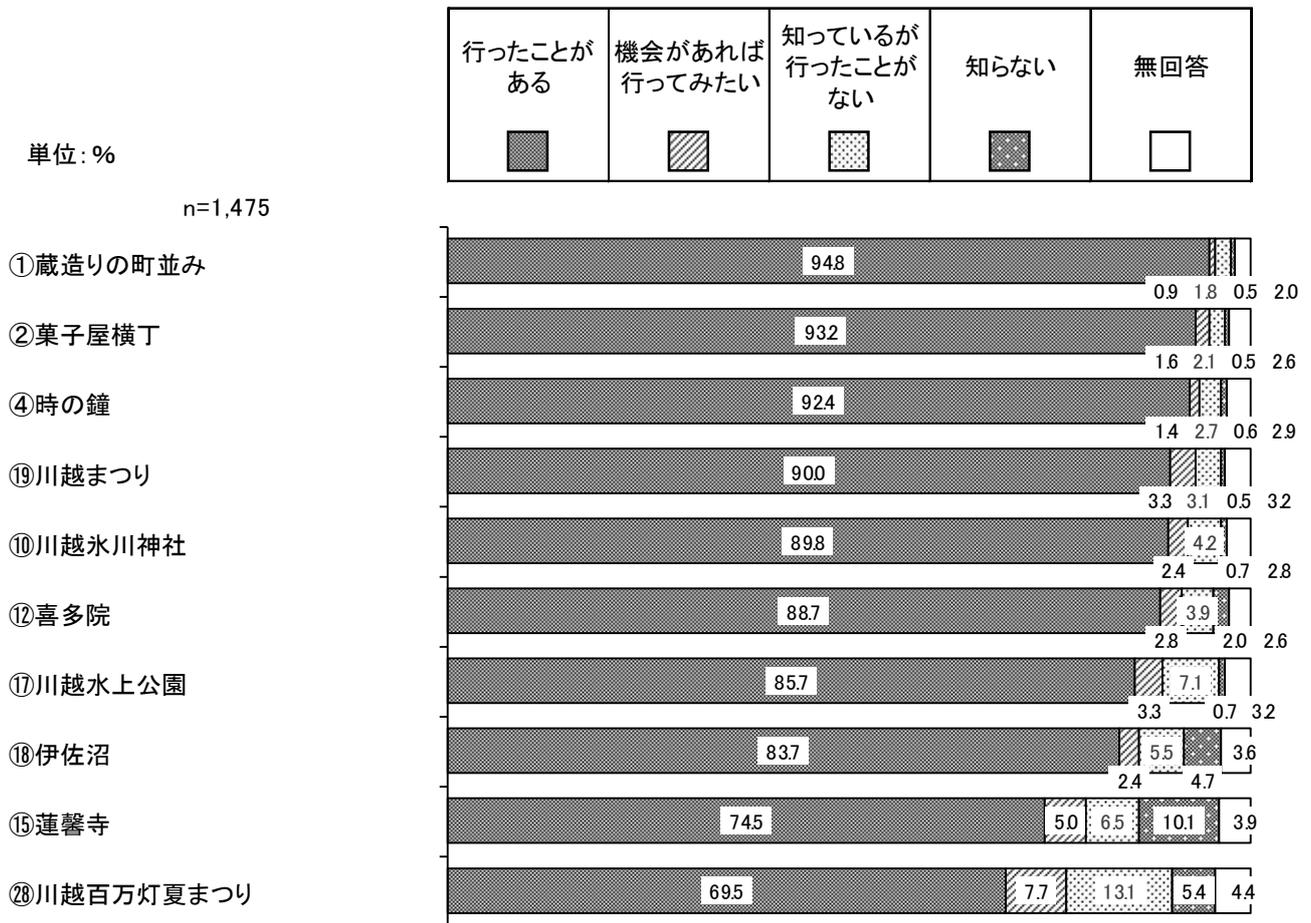
(2) 川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況

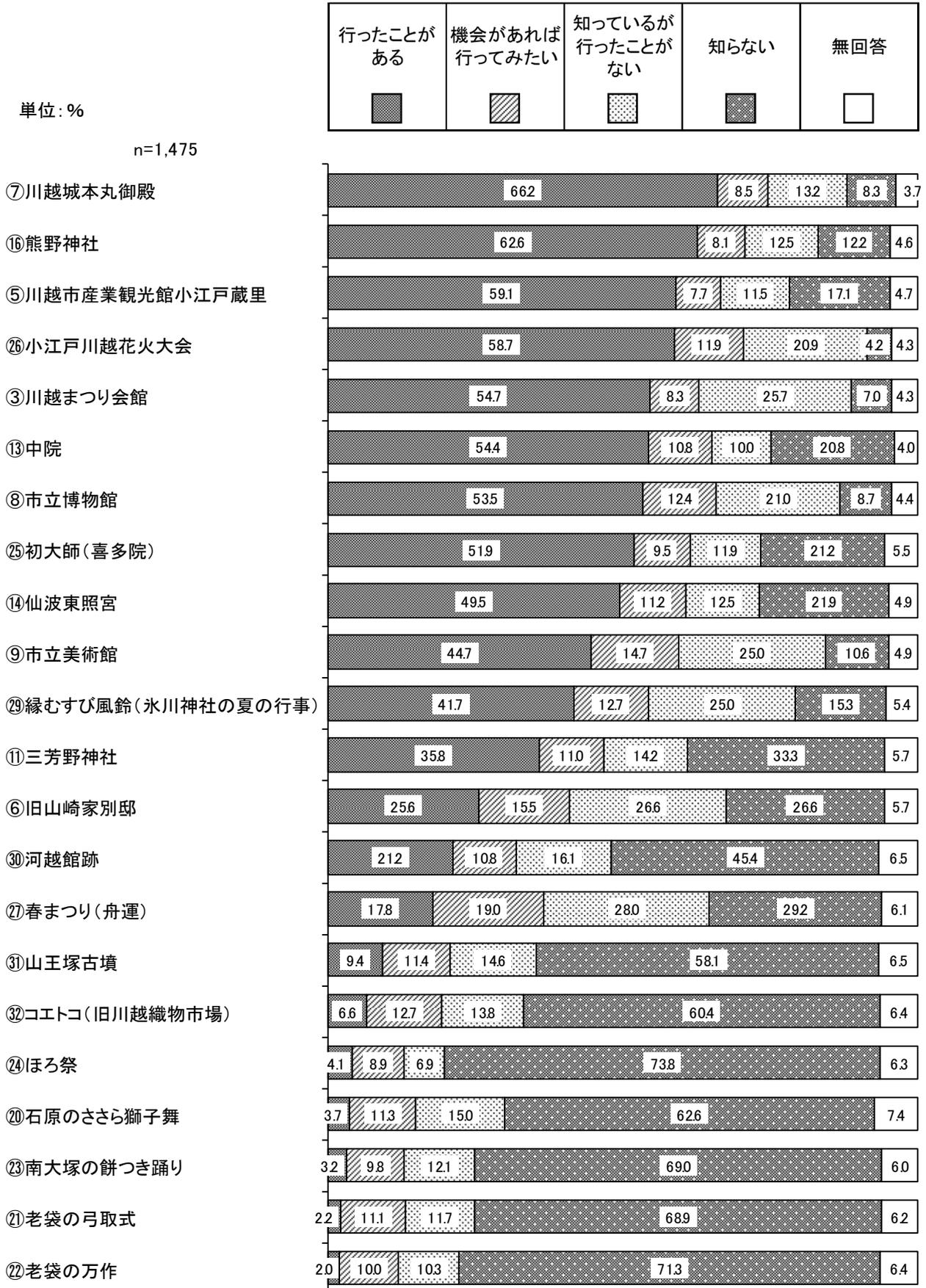
◇「行ったことがある」は『①蔵造りの町並み』が94.8%

**問8** 市内には多くの観光スポットや伝統行事がありますが行ったこと（見たこと）がありますか。また、①から⑳の項目で次世代に残したいと思うもの（文化財）を3つ選んで回答欄に項目番号を記入してください。※①から⑳のそれぞれに回答してください。（それぞれ1つのみ）※回答欄に項目番号を3つ記入してください。

川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況について、「行ったことがある」では、『①蔵造りの町並み』が94.8%で最も高く、次いで『②菓子屋横丁』が93.2%、『④時の鐘』が92.4%、『⑱川越まつり』が90.0%となっている。なお、4項目で9割以上、18項目で5割以上となっている。

「機会があれば行ってみたい」では、『㉗春まつり（舟運）』が19.0%で最も高くなっている。また、「知っているが行ったことがない」では、『㉗春まつり（舟運）』が28.0%で最も高くなっている。一方で、「知らない」では、『㉔ほろ祭』が73.8%で最も高く、次いで『㉒老袋の万作』が71.3%、『㉓南大塚の餅つき踊り』が69.0%、『㉑老袋の弓取式』が68.9%となっている。

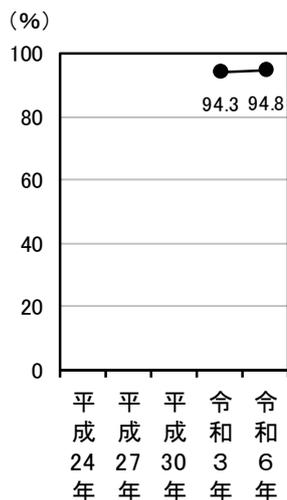




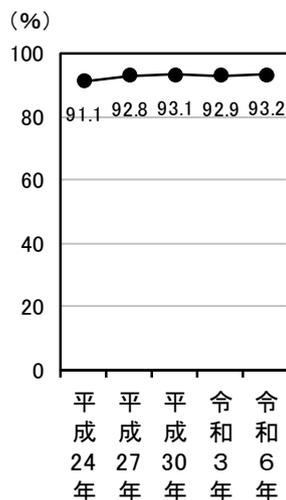
■ 時系列での比較（「行ったことがある」上位8項目）

上位8項目を時系列でみると、『⑱川越まつり』は令和3年度と比べ5.7ポイント増加し、おおむね平成30年度に並んだ。『⑩川越氷川神社』、『⑫喜多院』、『⑱伊佐沼』など、令和3年度に減少した項目も、増加傾向に転じている。

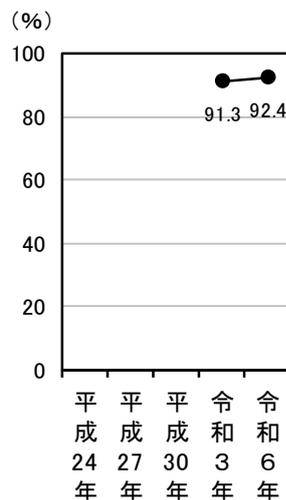
①蔵造りの町並み



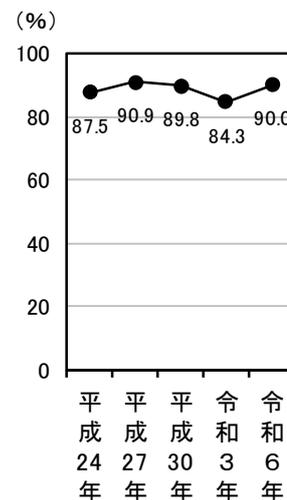
②菓子屋横丁



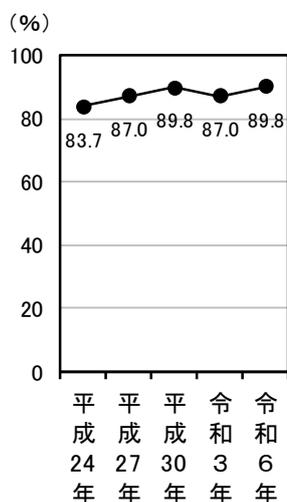
④時の鐘



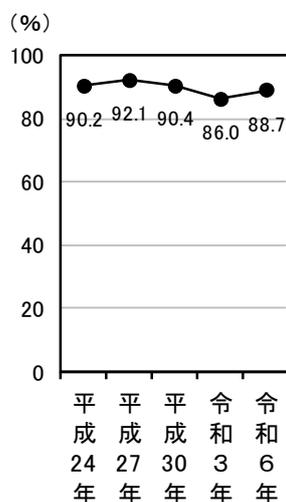
⑱川越まつり



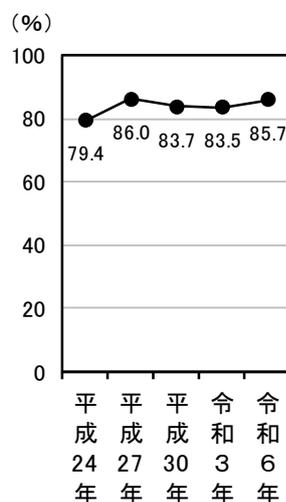
⑩川越氷川神社



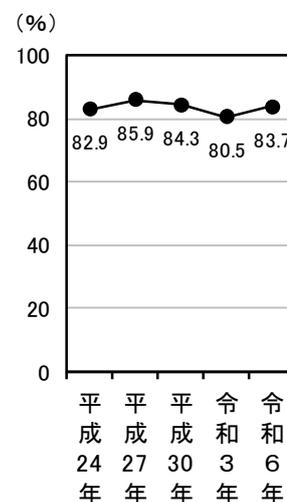
⑫喜多院



⑰川越水上公園



⑱伊佐沼



■ 性別・年代別（「行ったことがある」上位10項目）

「行ったことがある」の上位10項目を性別・年代別で見ると、『①蔵造りの町並み』はすべての年代、『②菓子屋横丁』、『④時の鐘』は男性50歳代を除き9割以上となっている。

単位: %	① 蔵造りの町並み	② 菓子屋横丁	④ 時の鐘	⑯ 川越まつり	⑩ 川越氷川神社
全体 n=1,475	94.8	93.2	92.4	90.0	89.8

【性別・年代別】

男性 n=597	93.8	92.5	90.6	88.8	88.4
男性18・19歳 n=12	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
男性20歳代 n=50	90.0	90.0	90.0	88.0	84.0
男性30歳代 n=53	90.6	94.3	92.5	81.1	88.7
男性40歳代 n=83	91.6	90.4	90.4	88.0	85.5
男性50歳代 n=120	92.5	88.3	85.8	90.0	88.3
男性60歳代 n=113	98.2	97.3	93.8	89.4	88.5
男性70歳以上 n=166	94.6	92.8	91.0	89.8	90.4

女性 n=829	96.1	94.5	94.2	91.6	91.2
女性18・19歳 n=5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
女性20歳代 n=57	93.0	96.5	94.7	84.2	96.5
女性30歳代 n=94	96.8	94.7	94.7	91.5	93.6
女性40歳代 n=148	95.3	95.3	94.6	91.9	90.5
女性50歳代 n=174	97.1	96.6	96.0	94.8	91.4
女性60歳代 n=141	95.7	92.9	92.9	92.9	91.5
女性70歳以上 n=209	96.7	92.3	92.8	89.5	88.5

単位: %	⑫ 喜多院	⑰ 川越水上公園	⑱ 伊佐沼	⑮ 蓮馨寺	㉔ 川越百万灯夏まつり
全体 n=1,475	88.7	85.7	83.7	74.5	69.5

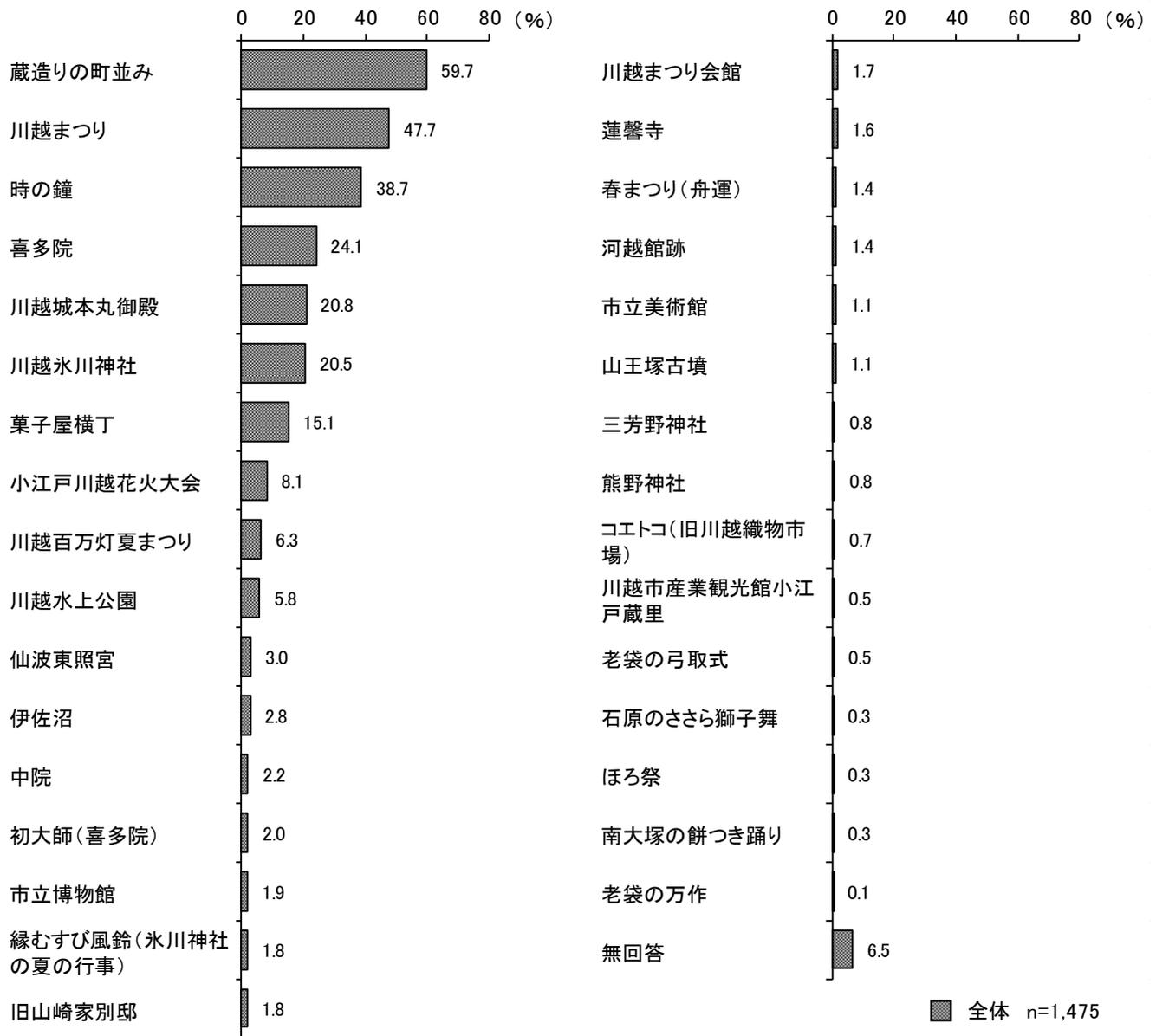
【性別・年代別】

男性 n=597	87.1	86.3	84.4	70.5	65.3
男性18・19歳 n=12	91.7	91.7	91.7	75.0	83.3
男性20歳代 n=50	74.0	90.0	74.0	62.0	60.0
男性30歳代 n=53	77.4	90.6	71.7	56.6	69.8
男性40歳代 n=83	81.9	85.5	80.7	57.8	67.5
男性50歳代 n=120	85.0	85.0	84.2	70.0	63.3
男性60歳代 n=113	92.0	86.7	89.4	78.8	69.0
男性70歳以上 n=166	94.6	84.3	89.8	78.3	62.0

女性 n=829	90.6	85.9	83.8	78.5	73.1
女性18・19歳 n=5	80.0	80.0	60.0	60.0	80.0
女性20歳代 n=57	82.5	82.5	73.7	61.4	77.2
女性30歳代 n=94	80.9	85.1	78.7	69.1	68.1
女性40歳代 n=148	89.9	89.2	87.2	76.4	80.4
女性50歳代 n=174	94.3	90.8	86.2	79.9	74.1
女性60歳代 n=141	94.3	86.5	92.2	85.8	75.9
女性70歳以上 n=209	92.3	80.4	79.4	83.3	66.0

■ 次世代に残したいと思う文化財

次世代に残したいと思う文化財については、「蔵造りの町並み」が59.7%で最も高く、次いで、「川越まつり」が47.7%、「時の鐘」が38.7%、「喜多院」が24.1%となっている。

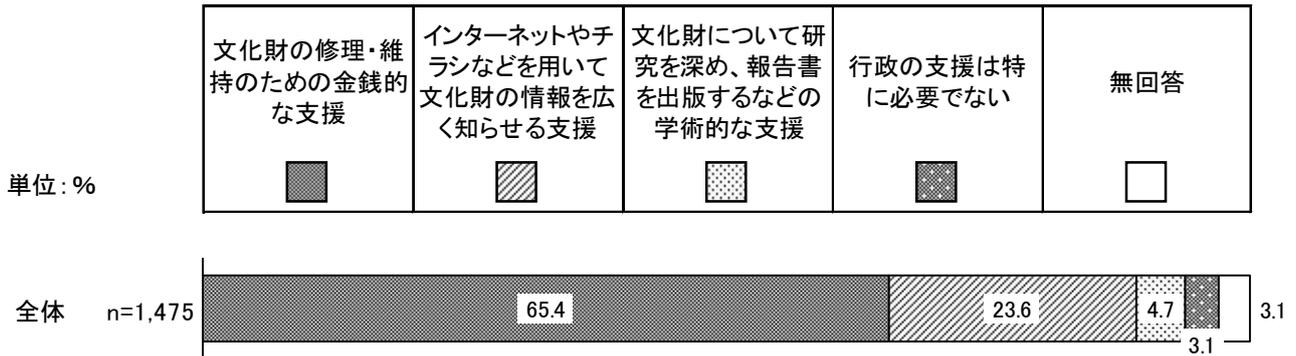


### (3) 文化財保護のため、行政が行うべき支援

◇「文化財の修理・維持のための金銭的な支援」が65.4%

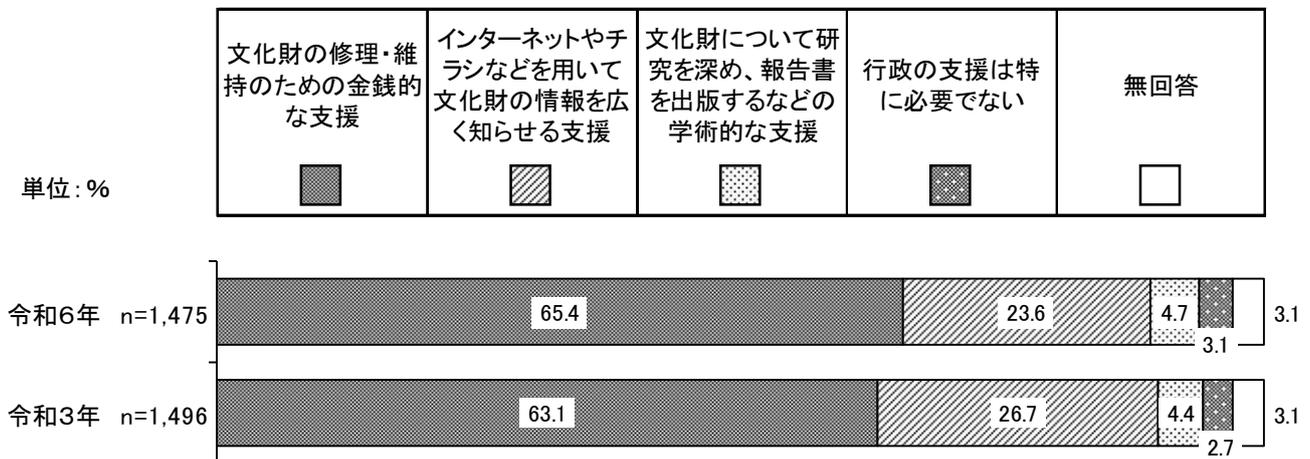
#### 問9 文化財の保存・活用のため、行政が行うべき支援は何だと思いますか。(1つのみ)

文化財保護のため、行政が行うべき支援については、「文化財の修理・維持のための金銭的な支援」が65.4%で最も高く、次いで「インターネットやチラシなどを用いて文化財の情報を広く知らせる支援」が23.6%、「文化財について研究を深め、報告書を出版するなどの学術的な支援」が4.7%、「行政の支援は特に必要でない」が3.1%となっている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。

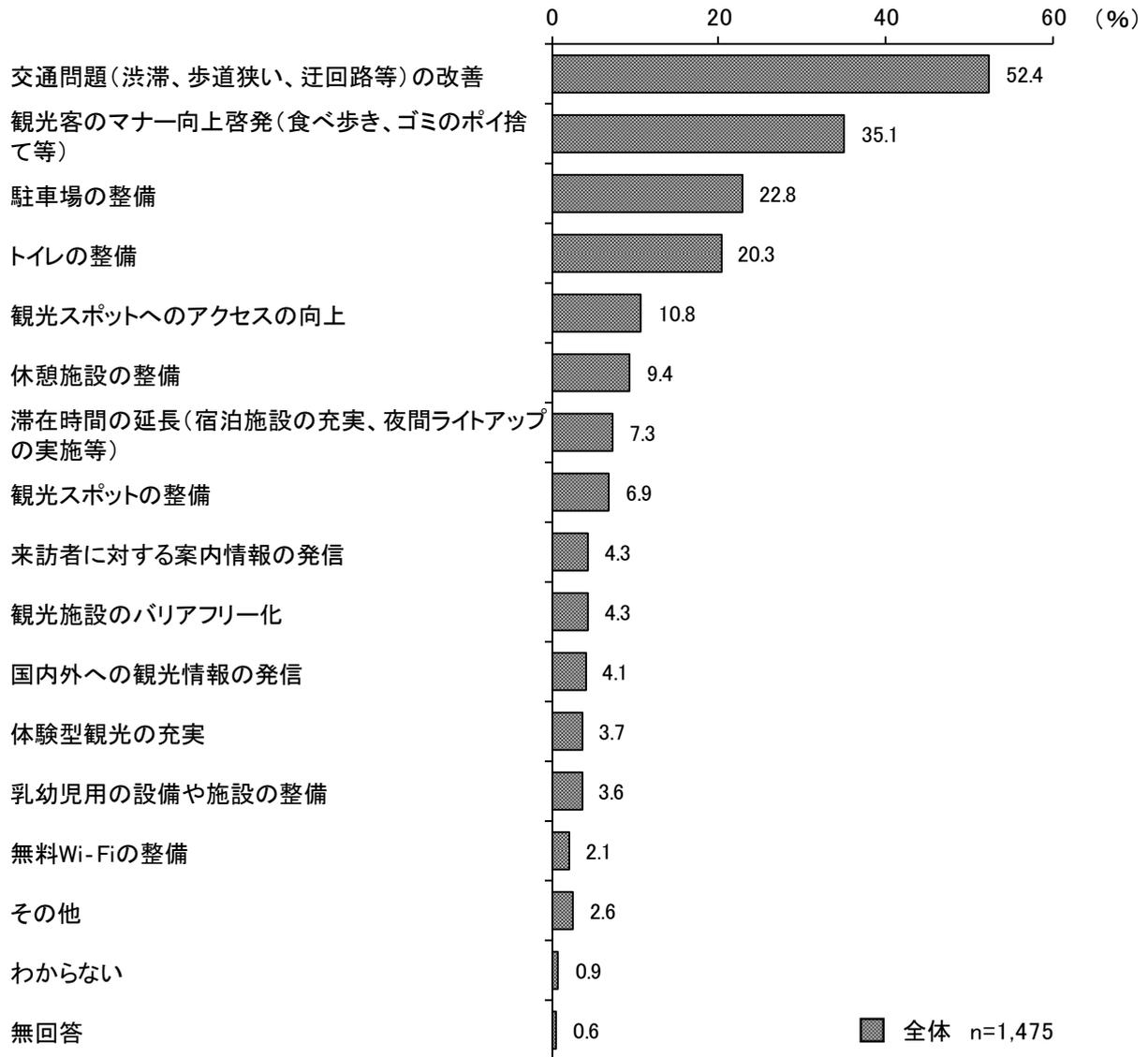


(4) 観光振興のために必要な施策

◇「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」が52.4%

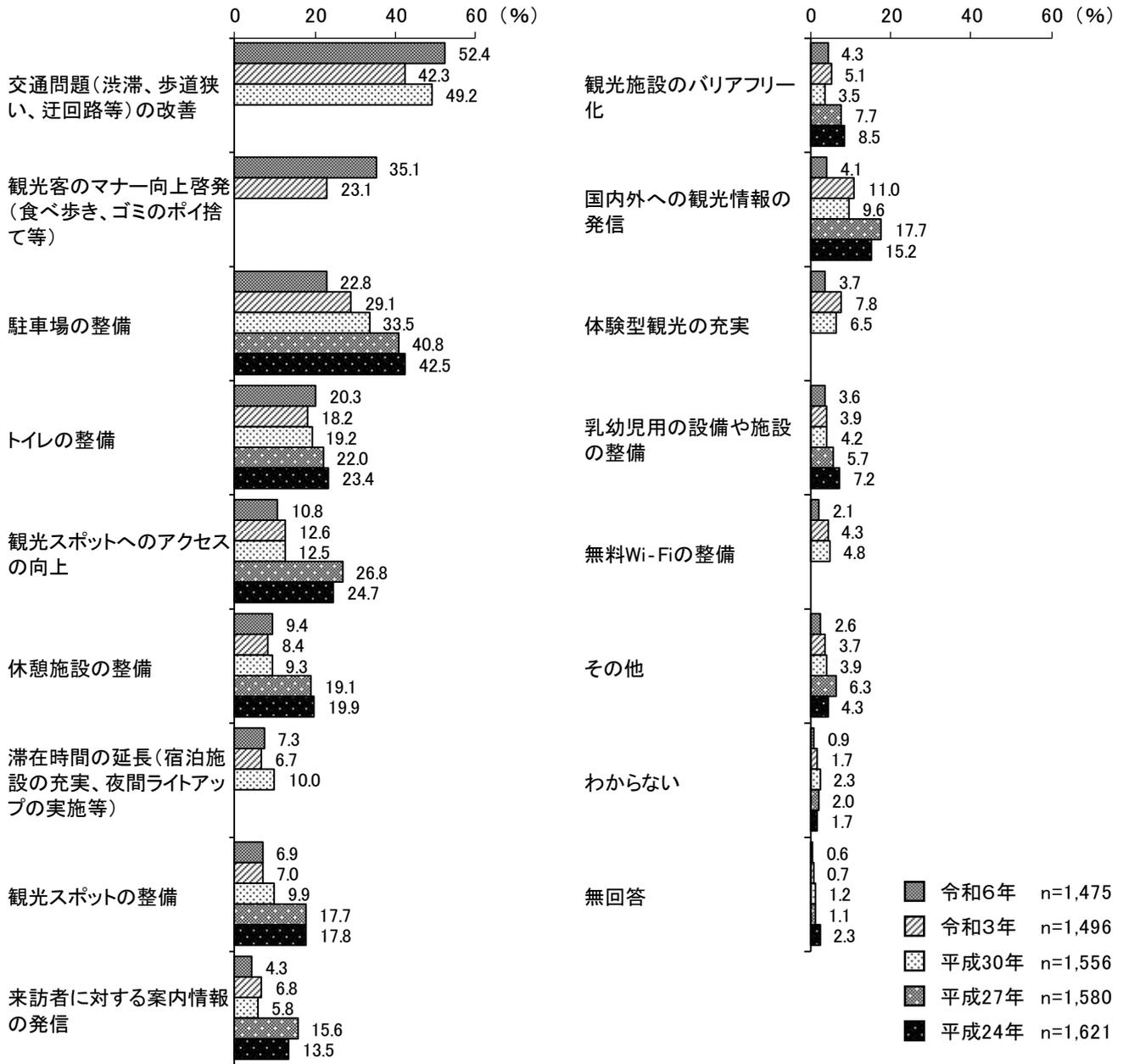
**問 10 あなたは、住民が住みやすく、観光客が快適に滞在できる街になるためにどのような施策が必要だと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで）**

観光振興のために必要な施策については、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」が52.4%で最も高く、次いで「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）」が35.1%、「駐車場の整備」が22.8%、「トイレの整備」が20.3%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」、「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）」は、令和3年度と比べ1割以上増加している。一方、「駐車場の整備」は減少傾向が続いており、令和3年度と比べ6.3ポイント減少している。また、「観光スポットへのアクセスの向上」、「休憩施設の整備」、「観光スポットの整備」、「国内外への観光情報の発信」についても、平成24年度と比べ1割以上減少している。



※「体験型観光の充実」、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」、「滞在時間の延長（宿泊施設の充実、夜間ライトアップの実施等）」、「無料 Wi-Fi の整備」は、平成 30 年から追加された選択肢。

※「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）」は、令和3年から追加された選択肢。

■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代列でみると、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」は、男性全年代、女性20歳代以上で1位となっており、男性20歳代、40～60歳代、女性20～50歳代などで5割を超えている。「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）」は女性でより高く、女性50歳代以上は4割台となっている。「駐車場の整備」は男性でより高く、男性20歳代、70歳以上は3割台となっている。

単位：%	交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善	観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）	駐車場の整備	トイレの整備	観光スポットへのアクセスの向上	休憩施設の整備
全体 n=1,475	52.4	35.1	22.8	20.3	10.8	9.4

【性別・年代別】

男性 n=597	52.3	30.0	26.0	21.4	11.4	11.4
男性18・19歳 n=12	66.7	16.7	25.0	8.3	33.3	8.3
男性20歳代 n=50	60.0	32.0	32.0	16.0	10.0	6.0
男性30歳代 n=53	43.4	30.2	22.6	20.8	18.9	11.3
男性40歳代 n=83	60.2	26.5	22.9	14.5	12.0	9.6
男性50歳代 n=120	60.8	29.2	22.5	21.7	10.8	10.0
男性60歳代 n=113	56.6	31.9	23.0	20.4	10.6	12.4
男性70歳以上 n=166	38.6	31.3	31.3	28.3	8.4	14.5

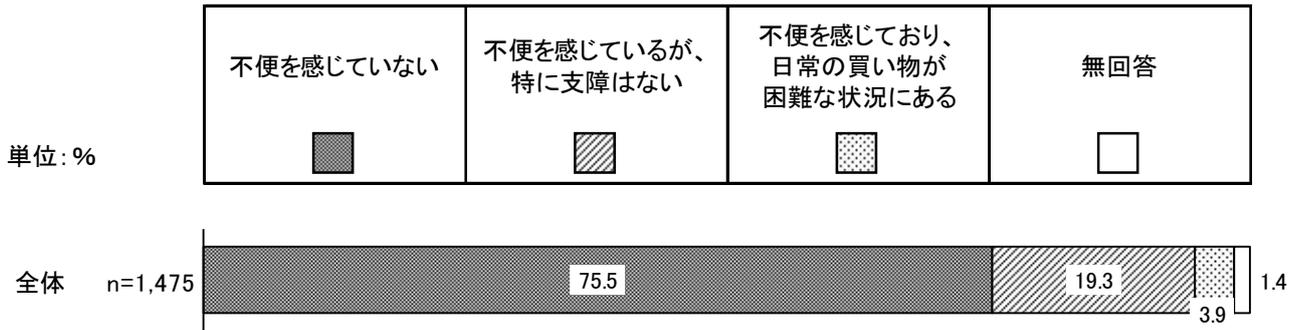
女性 n=829	52.5	39.0	20.9	19.7	10.3	8.0
女性18・19歳 n=5	40.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0
女性20歳代 n=57	57.9	33.3	17.5	21.1	14.0	8.8
女性30歳代 n=94	56.4	29.8	28.7	24.5	9.6	5.3
女性40歳代 n=148	59.5	37.2	18.9	19.6	12.8	5.4
女性50歳代 n=174	60.3	41.4	19.5	14.4	12.6	6.9
女性60歳代 n=141	44.7	42.6	20.6	22.0	8.5	6.4
女性70歳以上 n=209	43.1	40.7	21.5	20.1	6.7	12.9

(5) 買い物の状況

◇ 「不便を感じていない」が75.5%

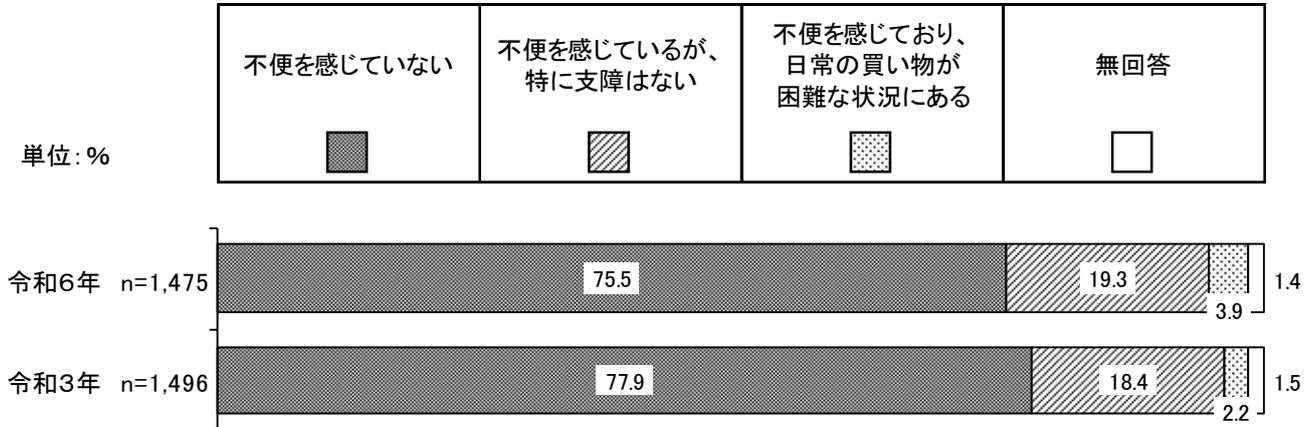
問 11 食料品等の日常の買い物で不便を感じていますか。(1つのみ)

買い物の状況については、「不便を感じていない」が75.5%で最も高く、次いで「不便を感じているが、特に支障はない」が19.3%、「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」が3.9%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



■ 居住区別

居住区別でみると、「不便を感じていない」では、『霞ヶ関北地区』が92.3%で最も高く、全ての地区で5割以上となっている。また、「不便を感じているが、特に支障はない」では、『古谷地区』が40.7%で最も高くなっている。一方、「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」では、『名細地区』が10.4%で最も高く、次いで『芳野地区』が6.8%、『古谷地区』が6.8%となっている。

単位: %	不便を感じていない	不便を感じているが、特に支障はない	不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある	無回答
全体 n=1,475	75.5	19.3	3.9	1.4

【居住地区別】

本庁地区 n=330	85.5	12.1	2.1	0.3
芳野地区 n=44	52.3	36.4	6.8	4.5
古谷地区 n=59	52.5	40.7	6.8	0.0
南古谷地区 n=131	82.4	13.0	3.1	1.5
高階地区 n=157	77.1	20.4	1.9	0.6
福原地区 n=94	71.3	22.3	3.2	3.2
大東地区 n=138	66.7	26.8	5.1	1.4
霞ヶ関地区 n=163	76.1	21.5	2.5	0.0
川鶴地区 n=71	87.3	12.7	0.0	0.0
霞ヶ関北地区 n=52	92.3	5.8	0.0	1.9
名細地区 n=96	67.7	20.8	10.4	1.0
山田地区 n=77	68.8	26.0	3.9	1.3

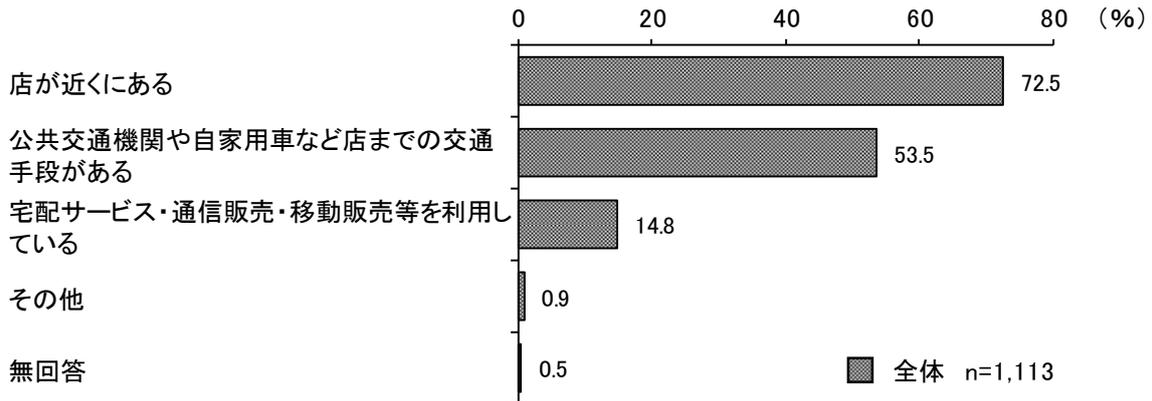
(6) 買い物で不便を感じていない理由

◇「店が近くにある」が72.5%

【問 11 で「不便を感じていない」と回答した方におたずねします。】

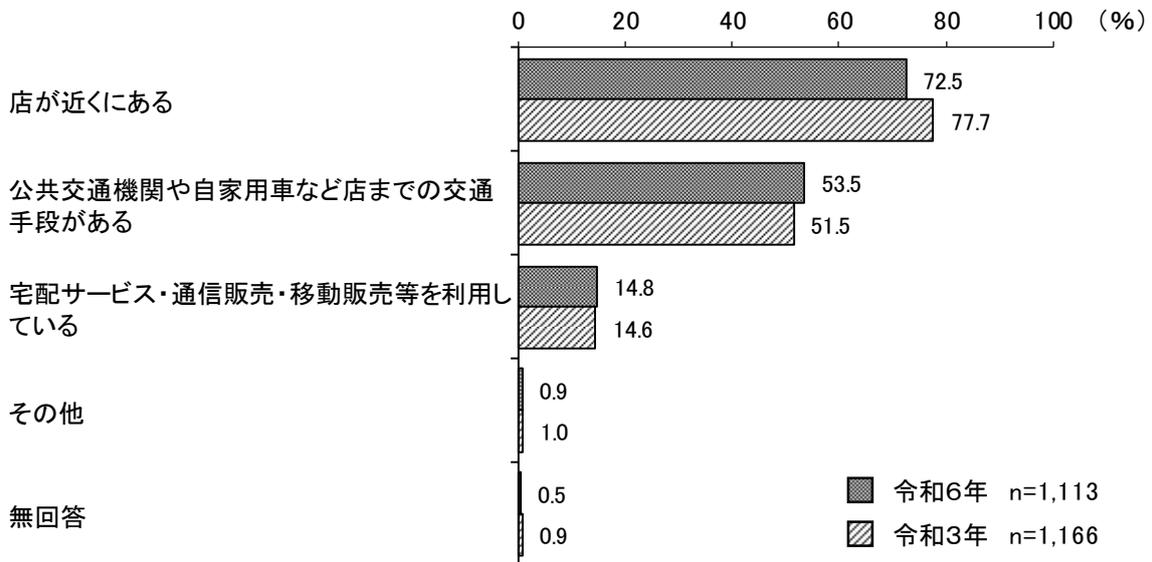
問 11-1 あなたが日常の買い物に不便を感じていない理由は何ですか。(いくつでも)

買い物で不便を感じていない理由については、「店が近くにある」が72.5%で最も高く、次いで「公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある」が53.5%、「宅配サービス・通信販売・移動販売等を利用している」が14.8%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「店が近くにある」は、前回調査と比べ5.2ポイント減少している。



■ 居住区別

居住区別でみると、「店が近くにある」では、『霞ヶ関北地区』が89.6%で最も高く、次いで『本庁地区』が83.3%、『霞ヶ関地区』が81.5%となっている。「店が近くにある」は、『本庁地区』、『南古谷地区』、『高階地区』、『大東地区』、『霞ヶ関地区』、『川鶴地区』、『霞ヶ関北地区』で1位となっている。「公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある」では、『古谷地区』が83.9%で最も高く、次いで『名細地区』が75.4%、『芳野地区』が73.9%となっている。「公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある」は、『芳野地区』、『古谷地区』、『福原地区』、『名細地区』、『山田地区』で1位となっている。

単位: %	店が近くにある	公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある	宅配サービス・通信販売・移動販売等を利用している	その他	無回答
全体 n=1,113	72.5	53.5	14.8	0.9	0.5

【居住地区別】

本庁地区 n=282	83.3	48.2	16.0	0.7	0.4
芳野地区 n=23	34.8	73.9	13.0	0.0	0.0
古谷地区 n=31	41.9	83.9	22.6	0.0	0.0
南古谷地区 n=108	75.9	49.1	12.0	0.9	0.9
高階地区 n=121	72.7	48.8	9.1	0.8	0.0
福原地区 n=67	55.2	71.6	14.9	1.5	0.0
大東地区 n=92	71.7	54.3	17.4	0.0	0.0
霞ヶ関地区 n=124	81.5	46.0	23.4	0.8	0.0
川鶴地区 n=62	74.2	64.5	9.7	1.6	1.6
霞ヶ関北地区 n=48	89.6	27.1	18.8	2.1	0.0
名細地区 n=65	49.2	75.4	10.8	3.1	0.0
山田地区 n=53	50.9	58.5	5.7	0.0	5.7

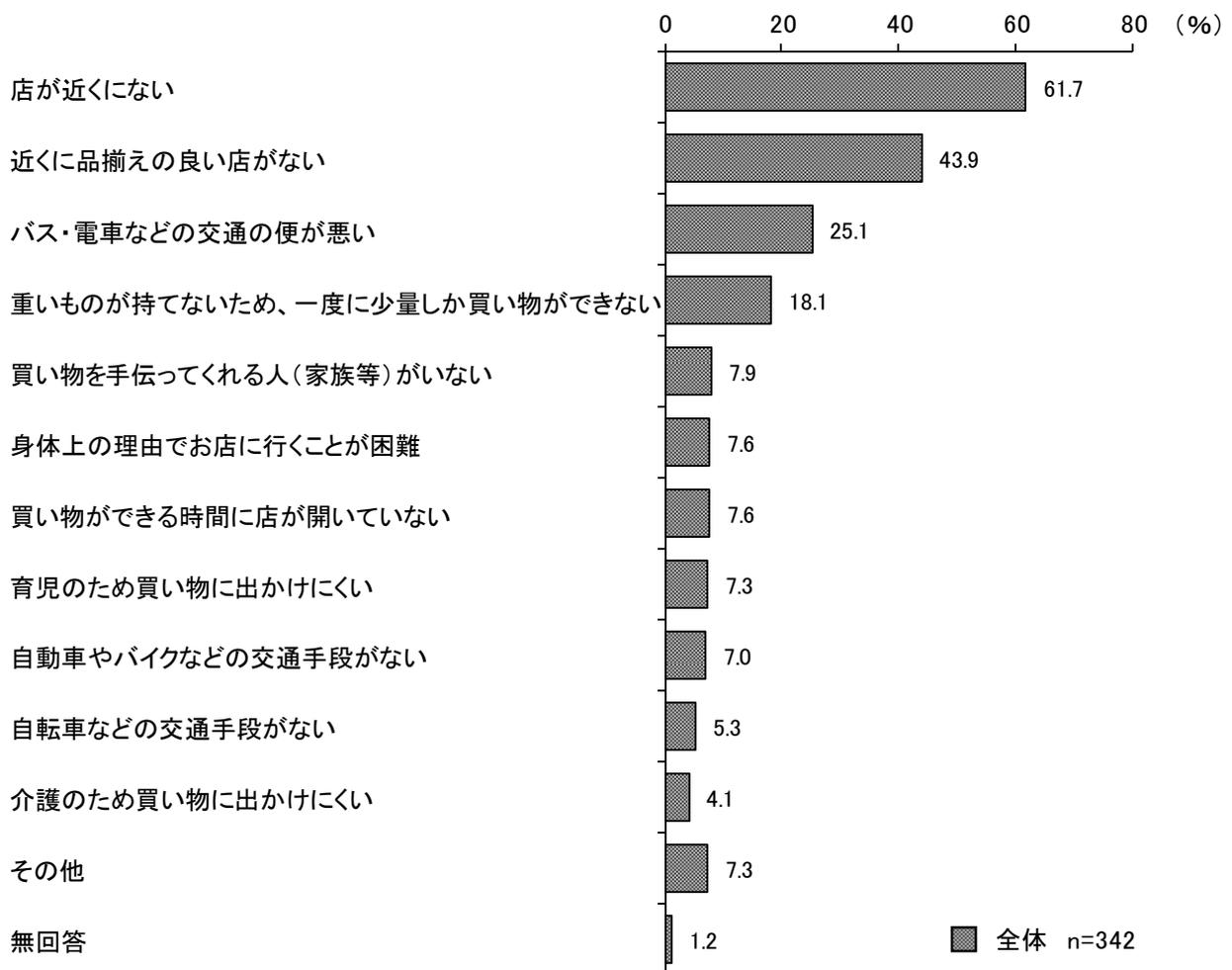
(7) 買い物で不便を感じている理由

◇「店が近くにない」が61.7%

【問 11 で「不便を感じているが、特に支障はない」「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」と回答した方におたずねします。】

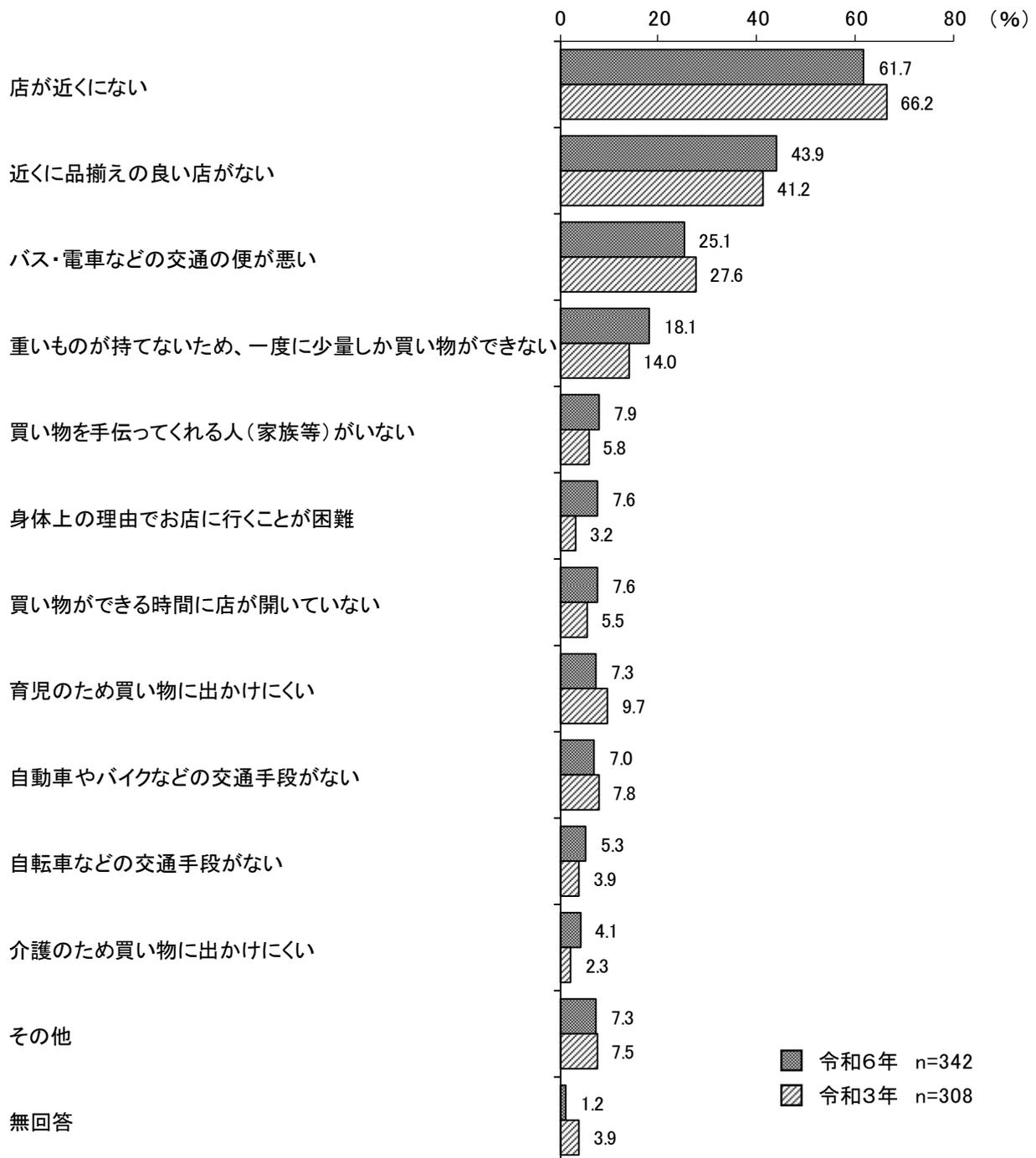
問 11-2 あなたが日常の買い物で不便を感じている理由は何ですか。(いくつでも)

買い物で不便を感じている理由については、「店が近くにない」が 61.7%で最も高く、次いで「近くに品揃えの良い店がない」が 43.9%、「バス・電車などの交通の便が悪い」が 25.1%、「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」が 18.1%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「身体上の理由でお店に行くことが困難」は、前回調査と比べ4.4ポイント、「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」は4.1ポイント増加している。一方、「店が近くにない」は4.5ポイント減少している。



■ 居住区別（上位6項目）

上位6項目を居住区別でみると、「店が近くにない」では、『芳野地区』が89.5%で最も高く、次いで『名細地区』が83.3%、『山田地区』が73.9%となっている。「店が近くにない」は、9地区で1位となっている。「近くに品揃えの良い店がない」では、『霞ヶ関北地区』が66.7%で最も高く、次いで『古谷地区』が64.3%、『南古谷地区』が57.1%となっている。「近くに品揃えの良い店がない」は、『霞ヶ関地区』、『川鶴地区』、『霞ヶ関北地区』で1位となっている。

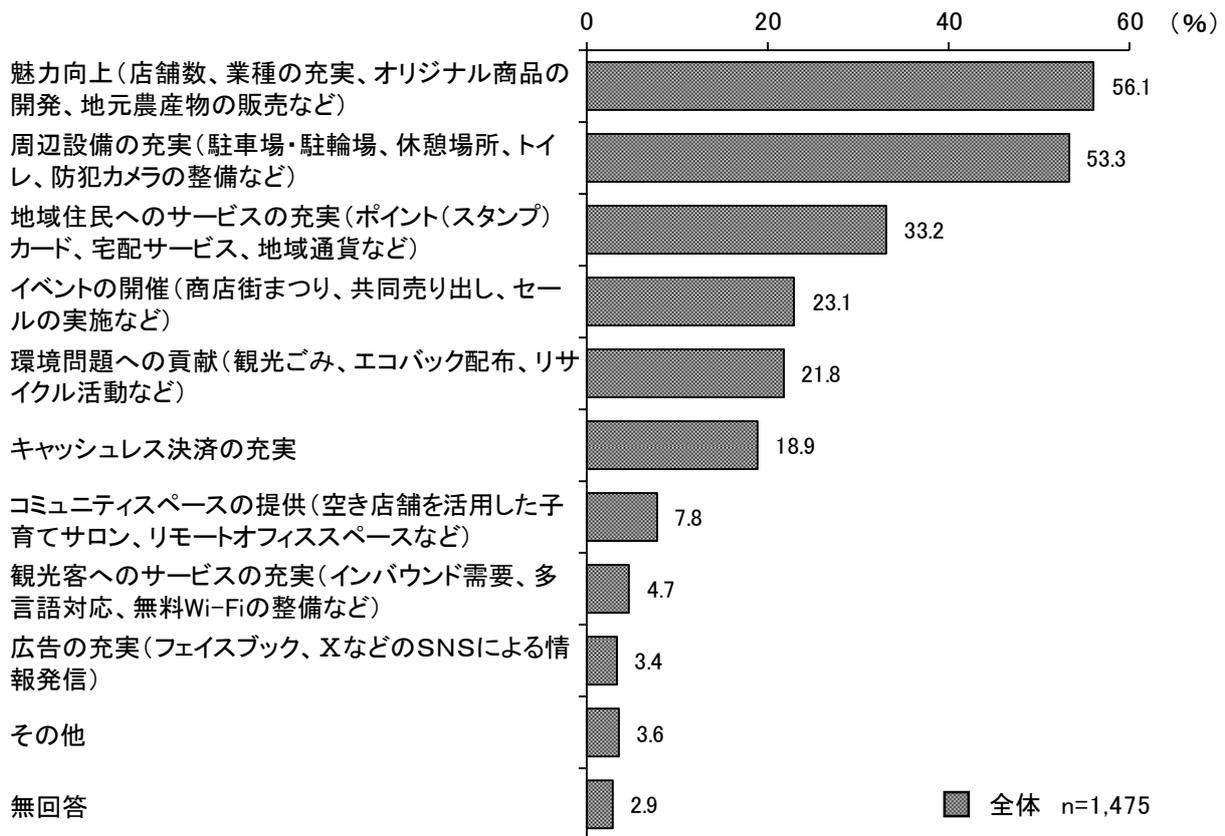
単位：%	店が近くにない	近くに品揃えの良い店がない	バス・電車などの交通の便が悪い	重いものが持たないため、一度に少量しか買い物ができない	買い物を手伝ってくれる人(家族等)がいない	身体上の理由でお店に行くことが困難
全体 n=342	61.7	43.9	25.1	18.1	7.9	7.6
【居住地区別】						
本庁地区 n=47	40.4	36.2	10.6	21.3	14.9	10.6
芳野地区 n=19	89.5	26.3	42.1	10.5	0.0	5.3
古谷地区 n=28	71.4	64.3	46.4	21.4	3.6	0.0
南古谷地区 n=21	61.9	57.1	33.3	38.1	4.8	19.0
高階地区 n=35	51.4	42.9	20.0	14.3	0.0	2.9
福原地区 n=24	70.8	54.2	16.7	8.3	4.2	4.2
大東地区 n=44	70.5	47.7	20.5	18.2	18.2	6.8
霞ヶ関地区 n=39	46.2	51.3	17.9	20.5	7.7	5.1
川鶴地区 n=9	33.3	44.4	11.1	11.1	0.0	11.1
霞ヶ関北地区 n=3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
名細地区 n=30	83.3	40.0	26.7	10.0	6.7	10.0
山田地区 n=23	73.9	21.7	39.1	13.0	8.7	0.0

(8) 商店街に望むこと

◇「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」が 56.1%

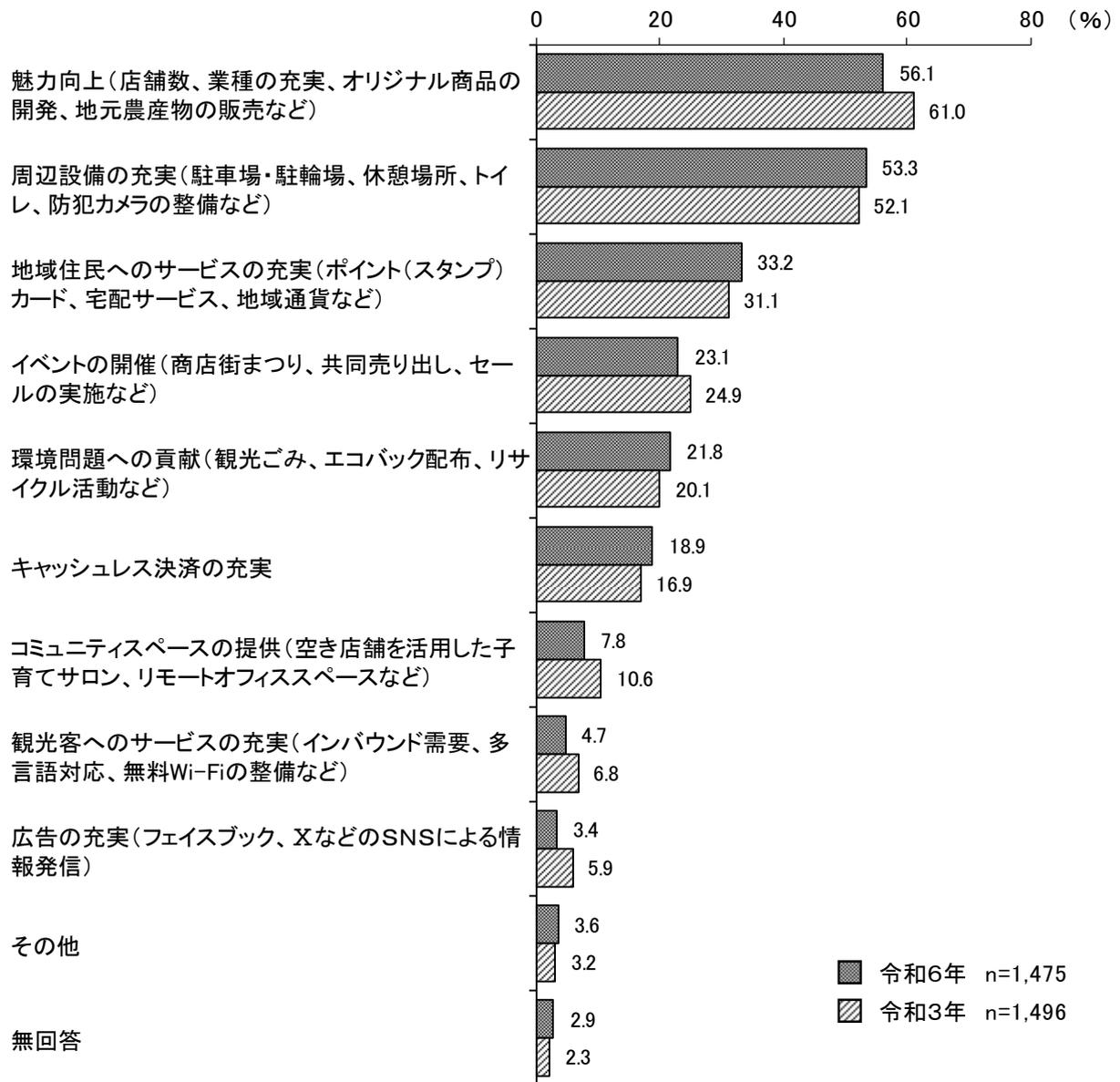
問 12 商店街にどのようなことを望みますか。次の中から3つ以内で選んでください。（3つまで）

商店街に望むことについては、「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」が 56.1%で最も高く、次いで「周辺設備の充実（駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など）」が 53.3%、「地域住民へのサービスの充実（ポイント（スタンプ）カード、宅配サービス、地域通貨など）」が 33.2%、「イベントの開催（商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など）」が 23.1%となっている。



■ 時系列での比較

時系列で見ると、「魅力向上(店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など)」は、前回調査と比べ4.9ポイント減少している。



■ 年代別（上位6項目）

上位6項目を年代別でみると、「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」は、20歳代を除き5割台となっている。また、「キャッシュレス決済の充実」は20歳代が特に高く、全体を24.7ポイント上回っている。

単位：%	魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）	周辺設備の充実（駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など）	地域住民へのサービスの充実（ポイント（スタンプ）カード、宅配サービス、地域通貨など）	イベントの開催（商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など）	環境問題への貢献（観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など）	キャッシュレス決済の充実
全体 n=1,475	56.1	53.3	33.2	23.1	21.8	18.9

【年代別】

18・19歳 n=17	58.8	41.2	29.4	29.4	23.5	29.4
20歳代 n=110	48.2	42.7	30.0	25.5	19.1	43.6
30歳代 n=150	56.7	50.7	30.7	32.7	17.3	24.7
40歳代 n=238	56.7	48.3	34.5	28.6	18.9	27.7
50歳代 n=297	59.3	56.6	35.4	20.5	17.5	19.5
60歳代 n=257	54.5	58.4	33.1	23.3	26.8	12.1
70歳以上 n=375	57.9	55.5	33.3	17.9	25.9	6.4

■ 居住区別（上位6項目）

上位6項目を居住区別でみると、「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」では、『霞ヶ関北地区』が71.2%で最も高く、次いで『霞ヶ関地区』が65.6%、『名細地区』が62.5%となっている。

単位：%	魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）	周辺設備の充実（駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など）	地域住民へのサービスの充実（ポイント（スタンプ）カード、宅配サービス、地域通貨など）	イベントの開催（商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など）	環境問題への貢献（観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など）	キャッシュレス決済の充実
全体 n=1,475	56.1	53.3	33.2	23.1	21.8	18.9

【居住区別】

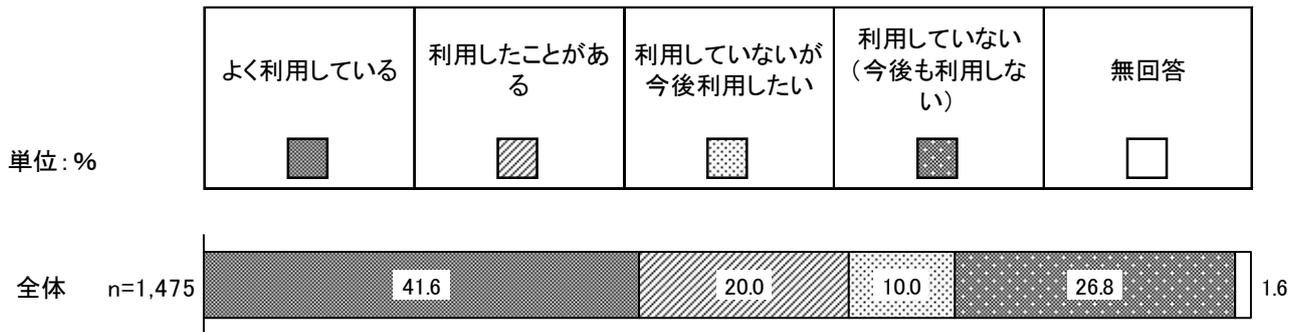
本庁地区 n=330	58.2	49.7	33.6	22.7	24.2	21.5
芳野地区 n=44	52.3	65.9	29.5	22.7	25.0	15.9
古谷地区 n=59	45.8	57.6	42.4	22.0	20.3	15.3
南古谷地区 n=131	52.7	55.0	32.8	30.5	20.6	19.1
高階地区 n=157	58.0	52.2	43.3	24.2	21.7	18.5
福原地区 n=94	46.8	60.6	23.4	20.2	34.0	13.8
大東地区 n=138	55.1	52.9	33.3	26.8	23.2	21.7
霞ヶ関地区 n=163	65.6	48.5	33.1	23.9	16.0	23.3
川鶴地区 n=71	59.2	56.3	32.4	21.1	7.0	15.5
霞ヶ関北地区 n=52	71.2	44.2	26.9	23.1	21.2	11.5
名細地区 n=96	62.5	60.4	28.1	17.7	17.7	15.6
山田地区 n=77	45.5	55.8	29.9	27.3	22.1	13.0

### (9) キャッシュレス決済の利用

◇「よく利用している」が41.6%

**問 13 あなたはスマートフォンを利用したキャッシュレス決済を利用していますか。(1つのみ)**

キャッシュレス決済の利用については、「よく利用している」が41.6%で最も高く、次いで「利用していない(今後も利用しない)」が26.8%、「利用したことがある」が20.0%、「利用していないが今後利用したい」が10.0%となっている。



#### ■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「よく利用している」は男女とも20歳代が7割台で最も高く、男性50歳代以下、女性40歳代も5割以上となっているが、70歳以上は男女とも1割台となっている。一方、「利用していない(今後も利用しない)」は男性70歳以上、女性60歳代以上で4割台と高くなっている。

単位: %	よく利用している	利用したことがある	利用していないが今後利用したい	利用していない(今後も利用しない)	無回答
全体 n=1,475	41.6	20.0	10.0	26.8	1.6

【性別・年代別】

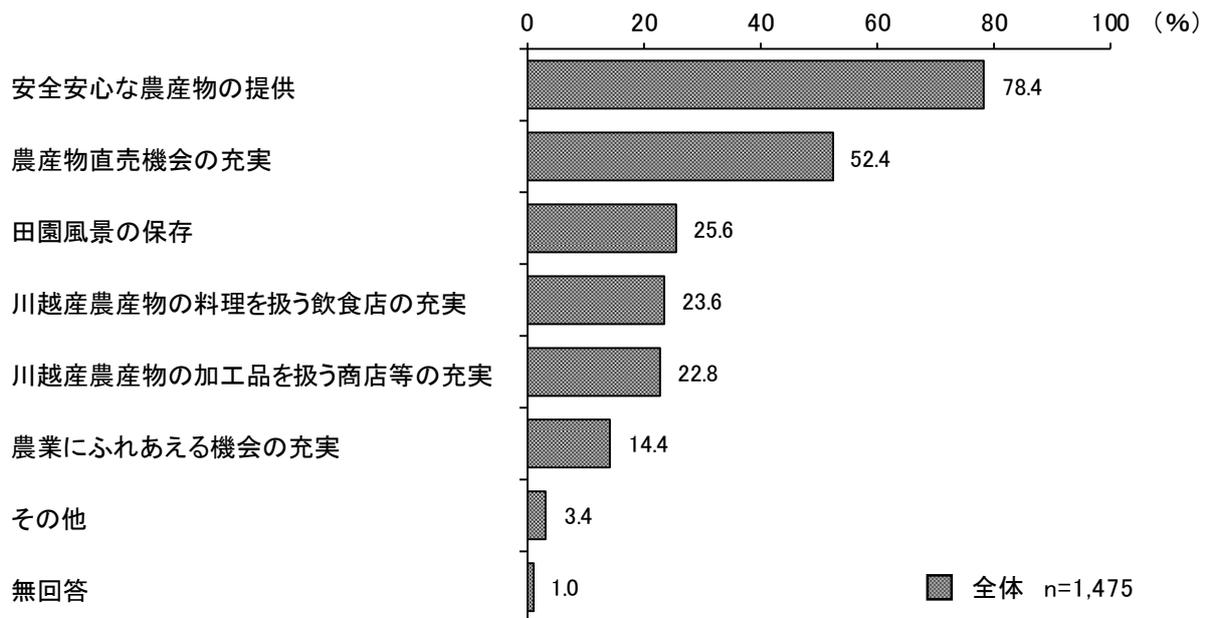
性別・年代別	よく利用している	利用したことがある	利用していないが今後利用したい	利用していない(今後も利用しない)	無回答
男性 n=597	44.4	16.6	11.4	26.1	1.5
男性18・19歳 n=12	66.7	8.3	0.0	16.7	8.3
男性20歳代 n=50	76.0	12.0	6.0	4.0	2.0
男性30歳代 n=53	60.4	18.9	3.8	15.1	1.9
男性40歳代 n=83	57.8	18.1	7.2	16.9	0.0
男性50歳代 n=120	52.5	19.2	6.7	20.8	0.8
男性60歳代 n=113	39.8	20.4	15.9	23.0	0.9
男性70歳以上 n=166	18.7	12.7	18.7	47.6	2.4
女性 n=829	38.7	22.8	9.4	27.6	1.4
女性18・19歳 n=5	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=57	70.2	19.3	5.3	3.5	1.8
女性30歳代 n=94	48.9	29.8	6.4	14.9	0.0
女性40歳代 n=148	50.0	27.0	8.8	12.2	2.0
女性50歳代 n=174	49.4	23.6	9.2	17.2	0.6
女性60歳代 n=141	29.1	19.9	8.5	42.6	0.0
女性70歳以上 n=209	14.8	19.6	12.4	49.8	3.3

## (10) 農業に期待すること

◇「安全安心な農産物の提供」が78.4%

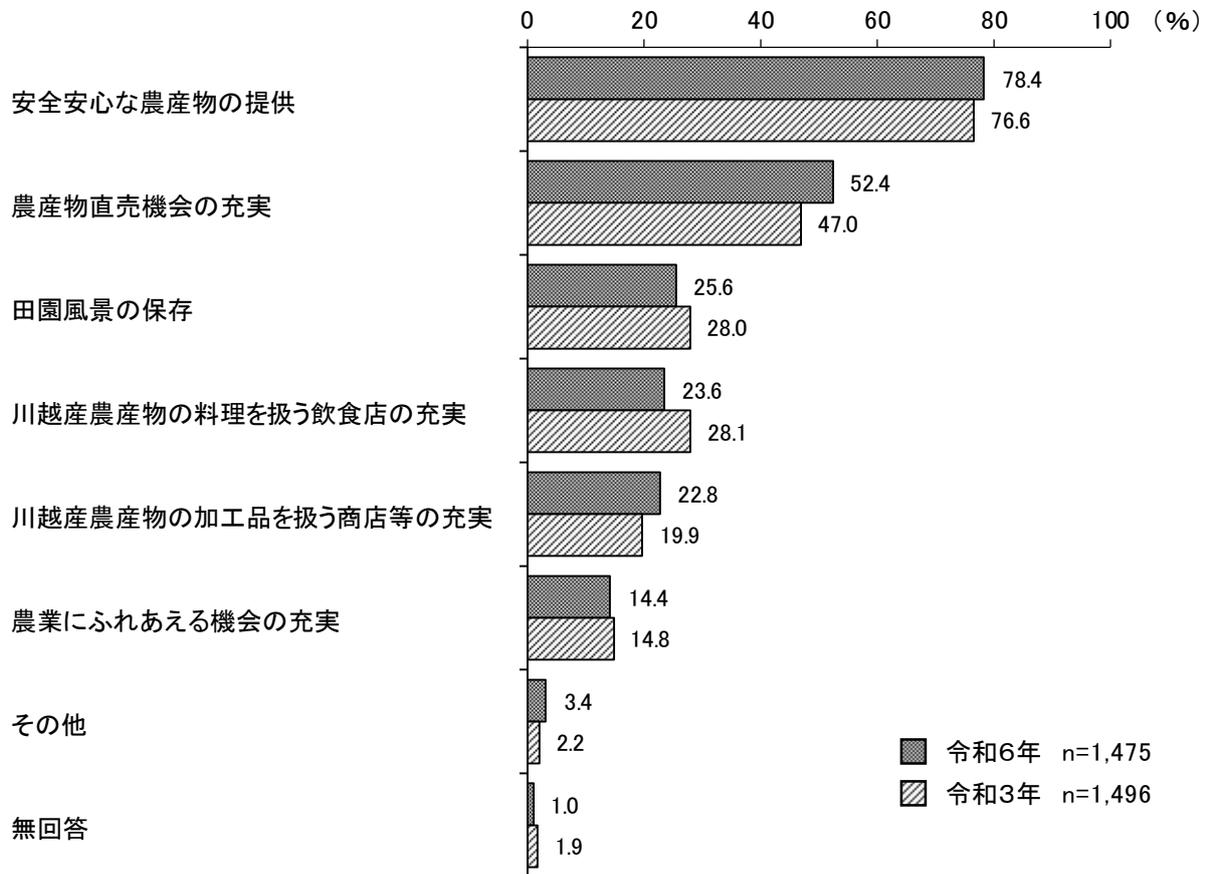
### 問 14 あなたが農業に期待することは何ですか。(いくつでも)

農業に期待することについては、「安全安心な農産物の提供」が78.4%で最も高く、次いで「農産物直売機会の充実」が52.4%、「田園風景の保存」が25.6%、「川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実」が23.6%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「農産物直売機会の充実」は、前回調査と比べ5.4ポイント増加している。一方、「川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実」は4.5ポイント減少している。



■ 性別・年代別

年代別でみると、「田園風景の保存」は男性、「安全安心な農産物の提供」、「農産物直売機会の充実」は女性でより高くなっている。「安全安心な農産物の提供」は、男女とも全ての年代で6割以上を占め、1位となっている。「農産物直売機会の充実」は、男性30歳代、70歳以上、女性40歳代以上で5割以上と高くなっている。「川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実」は、男性30歳代で4割を超え、男性40歳代、女性20歳代、50歳代も3割台と高くなっている。

単位: %	安全安心な農産物の提供	農産物直売機会の充実	田園風景の保存	川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実	川越産農産物の加工品を扱う商店等の充実	農業にふれあえる機会の充実
全体 n=1,475	78.4	52.4	25.6	23.6	22.8	14.4

【性別・年代別】

男性 n=597	72.2	46.6	29.1	22.3	24.6	14.4
男性18・19歳 n=12	75.0	25.0	16.7	41.7	25.0	16.7
男性20歳代 n=50	72.0	28.0	22.0	28.0	30.0	18.0
男性30歳代 n=53	69.8	50.9	32.1	41.5	30.2	22.6
男性40歳代 n=83	69.9	39.8	32.5	33.7	26.5	28.9
男性50歳代 n=120	70.8	45.8	27.5	21.7	21.7	13.3
男性60歳代 n=113	72.6	43.4	27.4	20.4	25.7	4.4
男性70歳以上 n=166	74.7	58.4	31.9	9.0	21.7	10.8

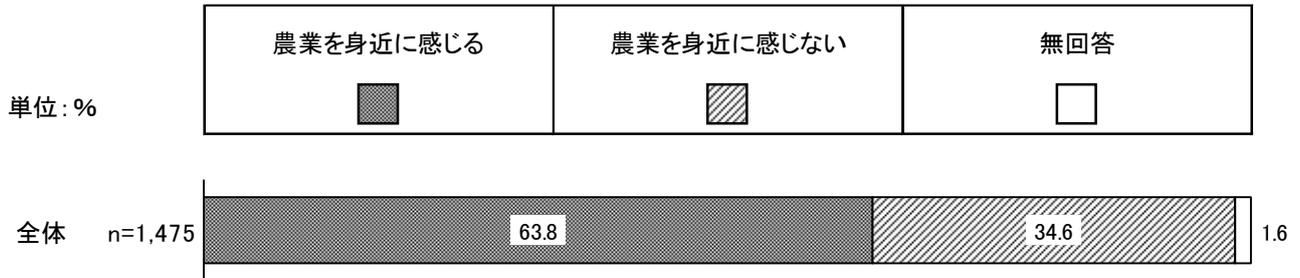
女性 n=829	82.9	57.2	23.2	24.8	22.0	14.6
女性18・19歳 n=5	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=57	77.2	40.4	15.8	31.6	14.0	10.5
女性30歳代 n=94	83.0	44.7	19.1	29.8	20.2	28.7
女性40歳代 n=148	81.8	56.1	20.3	26.4	18.9	20.3
女性50歳代 n=174	83.9	60.9	24.1	32.2	27.6	12.1
女性60歳代 n=141	84.4	67.4	23.4	14.2	20.6	14.2
女性70歳以上 n=209	83.7	58.9	28.7	21.5	23.9	8.1

### (11) 農業を身近に感じるか

◇「農業を身近に感じる」が 63.8%

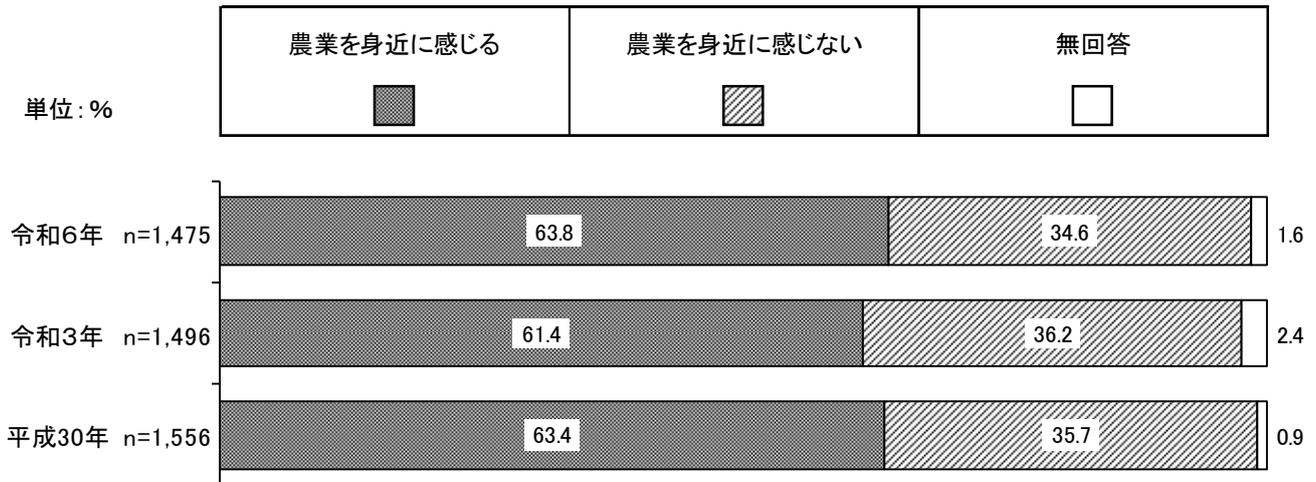
**問 15 農業を身近に感じますか。(地場農産物の購入や市民農園の利用、田園風景などを通じて、暮らしの中で農業を身近に感じますか) (1つのみ)**

農業を身近に感じるかについては、「農業を身近に感じる」が 63.8%、「農業を身近に感じない」が 34.6%となっている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



■ 性別・年代別

年代別で見ると、「農業を身近に感じる」は、男性全年代、女性 20 歳代以上で 5 割以上となっており、男性 70 歳以上、女性 60 歳代は 7 割台と高くなっている。また、60 歳代以下の女性では、「農業を身近に感じる」は年代が高くなるほど増加傾向である一方、「農業を身近に感じない」は年代が低くなるほど増加傾向となっている。

単位：%	農業を身近に感じる	農業を身近に感じない	無回答
全体 n=1,475	63.8	34.6	1.6
【性別・年代別】			
男性 n=597	63.0	35.8	1.2
男性18・19歳 n=12	83.3	16.7	0.0
男性20歳代 n=50	50.0	50.0	0.0
男性30歳代 n=53	66.0	34.0	0.0
男性40歳代 n=83	65.1	34.9	0.0
男性50歳代 n=120	54.2	43.3	2.5
男性60歳代 n=113	59.3	38.9	1.8
男性70歳以上 n=166	72.3	26.5	1.2
女性 n=829	64.7	33.5	1.8
女性18・19歳 n=5	40.0	60.0	0.0
女性20歳代 n=57	52.6	47.4	0.0
女性30歳代 n=94	62.8	36.2	1.1
女性40歳代 n=148	63.5	35.8	0.7
女性50歳代 n=174	64.4	35.1	0.6
女性60歳代 n=141	70.9	27.7	1.4
女性70歳以上 n=209	66.0	29.2	4.8

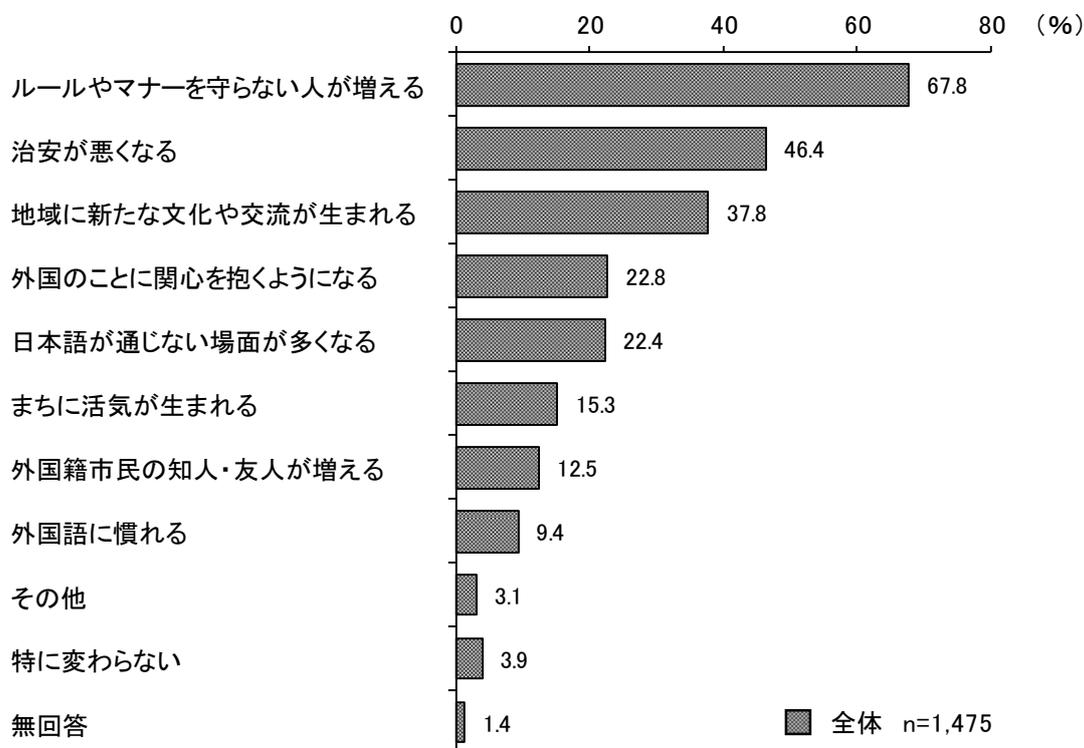
### 3 教育・文化・スポーツについて

#### (1) 外国籍市民が増えることによる効果や影響

◇ 「ルールやマナーを守らない人が増える」が 67.8%

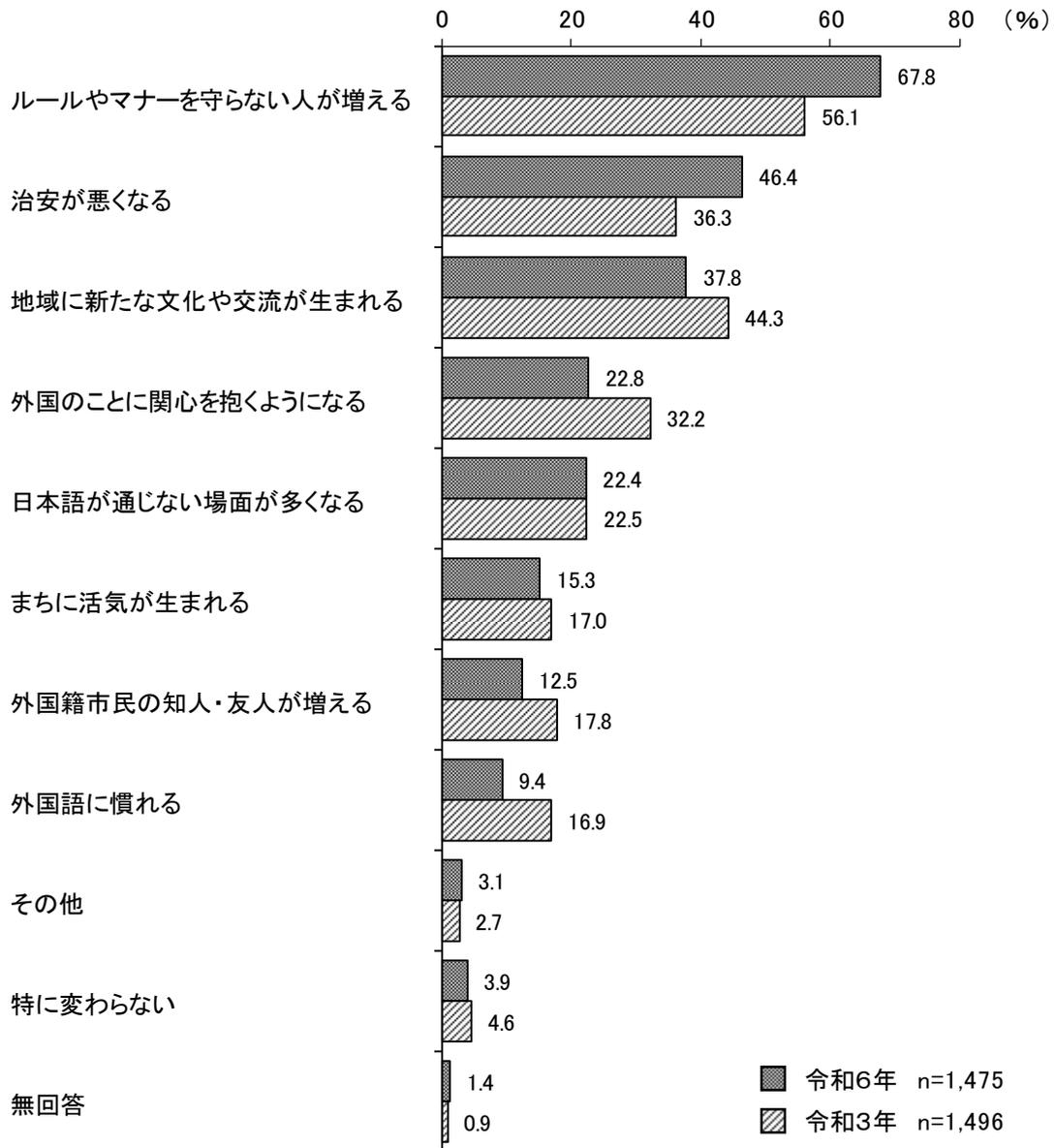
**問 16 あなたは、外国籍市民が増えることについて、どのような効果や影響があると思いますか。  
(いくつでも)**

外国籍市民が増えることによる効果や影響については、「ルールやマナーを守らない人が増える」が 67.8%で最も高く、次いで「治安が悪くなる」が 46.4%、「地域に新たな文化や交流が生まれる」が 37.8%、「外国のことに関心を抱くようになる」が 22.8%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「ルールやマナーを守らない人が増える」は、前回調査と比べ 11.7 ポイント、「治安が悪くなる」は 10.1 ポイント増加している。一方、「地域に新たな文化や交流が生まれる」、「外国のことに興味を抱くようになる」、「外国籍市民の知人・友人が増える」、「外国語に慣れる」は 5 ポイント以上減少している。

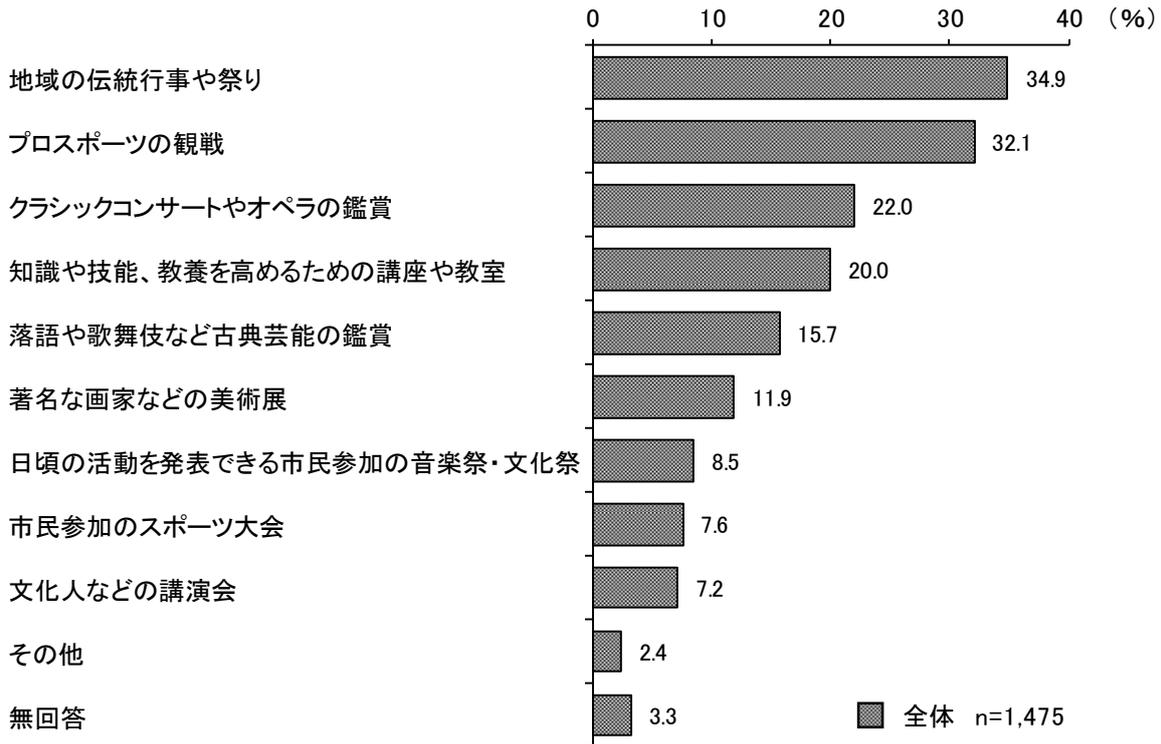


## (2) 興味のある文化・スポーツイベント

◇「地域の伝統行事や祭り」が 34.9%

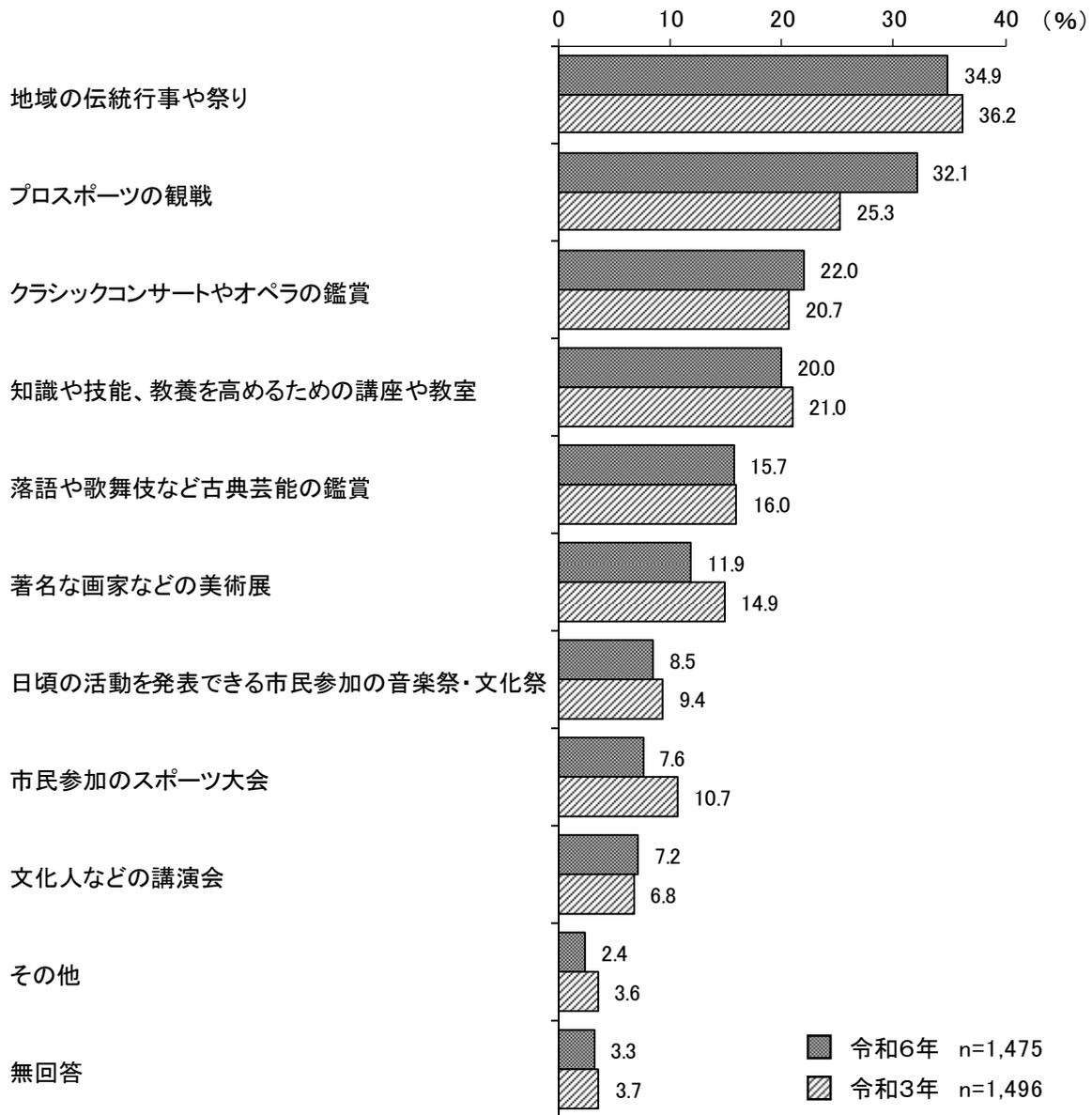
**問 17 あなたは、どのような文化・スポーツイベントに興味がありますか。  
次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで)**

興味のある文化・スポーツイベントについては、「地域の伝統行事や祭り」が 34.9%で最も高く、次いで「プロスポーツの観戦」が 32.1%、「クラシックコンサートやオペラの鑑賞」が 22.0%、「知識や技能、教養を高めるための講座や教室」が 20.0%となっている。



■ 時系列での比較

時系列で見ると、「プロスポーツの観戦」は、前回調査と比べ6.8ポイント増加している。



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、「地域の伝統行事や祭り」は男性30歳代、50歳代、60歳代、および50歳代を除く女性で1位となっている。男性、女性ともに30歳代は5割を超え、男性20歳代、50歳代、女性20歳代も4割台と高くなっている。「プロスポーツの観戦」は男性でより高く、男性20歳代、40歳代、60歳代（同率）などで1位となっている。「クラシックコンサートやオペラの鑑賞」は女性でより高く、女性50歳代は3割を超え1位となっている。また、「落語や歌舞伎など古典芸能の鑑賞」は、男性60歳代以下、および女性では年代が高くなるほど増加傾向となっており、男性60歳代、女性70歳以上は2割を超え高くなっている。一方、「著名な画家などの美術展」は、女性20歳代が3割近くと高くなっている。

単位：%	地域の伝統行事や祭り	プロスポーツの観戦	クラシックコンサートやオペラの鑑賞	知識や技能、教養を高めるための講座や教室	落語や歌舞伎など古典芸能の鑑賞	著名な画家などの美術展
全体 n=1,475	34.9	32.1	22.0	20.0	15.7	11.9

【性別・年代別】

男性 n=597	36.2	39.2	17.6	16.8	15.2	10.4
男性18・19歳 n=12	25.0	58.3	16.7	8.3	8.3	16.7
男性20歳代 n=50	44.0	50.0	14.0	8.0	4.0	10.0
男性30歳代 n=53	52.8	39.6	18.9	15.1	7.5	5.7
男性40歳代 n=83	34.9	49.4	18.1	9.6	13.3	10.8
男性50歳代 n=120	41.7	40.8	15.0	16.7	15.0	9.2
男性60歳代 n=113	33.6	33.6	18.6	25.7	22.1	10.6
男性70歳以上 n=166	27.7	31.9	19.3	18.1	18.1	12.0
女性 n=829	34.1	27.4	25.6	22.7	16.2	13.1
女性18・19歳 n=5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=57	47.4	19.3	21.1	10.5	5.3	28.1
女性30歳代 n=94	54.3	27.7	24.5	18.1	4.3	11.7
女性40歳代 n=148	39.2	35.8	27.0	19.6	14.2	15.5
女性50歳代 n=174	24.7	29.3	32.2	27.0	17.8	11.5
女性60歳代 n=141	32.6	27.7	21.3	24.8	18.4	12.1
女性70歳以上 n=209	26.3	21.1	24.4	25.8	23.4	10.5

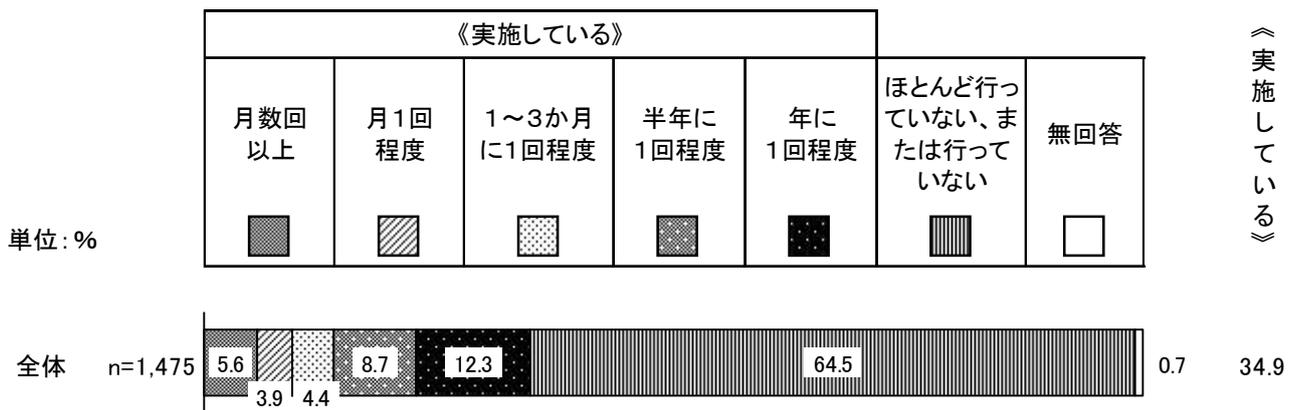
### (3) 文化活動の頻度

◇ 《実施している》が 34.9%

**問 18 あなたは、文化活動をどの程度行っていますか。(1つのみ)**

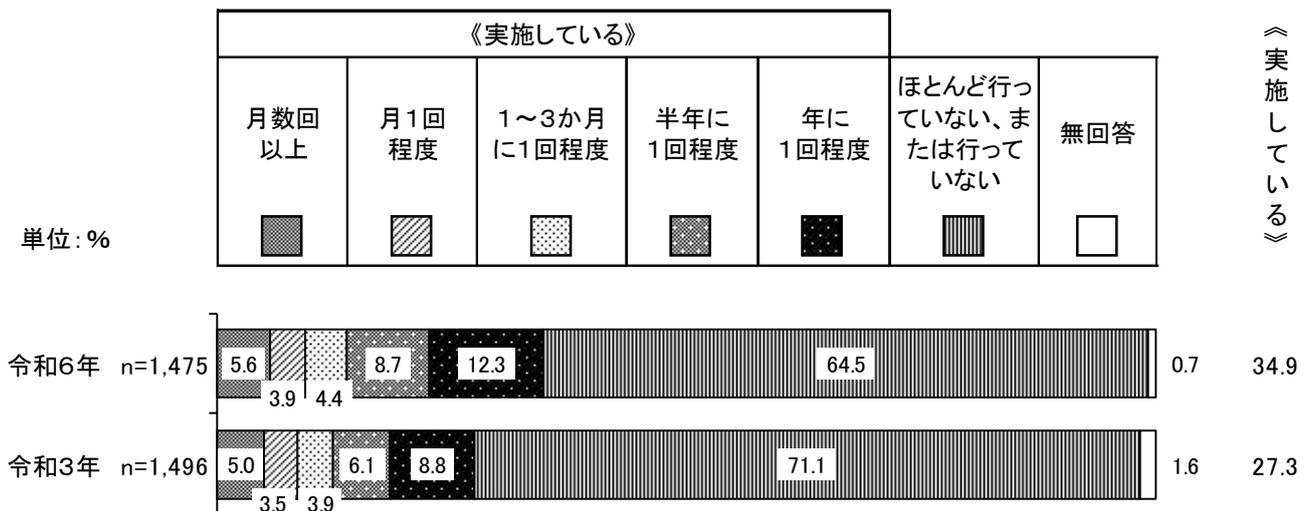
※「文化活動」とは、クラシック音楽、ポピュラー音楽、邦楽、民俗芸能、演芸、文芸、美術等における活動（文化財・歴史的遺産の保存・活用活動は含みません）を想定しています。

文化活動の頻度については、「月数回以上」、「月1回程度」、「1～3か月に1回程度」、「半年に1回程度」、「年に1回程度」の合計値《実施している》が 34.9%となっている。一方で、「ほとんど行っていない、または行っていない」が 64.5%となっている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《実施している》は前回調査より 7.6 ポイント増加している。一方、「ほとんど行っていない、または行っていない」は 6.6 ポイント減少している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、《実施している》は女性が男性より 5.5 ポイント高く、女性 50 歳代、70 歳以上は 4 割台と高くなっている。一方、「ほとんど行っていない、または行っていない」は男女とも全ての年代で 5 割以上となっており、男性 20 歳代、50 歳代、女性 30 歳代は 7 割台と高くなっている。

単位：%	《実施している》					ほとんど行っていない、または行っていない	無回答	《実施している》合計値
	月数回以上	月1回程度	1～3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度			
全体 n=1,475	5.6	3.9	4.4	8.7	12.3	64.5	0.7	34.9

【性別・年代別】

男性 n=597	4.0	3.5	4.0	8.0	12.2	68.0	0.2	31.7
男性18・19歳 n=12	0.0	0.0	8.3	16.7	25.0	50.0	0.0	50.0
男性20歳代 n=50	8.0	2.0	0.0	4.0	16.0	70.0	0.0	30.0
男性30歳代 n=53	3.8	3.8	1.9	9.4	13.2	67.9	0.0	32.1
男性40歳代 n=83	3.6	2.4	4.8	10.8	8.4	69.9	0.0	30.0
男性50歳代 n=120	1.7	4.2	4.2	7.5	9.2	73.3	0.0	26.8
男性60歳代 n=113	6.2	3.5	4.4	8.8	12.4	64.6	0.0	35.3
男性70歳以上 n=166	3.6	4.2	4.8	6.6	13.9	66.3	0.6	33.1
女性 n=829	6.5	4.2	4.7	9.3	12.5	62.2	0.5	37.2
女性18・19歳 n=5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0
女性20歳代 n=57	10.5	3.5	3.5	10.5	10.5	61.4	0.0	38.5
女性30歳代 n=94	6.4	1.1	1.1	11.7	4.3	75.5	0.0	24.6
女性40歳代 n=148	6.8	2.7	6.1	7.4	13.5	63.5	0.0	36.5
女性50歳代 n=174	4.0	5.7	7.5	9.2	15.5	58.0	0.0	41.9
女性60歳代 n=141	5.7	5.0	3.5	7.8	13.5	63.8	0.7	35.5
女性70歳以上 n=209	8.1	5.3	3.8	10.0	13.4	57.9	1.4	40.6

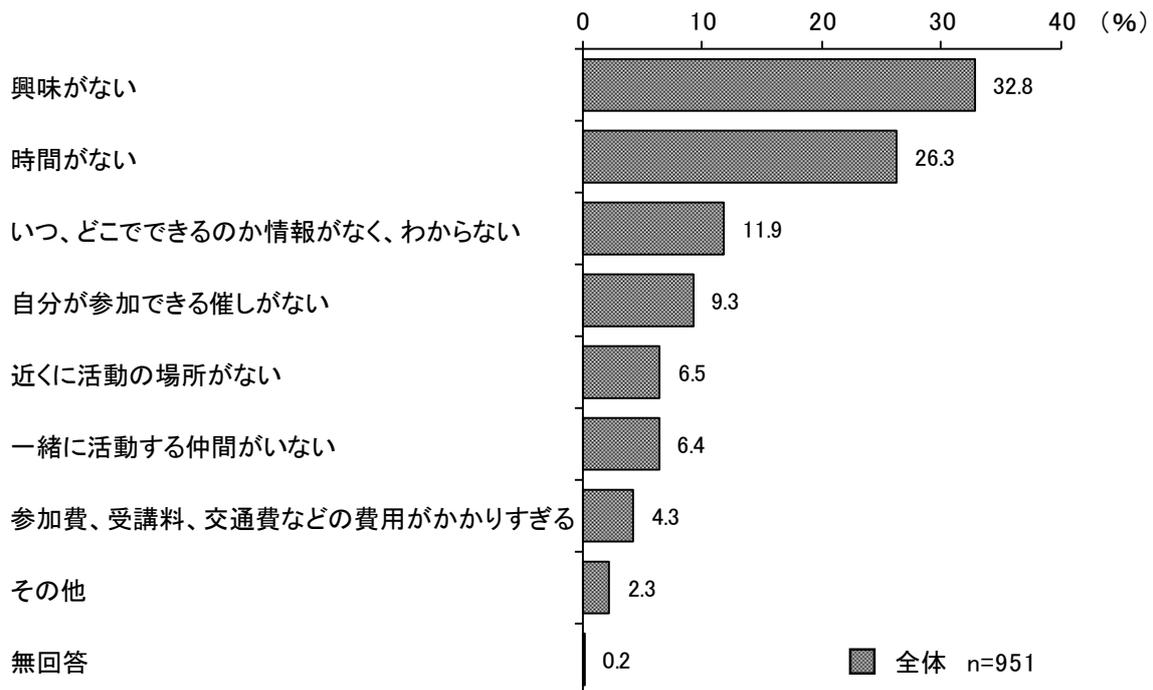
#### (4) 文化活動を行っていない理由

◇「興味がない」が 32.8%

【問 18 で「ほとんど行っていない、または行っていない」と回答した方におたずねします。】

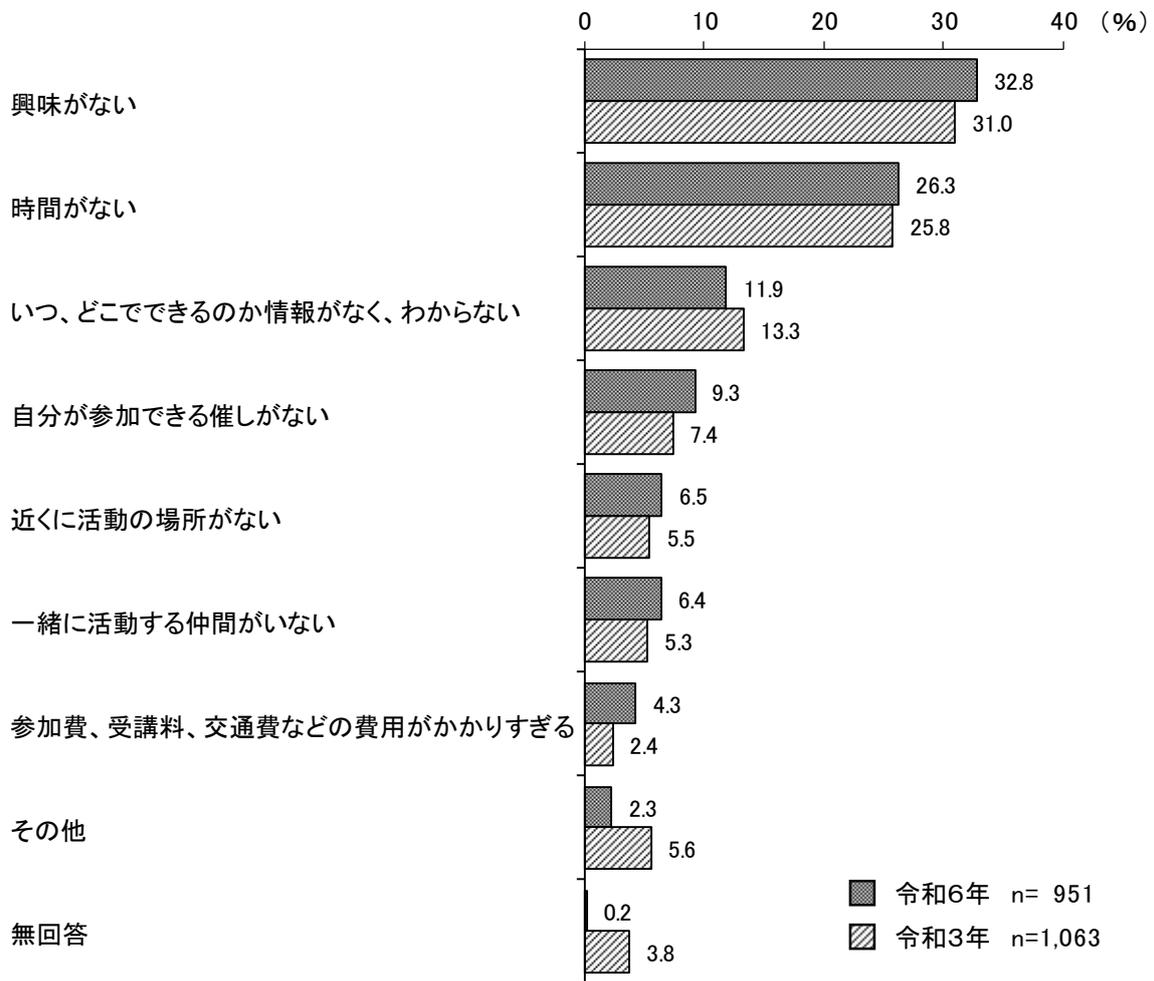
##### 問 18-1 文化活動をほとんど行っていない理由は何ですか。(1つのみ)

文化活動を行っていない理由については、「興味がない」が 32.8%で最も高く、次いで「時間がない」が 26.3%、「いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない」が 11.9%、「自分が参加できる催しがない」が 9.3%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。

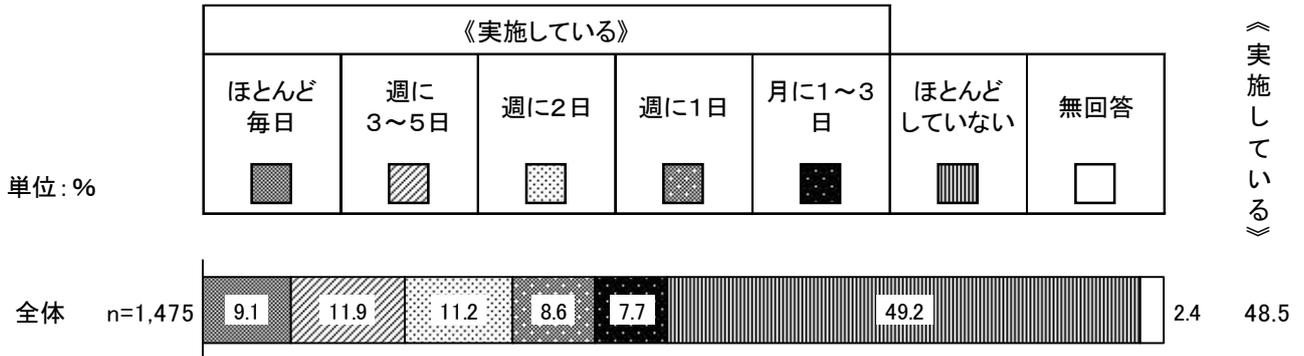


(5) スポーツ・運動の実施頻度

◇ 《実施している》が48.5%

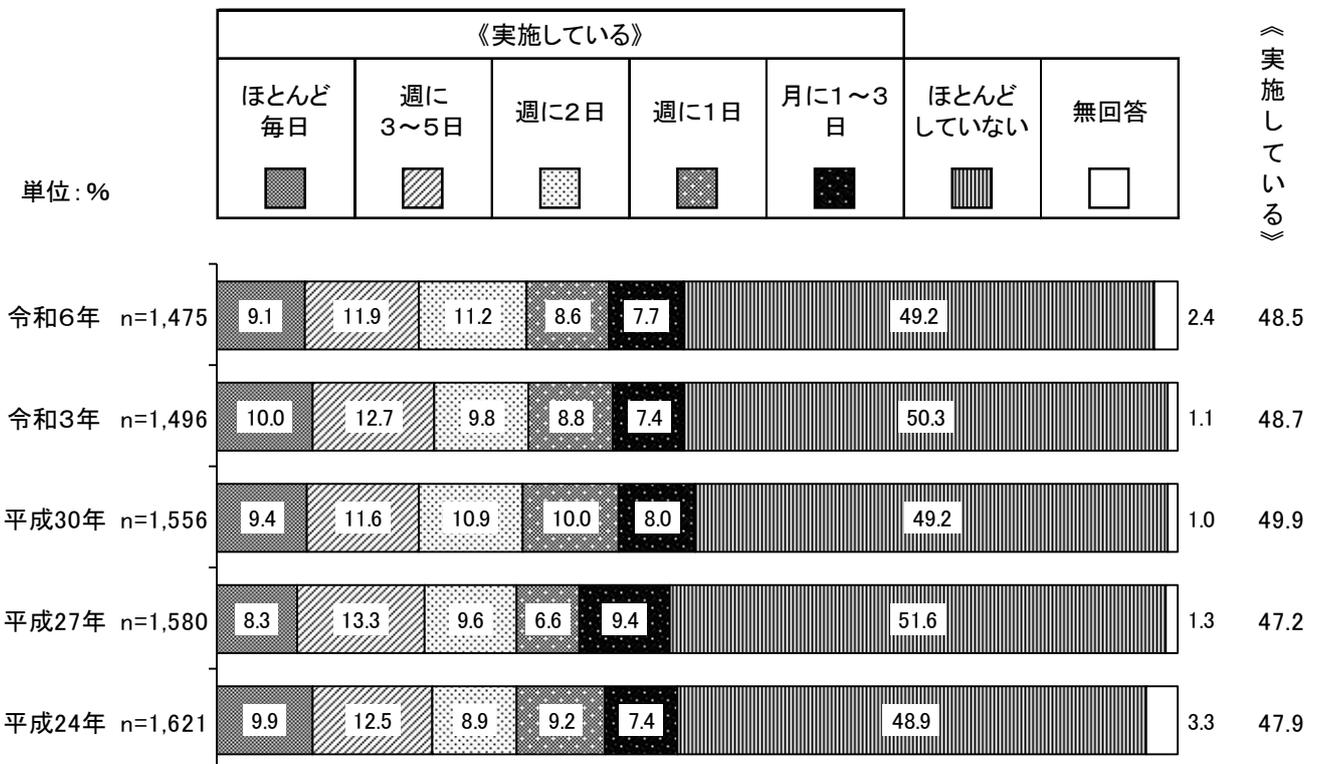
問19 あなたは、1回30分以上のスポーツや運動をどの程度していますか。(1つのみ)

スポーツ・運動の実施頻度については、「ほとんど毎日」、「週に3～5日」、「週に2日」、「週に1日」、「月に1～3日」の合計値《実施している》が48.5%となっている。一方で、「ほとんどしていない」は49.2%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、《実施している》は男性が女性より 9.2 ポイント高く、男性 70 歳以上は 6 割を超え、男性 20 歳代、30 歳代、60 歳代、女性 60 歳代、70 歳以上も 5 割台と高くなっている。男性は 50 歳代、女性は 40 歳代が最も低く、その後は年代が高くなるほど増加傾向にある。一方、「ほとんどしていない」は女性 30 歳代、40 歳代が 6 割台、男性 50 歳代、女性 20 歳代、50 歳代が 5 割台と高くなっている。

単位：%	《実施している》					ほとんど していない	無回答	《実施して いる》 合計値
	ほとんど 毎日	週に 3～5日	週に2日	週に1日	月に1～3 日			
全体 n=1,475	9.1	11.9	11.2	8.6	7.7	49.2	2.4	48.5

【性別・年代別】

男性 n=597	10.6	12.4	14.7	8.7	7.7	44.6	1.3	54.1
男性18・19歳 n=12	25.0	8.3	16.7	8.3	8.3	33.3	0.0	66.6
男性20歳代 n=50	4.0	10.0	14.0	14.0	14.0	44.0	0.0	56.0
男性30歳代 n=53	7.5	5.7	18.9	9.4	9.4	49.1	0.0	50.9
男性40歳代 n=83	7.2	7.2	19.3	9.6	6.0	49.4	1.2	49.3
男性50歳代 n=120	6.7	6.7	9.2	11.7	9.2	56.7	0.0	43.5
男性60歳代 n=113	10.6	15.0	16.8	8.8	5.3	42.5	0.9	56.5
男性70歳以上 n=166	16.9	20.5	13.9	4.2	6.6	34.3	3.6	62.1
女性 n=829	8.0	11.3	9.2	8.4	8.0	52.6	2.5	44.9
女性18・19歳 n=5	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0
女性20歳代 n=57	5.3	7.0	7.0	10.5	7.0	59.6	3.5	36.8
女性30歳代 n=94	5.3	6.4	4.3	8.5	10.6	63.8	1.1	35.1
女性40歳代 n=148	4.7	6.1	6.1	8.8	8.1	66.2	0.0	33.8
女性50歳代 n=174	9.2	6.9	9.2	9.2	7.5	57.5	0.6	42.0
女性60歳代 n=141	4.3	15.6	12.1	9.2	9.9	48.2	0.7	51.1
女性70歳以上 n=209	13.4	19.6	11.5	6.7	6.2	35.4	7.2	57.4

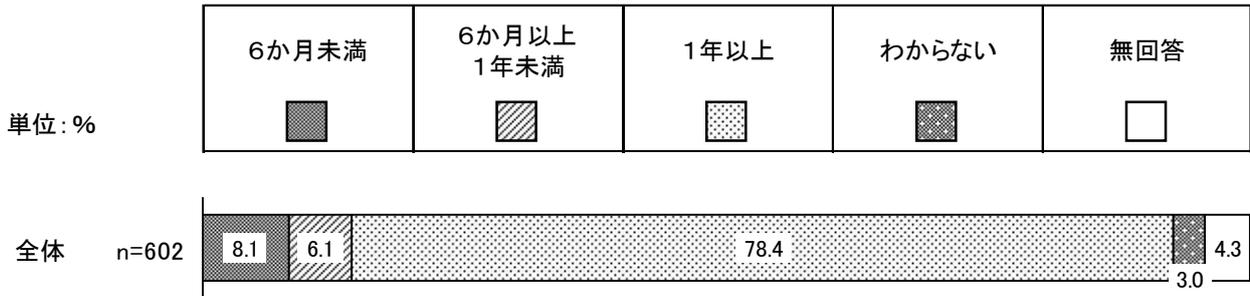
(6) スポーツ・運動を始めてからの期間

◇ 「1年以上」が78.4%

【問19で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」「週に1日」と回答した方におたずねします。】

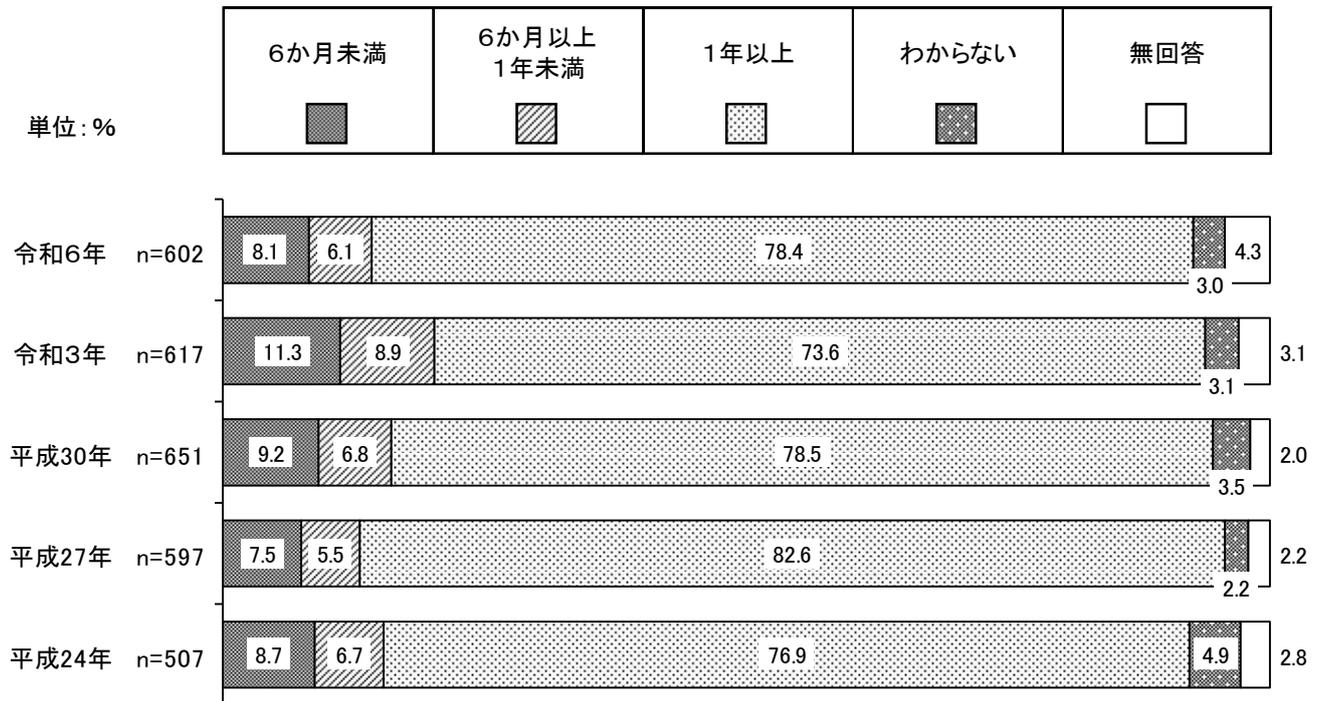
問19-1 スポーツや運動を初めてからどの程度期間が経過していますか。(1つのみ)

スポーツ・運動を始めてからの期間については、「1年以上」が78.4%で最も高く、次いで「6か月未満」が8.1%、「6か月以上1年未満」が6.1%となっている。



■ 時系列での比較

時系列で見ると、「1年以上」は前回調査より4.8ポイント増加している。



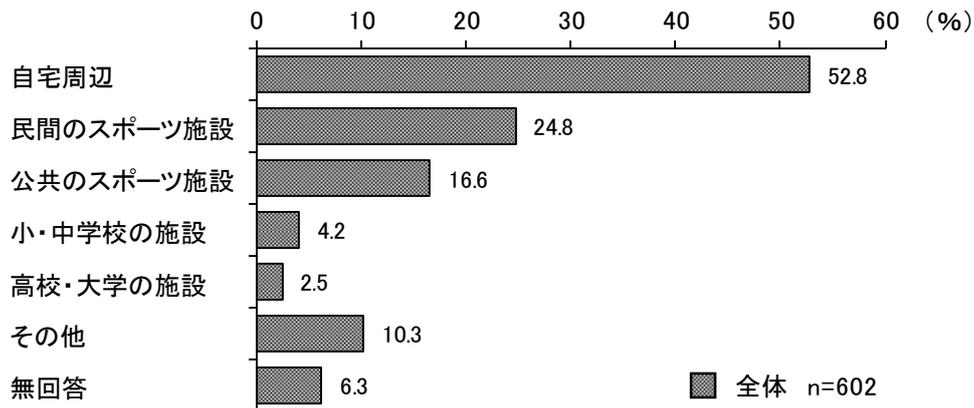
## (7) スポーツ・運動の実施場所

◇「自宅周辺」が52.8%

【問19で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」「週に1日」と回答した方におたずねします。】

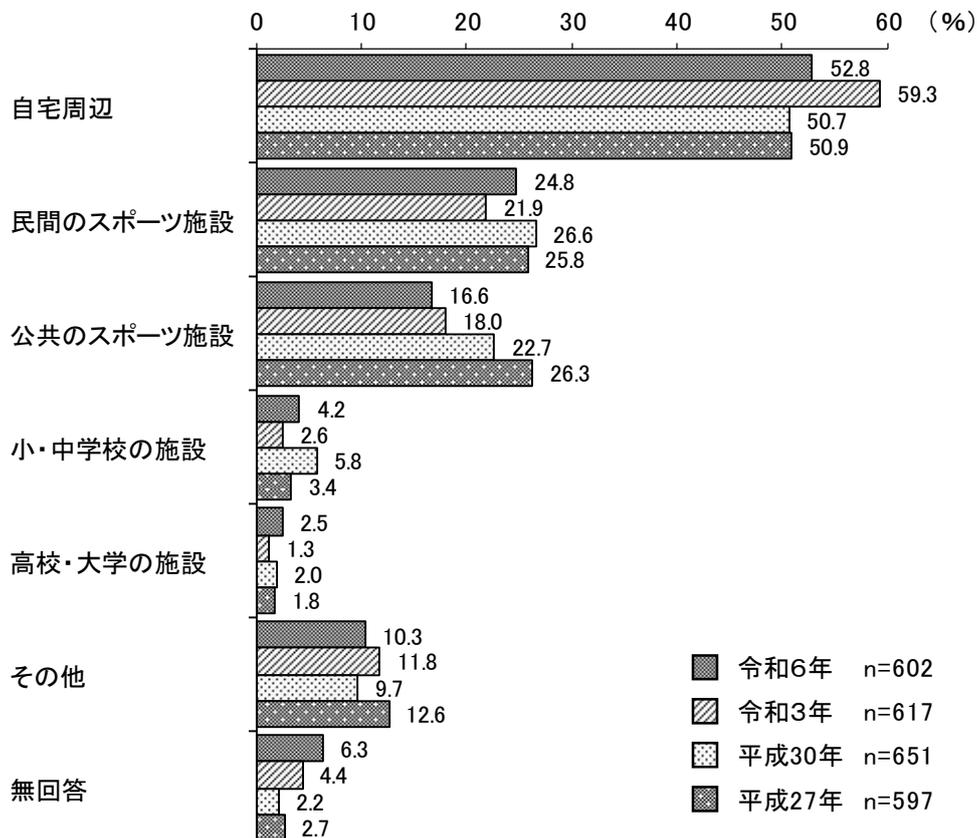
### 問19-2 あなたは、スポーツや運動をどこで行っていますか。(いくつでも)

スポーツ・運動の実施場所については、「自宅周辺」が52.8%で最も高く、次いで「民間のスポーツ施設」が24.8%、「公共のスポーツ施設」が16.6%、「小・中学校の施設」が4.2%となっている。



### ■ 時系列での比較

時系列で見ると、「自宅周辺」は前回調査より6.5ポイント減少している。また、「公共のスポーツ施設」は減少傾向が続いており、前回調査より1.4ポイント、平成27年度より9.7ポイント減少している。

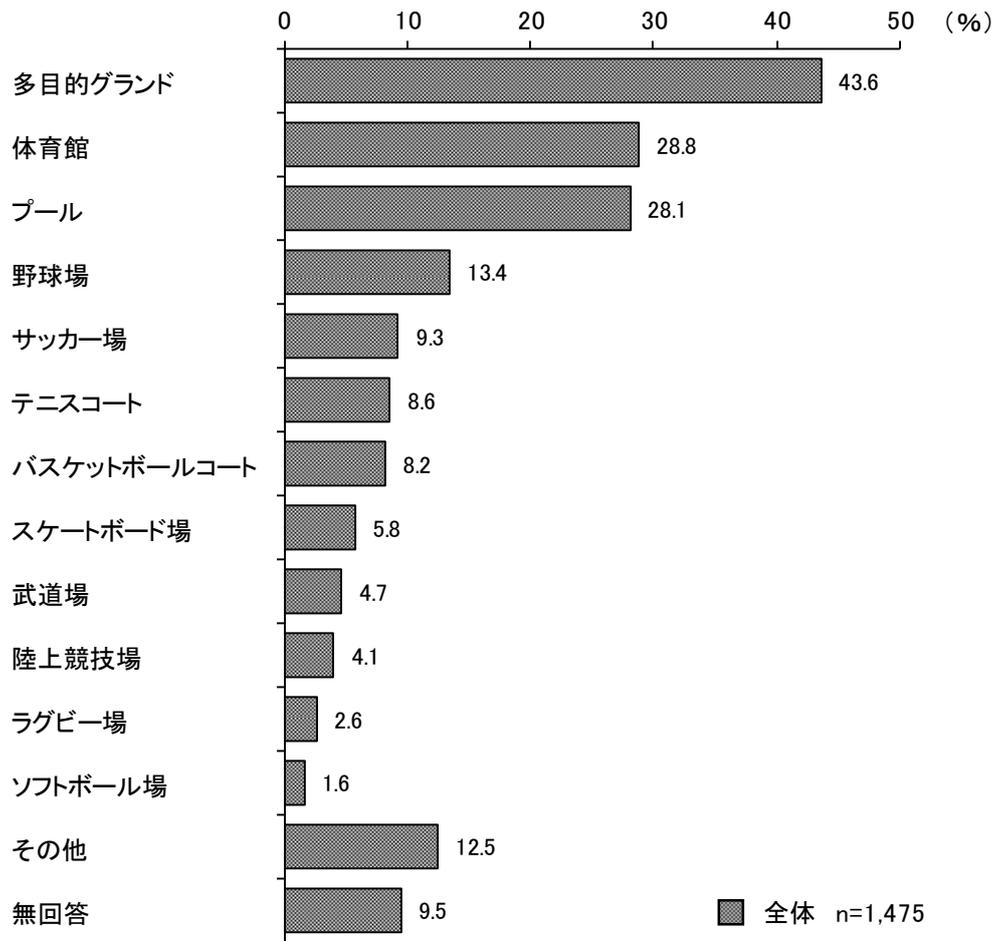


(8) 望まれるスポーツ施設

◇「多目的グラウンド」が43.6%

**問 20 あなたは、今後、川越市内にどのようなスポーツ施設があると良いと思いますか。  
(いくつでも)**

望まれるスポーツ施設については、「多目的グラウンド」が 43.6%で最も高く、次いで「体育館」が 28.8%、「プール」が 28.1%、「野球場」が 13.4%となっている。

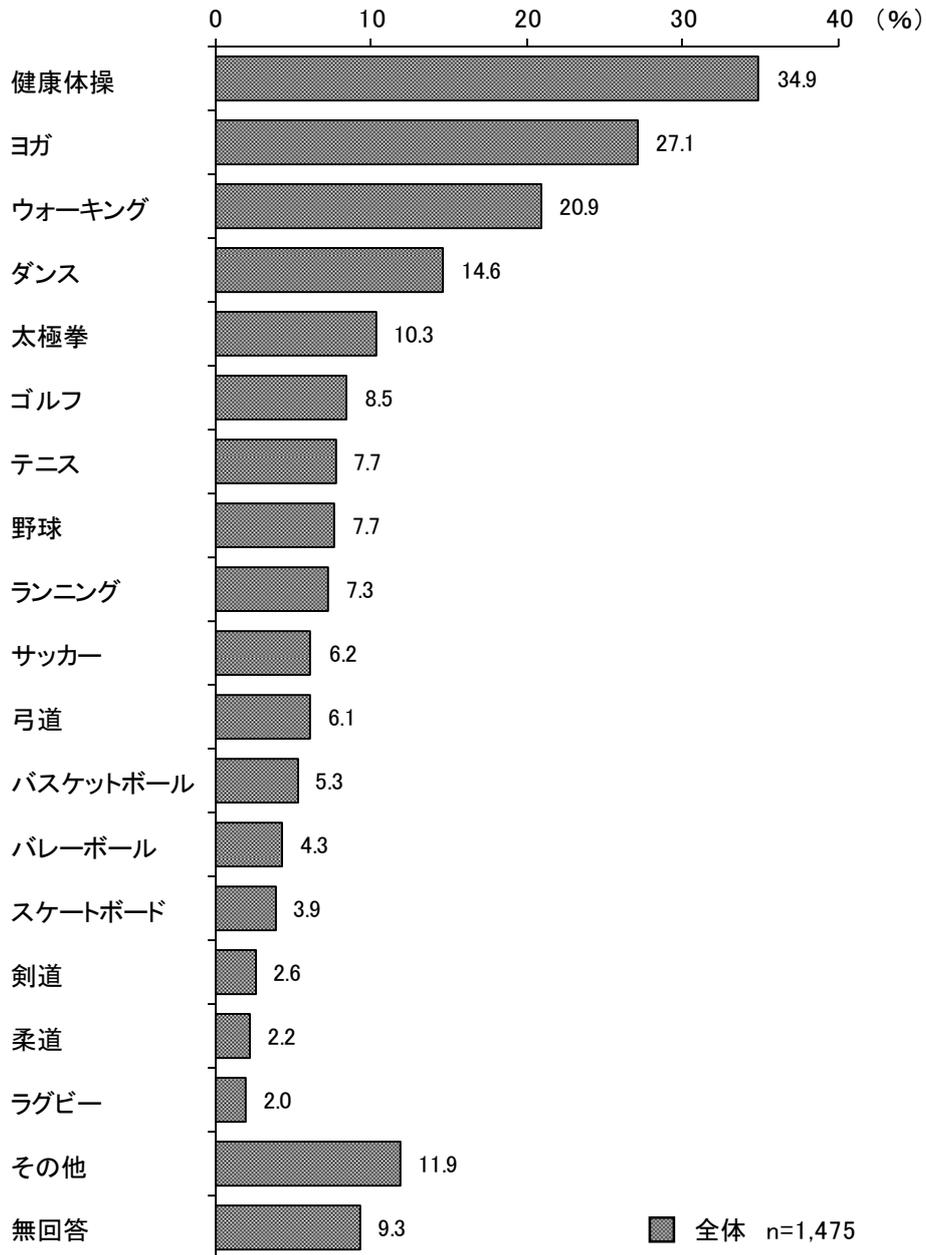


(9) 望まれるスポーツ教室

◇「健康体操」が 34.9%

問 21 あなたは、川越市にどのようなスポーツ教室の開催を望みますか。(いくつでも)

望まれるスポーツ教室については、「健康体操」が 34.9%で最も高く、次いで「ヨガ」が 27.1%、「ウォーキング」が 20.9%、「ダンス」が 14.6%となっている。



## 4 保健・医療・福祉・子どもについて

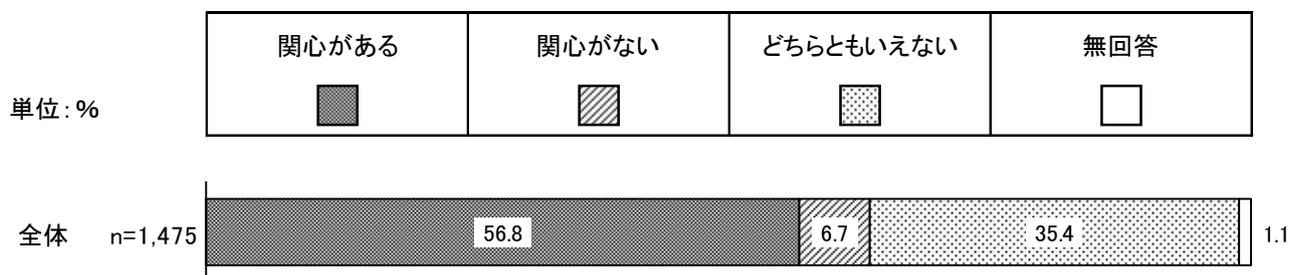
### (1) 福祉への関心

◇ 「関心がある」が 56.8%

#### 問 22 あなたは、福祉に関心がありますか。(1つのみ)

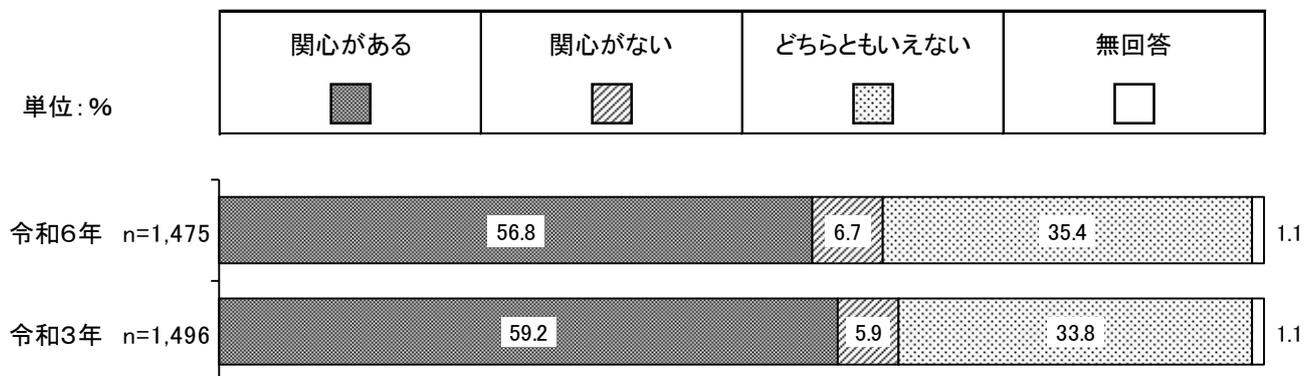
※ 「福祉」とは、「生活困窮者・障害者・高齢者・子どもに関する福祉のほか、地域における身近な支え合い」などを想定しています。

福祉への関心については、「関心がある」が 56.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 35.4%、「関心がない」が 6.7%となっている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、前回調査と大きな差はみられない。



## ■年代別

年代別でみると、「関心がある」では、70歳以上が6割半ばで最も高く、20～60歳代は5割台となっている。一方、「関心がない」では、20歳代が2割で最も高く、60歳代にかけ年代が高くなるほど減少する傾向となっている。

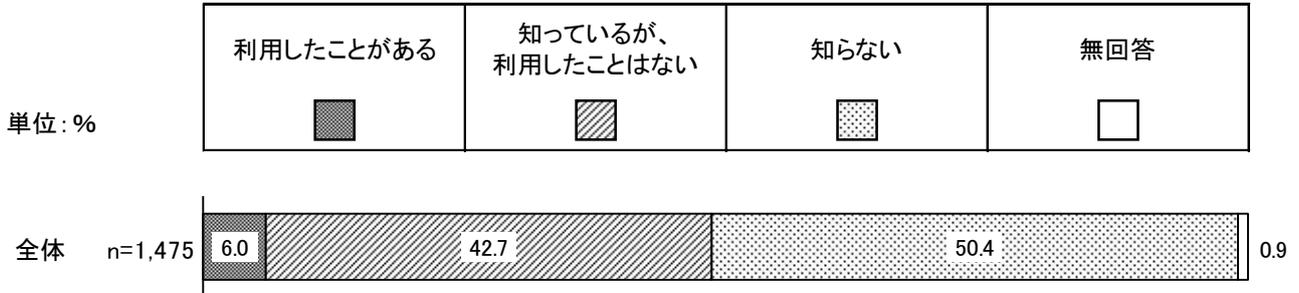
単位：%	関心がある	関心がない	どちらともいえない	無回答
全体 n=1,475	56.8	6.7	35.4	1.1
【年代別】				
18・19歳 n=17	35.3	11.8	52.9	0.0
20歳代 n=110	50.0	20.0	30.0	0.0
30歳代 n=150	56.0	10.7	33.3	0.0
40歳代 n=238	54.2	8.4	37.0	0.4
50歳代 n=297	54.9	6.1	38.7	0.3
60歳代 n=257	56.8	2.7	40.5	0.0
70歳以上 n=375	64.3	3.2	30.4	2.1

(2) 福祉総合相談窓口の認知状況

◇ 「知らない」が50.4%

問 23 福祉総合相談窓口を知っていますか。(1つのみ)

福祉総合相談窓口の認知状況については、「知らない」が50.4%で最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が42.7%、「利用したことがある」が6.0%となっている。



■年代別

年代別で見ると、「利用したことがある」は70歳以上が最も高いが、全ての年代で1割未満となっている。「知っているが、利用したことはない」は70歳以上で5割を超え、30～60歳代は4割台となっている。一方、「知らない」は20歳代でほぼ6割となっているが、30～50歳代は5割台、60歳代はほぼ5割、70歳以上は4割近くと、おおむね年代が高くなるほど減少傾向となっている。

単位: %	利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない	無回答
全体 n=1,475	6.0	42.7	50.4	0.9

【年代別】

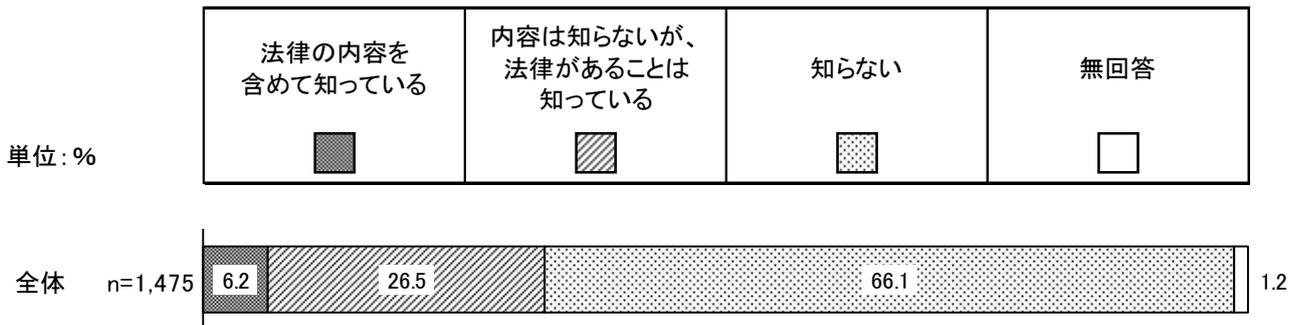
年代	利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない	無回答
18・19歳 n=17	0.0	11.8	88.2	0.0
20歳代 n=110	4.5	34.5	60.9	0.0
30歳代 n=150	3.3	40.0	56.7	0.0
40歳代 n=238	5.5	41.2	53.4	0.0
50歳代 n=297	4.4	40.1	55.2	0.3
60歳代 n=257	8.2	41.6	49.8	0.4
70歳以上 n=375	8.3	51.7	38.4	1.6

### (3) 障害者差別解消法の認知状況

◇ 「知らない」が66.1%

#### 問 24 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(1つのみ)

障害者差別解消法の認知状況については、「知らない」が66.1%で最も高く、次いで「内容は知らないが、法律があることは知っている」が26.5%、「法律の内容を含めて知っている」が6.2%となっている。



#### ■年代別

年代別でみると、「法律の内容を含めて知っている」は20歳代が最も高いが、全ての年代で1割未満となっている。「内容は知らないが、法律があることは知っている」は60歳代、70歳以上で3割台となっている。一方、「知らない」は30歳代、40歳代で7割台、他の年代も6割台となっている。

単位：%

	法律の内容を含めて知っている	内容は知らないが、法律があることは知っている	知らない	無回答
全体 n=1,475	6.2	26.5	66.1	1.2

#### 【年代別】

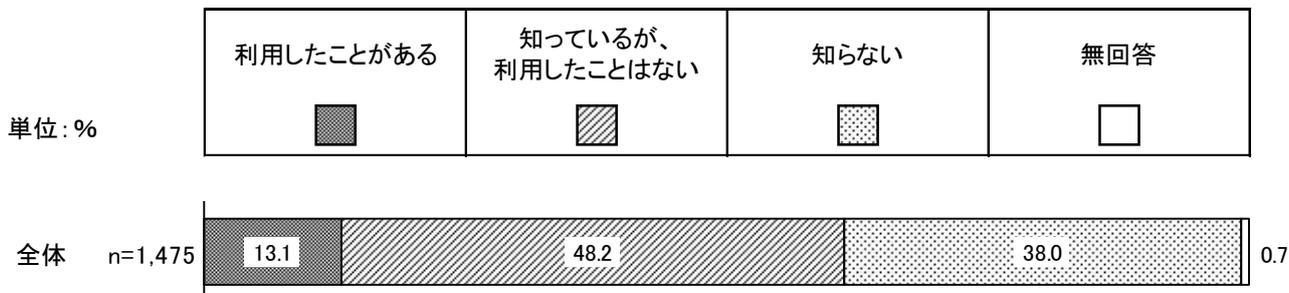
年代	法律の内容を含めて知っている	内容は知らないが、法律があることは知っている	知らない	無回答
18・19歳 n=17	0.0	35.3	64.7	0.0
20歳代 n=110	9.1	28.2	62.7	0.0
30歳代 n=150	5.3	20.0	74.7	0.0
40歳代 n=238	8.8	18.1	73.1	0.0
50歳代 n=297	8.8	24.6	66.3	0.3
60歳代 n=257	5.8	30.7	63.4	0.0
70歳以上 n=375	2.9	32.5	62.1	2.4

### (4) 地域包括支援センターの認知状況

◇ 「知っているが、利用したことはない」が48.2%

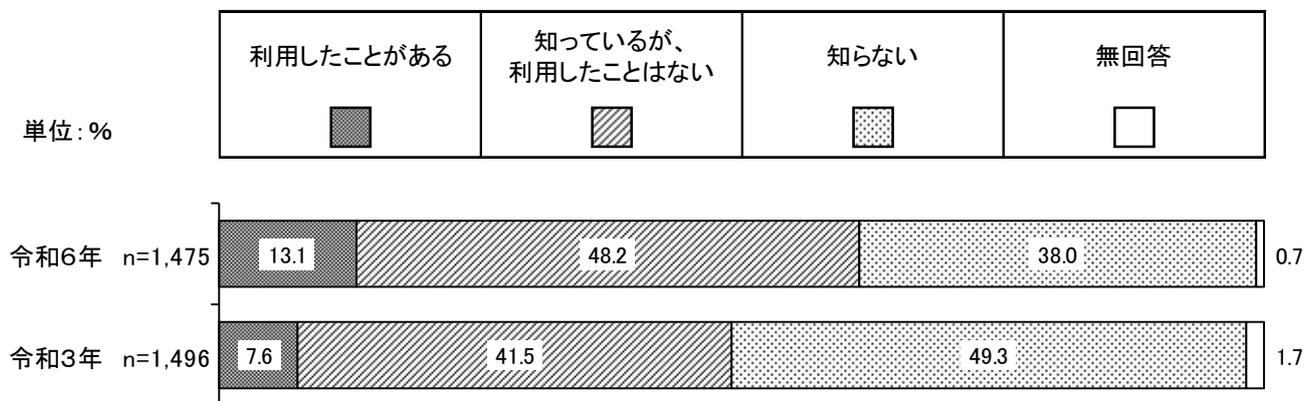
**問 25 高齢者の身近な相談窓口である「地域包括支援センター」を知っていますか。(1つのみ)**

地域包括支援センターの認知状況については、「知っているが、利用したことはない」が48.2%で最も高く、次いで「知らない」が38.0%、「利用したことがある」が13.1%となっている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、「知っているが、利用したことはない」は前回調査より6.7ポイント、「利用したことがある」は5.5ポイント増加している。一方、「知らない」は前回調査より11.3ポイント減少している。



## ■年代別

年代別で見ると、「利用したことがある」は60歳代が最も高く、50歳代、70歳以上も2割近くとなっている。「知っているが、利用したことはない」は30歳代を除き、おおむね年代が高くなるほど増加傾向にあり、60歳代、70歳以上は5割台となっている。一方、「知らない」は20歳代で6割を超え、30歳代、40歳代は5割台となっているが、以降は年代が高くなるにつれ減少傾向となり、70歳以上は2割半ばとなっている。

単位: %	利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない	無回答
全体 n=1,475	13.1	48.2	38.0	0.7

## 【年代別】

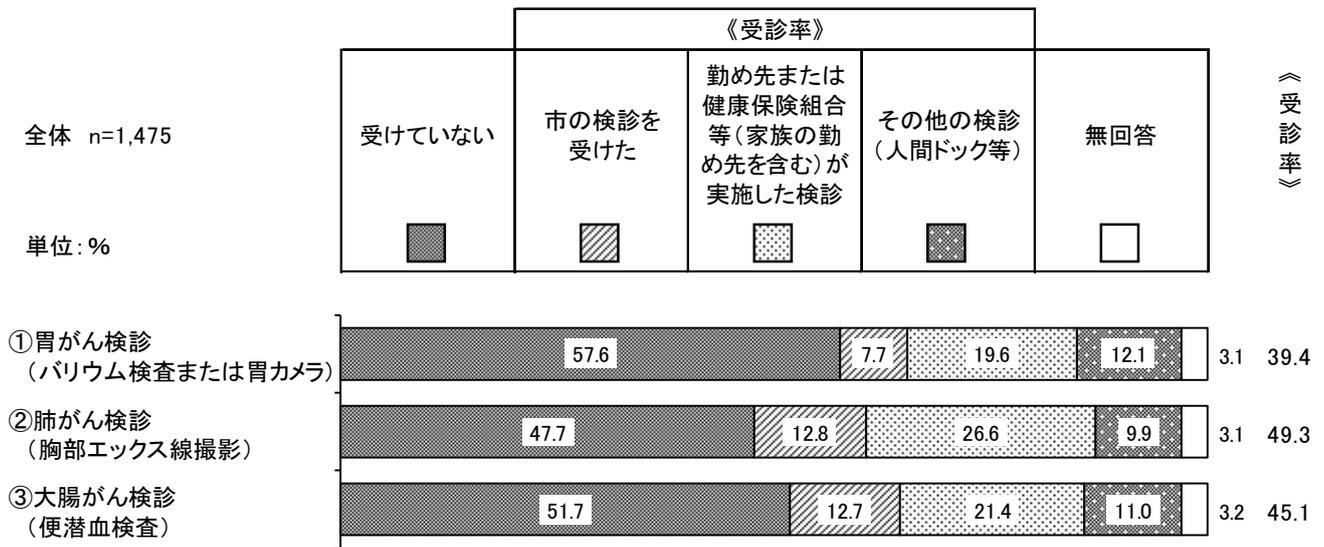
18・19歳 n=17	0.0	11.8	88.2	0.0
20歳代 n=110	2.7	33.6	63.6	0.0
30歳代 n=150	1.3	48.7	50.0	0.0
40歳代 n=238	5.9	42.4	51.7	0.0
50歳代 n=297	18.2	48.8	33.0	0.0
60歳代 n=257	19.8	51.0	29.2	0.0
70歳以上 n=375	18.1	56.3	24.5	1.1

(5) 胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診状況

◇①胃がん検診受診率：39.4%、②肺がん検診受診率：49.3%、③大腸がん検診受診率：45.1%

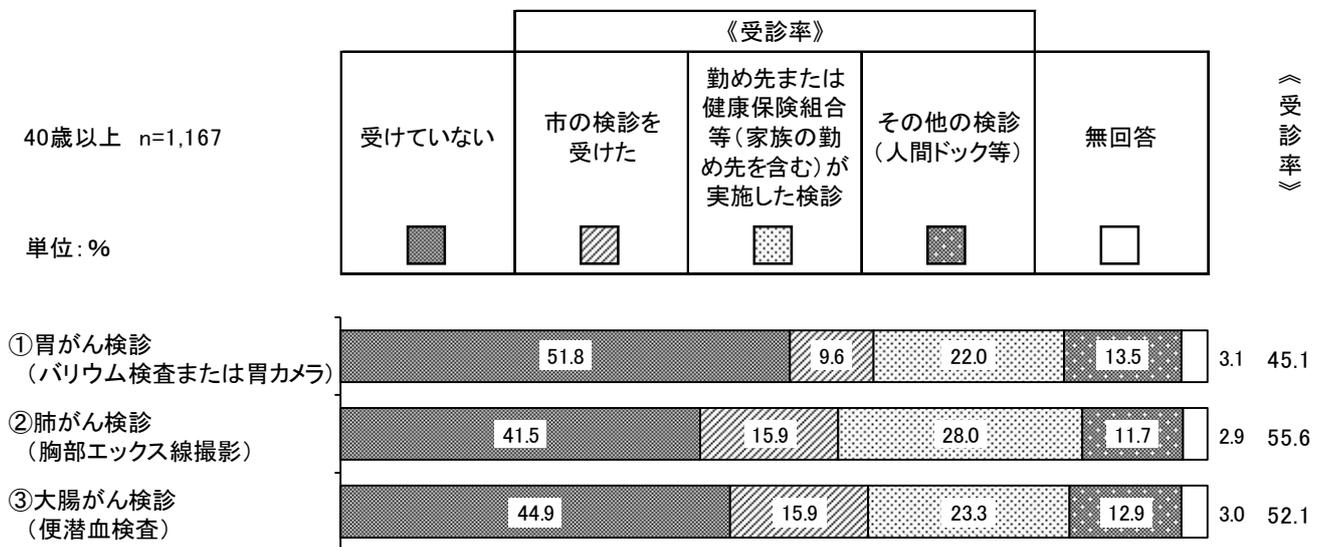
問 26 あなたは過去1年間に次の検診を受けたことがありますか。(治療や診断のための検査は除きます) ※①から③のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診状況について、「市の検診を受けた」、「勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診」、「その他の検診(人間ドック等)」の合計値《受診率》は、『②肺がん検診(胸部エックス線撮影)』が49.3%で最も高く、次いで『③大腸がん検診(便潜血検査)』が45.1%、『①胃がん検診(バリウム検査または胃カメラ)』が39.4%となっている。



■胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診状況(40歳以上の方)

40歳以上の《受診率》をみると、『②肺がん検診(胸部エックス線撮影)』が55.6%で最も高くなっている。



■性別・年代別 ①胃がん検診（バリウム検査または胃カメラ）の受診状況

性別・年代別でみると、《受診率》は男性が女性より12.0ポイント高く、40歳代、60歳代は20ポイント前後高くなっている。男性の《受診率》は60歳代が6割で最も高く、40歳代、50歳代は5割台、70歳以上は4割半ばとなっている。女性の《受診率》は50歳代が4割半ばで最も高く、40歳代、60歳代、70歳以上は3割台となっている。

単位：%	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答	
全体 n=1,475	57.6	7.7	19.6	12.1	3.1	39.4

【性別・年代別】

男性 n=597	50.1	8.9	24.5	13.2	3.4	46.6
男性18・19歳 n=12	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性20歳代 n=50	92.0	0.0	4.0	4.0	0.0	8.0
男性30歳代 n=53	73.6	0.0	20.8	5.7	0.0	26.5
男性40歳代 n=83	41.0	0.0	44.6	14.5	0.0	59.1
男性50歳代 n=120	40.8	1.7	44.2	10.8	2.5	56.7
男性60歳代 n=113	38.1	14.2	26.5	19.5	1.8	60.2
男性70歳以上 n=166	45.8	21.1	7.8	16.3	9.0	45.2

女性 n=829	63.3	7.0	16.6	11.0	2.1	34.6
女性18・19歳 n=5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=57	94.7	0.0	1.8	1.8	1.8	3.6
女性30歳代 n=94	73.4	0.0	16.0	10.6	0.0	26.6
女性40歳代 n=148	60.8	2.7	29.7	6.8	0.0	39.2
女性50歳代 n=174	54.0	4.6	29.3	10.3	1.7	44.2
女性60歳代 n=141	61.0	10.6	12.1	15.6	0.7	38.3
女性70歳以上 n=209	60.3	14.8	4.8	14.4	5.7	34.0

■性別・年代別 ②肺がん検診（胸部エックス線撮影）の受診状況

性別・年代別で見ると、《受診率》は男性が女性より9.1ポイント高く、60歳代は20ポイント以上、40歳代、70歳以上も10ポイント以上高くなっている。男性の《受診率》は60歳代が7割を超え最も高く、40歳代、50歳代は6割台、70歳以上は6割近くとなっている。女性の《受診率》は50歳代が6割近くで最も高く、60歳代もほぼ5割となっている。

単位：%	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答	
全体 n=1,475	47.7	12.8	26.6	9.9	3.1	49.3

【性別・年代別】

男性 n=597	41.5	13.7	30.0	11.2	3.5	54.9
男性18・19歳 n=12	91.7	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3
男性20歳代 n=50	82.0	0.0	14.0	4.0	0.0	18.0
男性30歳代 n=53	67.9	0.0	32.1	0.0	0.0	32.1
男性40歳代 n=83	37.3	1.2	51.8	8.4	1.2	61.4
男性50歳代 n=120	35.0	4.2	45.8	11.7	3.3	61.7
男性60歳代 n=113	26.5	20.4	34.5	16.8	1.8	71.7
男性70歳以上 n=166	34.3	31.9	10.2	15.1	8.4	57.2

女性 n=829	52.5	12.3	24.8	8.7	1.7	45.8
女性18・19歳 n=5	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
女性20歳代 n=57	77.2	0.0	19.3	1.8	1.8	21.1
女性30歳代 n=94	69.1	0.0	25.5	5.3	0.0	30.8
女性40歳代 n=148	52.0	4.1	37.8	6.1	0.0	48.0
女性50歳代 n=174	42.5	6.3	40.8	9.8	0.6	56.9
女性60歳代 n=141	48.2	16.3	24.8	9.2	1.4	50.3
女性70歳以上 n=209	48.8	29.7	3.8	12.9	4.8	46.4

■性別・年代別 ③大腸がん検診（便潜血検査）の受診状況

性別・年代別でみると、《受診率》は男性が女性より4.8ポイント高く、60歳代は16.8ポイント高くなっている。男性の《受診率》は60歳代が6割半ばで最も高く、40歳代、50歳代、70歳以上は5割台となっている。女性の《受診率》は50歳代が5割を超え最も高く、40歳代、60歳代、70歳以上は4割台となっている。

単位：%	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答	
全体 n=1,475	51.7	12.7	21.4	11.0	3.2	45.1

【性別・年代別】

男性 n=597	47.7	12.4	24.6	11.6	3.7	48.6
男性18・19歳 n=12	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性20歳代 n=50	92.0	0.0	2.0	4.0	2.0	6.0
男性30歳代 n=53	73.6	0.0	24.5	1.9	0.0	26.4
男性40歳代 n=83	44.6	1.2	44.6	8.4	1.2	54.2
男性50歳代 n=120	40.0	3.3	40.0	14.2	2.5	57.5
男性60歳代 n=113	31.9	19.5	31.0	15.9	1.8	66.4
男性70歳以上 n=166	40.4	28.3	7.8	14.5	9.0	50.6

女性 n=829	54.4	13.3	19.9	10.6	1.8	43.8
女性18・19歳 n=5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=57	89.5	0.0	7.0	1.8	1.8	8.8
女性30歳代 n=94	69.1	0.0	25.5	5.3	0.0	30.8
女性40歳代 n=148	52.7	8.1	31.8	7.4	0.0	47.3
女性50歳代 n=174	48.3	5.7	33.9	11.5	0.6	51.1
女性60歳代 n=141	48.9	17.0	17.7	14.9	1.4	49.6
女性70歳以上 n=209	46.9	30.6	2.9	14.4	5.3	47.9

(6) 子宮頸がん検診、乳がん検診の受診状況

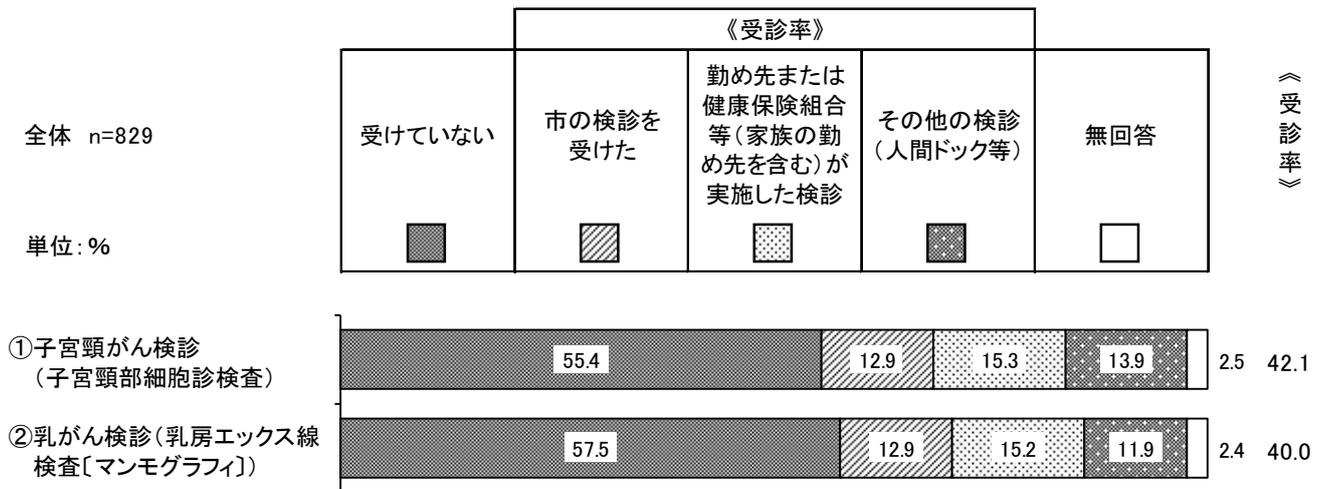
◇①子宮頸がん検診受診率：42.1%、②乳がん検診受診率：40.0%

【女性の方におたずねします。】

問 27 あなたは過去2年間に次の検診を受けたことがありますか。

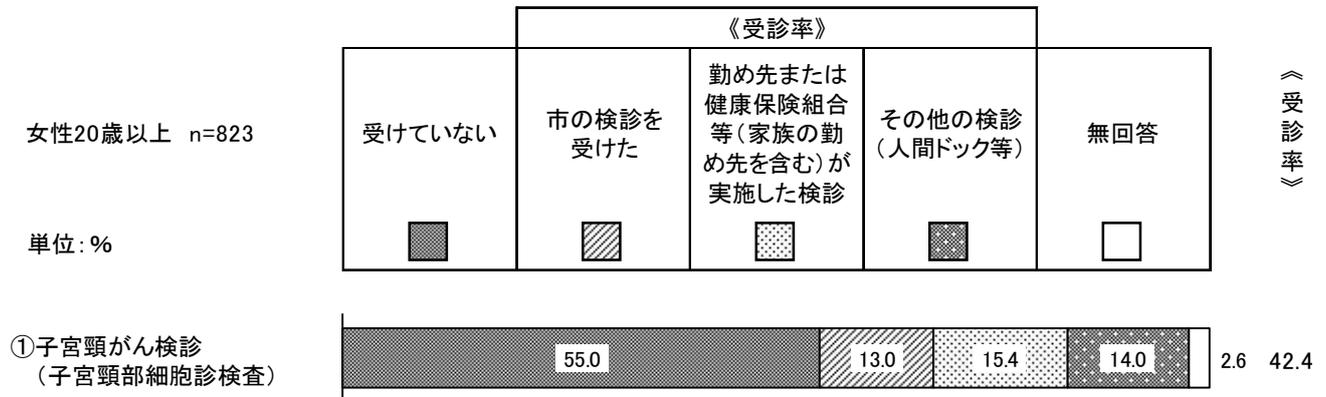
※①、②のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

子宮頸がん検診、乳がん検診の受診状況について、「市の検診を受けた」、「勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診」、「その他の検診（人間ドック等）」の合計値《受診率》は、『①子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）』が42.1%、『②乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）』が40.0%となっている。



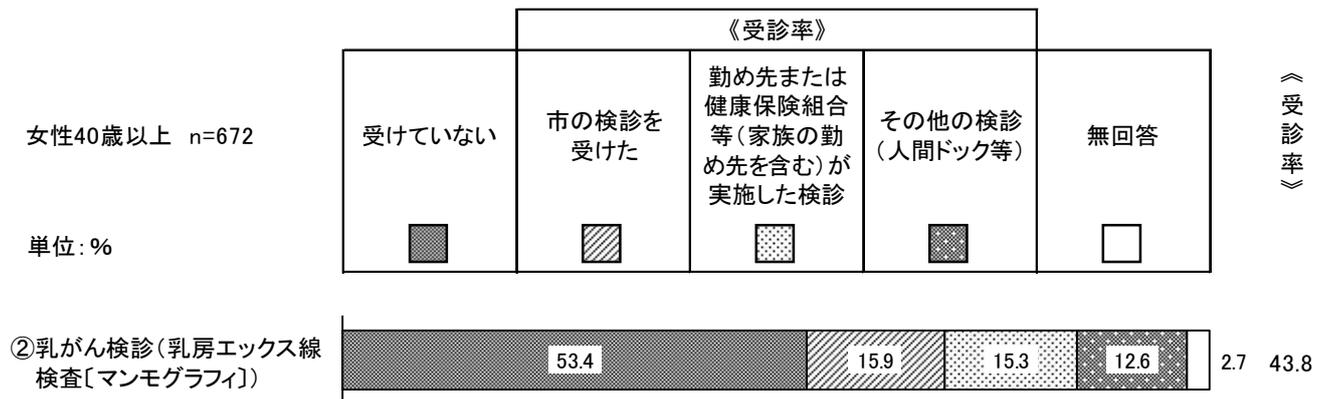
■①子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）の受診状況（女性 20 歳以上の方）

女性 20 歳以上の《受診率》は 42.4%となっている。



■②乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）の受診状況（女性 40 歳以上の方）

女性 40 歳以上の《受診率》は 43.8%となっている。



■年代別 ①子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）の受診状況

年代別でみると、《受診率》は40歳代がほぼ6割で最も高く、30歳代、50歳代も5割台となっている。一方、30～50歳代から年代が離れるほど《受診率》は低下する傾向にあり、70歳以上は2割と低くなっている。

単位：%	受けていない	《受診率》			無回答	《受診率》 合計値
		市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診	その他の検診（人間ドック等）		
全体 n=829	55.4	12.9	15.3	13.9	2.5	42.1

【年代別】

18・19歳 n=5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代 n=57	64.9	17.5	12.3	3.5	1.8	33.3
30歳代 n=94	41.5	7.4	24.5	26.6	0.0	58.5
40歳代 n=148	39.2	17.6	25.0	18.2	0.0	60.8
50歳代 n=174	44.8	14.9	24.1	14.9	1.1	53.9
60歳代 n=141	62.4	14.2	10.6	9.9	2.8	34.7
70歳以上 n=209	73.2	8.6	1.4	10.0	6.7	20.0

■年代別 ②乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）の受診状況

年代別でみると、《受診率》は50歳代が6割近くで最も高く、40歳代も5割半ばとなっている。一方、40～50歳代から年代が離れるほど《受診率》は低下する傾向にある。

単位：%	受けていない	《受診率》			無回答	《受診率》 合計値
		市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診	その他の検診（人間ドック等）		
全体 n=829	57.5	12.9	15.2	11.9	2.4	40.0

【年代別】

18・19歳 n=5	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
20歳代 n=57	89.5	0.0	7.0	1.8	1.8	8.8
30歳代 n=94	66.0	0.0	19.1	13.8	1.1	32.9
40歳代 n=148	45.3	16.2	26.4	12.2	0.0	54.8
50歳代 n=174	41.4	18.4	24.1	14.4	1.7	56.9
60歳代 n=141	56.0	16.3	12.8	12.1	2.8	41.2
70歳以上 n=209	67.5	13.4	1.9	12.0	5.3	27.3

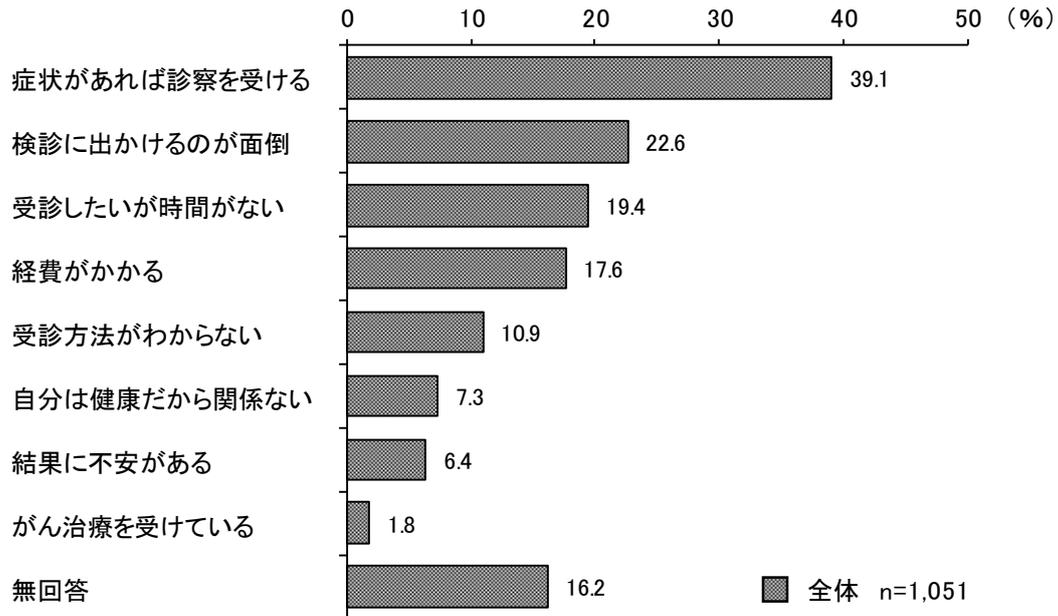
## (7) がん検診を受診していない理由

◇「症状があれば診察を受ける」が 39.1%

【問 26、問 27 でひとつでも「受けていない」と回答した方におたずねします。】

## 問 28 がん検診を受診しない理由は何ですか。(いくつでも)

がん検診を受診していない理由については、「症状があれば診察を受ける」が 39.1%で最も高く、次いで「検診に出かけるのが面倒」が 22.6%、「受診したいが時間がない」が 19.4%、「経費がかかる」が 17.6%となっている。



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「自分は健康だから関係ない」は男性、「受診したいが時間がない」は女性でより高くなっている。「症状があれば診察を受ける」は男女とも30歳代、40歳代を除く年代で1位となっており、70歳以上は男女とも5割台となっている。一方、30歳代、40歳代は、男性は「経費がかかる」、女性は「受診したいが時間がない」が3割台で1位となっている。また、「受診方法がわからない」、「自分は健康だから関係ない」は、一部を除いておおむね年代が高くなるほど減少する傾向となっている。

単位：%	症状があれば 診察を受ける	検診に出かけ るのが面倒	受診したいが 時間がない	経費がかかる	受診方法がわ からない	自分は健康だ から関係ない
全体 n=1,051	39.1	22.6	19.4	17.6	10.9	7.3

【性別・年代別】

男性 n=356	36.2	21.3	14.3	19.4	12.6	11.5
男性18・19歳 n=12	8.3	0.0	0.0	16.7	33.3	41.7
男性20歳代 n=47	36.2	14.9	12.8	21.3	25.5	23.4
男性30歳代 n=44	20.5	25.0	20.5	38.6	20.5	18.2
男性40歳代 n=46	21.7	26.1	23.9	30.4	10.9	8.7
男性50歳代 n=61	41.0	24.6	19.7	9.8	9.8	6.6
男性60歳代 n=56	32.1	30.4	12.5	14.3	12.5	0.0
男性70歳以上 n=90	54.4	15.6	6.7	13.3	2.2	10.0
女性 n=666	41.0	23.7	21.9	15.9	9.6	5.3
女性18・19歳 n=5	20.0	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0
女性20歳代 n=54	42.6	22.2	14.8	24.1	20.4	22.2
女性30歳代 n=86	22.1	18.6	38.4	25.6	17.4	3.5
女性40歳代 n=110	24.5	25.5	38.2	24.5	12.7	2.7
女性50歳代 n=123	37.4	26.0	27.6	12.2	9.8	1.6
女性60歳代 n=111	45.9	26.1	13.5	11.7	4.5	1.8
女性70歳以上 n=176	59.7	21.6	6.8	8.0	2.8	6.8

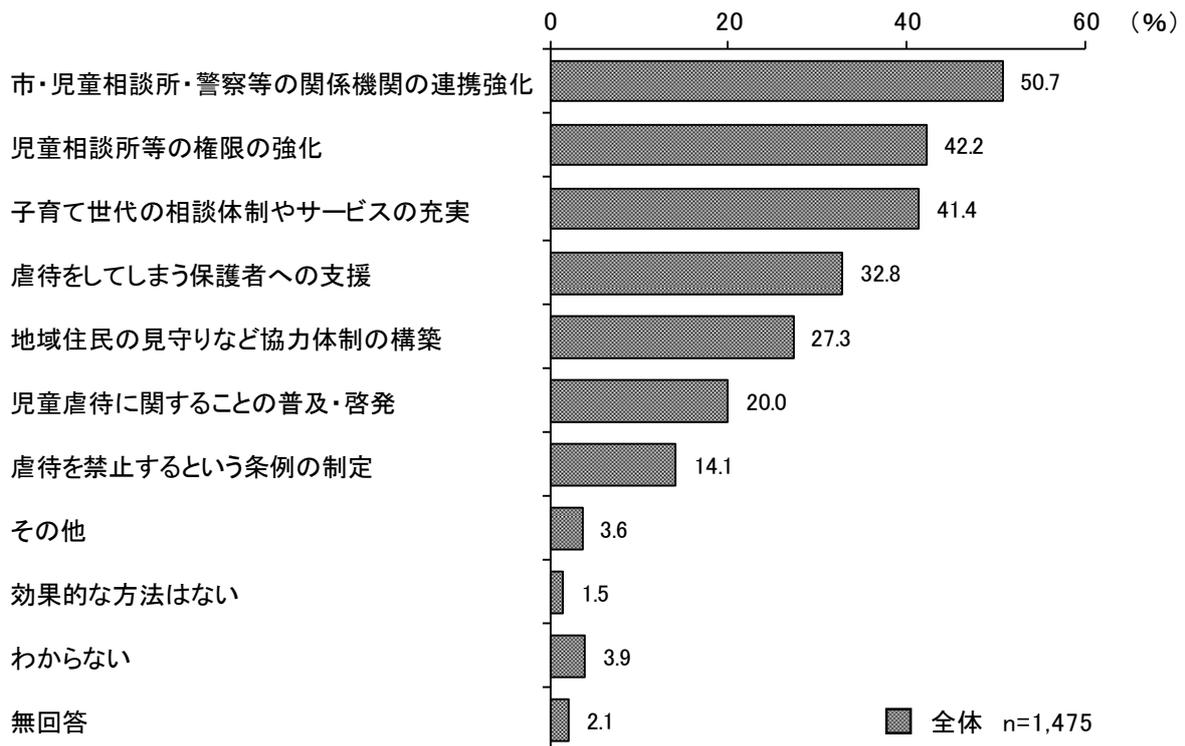
## (8) 児童虐待を減らすための効果的な方法

◇「市・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」が50.7%

問 29 児童虐待を減らすためにはどのような方法が効果的だと思いますか。

次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)

児童虐待を減らすための効果的な方法については、「市・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」が50.7%で最も高く、次いで「児童相談所等の権限の強化」が42.2%、「子育て世代の相談体制やサービスの充実」が41.4%、「虐待をしてしまう保護者への支援」が32.8%となっている。

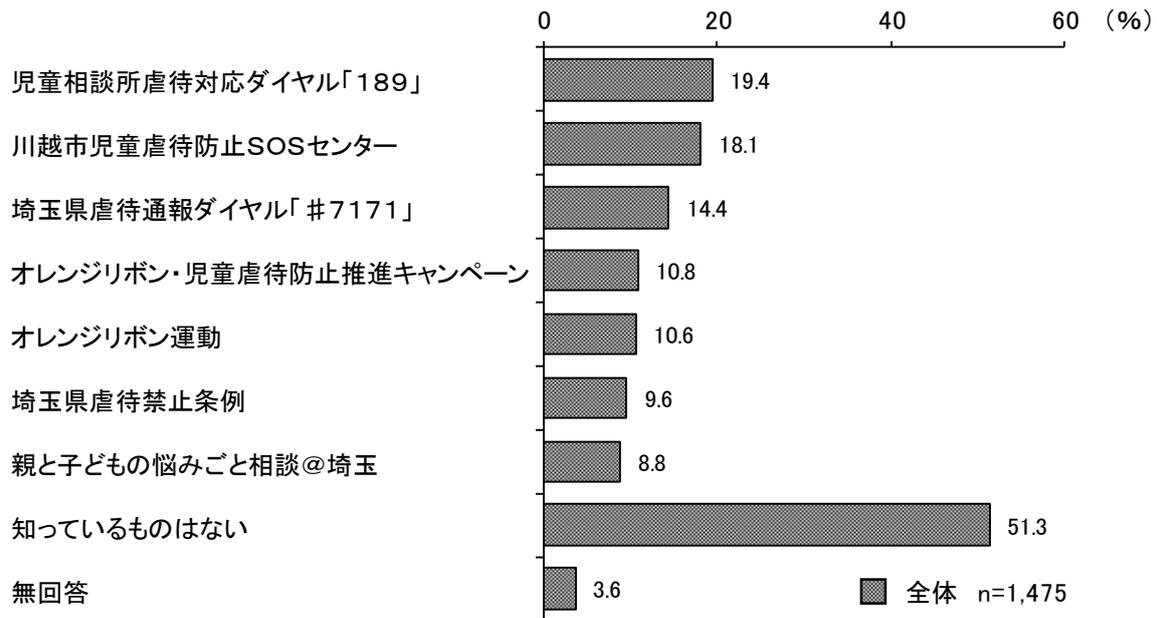


(9) 児童虐待に関する国・県・市等の施策の認知状況

◇ 「児童相談所虐待対応ダイヤル「189」」が19.4%

問 30 児童虐待に関する国・県・市等の施策を知っていますか。(いくつでも)

児童虐待に関する国・県・市等の施策の認知状況については、「児童相談所虐待対応ダイヤル「189」」が19.4%で最も高く、次いで「川越市児童虐待防止SOSセンター」が18.1%、「埼玉県虐待通報ダイヤル「#7171」」が14.4%、「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」が10.8%となっている。なお、「知っているものはない」は51.3%となっている。



## 5 環境について

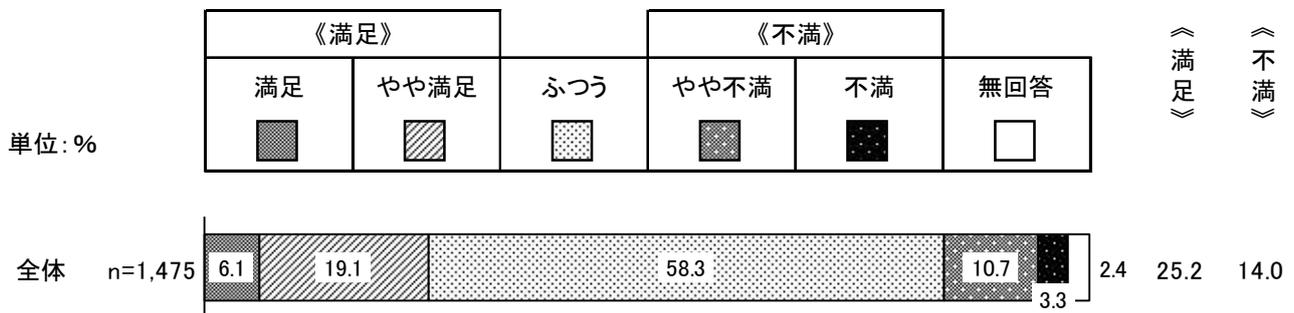
### (1) 川越市の環境への満足度

◇ 《満足》が25.2%

**問 31 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。(1つのみ)**

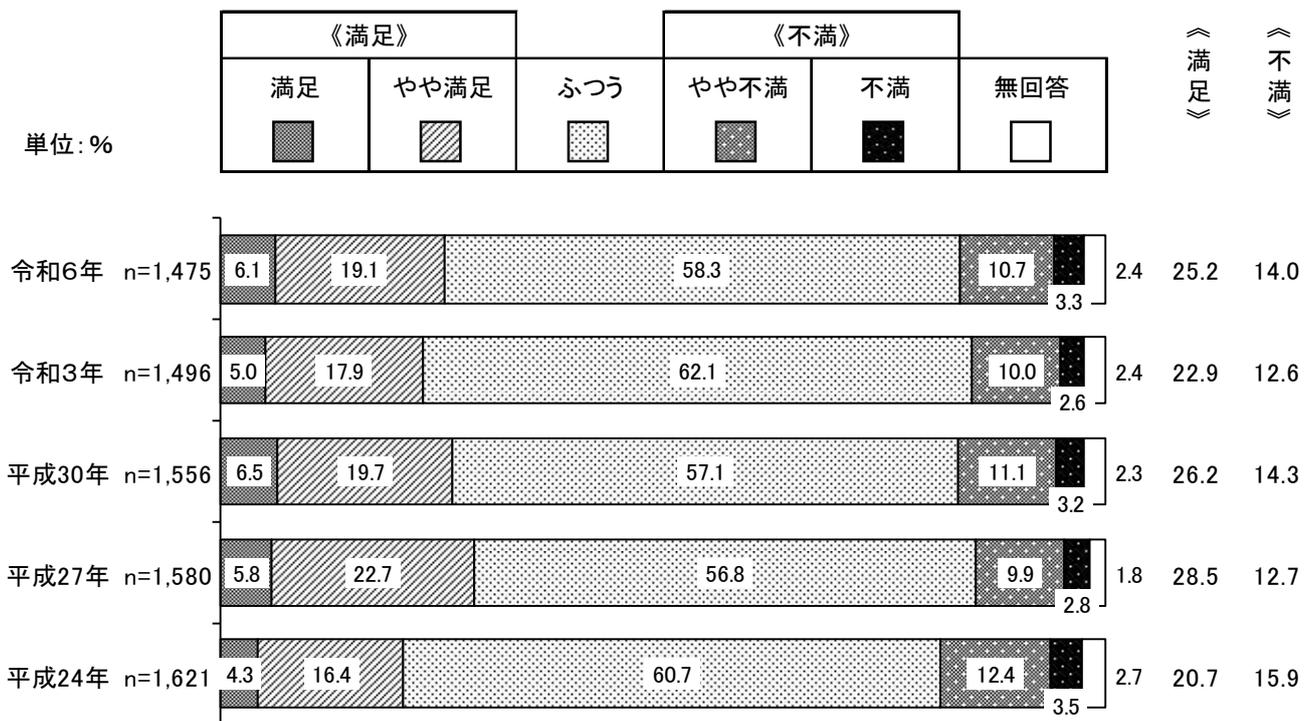
※「環境」とは、地球温暖化、廃棄物問題、生物の多様性、都市のみどりまで幅広く捉えた環境を想定しています。

川越市の環境への満足度については、「満足」、「やや満足」の合計値《満足》が25.2%である一方、「やや不満」、「不満」の合計値《不満》は14.0%と、《満足》が11.2ポイント上回っている。



### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《満足》は前回調査より2.3ポイント増加し、「ふつう」は3.8ポイント減少している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、《満足》は男性が女性より7.7ポイント高く、男性20歳代が4割を超え高くなっている。一方、《不満》は女性60歳代、70歳代が2割近くと高くなっている。

単位：%	《満足》			《不満》			無回答	《満足》 合計値	《不満》 合計値
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満				
全体 n=1,475	6.1	19.1	58.3	10.7	3.3	2.4	25.2	14.0	
【性別・年代別】									
男性 n=597	8.4	21.6	56.1	8.7	3.4	1.8	30.0	12.1	
男性18・19歳 n=12	8.3	16.7	66.7	8.3	0.0	0.0	25.0	8.3	
男性20歳代 n=50	18.0	24.0	50.0	2.0	4.0	2.0	42.0	6.0	
男性30歳代 n=53	17.0	18.9	58.5	3.8	1.9	0.0	35.9	5.7	
男性40歳代 n=83	6.0	28.9	51.8	9.6	3.6	0.0	34.9	13.2	
男性50歳代 n=120	8.3	17.5	55.8	12.5	5.0	0.8	25.8	17.5	
男性60歳代 n=113	7.1	20.4	55.8	9.7	6.2	0.9	27.5	15.9	
男性70歳以上 n=166	4.8	22.3	59.0	8.4	0.6	4.8	27.1	9.0	
女性 n=829	4.8	17.5	60.7	12.2	2.9	1.9	22.3	15.1	
女性18・19歳 n=5	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	
女性20歳代 n=57	3.5	21.1	64.9	10.5	0.0	0.0	24.6	10.5	
女性30歳代 n=94	5.3	21.3	56.4	16.0	1.1	0.0	26.6	17.1	
女性40歳代 n=148	4.7	18.2	64.2	9.5	2.7	0.7	22.9	12.2	
女性50歳代 n=174	6.3	16.7	62.6	10.3	2.9	1.1	23.0	13.2	
女性60歳代 n=141	5.7	9.9	64.5	12.1	5.7	2.1	15.6	17.8	
女性70歳以上 n=209	3.3	19.6	55.0	14.8	2.9	4.3	22.9	17.7	

■ 居住地区別

居住地区別でみると、《満足》は『本庁地区』が30.0%で最も高く、次いで『大東地区』が29.7%、『川鶴地区』が28.1%となっている。一方で、《不満》は『福原地区』が26.6%で最も高く、次いで『古谷地区』が25.4%、『芳野地区』が15.9%となっている。

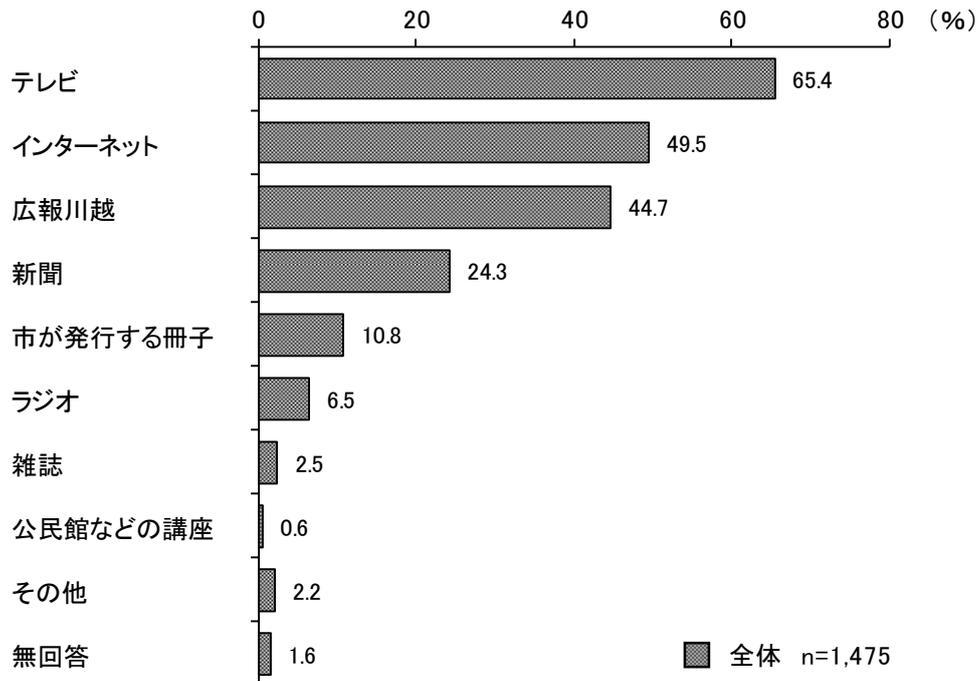
単位：%	《満足》			《不満》			無回答	《満足》 合計値	《不満》 合計値
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満				
全体 n=1,475	6.1	19.1	58.3	10.7	3.3	2.4	25.2	14.0	
【居住地区別】									
本庁地区 n=330	8.5	21.5	53.9	10.6	3.9	1.5	30.0	14.5	
芳野地区 n=44	4.5	18.2	56.8	9.1	6.8	4.5	22.7	15.9	
古谷地区 n=59	10.2	11.9	52.5	20.3	5.1	0.0	22.1	25.4	
南古谷地区 n=131	3.1	17.6	64.1	9.2	2.3	3.8	20.7	11.5	
高階地区 n=157	8.3	19.7	59.2	7.6	3.8	1.3	28.0	11.4	
福原地区 n=94	5.3	18.1	50.0	21.3	5.3	0.0	23.4	26.6	
大東地区 n=138	5.8	23.9	55.8	8.7	2.2	3.6	29.7	10.9	
霞ヶ関地区 n=163	3.1	19.6	64.4	8.0	3.7	1.2	22.7	11.7	
川鶴地区 n=71	5.6	22.5	62.0	8.5	1.4	0.0	28.1	9.9	
霞ヶ関北地区 n=52	1.9	21.2	63.5	13.5	0.0	0.0	23.1	13.5	
名細地区 n=96	7.3	14.6	63.5	11.5	2.1	1.0	21.9	13.6	
山田地区 n=77	9.1	15.6	62.3	5.2	2.6	5.2	24.7	7.8	

## (2) 環境に関する情報の入手先

◇「テレビ」が65.4%

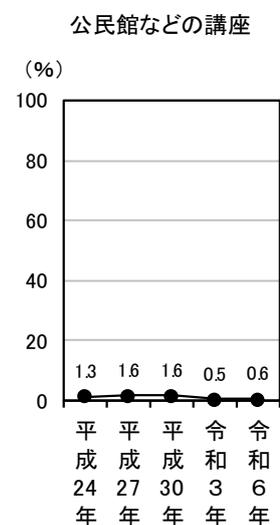
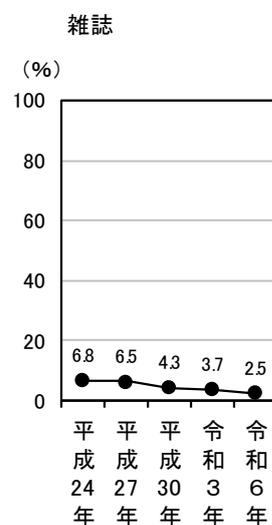
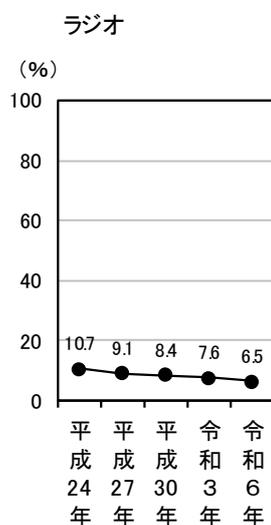
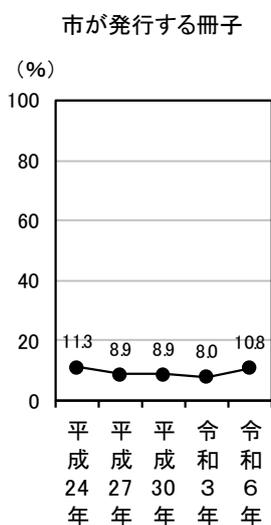
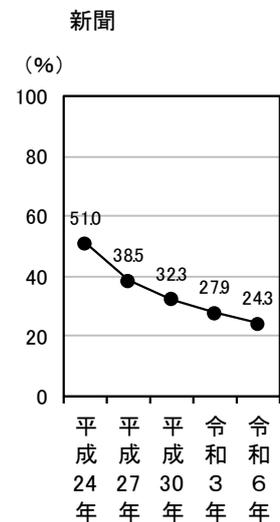
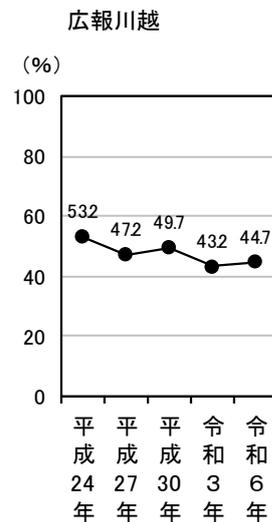
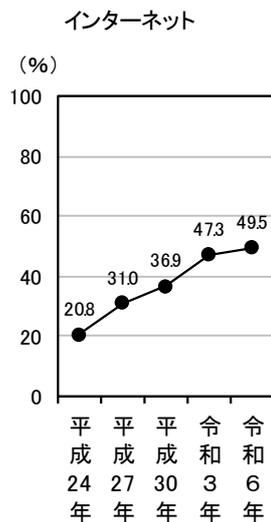
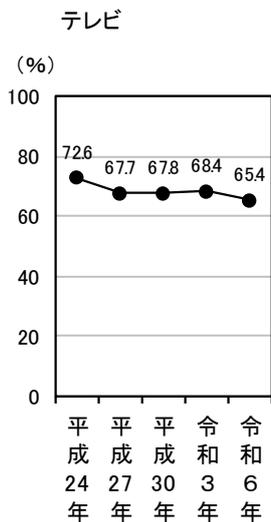
**問 32 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。  
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

環境に関する情報の入手先については、「テレビ」が65.4%で最も高く、次いで「インターネット」が49.5%、「広報川越」が44.7%、「新聞」が24.3%となっている。



■ 時系列での比較

時系列で見ると、「インターネット」は増加傾向となっており、前回調査より 2.2 ポイント、平成 24 年度より 28.7 ポイント増加している。「広報川越」は前回調査より 1.5 ポイント増加したが、平成 24 年度を 8.5 ポイント下回っている。一方、「新聞」は減少傾向となっており、前回調査より 3.6 ポイント、平成 24 年度より 26.7 ポイント減少している。「テレビ」も前回調査より 3.0 ポイント減少し、「ラジオ」、「雑誌」も減少傾向となっている。



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、男性、女性ともに「テレビ」が1位となっている。「テレビ」は男性50歳代以上、女性40歳代以上で1位となっており、女性60歳代はほぼ8割、女性70歳以上は7割半ばと高く、男性30歳代、40歳代を除き5割以上となっている。「インターネット」は男性20歳代、30歳代、40歳代、女性20歳代、30歳代で1位となっており、男性20～40歳代、女性20歳代は7割台と高くなっているが、それ以上の年代では年代が高くなるにつれ減少傾向となっている。また、「広報川越」、「新聞」は、一部を除きおおむね年代が高くなるにつれ増加傾向となっており、「広報川越」は男女とも70歳以上で6割台と高くなっている。

単位：%	テレビ	インターネット	広報川越	新聞	市が発行する冊子	ラジオ
全体 n=1,475	65.4	49.5	44.7	24.3	10.8	6.5

【性別・年代別】

男性 n=597	60.3	53.1	41.9	26.8	10.4	7.7
男性18・19歳 n=12	83.3	41.7	16.7	25.0	8.3	0.0
男性20歳代 n=50	52.0	72.0	18.0	2.0	6.0	6.0
男性30歳代 n=53	41.5	71.7	37.7	9.4	11.3	3.8
男性40歳代 n=83	47.0	78.3	32.5	14.5	4.8	7.2
男性50歳代 n=120	63.3	61.7	31.7	18.3	10.0	15.0
男性60歳代 n=113	62.8	54.0	46.0	24.8	7.1	8.8
男性70歳以上 n=166	69.9	22.9	61.4	53.6	16.9	4.2

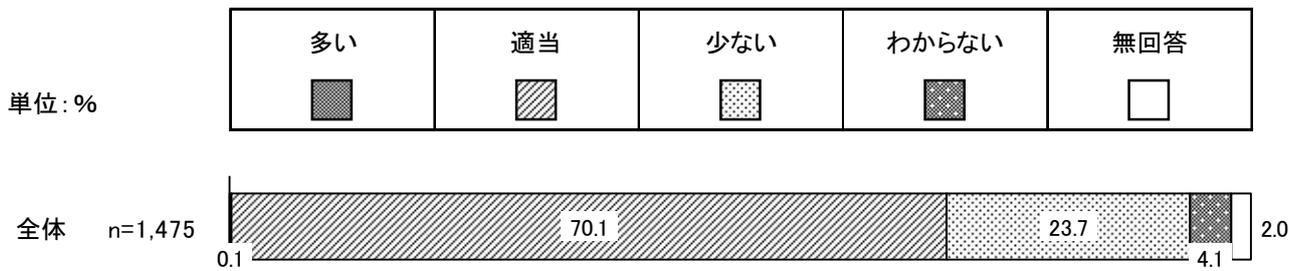
女性 n=829	69.8	47.4	47.5	22.7	11.6	5.5
女性18・19歳 n=5	60.0	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=57	54.4	75.4	17.5	0.0	7.0	3.5
女性30歳代 n=94	60.6	66.0	41.5	6.4	13.8	6.4
女性40歳代 n=148	64.9	63.5	43.9	9.5	8.1	2.7
女性50歳代 n=174	69.0	56.9	42.0	20.1	8.0	5.7
女性60歳代 n=141	80.9	36.9	49.6	36.2	10.6	8.5
女性70歳以上 n=209	75.1	18.2	64.6	38.8	18.2	5.7

### (3) 資源ごみの収集回数への認識

◇ 「適当」が70.1%

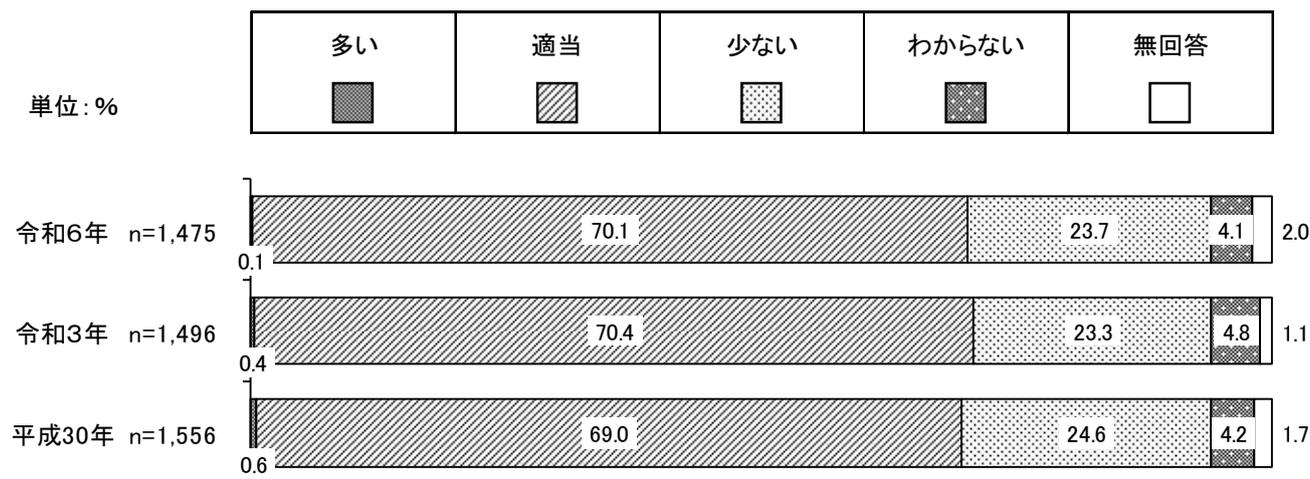
#### 問 33 資源ごみの収集回数は適当だと思いますか。(1つのみ)

資源ごみの収集回数への認識については、「適当」が70.1%で最も高く、次いで「少ない」が23.7%、「多い」が0.1%、となっている。なお、「わからない」は4.1%となっている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、前回調査と大きな差はみられない。

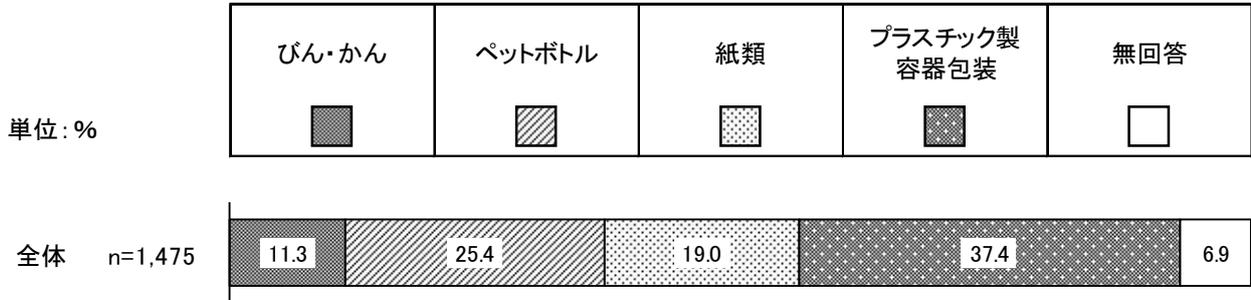


(4) 収集回数を増やす品目

◇「プラスチック製容器包装」が37.4%

問 34 収集回数を更に増やすなら、品目は何が良いですか。(1つのみ)

収集回数を増やす品目については、「プラスチック製容器包装」が37.4%で最も高く、次いで「ペットボトル」が25.4%、「紙類」が19.0%、「びん・かん」が11.3%となっている。

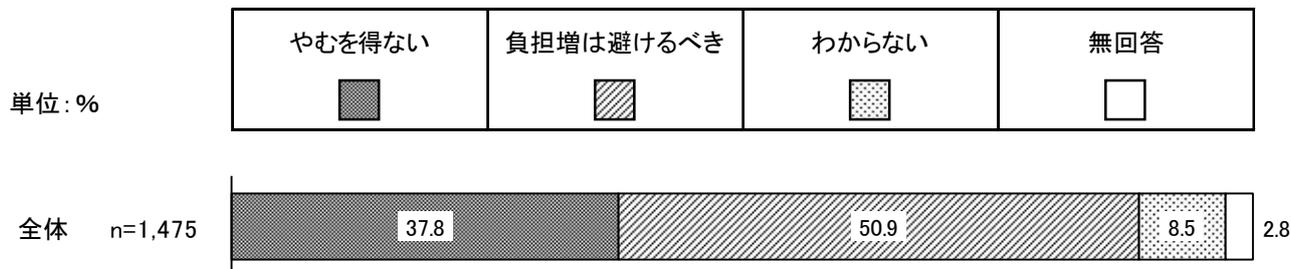


### (5) 収集回数を増やすための経費

◇ 「負担増は避けるべき」が 50.9%

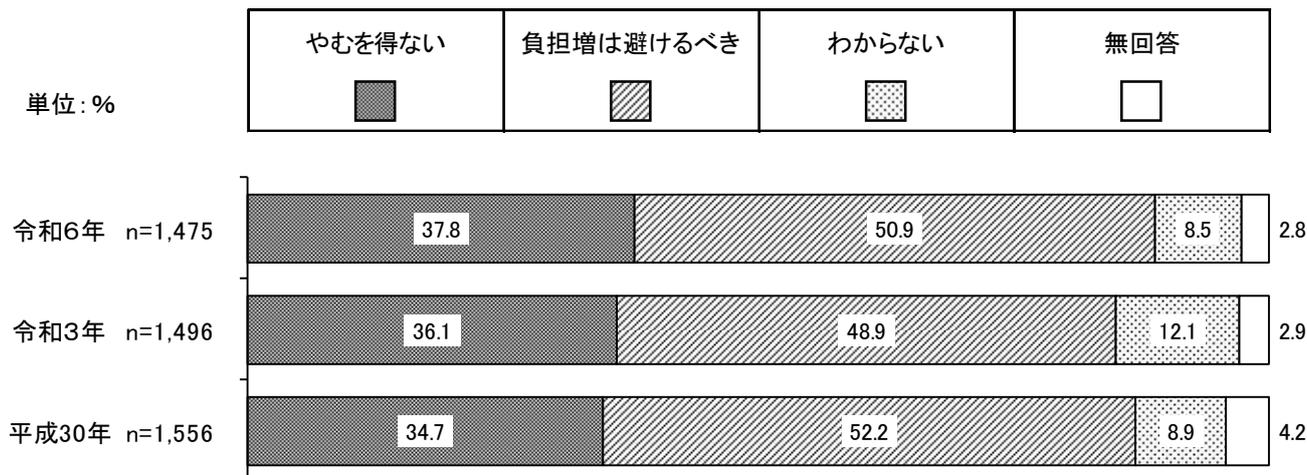
**問 35 収集回数を増やすため、経費が増えることについて、どのように思いますか。(1つのみ)**

収集回数を増やすための経費については、「やむを得ない」が 37.8%、「負担増は避けるべき」が 50.9%と、「負担増は避けるべき」が 13.1 ポイント上回っている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、「やむを得ない」は増加傾向となっており、前回調査と比べ 1.7 ポイント、平成 30 年度と比べ 3.1 ポイント増加している。

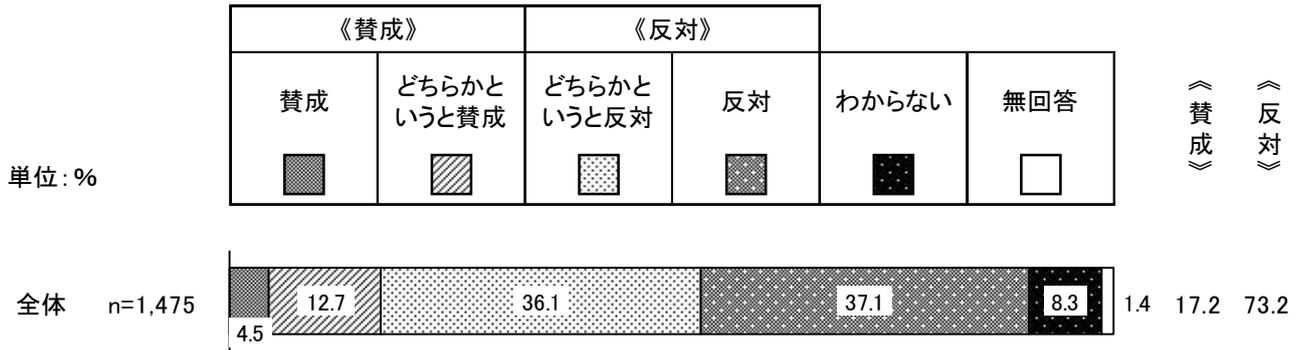


(6) 家庭ごみ収集の有料化

◇ 《反対》が73.2%

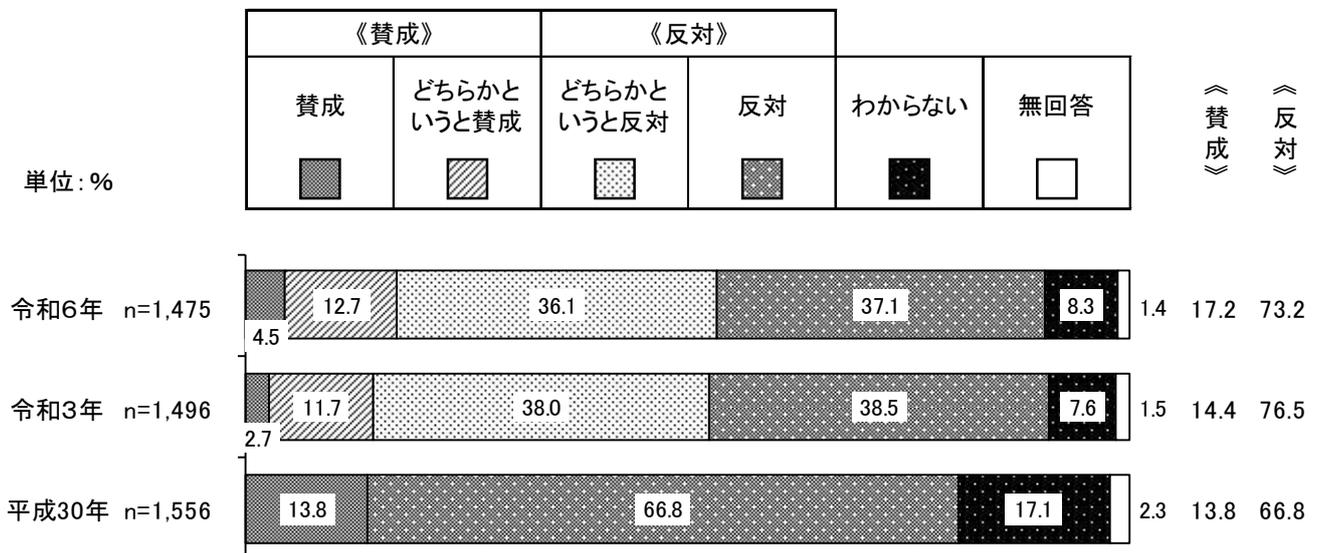
**問 36 ごみ処理費用負担の公平性の観点から、家庭ごみ収集を有料化することについて、どのように思いますか。(1つのみ)**

家庭ごみ収集の有料化については、「賛成」、「どちらかという賛成」の合計値《賛成》が17.2%である一方、「反対」、「どちらかという反対」の合計値《反対》は73.2%と、《反対》が56.0ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列で見ると、《賛成》は増加傾向となっており、前回調査と比べ2.8ポイント、平成30年度と比べ3.4ポイント増加している。一方、《反対》は前回調査と比べ3.3ポイント減少している。

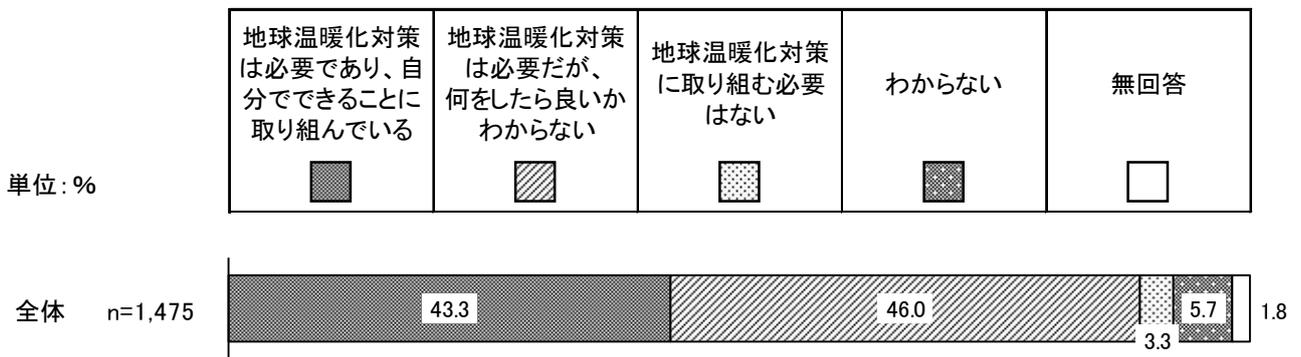


(7) 地球温暖化対策への考え方

◇「地球温暖化対策は必要だが、何をしたら良いかわからない」が46.0%

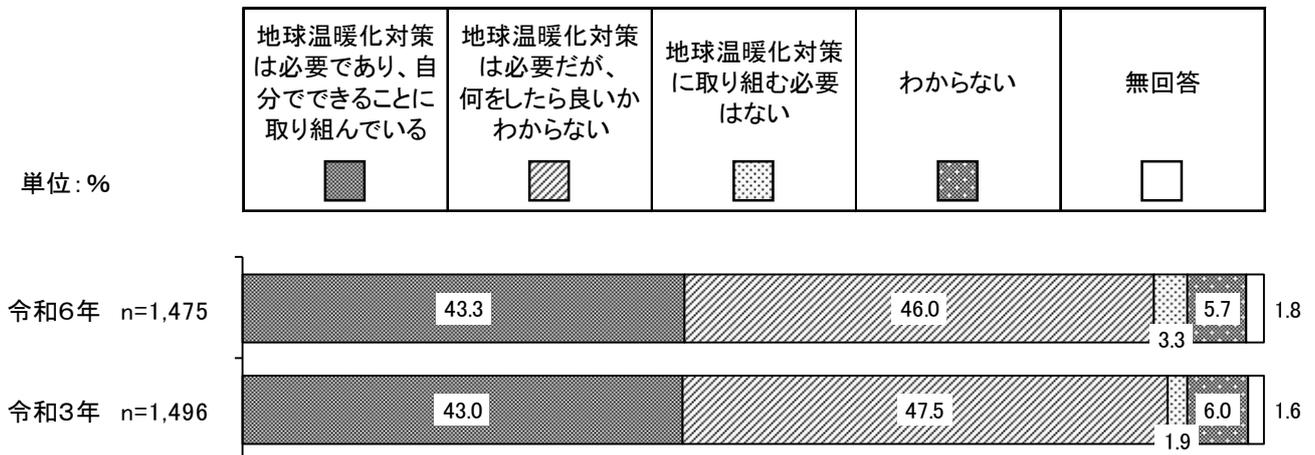
**問 37 川越市は、「小江戸かわごえ脱炭素宣言」を表明し、2050年脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策を推進します。**  
**あなたは、地球温暖化対策について、どのように思いますか。(1つのみ)**

地球温暖化対策への考え方については、「地球温暖化対策は必要だが、何をしたら良いかわからない」が46.0%で最も高く、次いで「地球温暖化対策は必要であり、自分でできることに取り組んでいる」が43.3%、「地球温暖化対策に取り組む必要はない」が3.3%となっている。なお、「わからない」は5.7%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、前回調査と大きな差はみられない。



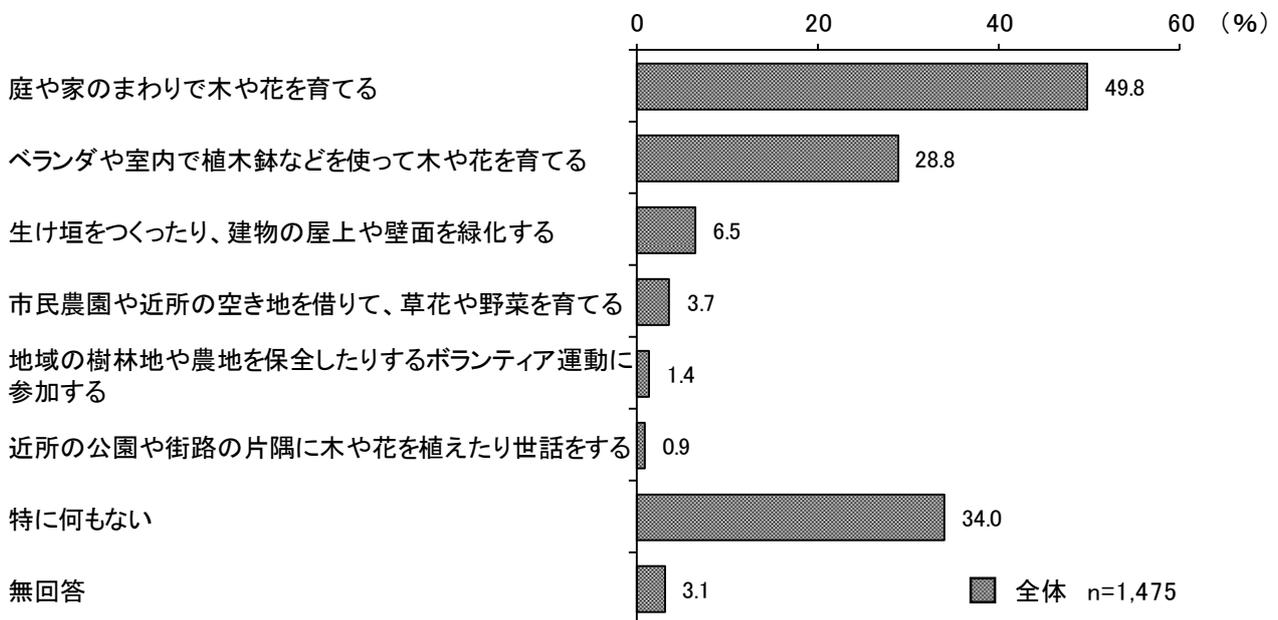
(8) まちの緑化への活動内容

◇現在している活動：「庭や家のまわりで木や花を育てる」が 49.8%  
 今後したい活動：「庭や家のまわりで木や花を育てる」が 17.3%

問 38 あなたは、緑を増やすために、①現在どのようなことをしていますか。また、②今後どのようなことをしたいですか。(それぞれいくつでも)

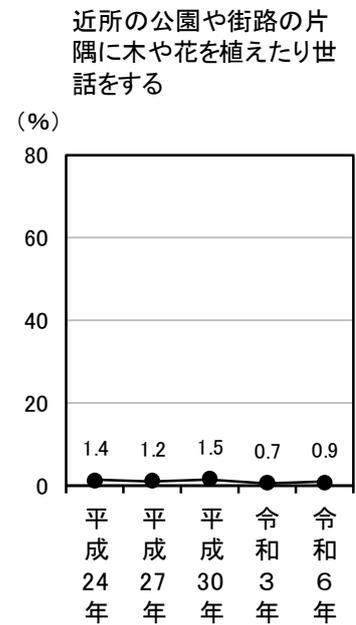
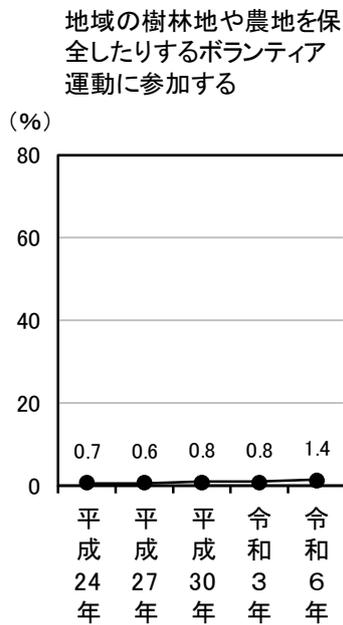
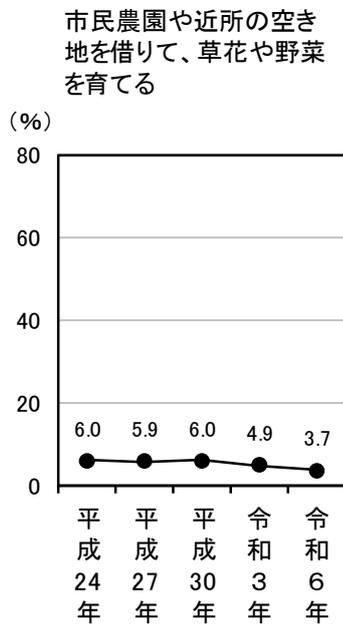
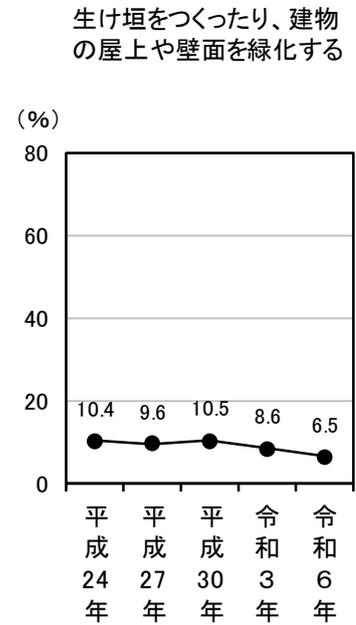
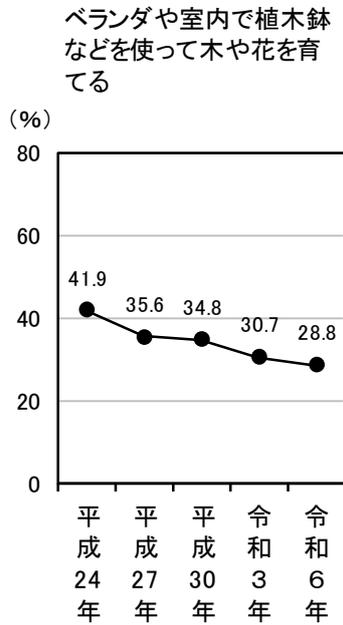
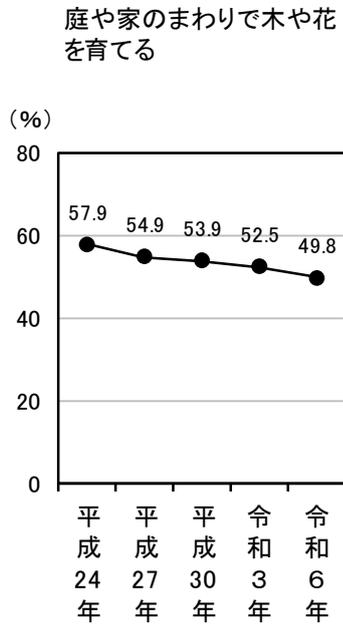
■現在している活動

まちの緑化への活動内容（現在している活動）については、「庭や家のまわりで木や花を育てる」が 49.8%で最も高く、次いで「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」が 28.8%、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」が 6.5%、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」が 3.7%となっている。なお、「特に何も無い」は 34.0%となっている。



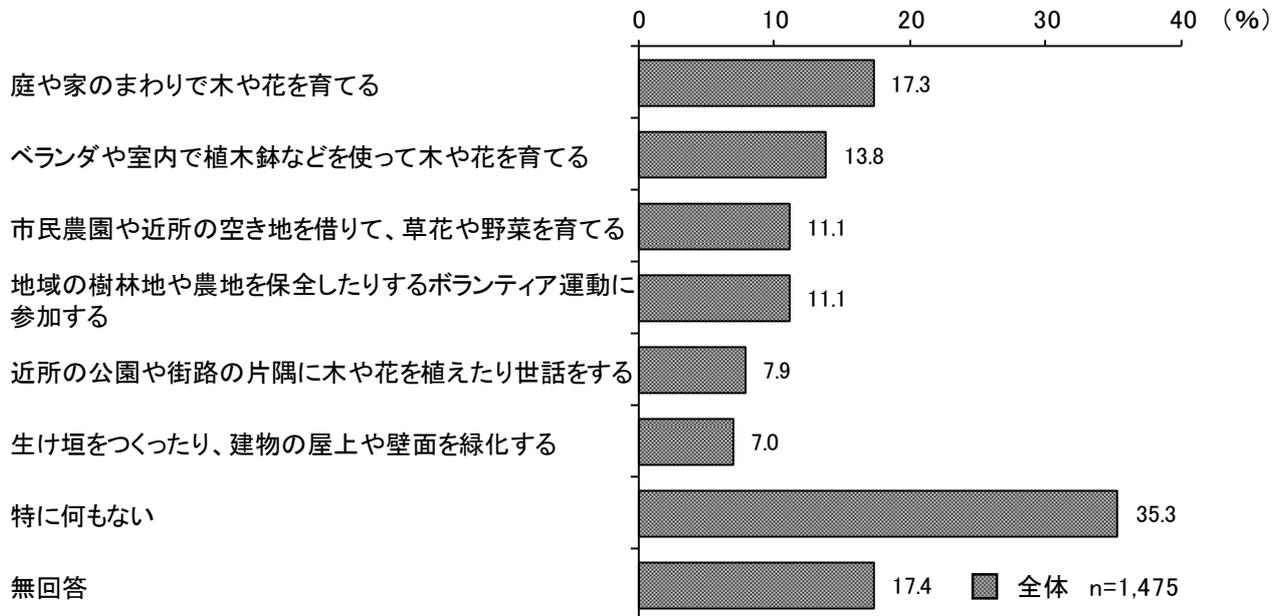
■ 時系列での比較（現在している活動）

時系列でみると、上位4項目はいずれも前回調査を下回っている。平成24年度と比べ、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」は13.1ポイント、「庭や家のまわりで木や花を育てる」は8.1ポイント減少している。



## ■今後したい活動

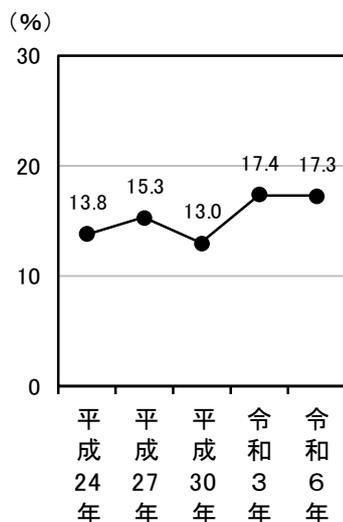
まちの緑化への活動内容（今後したい活動）については、「庭や家のまわりで木や花を育てる」が17.3%で最も高く、次いで「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」が13.8%、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」、「地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する」がいずれも11.1%となっている。なお、「特に何も無い」は35.3%となっている。



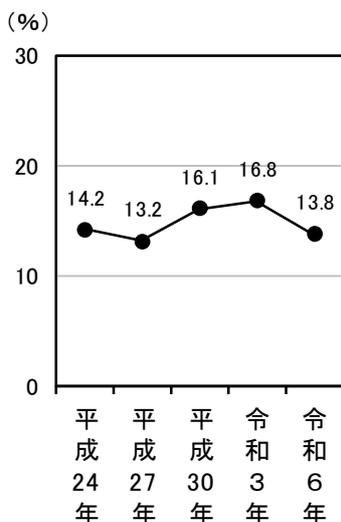
■ 時系列での比較（今後したい活動）

時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」は前回調査から 0.1 ポイント下回っているが、平成 24 年度を 3.5 ポイント上回っている。一方「地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する」は前回調査から 0.1 ポイント上回っているが、平成 24 年度を 4.0 ポイント下回っている。「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」は前回調査を 3.0 ポイント下回り、減少傾向に転じている。それ以外の 3 項目についても前回調査を下回っており、平成 24 年度と比べても減少している。

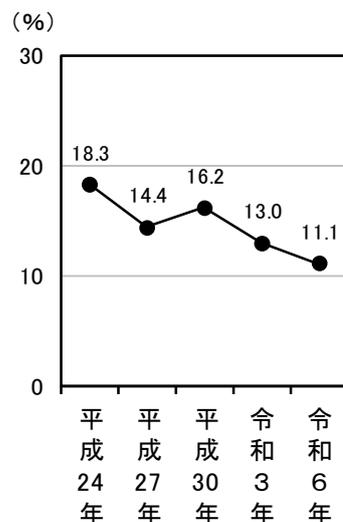
庭や家のまわりで木や花を育てる



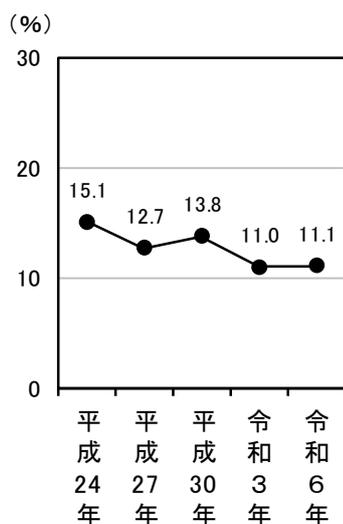
ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる



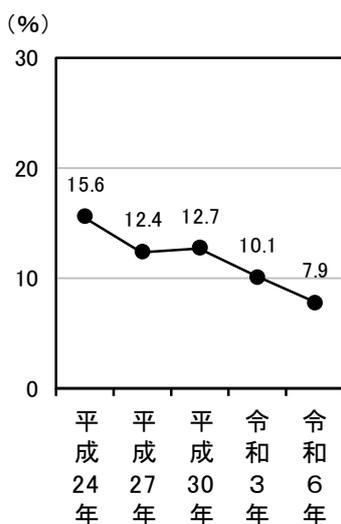
市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる



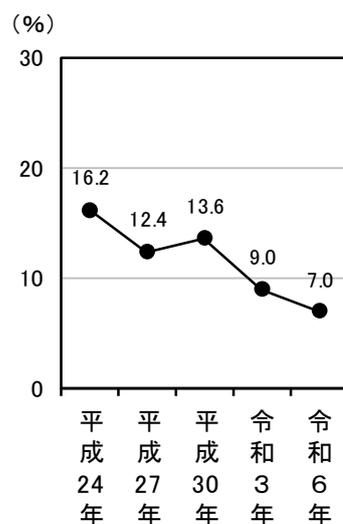
地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する



近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする



生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する

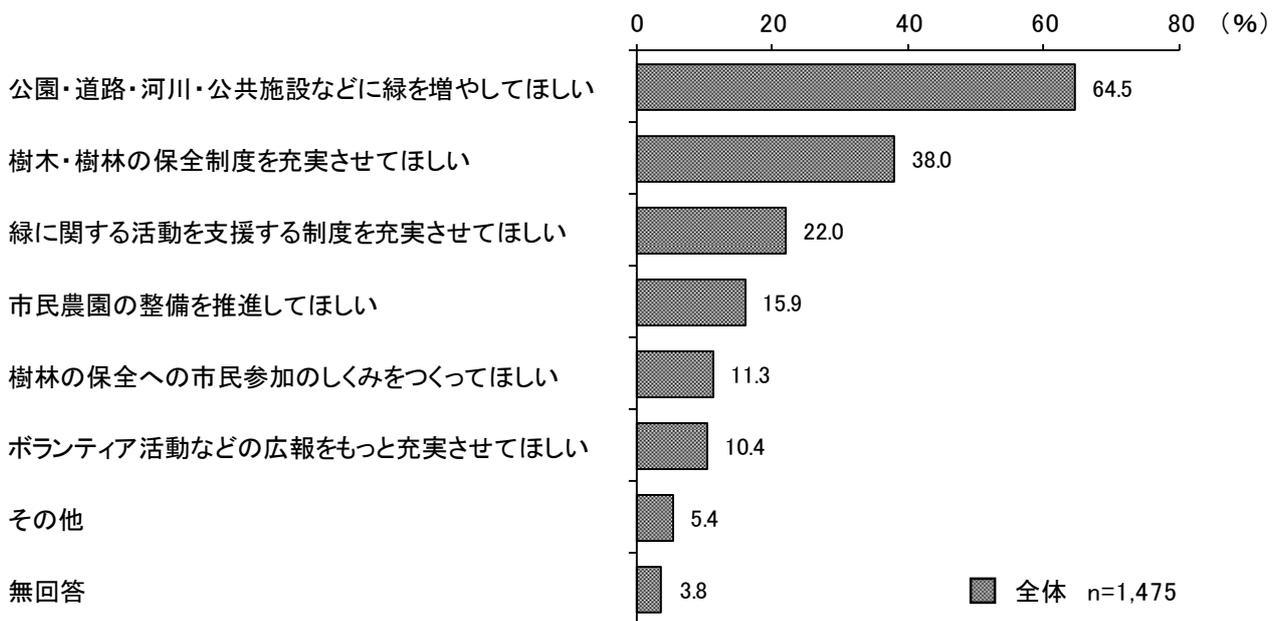


## (9) まちの緑化への施策

◇「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が64.5%

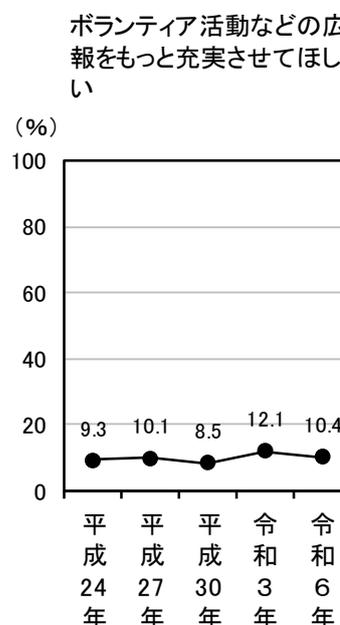
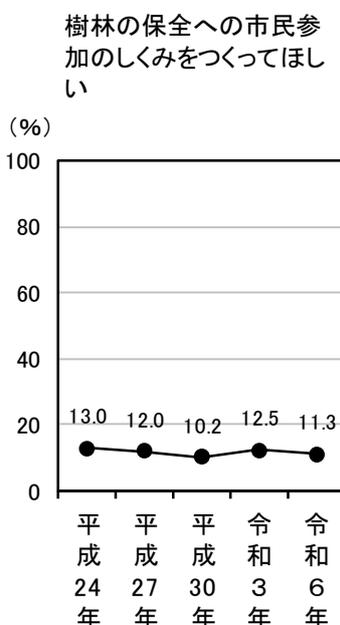
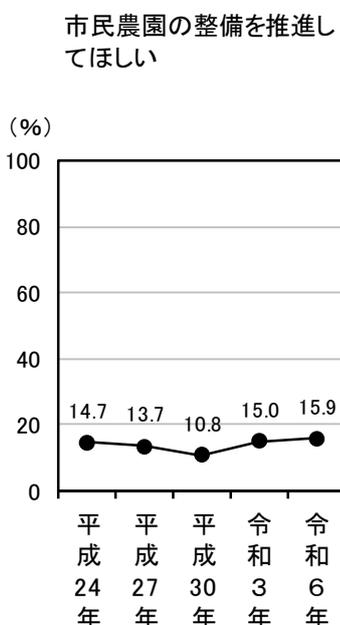
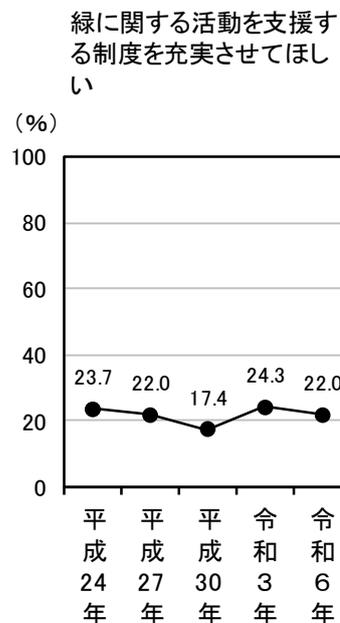
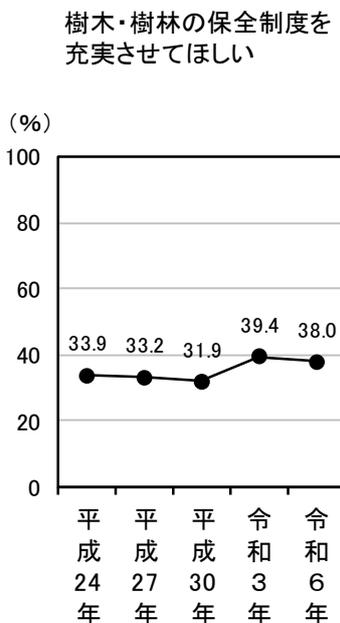
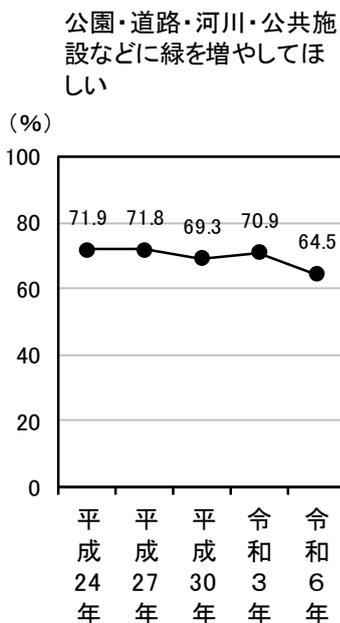
**問 39 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。  
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

まちの緑化への施策については、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が64.5%で最も高く、次いで「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」が38.0%、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」が22.0%、「市民農園の整備を推進してほしい」が15.9%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「市民農園の整備を推進してほしい」は平成30年度以降増加傾向にあるが、他の項目は前回調査で増加したものの、今回は減少傾向となっている。「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」は前回調査で7.5ポイント増加したものの、今回1.4ポイント減少している。また、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」は前回調査より6.4ポイント、平成24年度より7.4ポイント減少し、減少傾向となっている。



■ 年代別

年代別で見ると、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」は20歳代で7割を超え、30歳代以上も6割台と、全ての年代で1位となっている。また、「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」は全ての年代で3割以上と高くなっている。「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は、おおむね年代が高くなるにつれ増加傾向となっている。

単位：%	公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい	樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい	緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい	市民農園の整備を推進してほしい	樹林の保全への市民参加のしくみをつくってほしい	ボランティア活動などの広報をもっと充実させてほしい
全体 n=1,475	64.5	38.0	22.0	15.9	11.3	10.4

【年代別】

18・19歳 n=17	76.5	47.1	11.8	23.5	5.9	0.0
20歳代 n=110	73.6	36.4	10.9	22.7	7.3	9.1
30歳代 n=150	66.7	31.3	20.0	16.7	8.7	10.7
40歳代 n=238	64.3	40.3	23.1	17.2	8.0	10.1
50歳代 n=297	60.3	33.7	21.2	14.8	13.8	11.8
60歳代 n=257	69.3	42.8	24.1	11.3	12.1	9.3
70歳以上 n=375	61.9	41.1	25.9	17.3	12.8	12.0

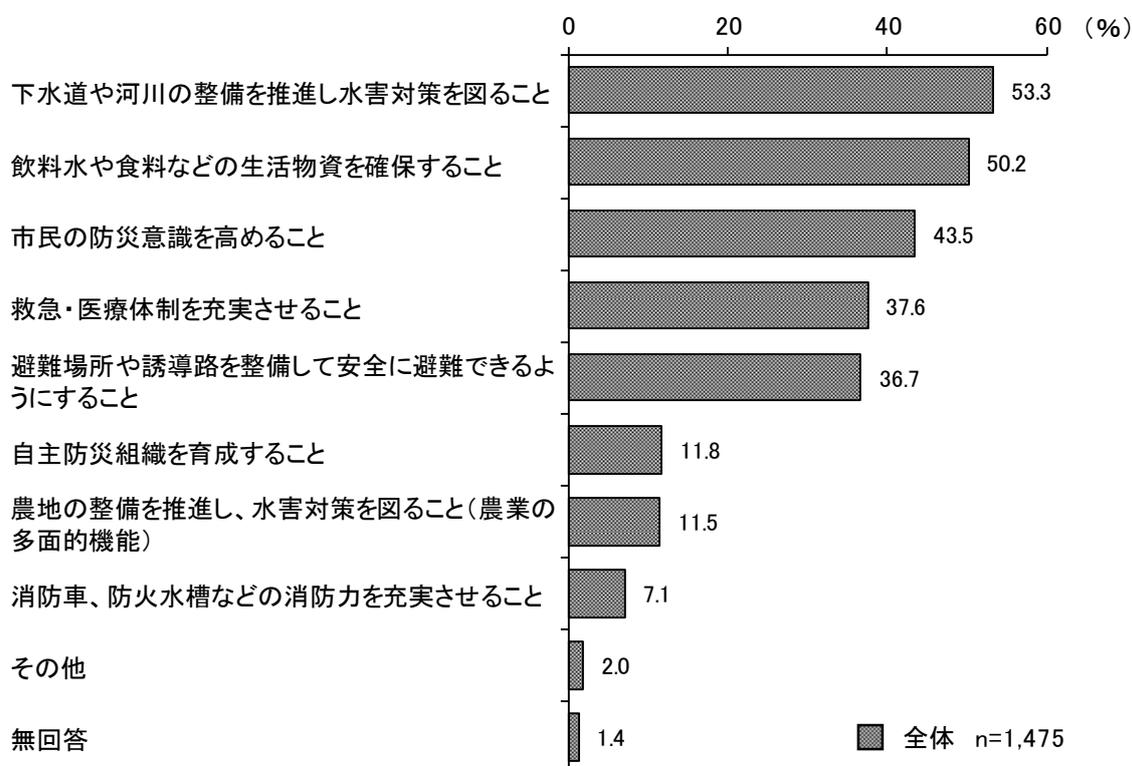
## 6 地域社会と市民生活について

### (1) 防災対策として必要な施策

◇「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」が 53.3%

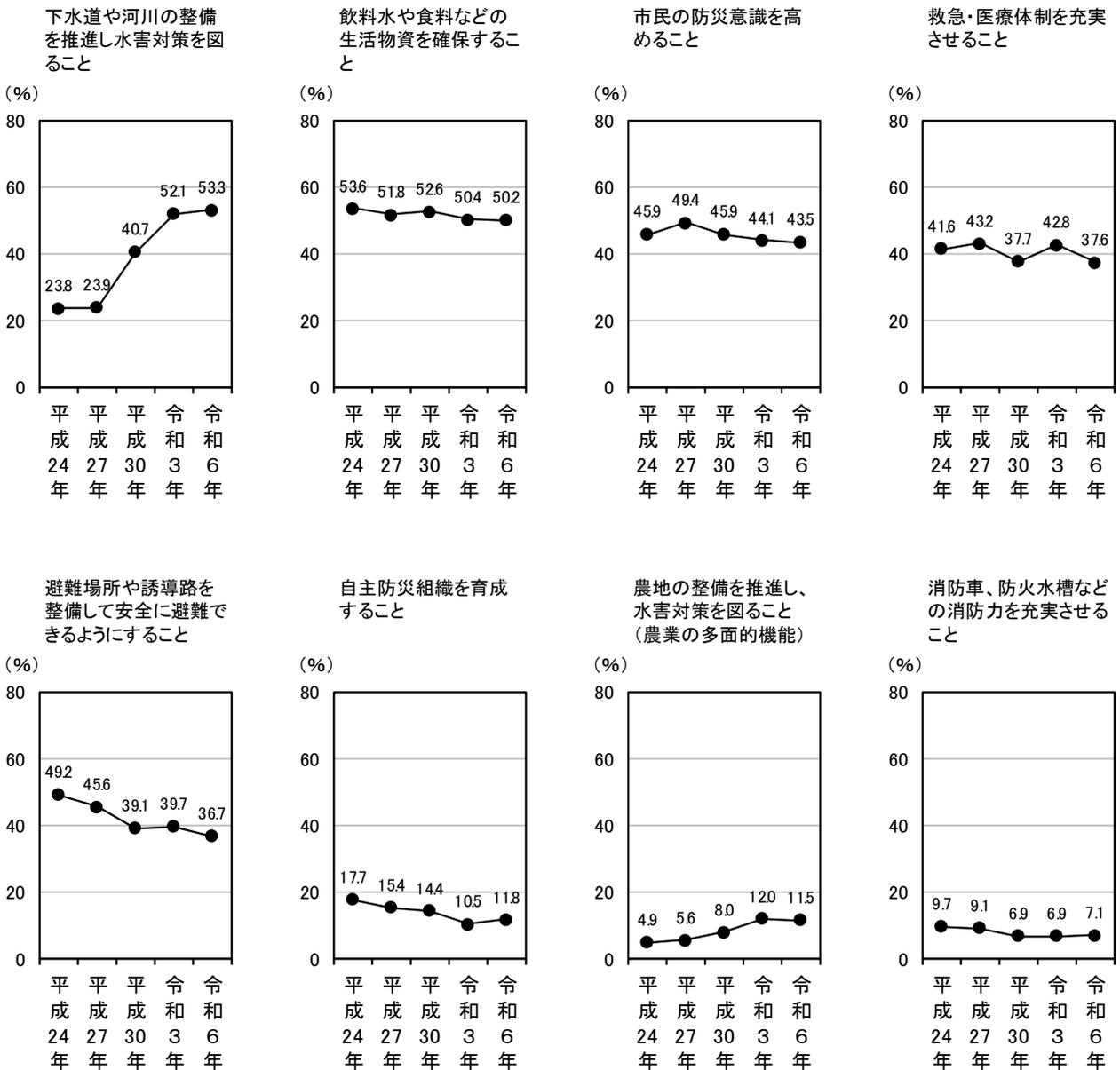
**問 40 あなたは、防災対策として、どのような施策が必要だと思いますか。  
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

防災対策として必要な施策については、「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」が 53.3%で最も高く、次いで「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」が 50.2%、「市民の防災意識を高めること」が 43.5%、「救急・医療体制を充実させること」が 37.6%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」は前回調査と比べ 1.2 ポイント、平成 24 年度と比べ 29.5 ポイント増加し、平成 27 年度～令和 3 年度に比べ緩やかなものの、増加傾向が続いている。「農地の整備を推進し、水害対策を図ること（農業の多面的機能）」は、令和 3 年度までの増加傾向から横ばいとなっている。一方、「避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること」は前回調査と比べ 3.0 ポイント、平成 24 年度と比べ 12.5 ポイント減少し、減少傾向となっている。「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」、「市民の防災意識を高めること」についても、やや減少傾向となっているが、「自主防災組織を育成すること」は減少傾向からやや増加している。



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」は男性40歳代以上、女性40歳代、60歳代で1位となっており、男性30歳代以上、女性20歳代以上は5割以上と高くなっている。「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」は男性20歳代、30歳代、女性20歳代、30歳代、50歳代、70歳以上で1位となっており、男性20歳代、30歳代、女性20歳代は6割台と高くなっているが、60歳代は男女とも4割前後とやや低くなっている。また、「市民の防災意識を高めること」は女性30歳代、50歳代で5割、「救急・医療体制を充実させること」は男性60歳代で5割近くと高くなっている。

単位: %	下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること	飲料水や食料などの生活物資を確保すること	市民の防災意識を高めること	救急・医療体制を充実させること	避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること	自主防災組織を育成すること
全体 n=1,475	53.3	50.2	43.5	37.6	36.7	11.8

【性別・年代別】

男性 n=597	53.3	50.1	41.7	37.7	33.3	12.4
男性18・19歳 n=12	58.3	58.3	58.3	41.7	25.0	8.3
男性20歳代 n=50	44.0	64.0	38.0	34.0	34.0	14.0
男性30歳代 n=53	50.9	69.8	28.3	45.3	34.0	9.4
男性40歳代 n=83	56.6	49.4	39.8	34.9	25.3	9.6
男性50歳代 n=120	51.7	50.8	45.8	34.2	28.3	7.5
男性60歳代 n=113	51.3	39.8	37.2	48.7	41.6	13.3
男性70歳以上 n=166	57.2	45.8	47.0	32.5	35.5	17.5

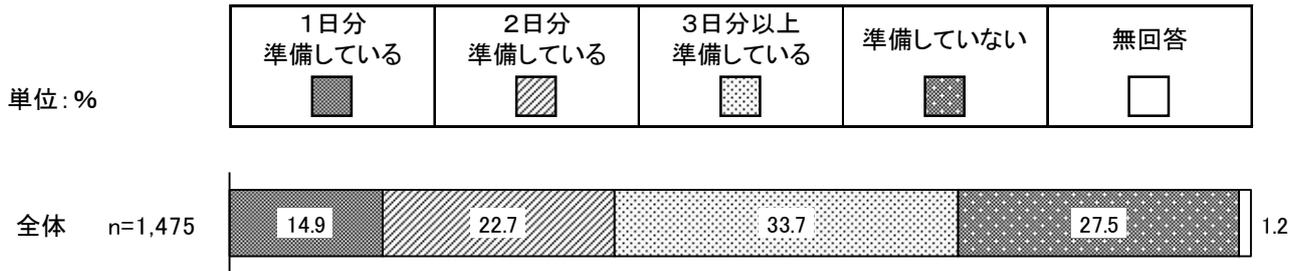
女性 n=829	54.8	50.9	45.5	38.0	39.7	11.3
女性18・19歳 n=5	40.0	100.0	60.0	20.0	20.0	20.0
女性20歳代 n=57	57.9	63.2	31.6	42.1	38.6	14.0
女性30歳代 n=94	54.3	56.4	50.0	41.5	37.2	14.9
女性40歳代 n=148	54.7	46.6	46.6	41.9	37.2	10.8
女性50歳代 n=174	53.4	54.0	50.0	38.5	39.1	8.0
女性60歳代 n=141	62.4	40.4	39.0	38.3	46.1	14.2
女性70歳以上 n=209	50.2	51.7	46.4	32.1	39.7	10.0

## (2) 水・食料の備蓄量

◇「3日分以上準備している」が33.7%

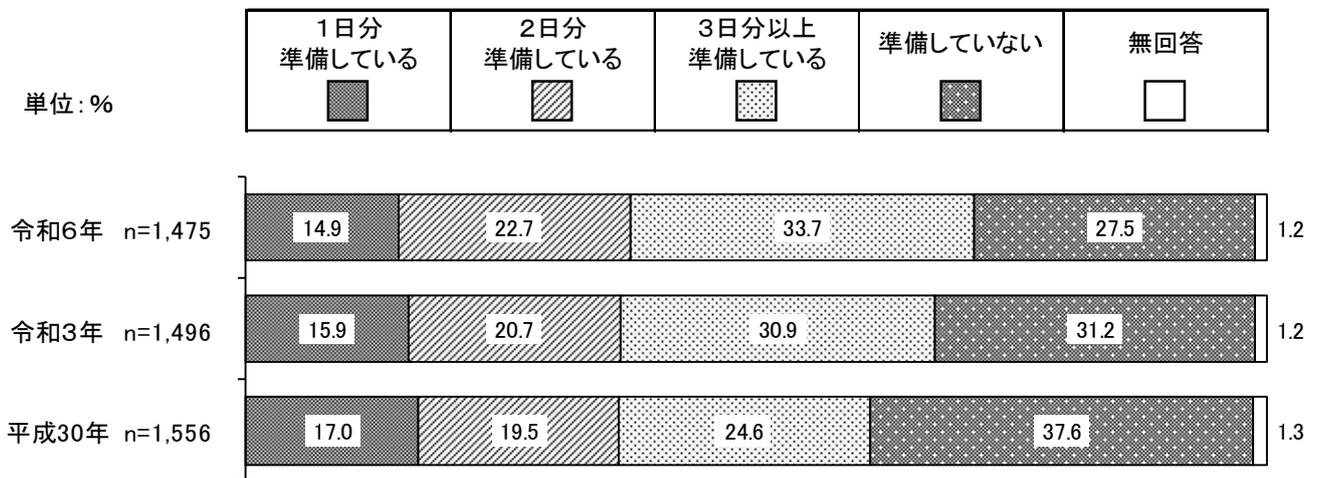
**問 41 東日本大震災以降、個人で3日分以上の水や食料の備蓄が必要といわれていますが、あなたは何日分準備していますか。(1つのみ)**

水・食料の備蓄量については、「3日分以上準備している」が33.7%で最も高く、次いで「2日分準備している」が22.7%、「1日分準備している」が14.9%となっている。なお、「準備していない」は27.5%となっている。



### ■ 時系列での比較

時系列で見ると、「3日分以上準備している」は前回調査と比べ2.8ポイント増加し、「2日分準備している」と共に増加傾向となっている。一方、「1日分準備している」、「準備していない」は減少傾向となっている。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「3日分以上準備している」は男性40歳代以上、女性50歳代以上で1位となっており、男性70歳以上、女性60歳代、70歳以上は4割台と高くなっている。一方、男女とも20歳代、30歳代は「準備していない」が1位となっており（男性30歳代は「1日分準備している」と同率）、男性30歳代を除き4割台と高くなっている。

単位：%	1日分 準備している	2日分 準備している	3日分以上 準備している	準備していない	無回答
全体 n=1,475	14.9	22.7	33.7	27.5	1.2

【性別・年代別】

男性 n=597	13.2	21.8	36.0	28.6	0.3
男性18・19歳 n=12	16.7	16.7	33.3	33.3	0.0
男性20歳代 n=50	12.0	16.0	28.0	44.0	0.0
男性30歳代 n=53	28.3	17.0	26.4	28.3	0.0
男性40歳代 n=83	20.5	15.7	33.7	30.1	0.0
男性50歳代 n=120	8.3	25.0	35.8	30.8	0.0
男性60歳代 n=113	14.2	20.4	39.8	25.7	0.0
男性70歳以上 n=166	7.8	27.1	40.4	23.5	1.2

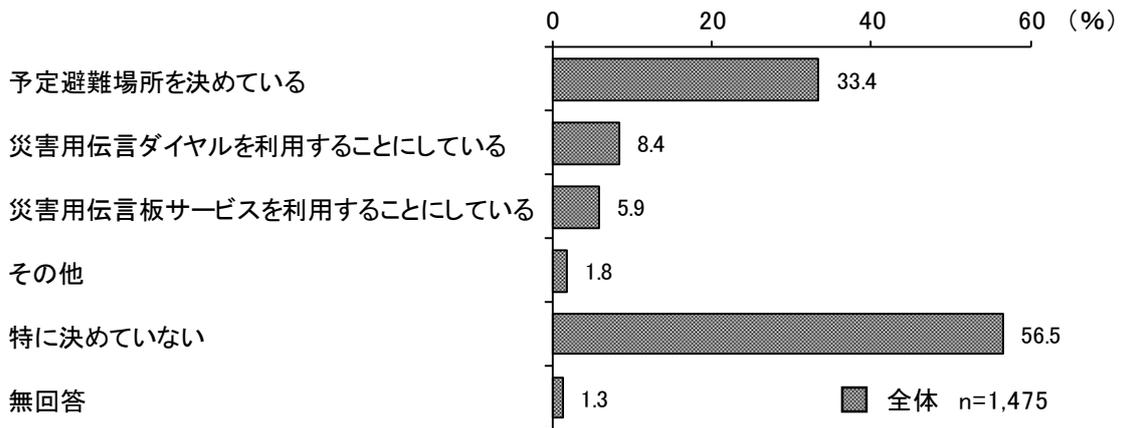
女性 n=829	16.3	23.6	32.9	26.5	0.6
女性18・19歳 n=5	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
女性20歳代 n=57	19.3	3.5	26.3	49.1	1.8
女性30歳代 n=94	11.7	22.3	22.3	43.6	0.0
女性40歳代 n=148	25.0	26.4	25.7	23.0	0.0
女性50歳代 n=174	20.7	25.3	28.2	25.3	0.6
女性60歳代 n=141	12.8	25.5	41.1	20.6	0.0
女性70歳以上 n=209	10.0	24.9	43.1	20.6	1.4

### (3) 家族等との安否確認手段

◇「予定避難場所を決めている」が33.4%

#### 問 42 あなたは、災害が起きた際、家族等との安否確認手段を決めていますか。(いくつでも)

家族等との安否確認手段については、「予定避難場所を決めている」が33.4%で最も高く、次いで「災害用伝言ダイヤルを利用することになっている」が8.4%、「災害用伝言板サービスを利用することになっている」が5.9%となっている。なお、「特に決めていない」は56.5%となっている。



■ 性別・年代別

性別・年代別で見ると、「予定避難場所を決めている」は女性が男性より高く、女性20歳代、40歳代は4割台と高くなっている。一方、「特に決めていない」は、男性は全年代で5割以上、20歳代は7割を超え高くなっている。女性も30歳代でほぼ6割、20歳代、50歳代、60歳代、70歳以上で5割以上と高くなっている。

単位：%	予定避難場所を決めている	災害用伝言ダイヤルを利用している	災害用伝言板サービスを利用している	その他	特に決めていない	無回答
全体 n=1,475	33.4	8.4	5.9	1.8	56.5	1.3

【性別・年代別】

男性 n=597	28.1	8.0	6.0	1.5	62.3	0.5
男性18・19歳 n=12	16.7	8.3	0.0	0.0	83.3	0.0
男性20歳代 n=50	20.0	2.0	2.0	4.0	72.0	0.0
男性30歳代 n=53	22.6	5.7	5.7	1.9	67.9	0.0
男性40歳代 n=83	32.5	6.0	8.4	1.2	62.7	0.0
男性50歳代 n=120	21.7	5.0	10.0	1.7	68.3	0.0
男性60歳代 n=113	34.5	15.0	3.5	0.9	53.1	0.0
男性70歳以上 n=166	31.3	9.0	5.4	1.2	57.8	1.8

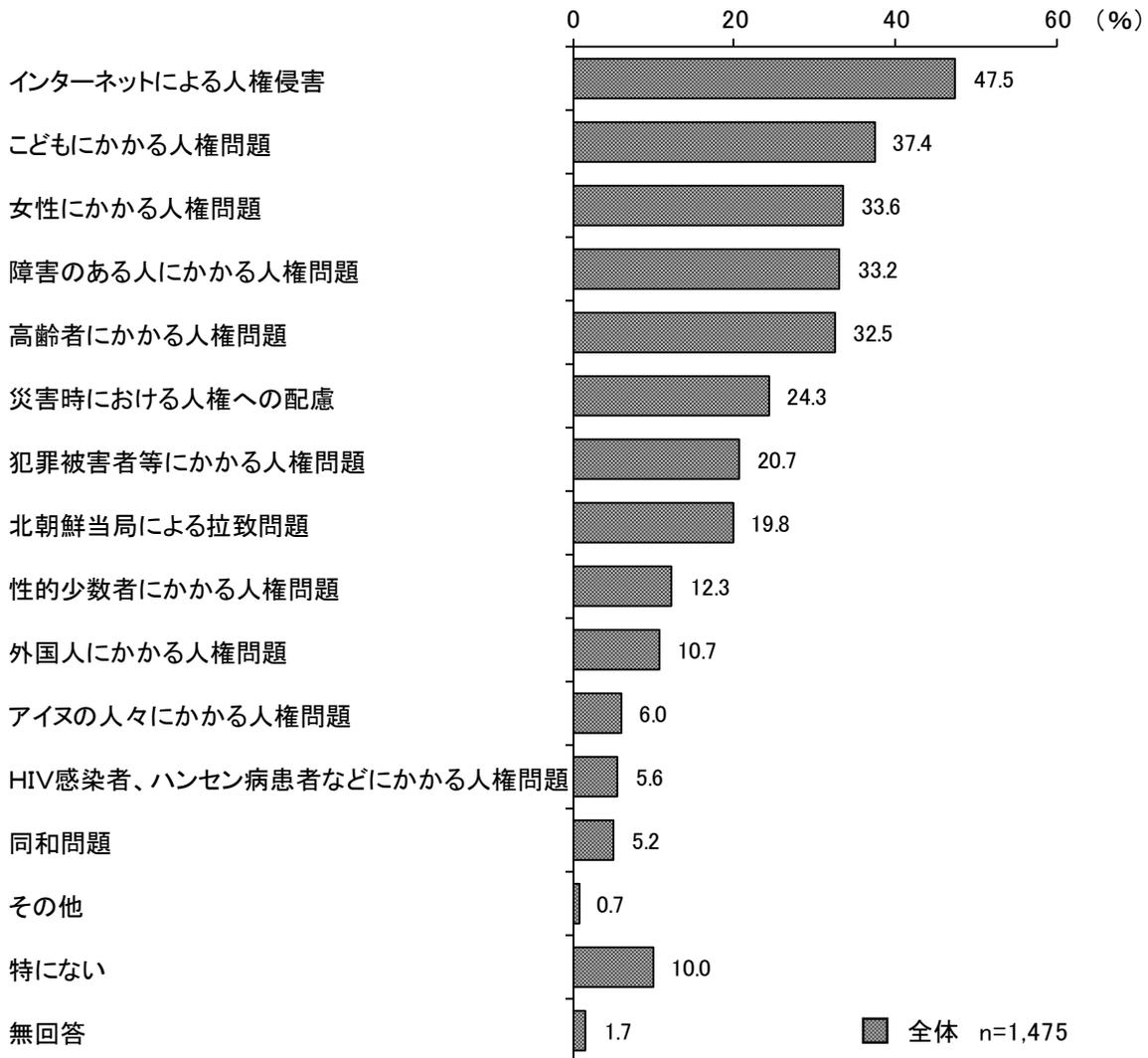
女性 n=829	38.4	9.0	5.9	1.9	52.1	0.7
女性18・19歳 n=5	60.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
女性20歳代 n=57	42.1	1.8	1.8	1.8	52.6	1.8
女性30歳代 n=94	30.9	6.4	6.4	2.1	60.6	0.0
女性40歳代 n=148	48.6	8.1	6.1	2.0	45.3	0.0
女性50歳代 n=174	36.2	9.2	6.3	1.7	53.4	0.6
女性60歳代 n=141	35.5	12.1	6.4	2.1	53.2	0.0
女性70歳以上 n=209	36.8	10.5	5.7	1.9	51.7	1.9

(4) 関心のある人権問題

◇「インターネットによる人権侵害」が47.5%

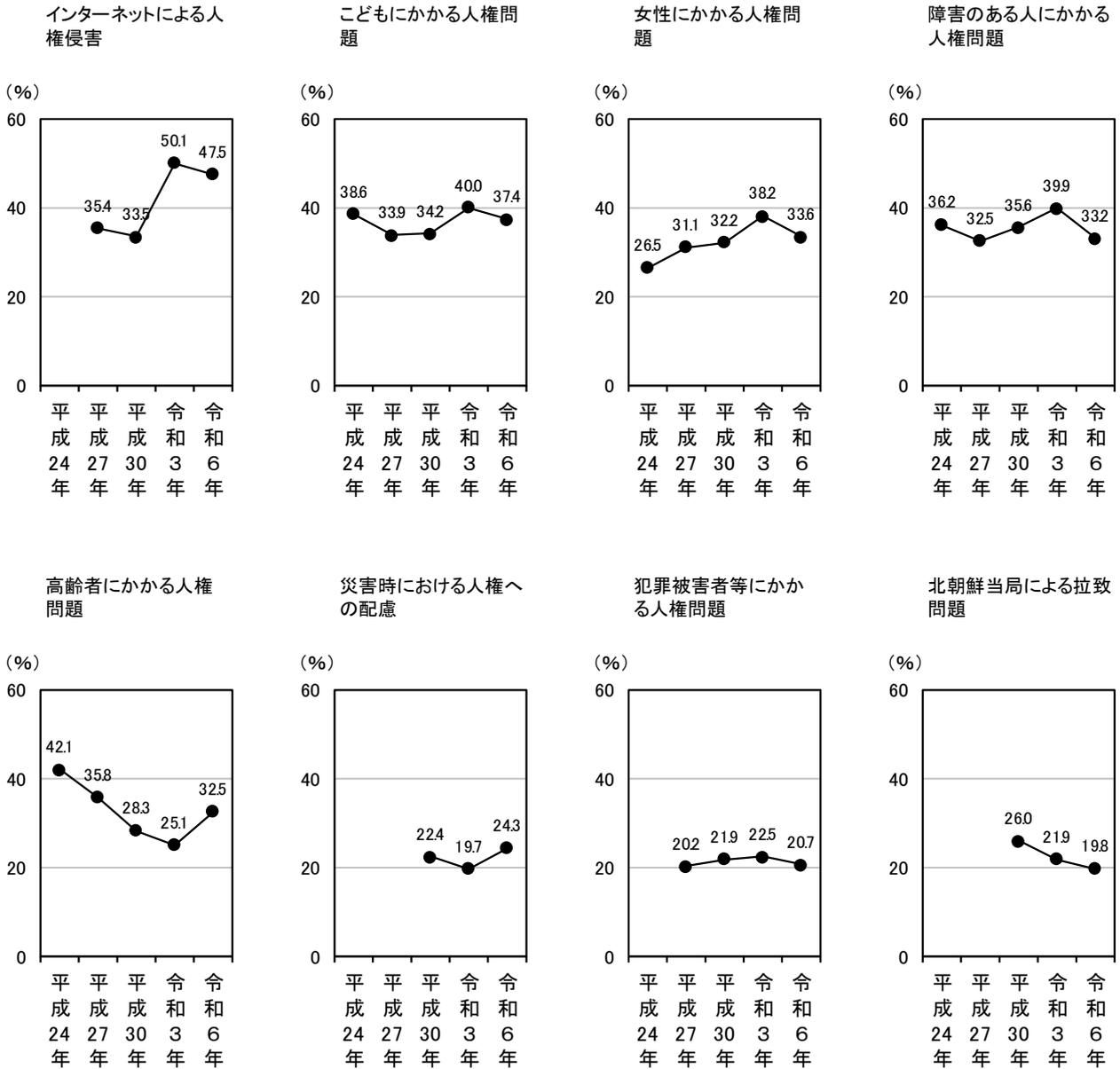
**問 43 現在、日本の社会には基本的人権に関わる問題がいくつかありますが、あなたが関心のあることは何ですか。(いくつでも)**

関心のある人権問題については、「インターネットによる人権侵害」が47.5%で最も高く、次いで「子どもにかかる人権問題」が37.4%、「女性にかかる人権問題」が33.6%、「障害のある人にかかる人権問題」が33.2%となっている。



■ 時系列での比較（上位8項目）

上位8項目を時系列で見ると、「高齢者にかかる人権問題」は前回調査より7.4ポイント増加、「災害時における人権への配慮」は4.6ポイント増加し、減少傾向から増加傾向に転じている。それ以外の6項目は前回調査より減少しており、「障害のある人にかかる人権問題」は6.7ポイント減少、「女性にかかる人権問題」は4.6ポイント減少し、増加傾向から減少傾向に転じている。また、「北朝鮮当局による拉致問題」は減少傾向が続いている。



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、「障害のある人にかかる人権問題」以外は女性が男性より高くなっており、「女性にかかる人権問題」は2割上回っている。「インターネットによる人権侵害」は男性20～60歳代、女性40～60歳代で1位となっており、40歳代、50歳代は男女とも5割台と高くなっている。「子どもにかかる人権問題」は男女とも30歳代で1位となっており、女性30歳代、40歳代は5割台と高くなっている。「女性にかかる人権問題」は女性20歳代で1位となっており、女性20～40歳代は5割前後と高くなっている。「高齢者にかかる人権問題」は男女とも70歳以上で5割台、1位となっている。

単位：%	インターネットによる人権侵害	子どもにかかる人権問題	女性にかかる人権問題	障害のある人にかかる人権問題	高齢者にかかる人権問題	災害時における人権への配慮
全体 n=1,475	47.5	37.4	33.6	33.2	32.5	24.3

【性別・年代別】

男性 n=597	46.1	36.5	22.1	34.0	32.7	19.8
男性18・19歳 n=12	58.3	8.3	8.3	25.0	25.0	0.0
男性20歳代 n=50	42.0	40.0	20.0	26.0	14.0	12.0
男性30歳代 n=53	49.1	49.1	20.8	30.2	20.8	22.6
男性40歳代 n=83	56.6	39.8	22.9	26.5	15.7	19.3
男性50歳代 n=120	51.7	31.7	23.3	30.8	27.5	24.2
男性60歳代 n=113	46.9	29.2	20.4	32.7	31.0	16.8
男性70歳以上 n=166	35.5	40.4	24.1	45.2	56.0	21.7

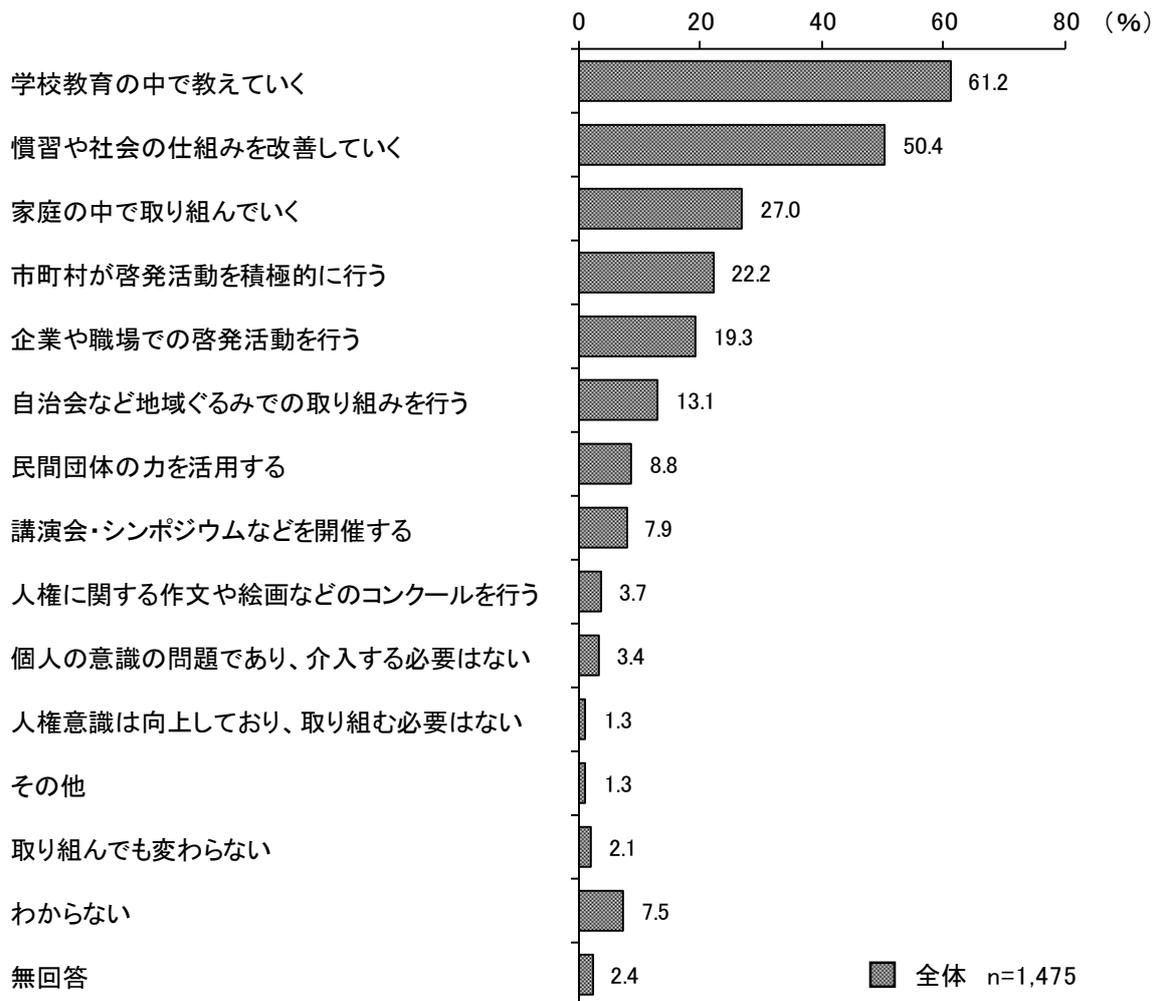
女性 n=829	49.0	39.0	42.3	33.2	33.3	27.7
女性18・19歳 n=5	60.0	40.0	80.0	60.0	20.0	20.0
女性20歳代 n=57	42.1	36.8	49.1	26.3	14.0	17.5
女性30歳代 n=94	44.7	54.3	51.1	28.7	19.1	24.5
女性40歳代 n=148	58.1	54.1	50.7	29.1	23.6	27.0
女性50歳代 n=174	56.3	25.9	39.1	27.6	23.6	24.1
女性60歳代 n=141	48.9	33.3	39.0	38.3	45.4	27.0
女性70歳以上 n=209	39.7	36.8	34.9	40.7	52.2	35.9

### (5) 人権意識を高めていくために必要な取組

◇「学校教育の中で教えていく」が61.2%

#### 問 44 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めていくためには、今後どのような取組が必要だとお考えですか。(いくつでも)

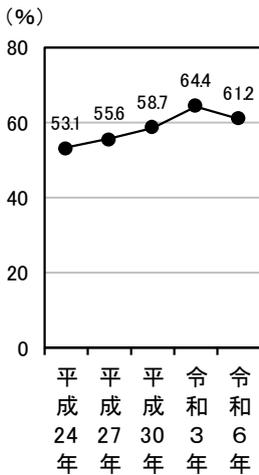
人権意識を高めていくために必要な取組については、「学校教育の中で教えていく」が61.2%で最も高く、次いで「慣習や社会の仕組みを改善していく」が50.4%、「家庭の中で取り組んでいく」が27.0%、「市町村が啓発活動を積極的に行う」が22.2%となっている。



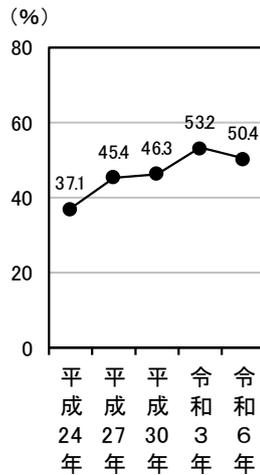
■ 時系列での比較（上位8項目）

上位8項目を時系列で見ると、「企業や職場での啓発活動を行う」以外の項目は前回調査から減少しており、「学校教育の中で教えていく」は3.2ポイント減少、「慣習や社会の仕組みを改善していく」は2.8ポイント減少し、増加傾向から減少に転じている。「家庭の中で取り組んでいく」も3.3ポイント減少している。しかし、平成24年度と比べると、「慣習や社会の仕組みを改善していく」は13.3ポイント、「学校教育の中で教えていく」、「企業や職場での啓発活動を行う」は6ポイント以上増加している。

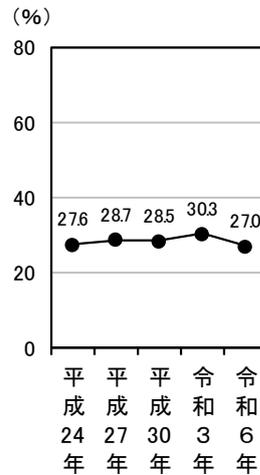
学校教育の中で教えていく



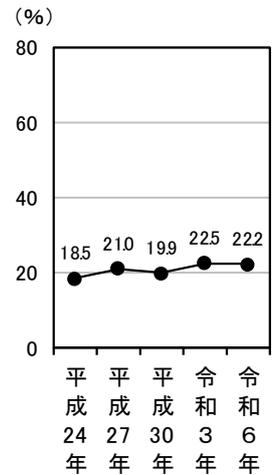
慣習や社会の仕組みを改善していく



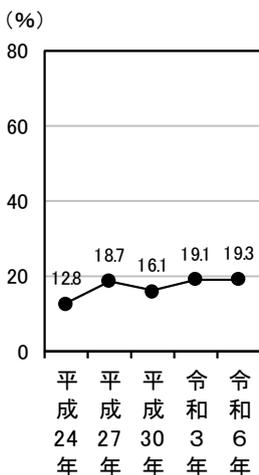
家庭の中で取り組んでいく



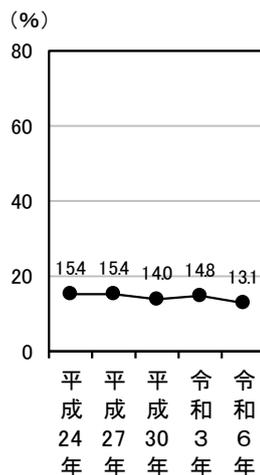
市町村が啓発活動を積極的に行う



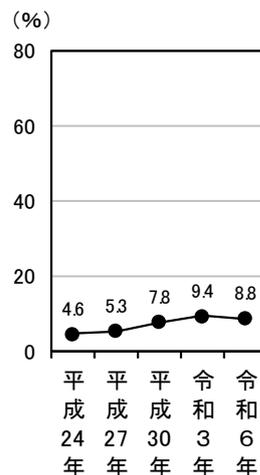
企業や職場での啓発活動を行う



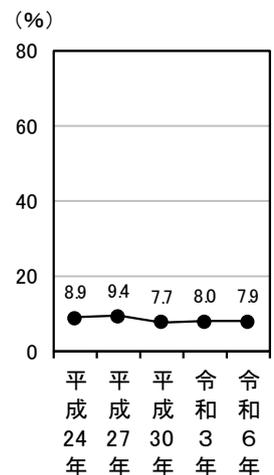
自治会など地域ぐるみでの取り組みを行う



民間団体の力を活用する



講演会・シンポジウムなどを開催する



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、「市町村が啓発活動を積極的に行う」は男性、それ以外は女性でより高く、「家庭の中で取り組んでいく」は10.4ポイント、「学校教育の中で教えていく」、「慣習や社会の仕組みを改善していく」は6ポイント以上女性が男性を上回っている。「学校教育の中で教えていく」は男性・女性ともに20歳代以上で1位となっており、男性40歳代を除き5割以上、女性40歳代は7割と高くなっている。「慣習や社会の仕組みを改善していく」は女性40歳代で6割を超え、男性30歳代、女性30歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上も5割台と高くなっている。また、「家庭の中で取り組んでいく」は女性30歳代、40歳代で約4割となっており、「市町村が啓発活動を積極的に行う」、「自治会など地域ぐるみでの取り組みを行う」は男性70歳代以上で全体を10ポイント以上高くなっている。

単位：%	学校教育の中で教えていく	慣習や社会の仕組みを改善していく	家庭の中で取り組んでいく	市町村が啓発活動を積極的に行う	企業や職場での啓発活動を行う	自治会など地域ぐるみでの取り組みを行う
全体 n=1,475	61.2	50.4	27.0	22.2	19.3	13.1

【性別・年代別】

男性 n=597	58.1	45.9	21.1	24.8	18.9	13.7
男性18・19歳 n=12	91.7	33.3	25.0	8.3	16.7	16.7
男性20歳代 n=50	58.0	48.0	22.0	6.0	12.0	2.0
男性30歳代 n=53	60.4	54.7	26.4	20.8	18.9	5.7
男性40歳代 n=83	49.4	45.8	24.1	19.3	21.7	12.0
男性50歳代 n=120	52.5	40.8	16.7	18.3	21.7	8.3
男性60歳代 n=113	61.9	43.4	22.1	27.4	15.0	11.5
男性70歳以上 n=166	60.8	48.8	19.9	38.6	20.5	25.9

女性 n=829	64.3	54.6	31.5	20.6	19.8	12.7
女性18・19歳 n=5	60.0	80.0	20.0	20.0	20.0	0.0
女性20歳代 n=57	68.4	47.4	15.8	15.8	21.1	7.0
女性30歳代 n=94	69.1	52.1	38.3	7.4	16.0	10.6
女性40歳代 n=148	70.3	62.8	40.5	20.9	20.9	8.8
女性50歳代 n=174	61.5	53.4	29.9	20.7	23.6	9.8
女性60歳代 n=141	63.1	50.4	22.0	19.9	22.7	15.6
女性70歳以上 n=209	60.3	55.0	34.4	28.2	15.3	18.7

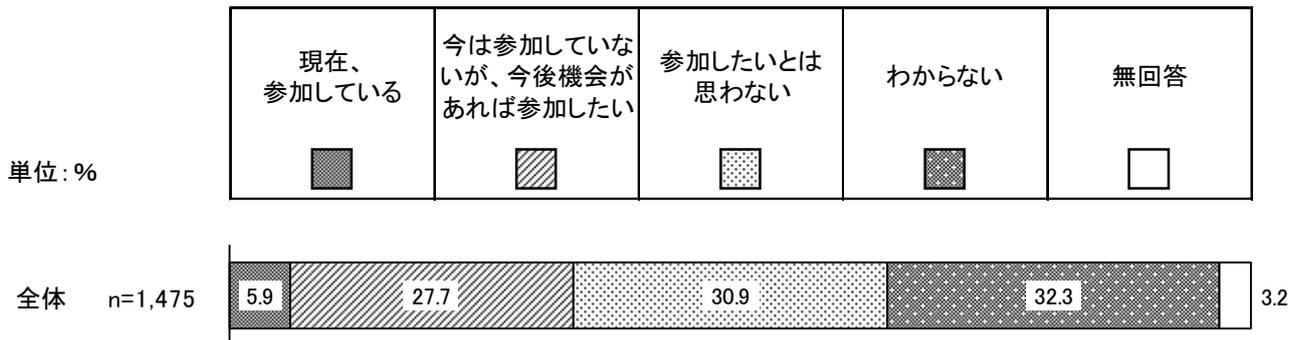
## (6) 市民活動への参加意向

◇「参加したいとは思わない」が30.9%

### 問 45 あなたは、市民活動に参加したいと思えますか。(1つのみ)

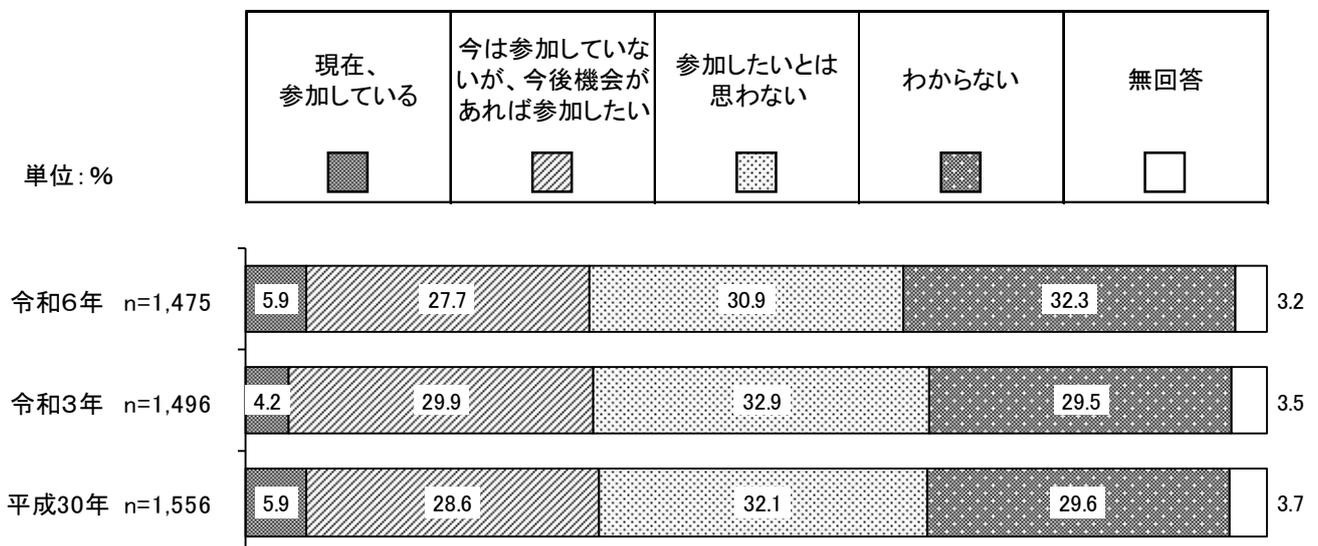
※「市民活動」とは、「営利を目的とせず、社会や地域の課題の解決に向けて自発的・自主的・継続的に行う活動（宗教活動や政治活動を主な目的とする活動は除く）」を想定しています。

市民活動への参加意向については、「参加したいとは思わない」が30.9%で最も高く、次いで「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が27.7%、「現在、参加している」が5.9%となっている。なお、「わからない」は32.3%となっている。



### ■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



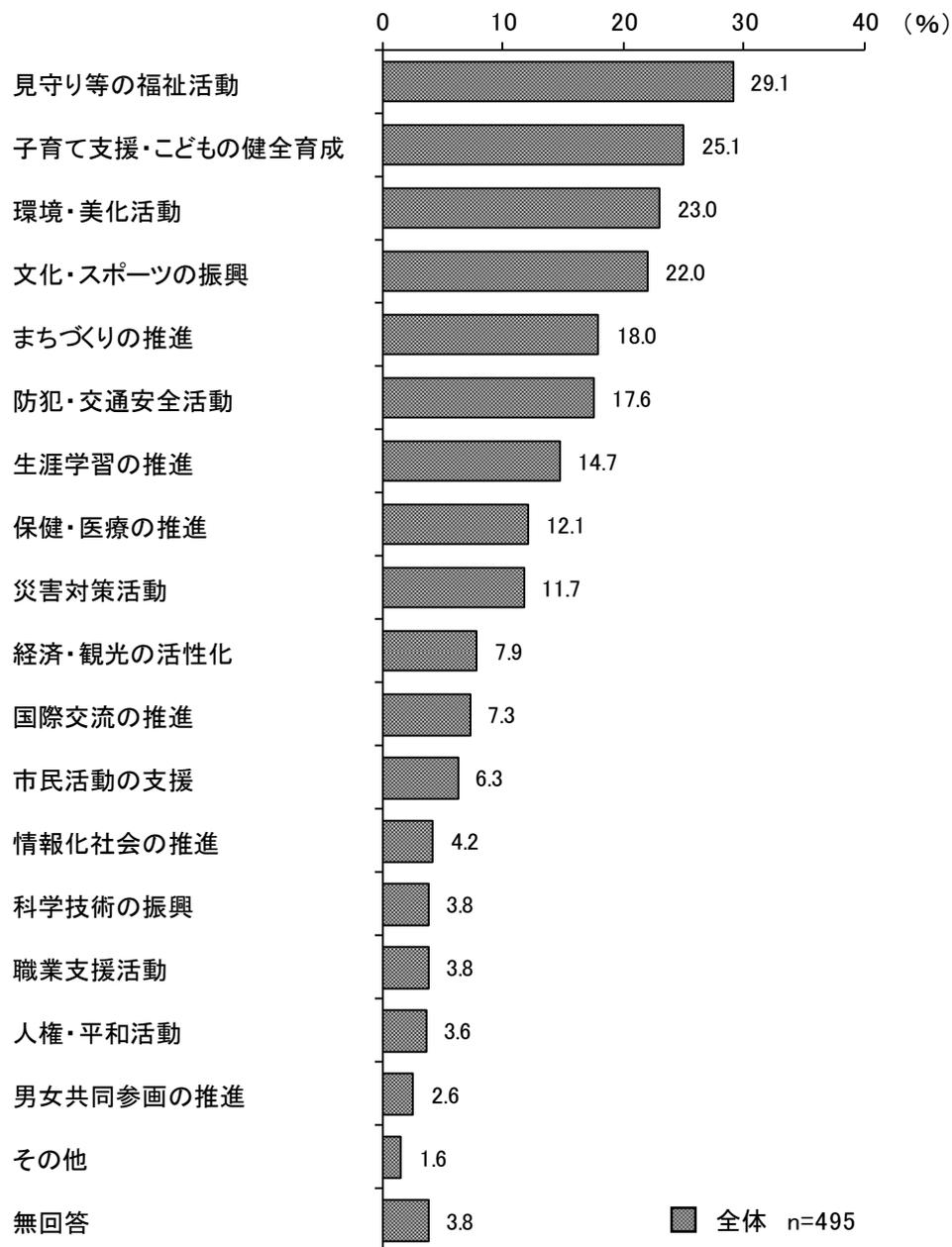
### (7) 参加したい市民活動の分野

◇「見守り等の福祉活動」が 29.1%

【問 45 で「現在、参加している」「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と回答した方におたずねします。】

**問 45-1 あなたが参加している、または参加したいと思う市民活動の分野は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

参加したい市民活動の分野については、「見守り等の福祉活動」が 29.1%で最も高く、次いで「子育て支援・こどもの健全育成」が 25.1%、「環境・美化活動」が 23.0%、「文化・スポーツの振興」が 22.0%となっている。



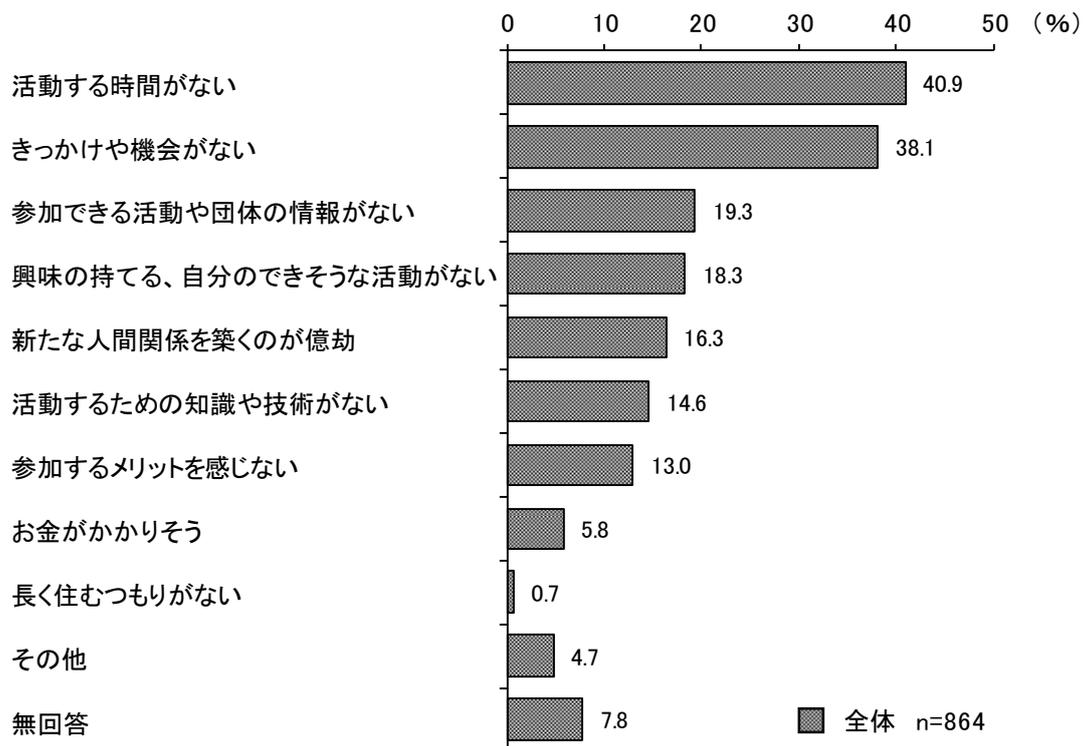
## (8) 市民活動に参加していない、参加したいと思わない理由

◇「活動する時間がない」が40.9%

【問45で「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」「参加したいと思わない」と回答した方におたずねします。】

## 問45-2 参加していない、または参加したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

市民活動に参加していない、参加したいと思わない理由については、「活動する時間がない」が40.9%で最も高く、次いで「きっかけや機会がない」が38.1%、「参加できる活動や団体の情報がない」が19.3%、「興味を持てる、自分のできそうな活動がない」が18.3%となっている。

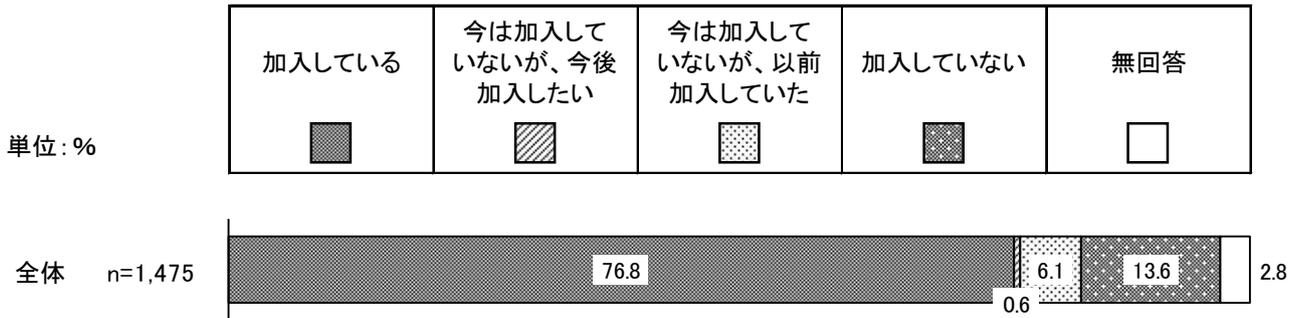


(9) 自治会への加入状況

◇「加入している」が76.8%

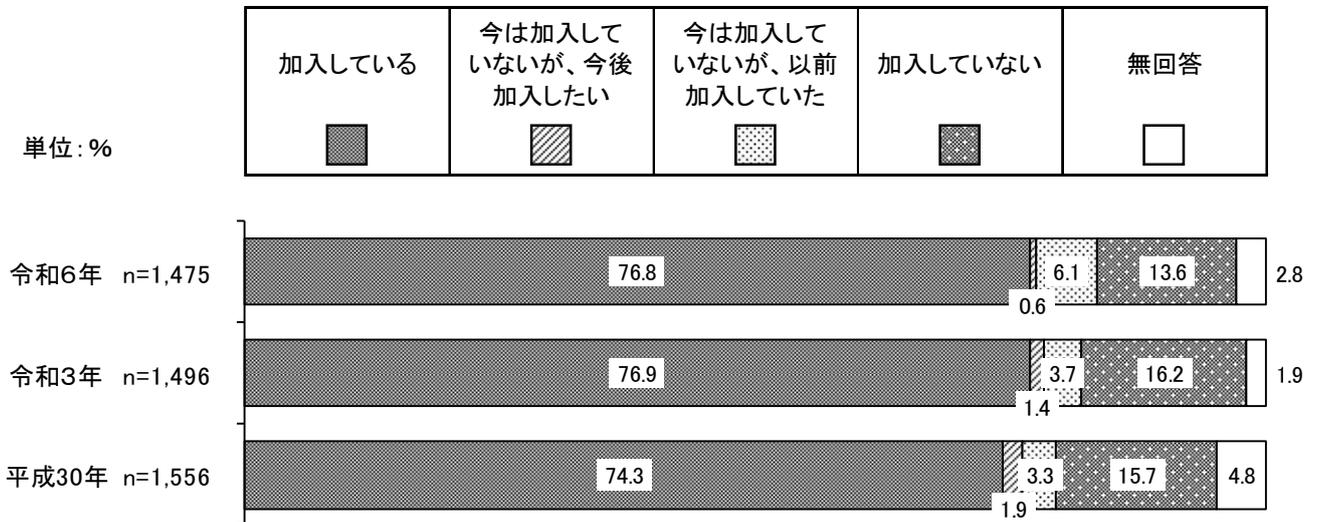
問 46 自治会への加入の有無について、教えてください。(1つのみ)

自治会への加入状況については、「加入している」が76.8%で最も高く、次いで「加入していない」が13.6%、「今は加入していないが、以前加入していた」が6.1%、「今は加入していないが、今後加入したい」が0.6%となっている。



■ 時系列での比較

時系列で見ると、「今は加入していないが、以前加入していた」は前回調査より2.4ポイント、平成30年度より2.8ポイント増加し、増加傾向となっている。



■ 年代列

年代列でみると、「加入している」は60歳代、70歳以上で8割台と高くなっている。一方、「加入していない」は20歳代で4割を超えているが、年代が高くなるにつれ減少傾向となっている。

単位：%	加入している	今は加入していないが、今後加入したい	今は加入していないが、以前加入していた	加入していない	無回答
全体 n=1,475	76.8	0.6	6.1	13.6	2.8
【年代別】					
18・19歳 n=17	52.9	5.9	0.0	35.3	5.9
20歳代 n=110	48.2	1.8	3.6	42.7	3.6
30歳代 n=150	63.3	2.0	4.0	27.3	3.3
40歳代 n=238	79.4	0.4	6.3	12.2	1.7
50歳代 n=297	79.1	0.3	7.7	11.1	1.7
60歳代 n=257	83.7	0.0	7.4	6.6	2.3
70歳以上 n=375	85.3	0.3	5.9	6.4	2.1

■ 居住地区列

居住地区列でみると、「加入している」は『霞ヶ関北地区』が88.5%で最も高く、『古谷地区』、『芳野地区』、『名細地区』も8割台となっている。一方、「加入していない」は『川鶴地区』が21.1%で最も高く、次いで『霞ヶ関地区』が16.6%、『本庁地区』が15.8%となっている。

単位：%	加入している	今は加入していないが、今後加入したい	今は加入していないが、以前加入していた	加入していない	無回答
全体 n=1,475	76.8	0.6	6.1	13.6	2.8
【居住地区別】					
本庁地区 n=330	77.9	0.9	4.5	15.8	0.9
芳野地区 n=44	86.4	0.0	0.0	11.4	2.3
古谷地区 n=59	86.4	0.0	5.1	6.8	1.7
南古谷地区 n=131	77.1	0.8	6.1	13.0	3.1
高階地区 n=157	73.2	0.0	9.6	14.6	2.5
福原地区 n=94	78.7	1.1	3.2	12.8	4.3
大東地区 n=138	77.5	0.0	8.7	10.1	3.6
霞ヶ関地区 n=163	75.5	0.6	4.9	16.6	2.5
川鶴地区 n=71	63.4	1.4	12.7	21.1	1.4
霞ヶ関北地区 n=52	88.5	0.0	3.8	7.7	0.0
名細地区 n=96	84.4	0.0	6.3	7.3	2.1
山田地区 n=77	77.9	2.6	7.8	10.4	1.3

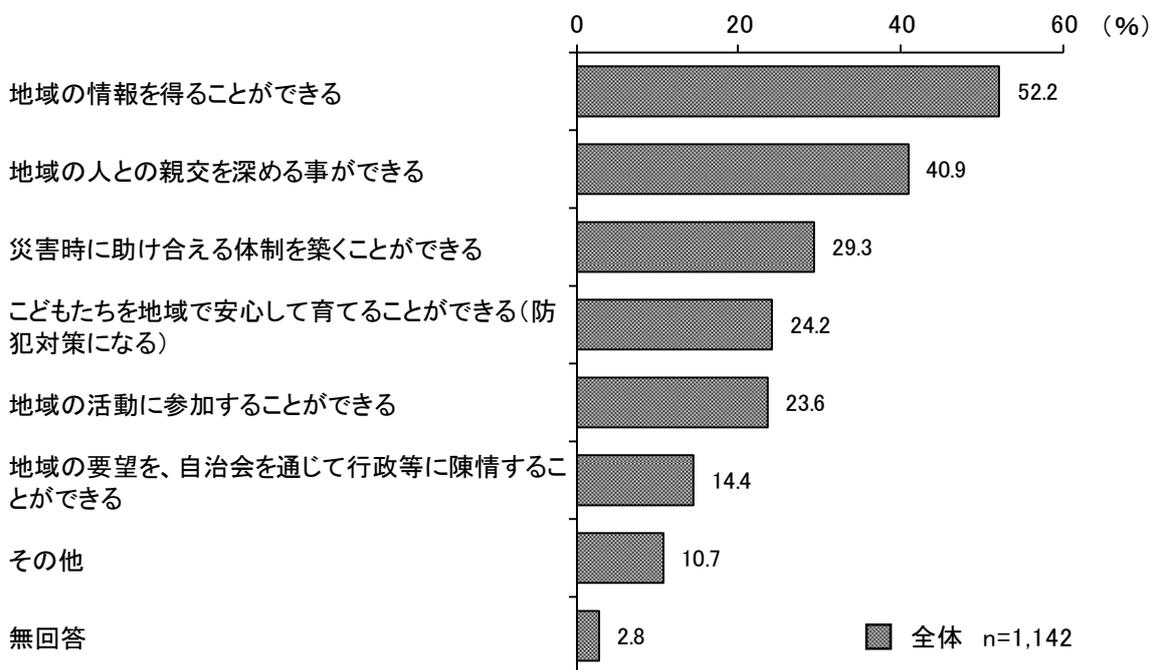
(10) 自治会に加入していて良かった、加入したいと思う理由

◇「地域の情報を得ることができる」が 52.2%

【問 46 で「加入している」「今は加入していないが、今後加入したい」と回答した方におたずねします。】

問 46-1 あなたが自治会に加入していて良かった、または加入したいと思う理由は何ですか。  
(いくつでも)

自治会に加入していて良かった、加入したいと思う理由については、「地域の情報を得ることができる」が 52.2%で最も高く、次いで「地域の人との親交を深める事ができる」が 40.9%、「災害時に助け合える体制を築くことができる」が 29.3%、「子どもたちを地域で安心して育てることができる(防犯対策になる)」が 24.2%となっている。



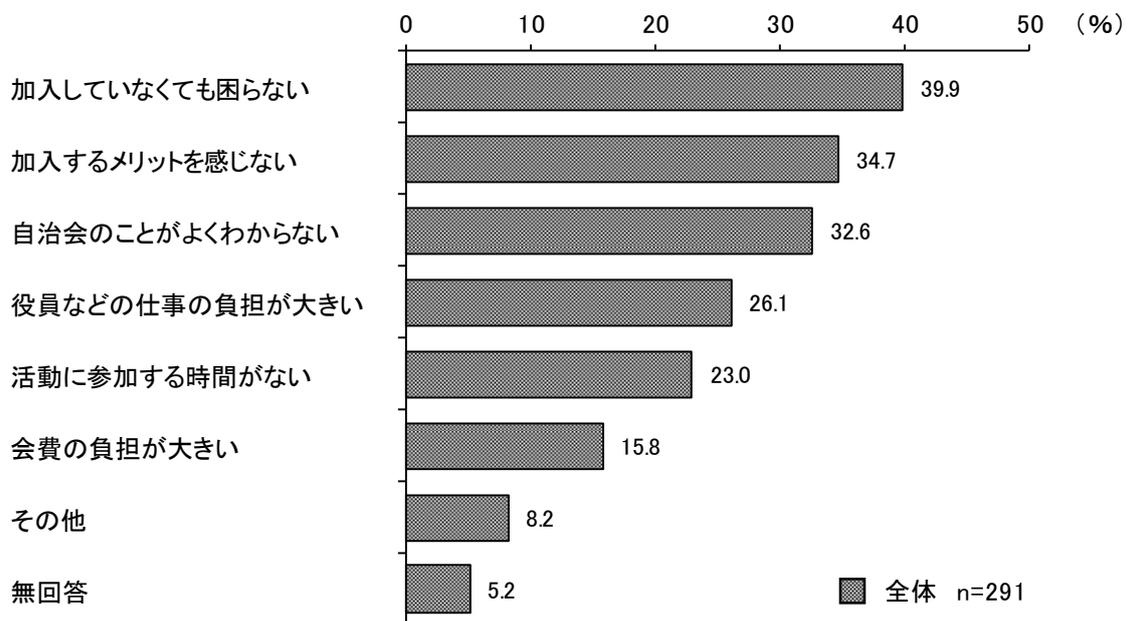
(11) 自治会に加入していない、加入したいと思わない理由

◇「加入していなくても困らない」が 39.9%

【問 46 で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問 46-2 あなたが自治会に加入していない、または加入したいと思わない理由は何ですか。  
(いくつでも)

自治会に加入していない、加入したいと思わない理由については、「加入していなくても困らない」が 39.9%で最も高く、次いで「加入するメリットを感じない」が 34.7%、「自治会のことがよくわからない」が 32.6%、「役員などの仕事の負担が大きい」が 26.1%となっている。



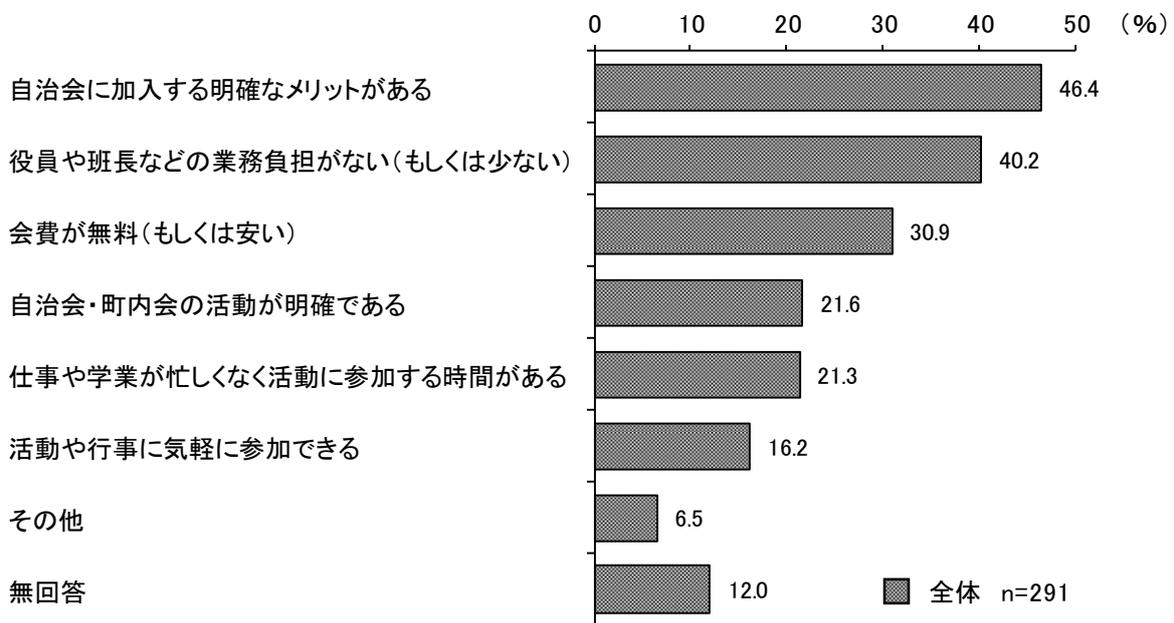
(12) 自治会への加入を考えてもいい、加入したいと思える条件

◇「自治会に加入する明確なメリットがある」が46.4%

【問46で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問46-3 あなたが自治会への加入を考えてもいい、または加入したいと思える条件は何ですか。(いくつでも)

自治会への加入を考えてもいい、加入したいと思える条件については、「自治会に加入する明確なメリットがある」が46.4%で最も高く、次いで「役員や班長などの業務負担がない(もしくは少ない)」が40.2%、「会費が無料(もしくは安い)」が30.9%、「自治会・町内会の活動が明確である」が21.6%となっている。



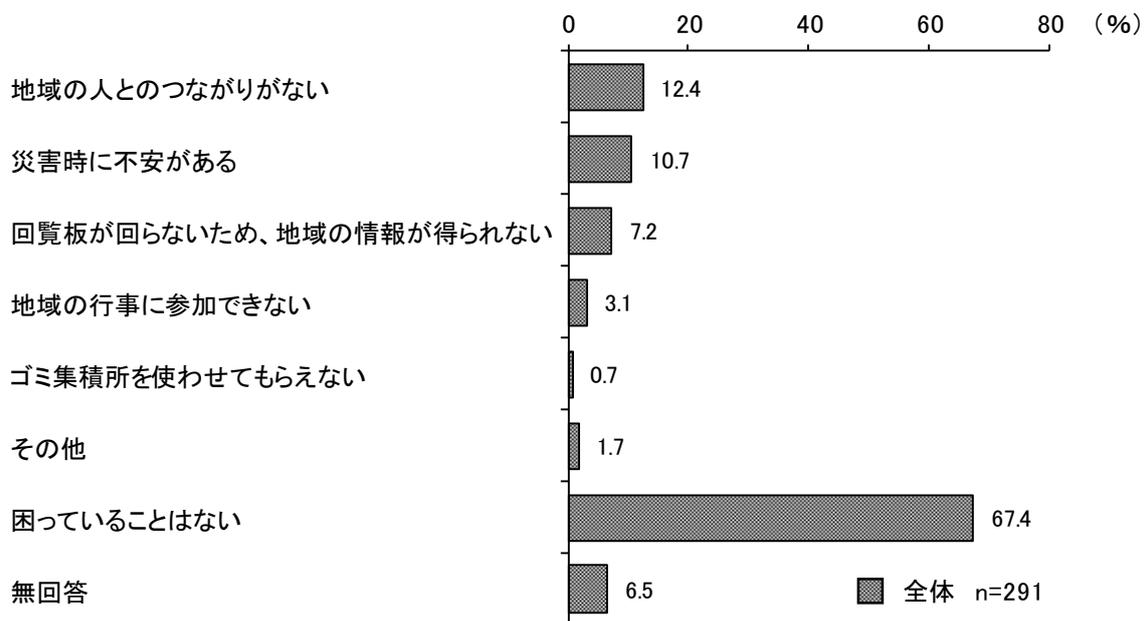
## (13) 自治会に加入していないことで困っていること

◇「地域の人とのつながりがない」が12.4%

【問46で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

## 問46-4 自治会に加入していないことで、困っていることは何ですか。(いくつでも)

自治会に加入していないことで困っていることについては、「地域の人とのつながりがない」が12.4%で最も高く、次いで「災害時に不安がある」が10.7%、「回覧板が回らないため、地域の情報が得られない」が7.2%、「地域の行事に参加できない」が3.1%となっている。なお、「困っていることはない」は67.4%となっている。

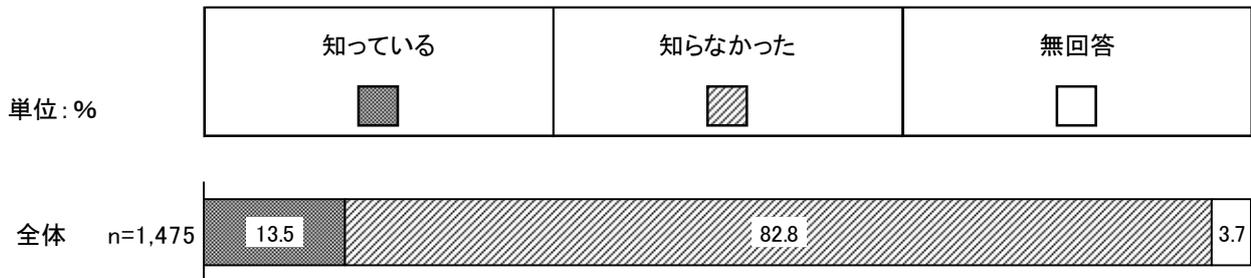


**(14) 「地域会議」が設立されていること・活動していることの認知状況**

◇ 「知らなかった」が 82.8%

**問 47 各地域における課題の解決に取り組むため、地域ごとに各種団体や個人が参加して「地域会議」が設立されていること・活動していることをご存知ですか。(1つのみ)**

「地域会議」が設立されていること・活動していることの認知状況については、「知っている」が 13.5%、「知らなかった」が 82.8%と、「知らなかった」が 69.3 ポイント上回っている。

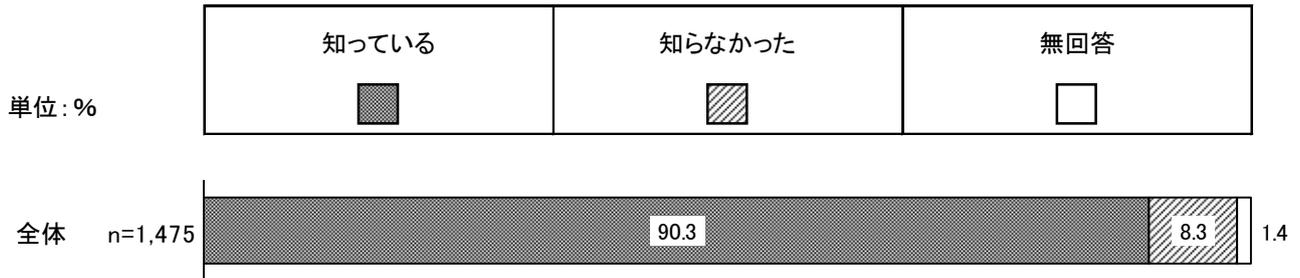


(15) 市民センター・連絡所での手続きの認知状況

◇「知っている」が90.3%

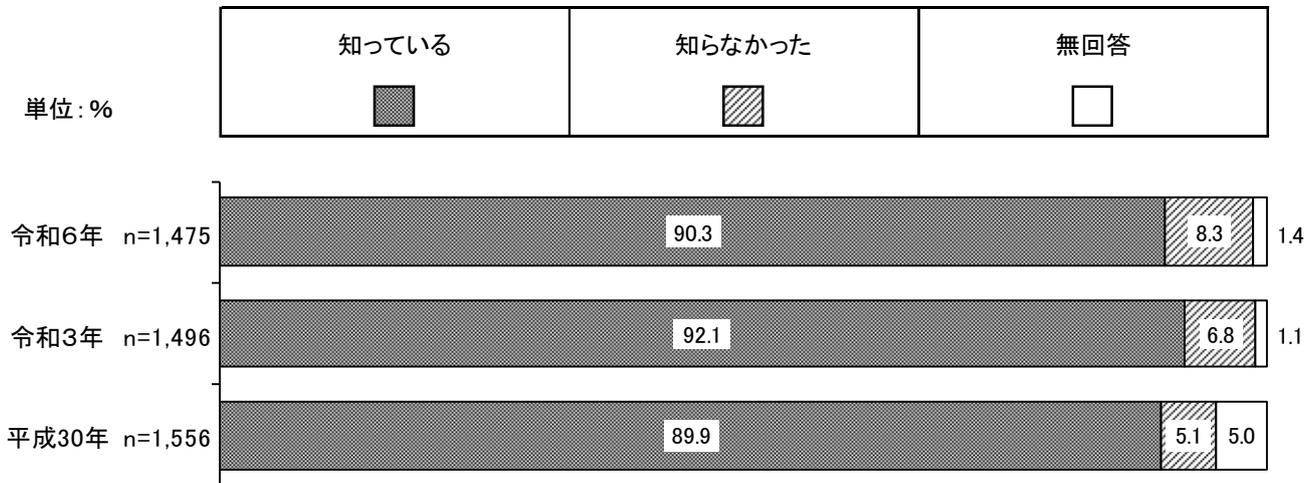
**問 48 住民票や戸籍などの証明書の取得、印鑑登録、住所変更（転入・転出など）や戸籍の届出（婚姻・出生など）は、市民センターや川越駅西口連絡所でも手続きができることをご存知ですか。（1つのみ）**

市民センター・連絡所での手続きの認知状況については、「知っている」が90.3%、「知らなかった」が8.3%と、「知っている」が82.0ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列で見ると、「知らなかった」は前回調査より1.5ポイント、平成30年度より3.2ポイント増加し、増加傾向となっている。

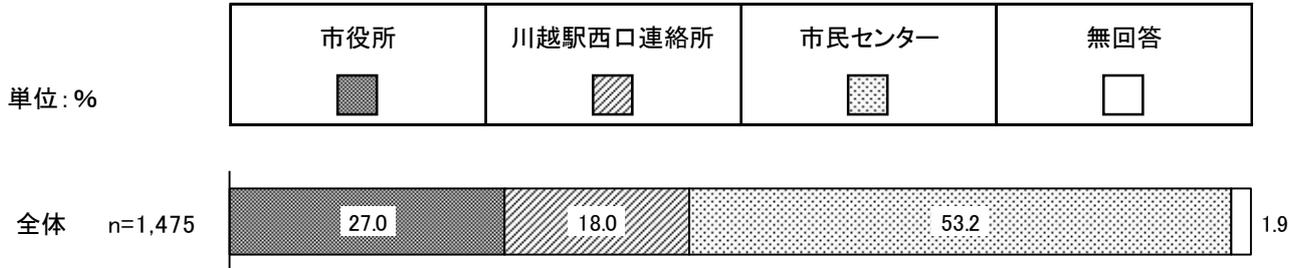


(16) 住民票等の取得手続きで利用している施設

◇ 「市民センター」が53.2%

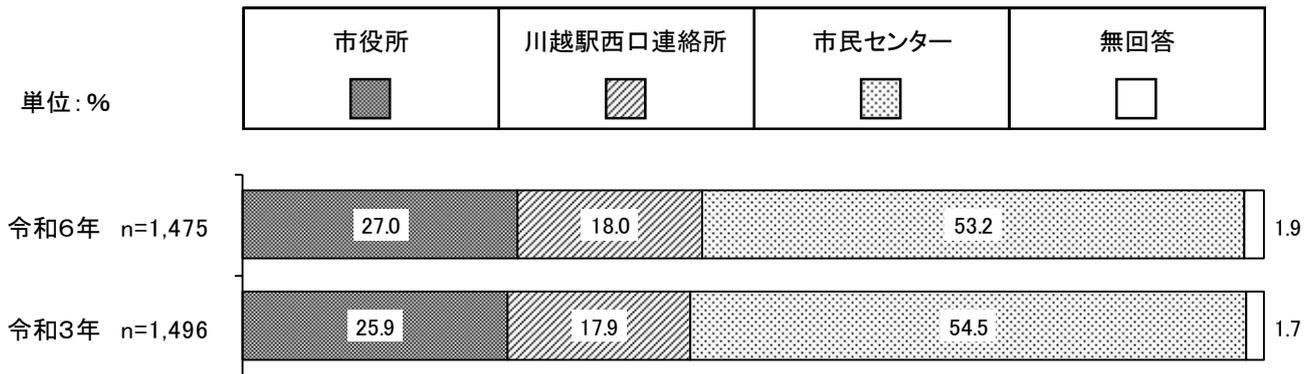
問 49 住民票や戸籍などのお手続きをする場合、どこを利用されますか。(1つのみ)

住民票等の取得手続きで利用している施設については、「市民センター」が53.2%で最も高く、次いで「市役所」が27.0%、「川越駅西口連絡所」が18.0%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



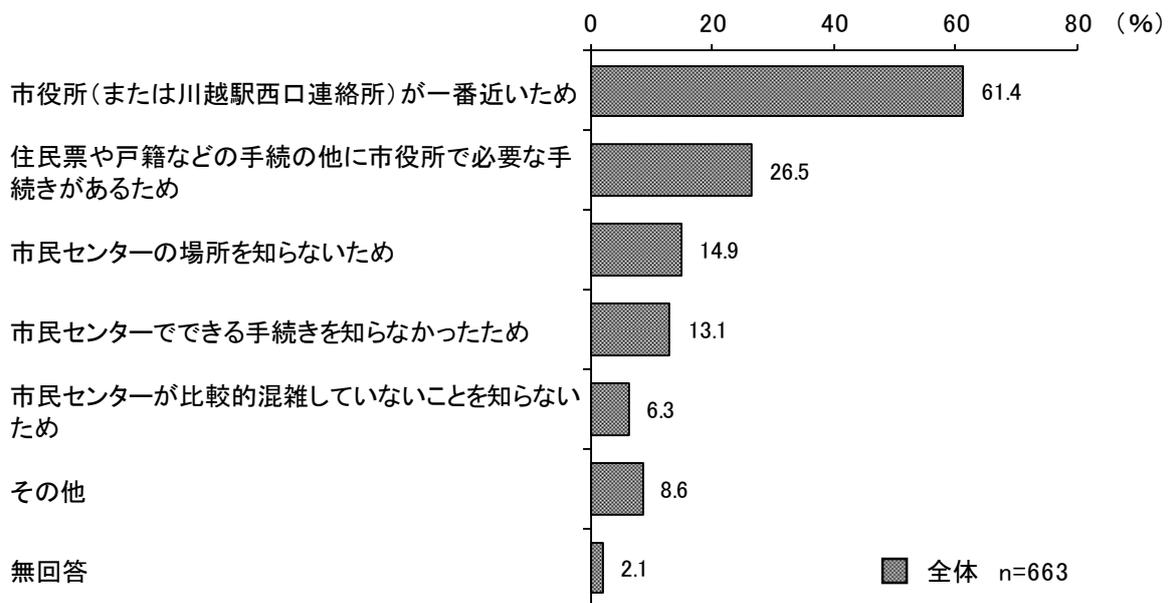
## (17) 市役所・川越駅西口連絡所を利用する理由

◇「市役所（または川越駅西口連絡所）が一番近い」が 61.4%

【問 49 で「市役所」または「川越駅西口連絡所」と回答した方におたずねします。】

問 49-1 「市役所」または「川越駅西口連絡所」を利用する理由は何ですか。（いくつでも）

市役所・川越駅西口連絡所を利用する理由については、「市役所（または川越駅西口連絡所）が一番近い」が 61.4%で最も高く、次いで「住民票や戸籍などの手続の他に市役所で必要な手続があるため」が 26.5%、「市民センターの場所を知らないため」が 14.9%、「市民センターでできる手続を知らなかったため」が 13.1%となっている。



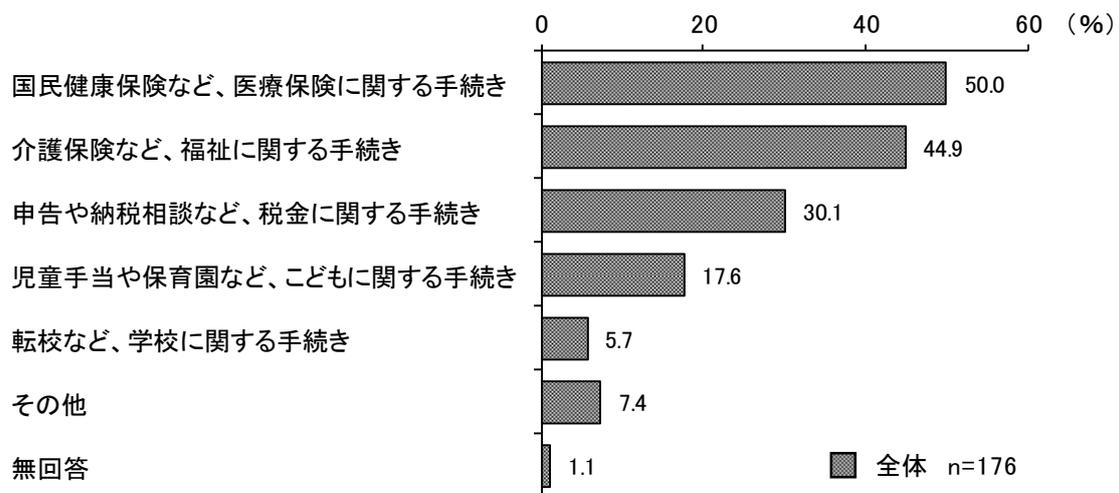
**(18) 住民票や戸籍などの手続の他に市役所で必要な手続き**

◇「国民健康保険など、医療保険に関する手続き」が50.0%

【問 49-1 で住民票や戸籍などの手続の他に市役所で必要な手続きがあるためと回答した方におたずねします。】

**問 49-2 住民票や戸籍などの手続の他に市役所で必要な手続きは何ですか。(いくつでも)**

住民票や戸籍などの手続の他に市役所で必要な手続きについては、「国民健康保険など、医療保険に関する手続き」が50.0%で最も高く、次いで「介護保険など、福祉に関する手続き」が44.9%、「申告や納税相談など、税金に関する手続き」が30.1%、「児童手当や保育園など、子どもに関する手続き」が17.6%となっている。

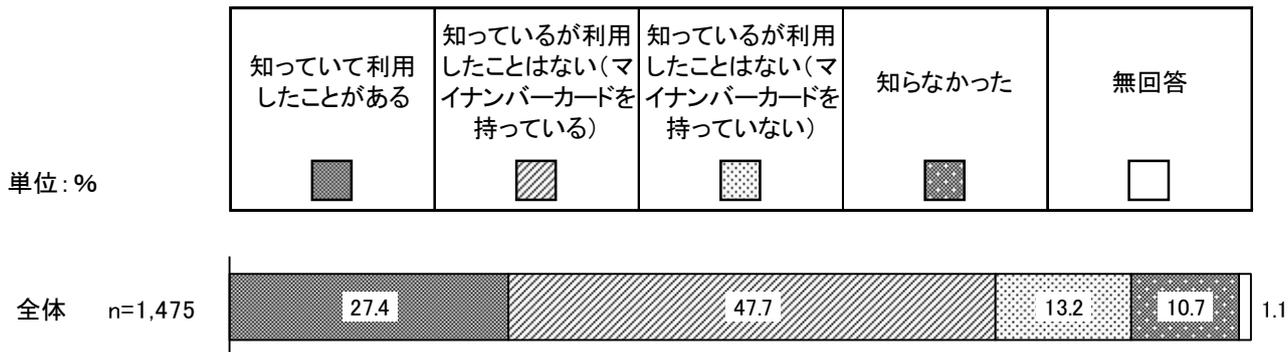


(19) 証明書等の「コンビニ交付」サービスの認知状況

◇「知っているが利用したことはない（マイナンバーカードを持っている）」が47.7%

問 50 証明書等の「コンビニ交付」サービスを知っていますか。（1つのみ）

証明書等の「コンビニ交付」サービスの認知状況については、「知っているが利用したことはない（マイナンバーカードを持っている）」が47.7%で最も高く、次いで「知っているが利用したことがある」が27.4%、「知っているが利用したことはない（マイナンバーカードを持っていない）」が13.2%、「知らなかった」が10.7%となっている。



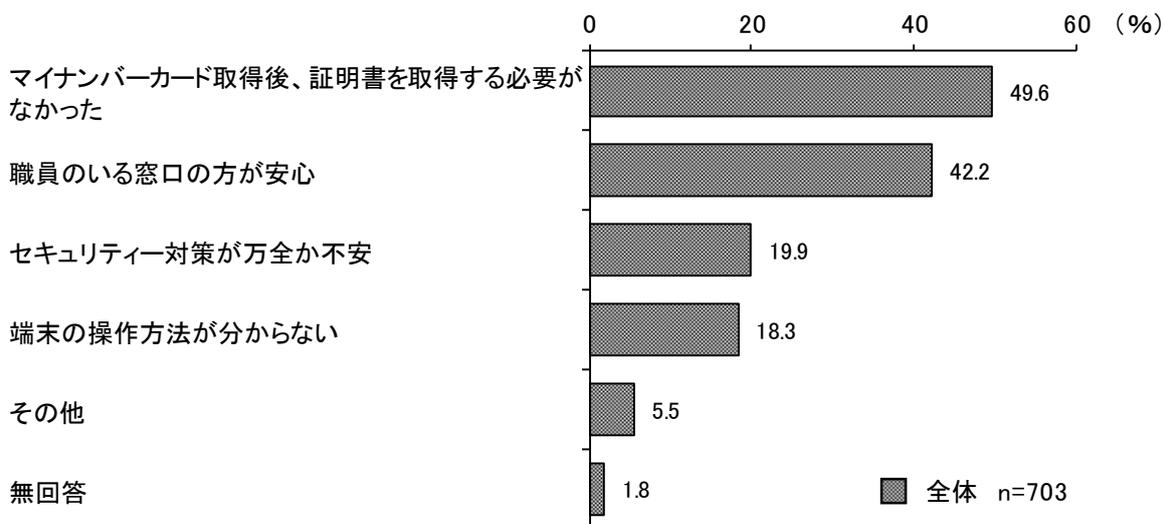
## (20) 「コンビニ交付」サービスを利用したことがない理由

◇「マイナンバーカード取得後、証明書を取得する必要がなかった」が49.6%

【問 50 で知っているが利用したことがない（マイナンバーカードを持っている）と回答した方におたずねします。】

### 問 50-1 利用したことがない理由は何ですか。（いくつでも）

「コンビニ交付」サービスを利用したことがない理由については、「マイナンバーカード取得後、証明書を取得する必要がなかった」が49.6%で最も高く、次いで「職員のいる窓口の方が安心」が42.2%、「セキュリティー対策が万全か不安」が19.9%、「端末の操作方法が分からない」が18.3%となっている。



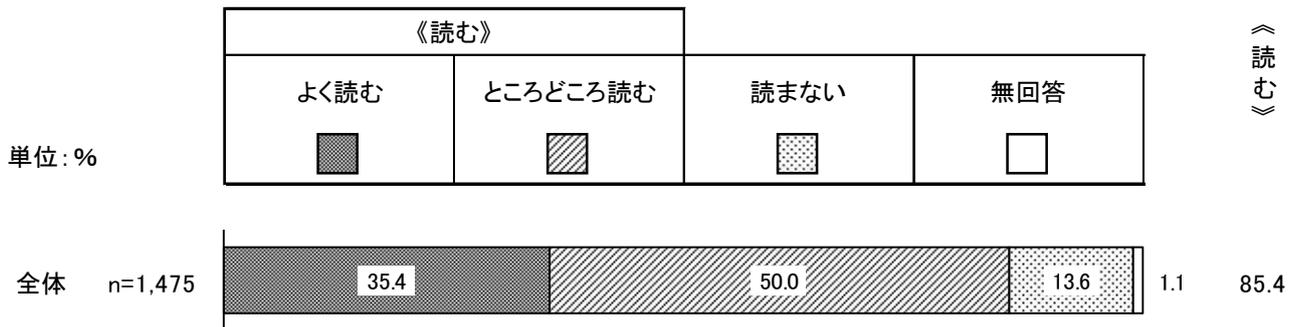
## 7 市政全般について

### (1) 「広報川越」の閲覧状況

◇ 《読む》が85.4%

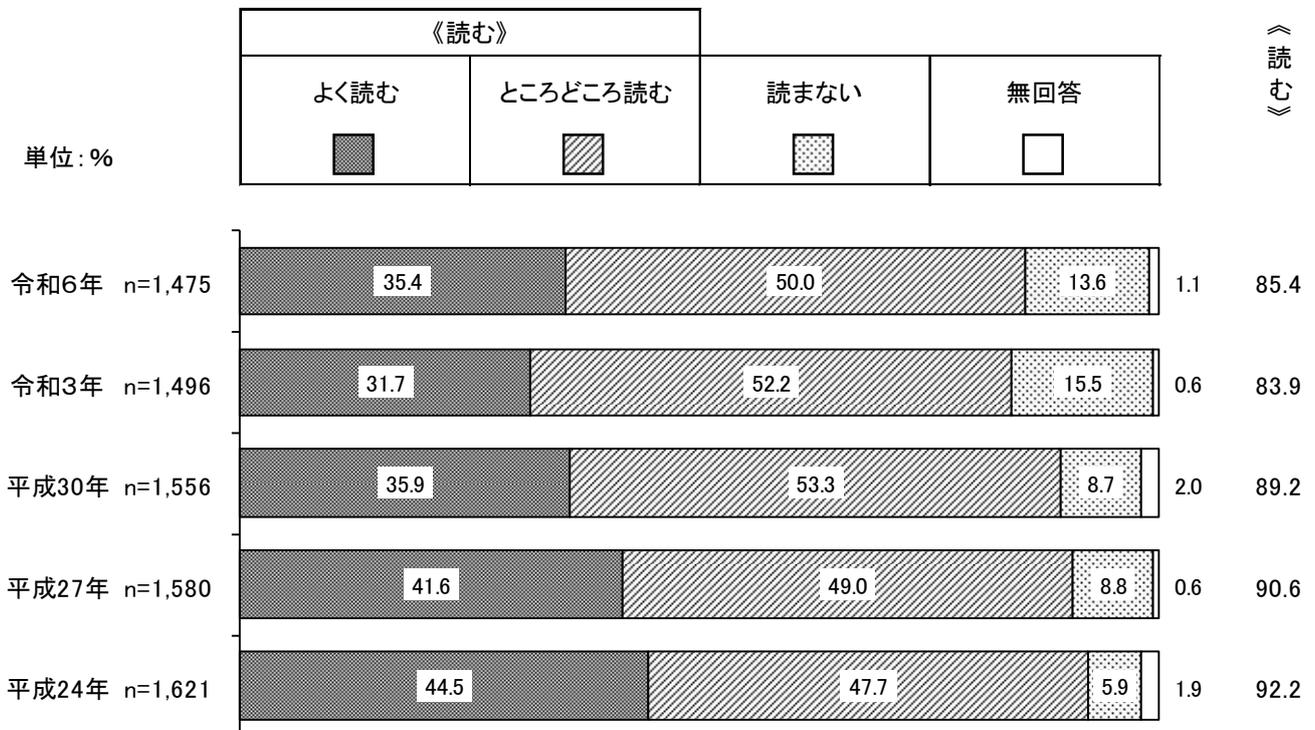
#### 問 51 あなたは、「広報川越」をご覧になりますか。(1つのみ)

「広報川越」の閲覧状況については、「よく読む」、「ところどころ読む」の合計値《読む》が85.4%である一方、「読まない」が13.6%と、《読む》が71.8ポイント上回っている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《読む》は前回調査より1.5ポイント増加し、「読まない」は1.9ポイント減少している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「読む」は男女とも20歳代以上では年代が高くなるほど増加傾向となっており、男性60歳代以上、女性50歳代以上は9割台と高くなっている。一方、「読まない」は男性20歳代で5割半ば、女性20歳代でほぼ5割と高くなっている。

単位: %	《読む》				《読む》 合計値
	よく読む	ところどころ読む	読まない	無回答	
全体 n=1,475	35.4	50.0	13.6	1.1	85.4
【性別・年代別】					
男性 n=597	33.8	47.4	18.6	0.2	81.2
男性18・19歳 n=12	8.3	41.7	50.0	0.0	50.0
男性20歳代 n=50	16.0	28.0	56.0	0.0	44.0
男性30歳代 n=53	22.6	43.4	34.0	0.0	66.0
男性40歳代 n=83	22.9	49.4	27.7	0.0	72.3
男性50歳代 n=120	28.3	54.2	17.5	0.0	82.5
男性60歳代 n=113	38.9	54.0	7.1	0.0	92.9
男性70歳以上 n=166	50.6	44.6	4.2	0.6	95.2
女性 n=829	37.0	52.4	10.1	0.5	89.4
女性18・19歳 n=5	0.0	40.0	60.0	0.0	40.0
女性20歳代 n=57	8.8	42.1	49.1	0.0	50.9
女性30歳代 n=94	24.5	54.3	21.3	0.0	78.8
女性40歳代 n=148	25.7	63.5	10.8	0.0	89.2
女性50歳代 n=174	35.6	59.2	4.6	0.6	94.8
女性60歳代 n=141	43.3	53.2	3.5	0.0	96.5
女性70歳以上 n=209	56.0	40.7	1.9	1.4	96.7

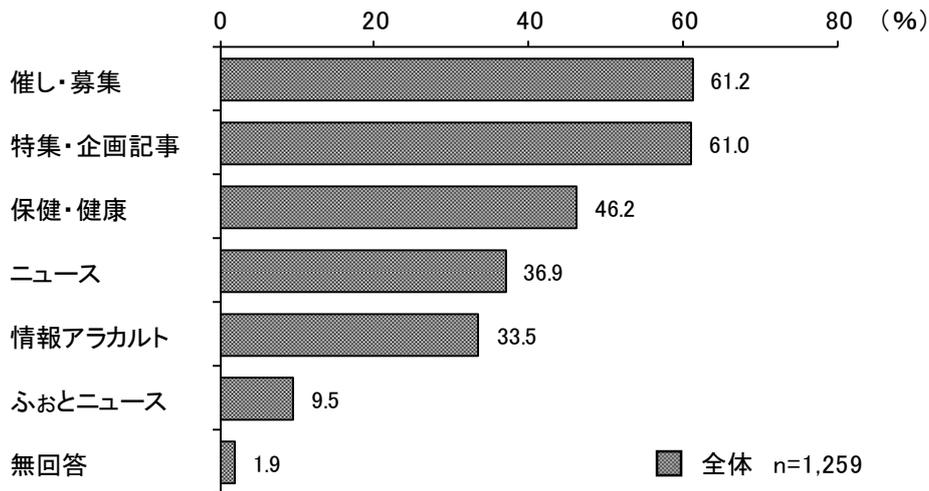
## (2) 広報川越でよく読むコーナー

◇「催し・募集」が 61.2%

【問 51 で「よく読む」「ところどころ読む」と回答した方におたずねします。】

問 51-1 広報川越でよく読むコーナーを選んでください。(いくつでも)

広報川越でよく読むコーナーについては、「催し・募集」が 61.2%で最も高く、次いで「特集・企画記事」が 61.0%、「保健・健康」が 46.2%、「ニュース」が 36.9%となっている。



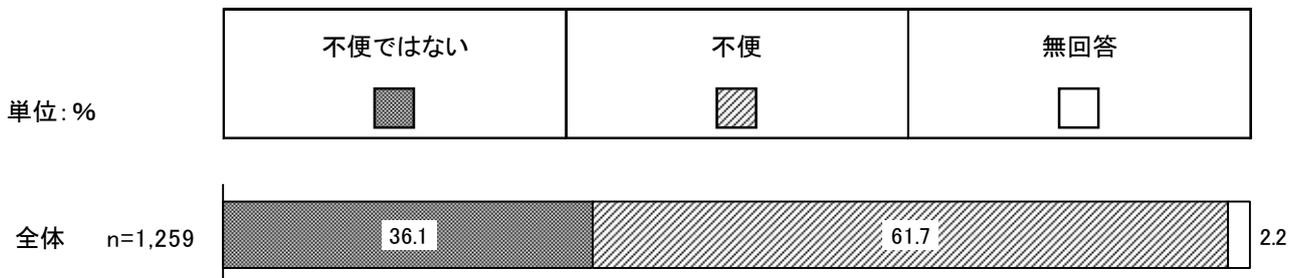
## (3) 広報川越を電子版配信のみとした場合の利便性

◇「不便」が 61.7%

【問 51 で「よく読む」「ところどころ読む」と回答した方におたずねします。】

問 51-2 紙の広報川越を配布せず、電子版の配信のみとした場合、不便だと感じますか。(1つのみ)

広報川越を電子版配信のみとした場合の利便性については、「不便ではない」が 36.1%、「不便」が 61.7%と、「不便」が 25.6 ポイント上回っている。

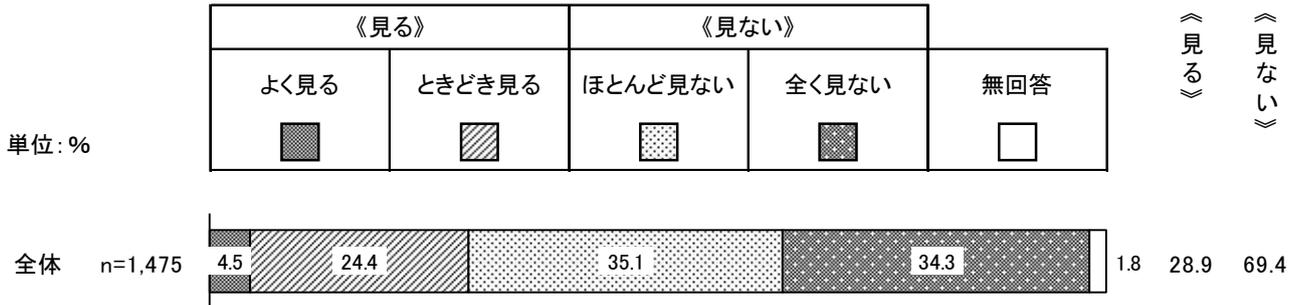


(4) 地域にある掲示板の閲覧状況

◇ 《見る》が28.9%

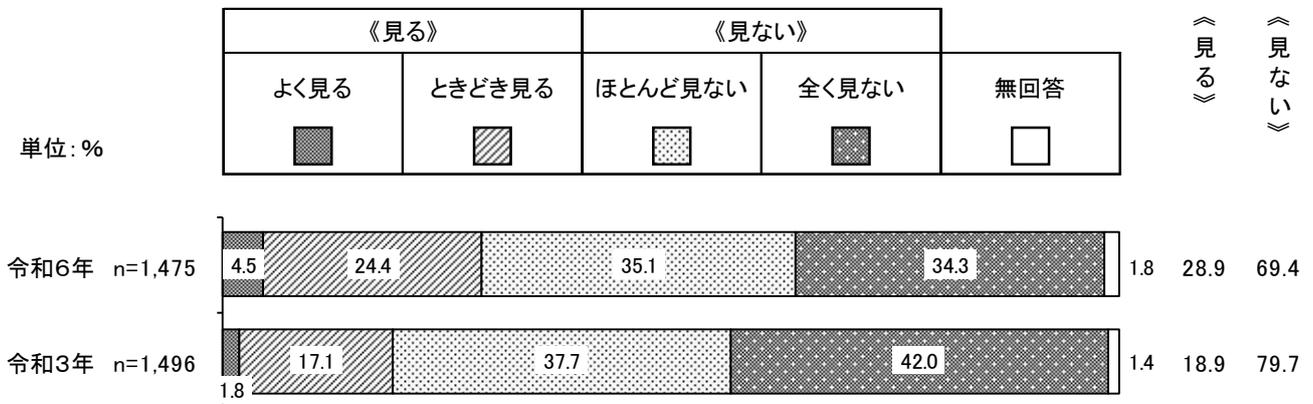
**問 52 情報入手するため、お住まいの地域にある掲示板をご覧になることがありますか。  
(1つのみ)**

地域にある掲示板の閲覧状況については、「よく見る」、「ときどき見る」の合計値《見る》が28.9%である一方、「ほとんど見ない」、「全く見ない」の合計値《見ない》は69.4%と、《見ない》が40.5ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《見る》は前回調査より10.0ポイント増加し、「見ない」は10.3ポイント減少している。

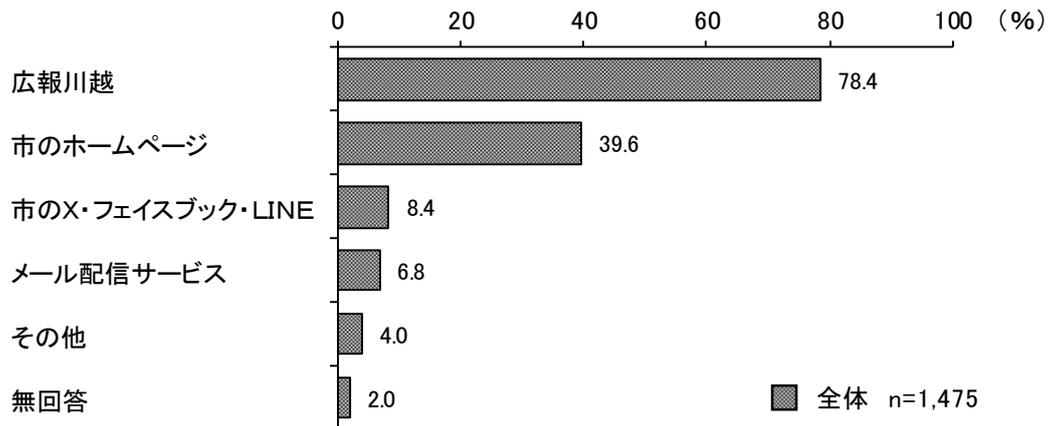


## (5) 市の情報の入手方法

◇「広報川越」が78.4%

### 問 53 あなたは、市の情報をどのような方法で取得していますか。(いくつでも)

市の情報の入手方法については、「広報川越」が78.4%で最も高く、次いで「市のホームページ」が39.6%、「市のX・フェイスブック・LINE」が8.4%、「メール配信サービス」が6.8%となっている。



■ 性別・年代別

性別・年代別で見ると、「市のホームページ」を除き、女性が男性より5ポイント以上高くなっている。「広報川越」は男女とも年代が高くなるほど増加する傾向となっており、男女とも30歳代以上で5割以上、男性70歳代以上、女性60歳代以上で9割台と高くなっている。「市のホームページ」は男性30歳代、40歳代、60歳代、女性40歳代、50歳代で5割台と高くなっている。また、「市のX・フェイスブック・LINE」は女性30歳代が26.6%で最も高く、女性40歳代以下で2割台となっているが、50歳代以上は1割未満であり、男性は20歳代を除き1割未満となっている。

単位: %	広報川越	市のホームページ	市のX・フェイスブック・LINE	メール配信サービス	その他	無回答
全体 n=1,475	78.4	39.6	8.4	6.8	4.0	2.0

【性別・年代別】

男性 n=597	75.5	41.5	4.9	3.5	4.9	2.0
男性18・19歳 n=12	58.3	25.0	8.3	8.3	8.3	16.7
男性20歳代 n=50	40.0	44.0	12.0	4.0	12.0	4.0
男性30歳代 n=53	58.5	50.9	5.7	1.9	11.3	1.9
男性40歳代 n=83	62.7	54.2	8.4	3.6	3.6	0.0
男性50歳代 n=120	76.7	44.2	4.2	6.7	5.0	3.3
男性60歳代 n=113	84.1	52.2	3.5	0.9	4.4	0.9
男性70歳以上 n=166	92.8	23.5	1.8	3.0	1.2	1.2
女性 n=829	81.4	38.8	11.2	9.3	3.4	1.0
女性18・19歳 n=5	40.0	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0
女性20歳代 n=57	38.6	40.4	22.8	3.5	15.8	1.8
女性30歳代 n=94	63.8	48.9	26.6	12.8	5.3	1.1
女性40歳代 n=148	75.0	50.0	20.3	21.6	2.7	0.7
女性50歳代 n=174	84.5	50.6	8.6	8.0	2.3	0.0
女性60歳代 n=141	91.5	30.5	2.8	4.3	2.8	0.0
女性70歳以上 n=209	97.1	22.0	2.4	5.3	0.0	2.4

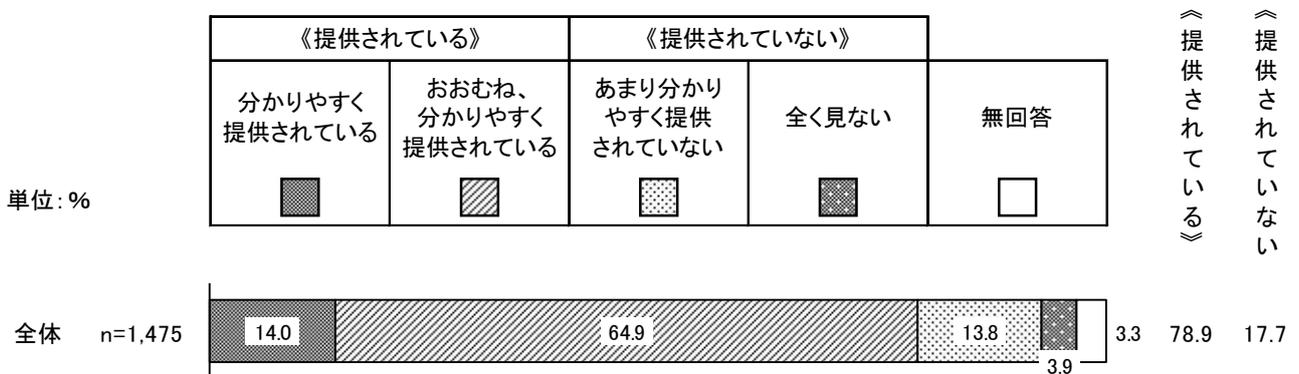
## (6) 市の情報提供に対する満足度

◇ 《提供されている》が78.9%

**問 54 あなたは、市の行政に関する情報提供について、分かりやすく提供されていると思いますか。  
(1つのみ)**

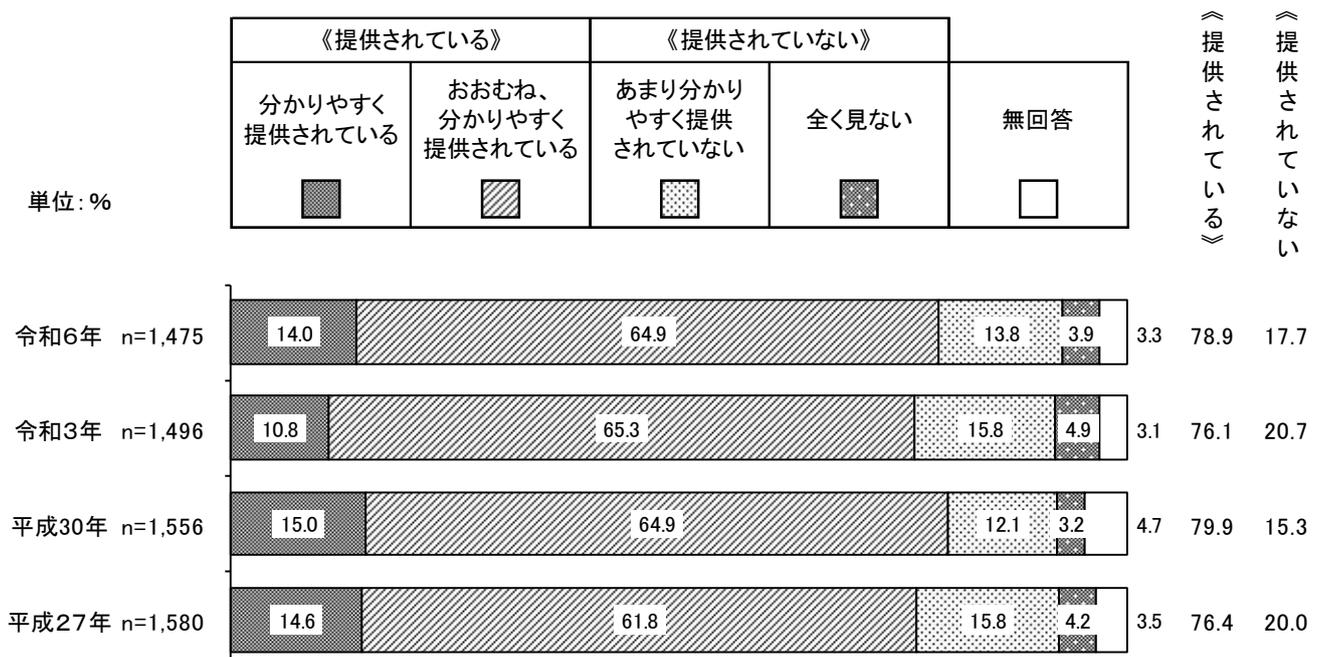
※「情報提供」とは、「広報川越」や市のホームページなどによるお知らせや情報公開制度による公文書の公開などを想定しています。

市の情報提供に対する満足度については、「分かりやすく提供されている」、「おおむね、分かりやすく提供されている」の合計値《提供されている》が78.9%である一方、「あまり分かりやすく提供されていない」、「分かりやすく提供されていない」の合計値《提供されていない》は17.7%と、《提供されている》が61.2ポイント上回っている。



### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《提供されている》は前回調査より2.8ポイント増加し、《提供されていない》は3.0ポイント減少している。



■ 性別・年代別

性別・年代別で見ると、《提供されている》は男性 50 歳代を除き 7 割以上となっており、男性 70 歳以上、女性 50 歳代以上で 8 割台と高くなっている。一方、《提供されていない》は男性 50 歳代、女性 20 歳代が 3 割近くと高くなっている。

単位：%	《提供されている》		《提供されていない》		無回答	《提供されている》 合計値	《提供されていない》 合計値
	分かりやすく 提供されている	おおむね、分 かりやすく提 供されている	あまり分かり やすく提供さ れていない	全く見ない			
全体 n=1,475	14.0	64.9	13.8	3.9	3.3	78.9	17.7

【性別・年代別】

男性 n=597	14.2	62.3	14.2	6.4	2.8	76.5	20.6
男性18・19歳 n=12	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	83.4	16.7
男性20歳代 n=50	24.0	46.0	14.0	12.0	4.0	70.0	26.0
男性30歳代 n=53	20.8	52.8	15.1	9.4	1.9	73.6	24.5
男性40歳代 n=83	8.4	67.5	15.7	6.0	2.4	75.9	21.7
男性50歳代 n=120	11.7	56.7	19.2	9.2	3.3	68.4	28.4
男性60歳代 n=113	9.7	65.5	15.9	8.0	0.9	75.2	23.9
男性70歳以上 n=166	16.9	69.3	8.4	1.2	4.2	86.2	9.6

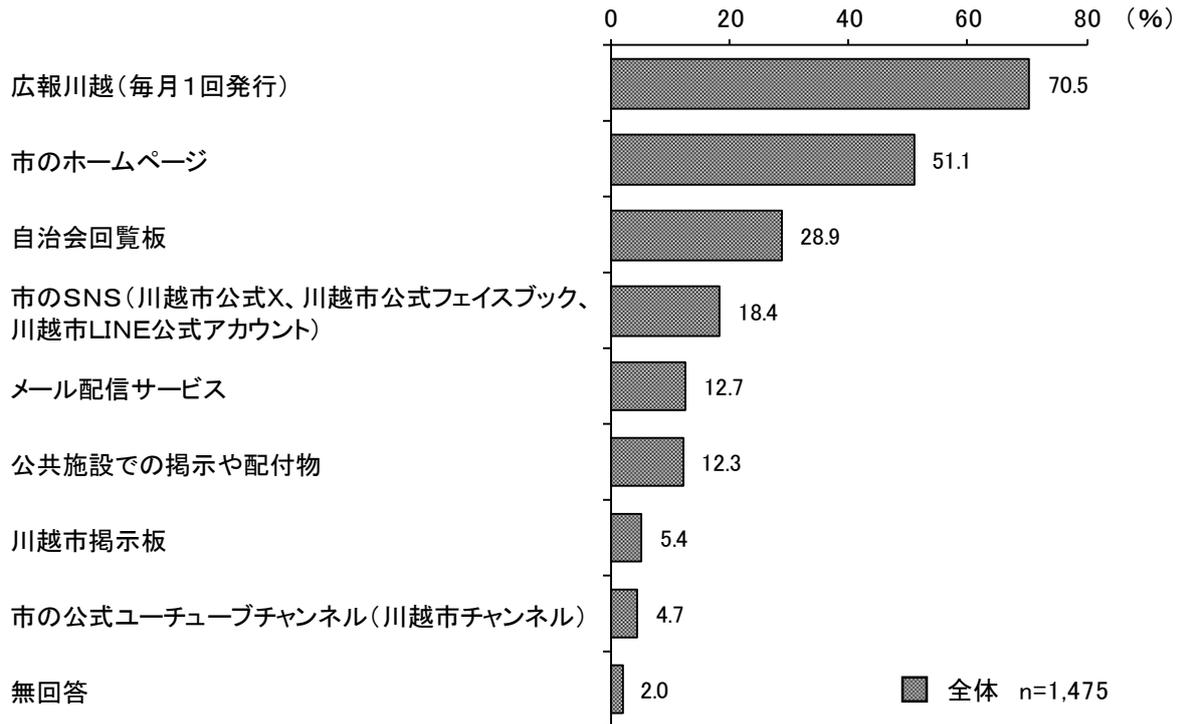
女性 n=829	14.2	68.2	13.1	2.2	2.3	82.4	15.3
女性18・19歳 n=5	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
女性20歳代 n=57	7.0	63.2	21.1	7.0	1.8	70.2	28.1
女性30歳代 n=94	14.9	58.5	19.1	6.4	1.1	73.4	25.5
女性40歳代 n=148	12.2	66.9	18.9	0.7	1.4	79.1	19.6
女性50歳代 n=174	12.1	77.6	8.0	1.7	0.6	89.7	9.7
女性60歳代 n=141	15.6	69.5	12.1	1.4	1.4	85.1	13.5
女性70歳以上 n=209	18.2	66.0	9.6	1.0	5.3	84.2	10.6

(7) 今後、利用したいと思う情報提供の媒体

◇「広報川越（毎月1回発行）」が70.5%

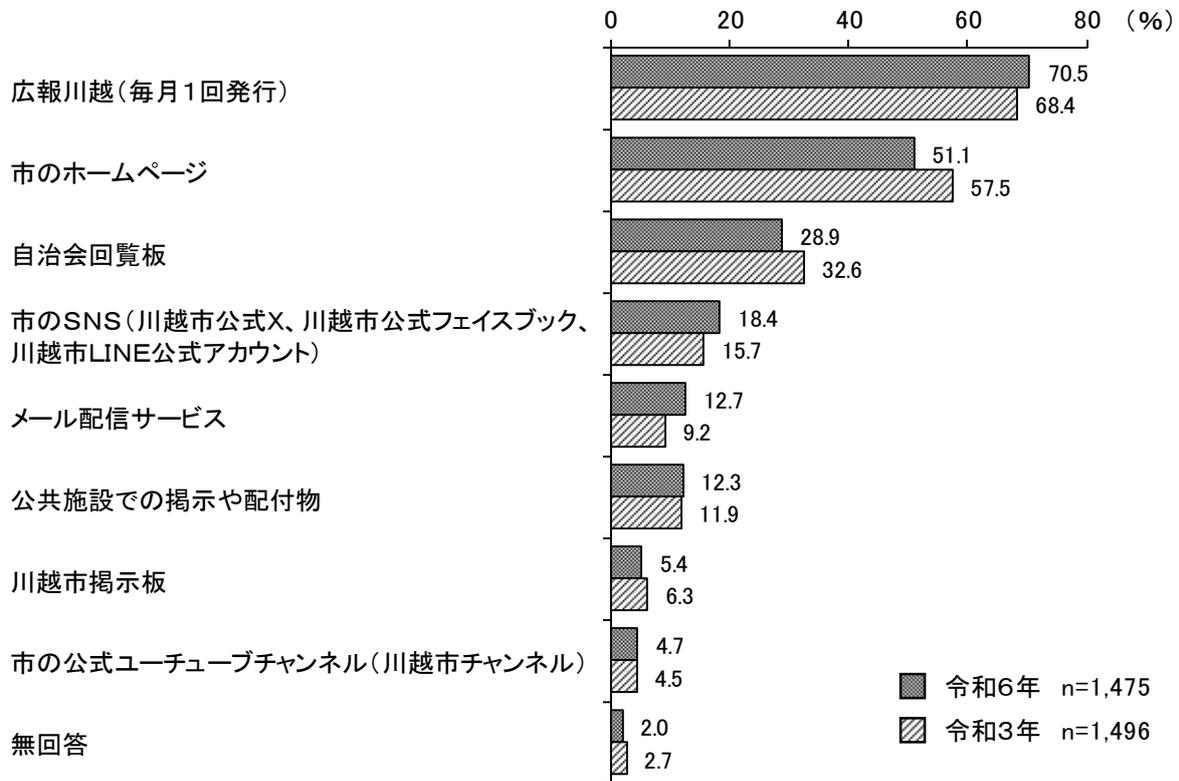
**問 55 市が情報を提供している方法のうち、あなたが今後利用したいと思う方法は何ですか。（いくつでも）**

今後、利用したいと思う情報提供の媒体については、「広報川越（毎月1回発行）」が70.5%で最も高く、次いで「市のホームページ」が51.1%、「自治会回覧板」が28.9%、「市のSNS（川越市公式X、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント）」が18.4%となっている。



■ 時系列での比較

時系列で見ると、「メール配信サービス」は前回調査より3.5ポイント増加し、「市のSNS（川越市公式X、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント）」は2.7ポイント増加している。一方、「市のホームページ」は前回調査より6.4ポイント減少し、「自治会回覧板」は3.7ポイント減少している。



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「広報川越（毎月1回発行）」、「市のSNS（川越市公式X、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント）」、「メール配信サービス」は、女性が男性より4ポイント以上高くなっている。「広報川越（毎月1回発行）」は男女とも一部を除きおおむね年代が高くなるにつれ増加する傾向となっており、30歳代以上で5割以上、70歳代以上はほぼ9割と高くなっている。「自治会回覧板」もおおむね同様の傾向となっている。一方、「市のホームページ」は女性50歳代が7割近くで最も高く、男性30～60歳代、女性50歳代以下で5割以上と高くなっている。「市のSNS（川越市公式X、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント）」は男女とも20歳代が4割台で最も高く、年代が高くなるにつれ減少する傾向となっている。また、「メール配信サービス」は女性40歳代が3割近くと、他の年代に比べ高くなっている。

単位：%	広報川越(毎月1回発行)	市のホームページ	自治会回覧板	市のSNS(川越市公式X、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント)	メール配信サービス	公共施設での掲示や配付物
全体 n=1,475	70.5	51.1	28.9	18.4	12.7	12.3

【性別・年代別】

男性 n=597	67.8	51.9	27.3	15.7	10.6	12.1
男性18・19歳 n=12	33.3	66.7	8.3	33.3	0.0	16.7
男性20歳代 n=50	30.0	42.0	14.0	40.0	10.0	16.0
男性30歳代 n=53	56.6	52.8	11.3	22.6	7.5	7.5
男性40歳代 n=83	51.8	63.9	14.5	25.3	12.0	16.9
男性50歳代 n=120	65.8	58.3	21.7	12.5	14.2	6.7
男性60歳代 n=113	76.1	62.8	35.4	11.5	9.7	15.0
男性70歳以上 n=166	89.2	35.5	42.8	5.4	9.6	11.4

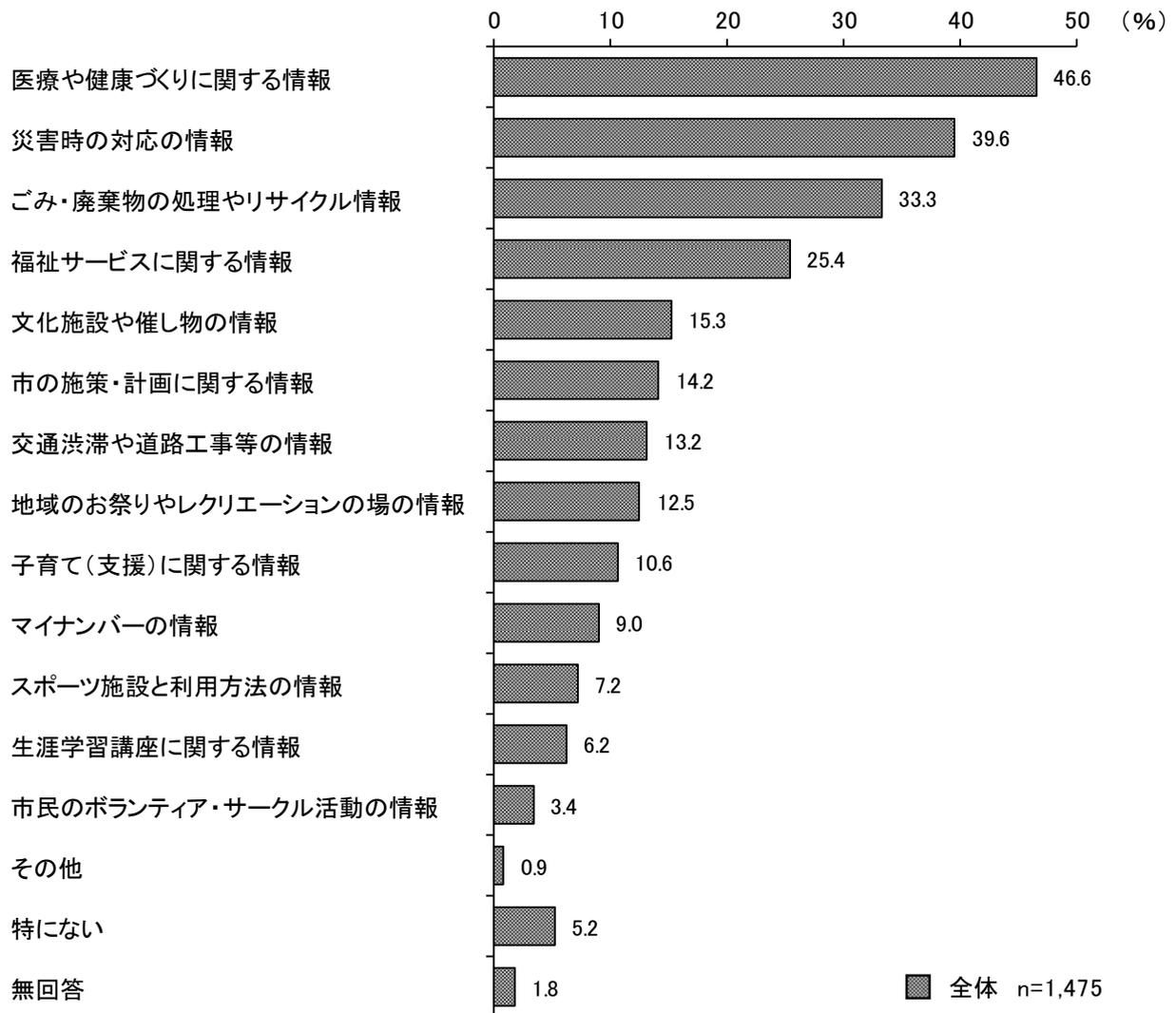
女性 n=829	73.3	51.3	30.6	20.5	14.6	12.2
女性18・19歳 n=5	40.0	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=57	40.4	52.6	17.5	45.6	7.0	8.8
女性30歳代 n=94	54.3	55.3	22.3	43.6	12.8	14.9
女性40歳代 n=148	62.8	60.8	19.6	32.4	28.4	10.1
女性50歳代 n=174	74.1	67.8	27.6	17.8	16.7	13.8
女性60歳代 n=141	85.1	48.2	36.2	9.9	11.3	9.9
女性70歳以上 n=209	90.4	30.6	44.5	3.8	8.6	13.9

(8) 必要な市の行政情報

◇ 「医療や健康づくりに関する情報」が46.6%

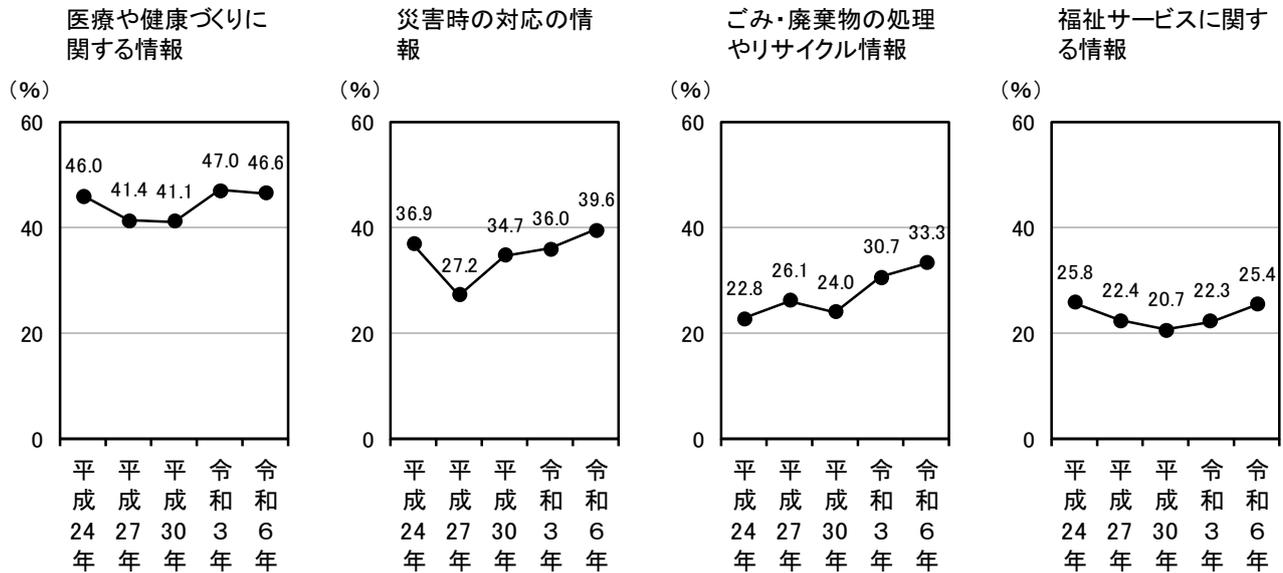
**問 56 あなたが今必要としている市からの情報は何か。  
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

必要な市の行政情報については、「医療や健康づくりに関する情報」が46.6%で最も高く、次いで「災害時の対応の情報」が39.6%、「ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報」が33.3%、「福祉サービスに関する情報」が25.4%となっている。



■ 時系列での比較（上位4項目）

上位4項目を時系列で見ると、「医療や健康づくりに関する情報」は前回調査から0.4ポイント減少したが、他3項目は増加傾向が続いている。



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「医療や健康づくりに関する情報」は男女とも60歳代以上で5割以上となっており、男性30歳代もほぼ5割と高くなっている。

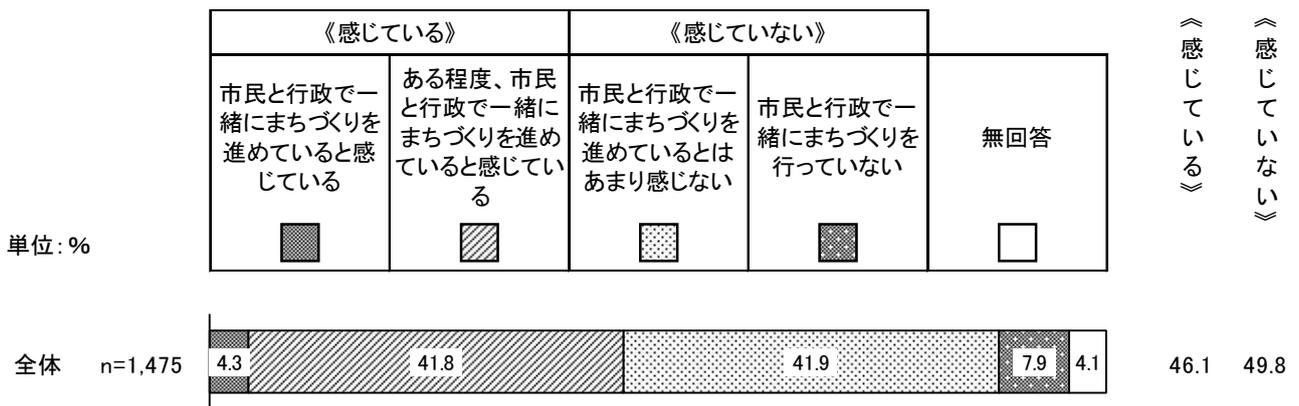
単位: %	医療や健康づくりに関する情報	災害時の対応の情報	ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報	福祉サービスに関する情報	文化施設や催し物の情報	市の施策・計画に関する情報
全体 n=1,475	46.6	39.6	33.3	25.4	15.3	14.2
【性別・年代別】						
男性 n=597	46.9	37.0	32.0	23.1	15.4	20.6
男性18・19歳 n=12	25.0	33.3	16.7	8.3	0.0	8.3
男性20歳代 n=50	18.0	26.0	18.0	10.0	16.0	18.0
男性30歳代 n=53	49.1	34.0	26.4	13.2	11.3	18.9
男性40歳代 n=83	32.5	31.3	33.7	14.5	19.3	21.7
男性50歳代 n=120	38.3	42.5	39.2	20.8	13.3	20.8
男性60歳代 n=113	56.6	36.3	38.1	33.6	15.0	20.4
男性70歳以上 n=166	63.3	41.0	28.9	30.1	17.5	22.3
女性 n=829	46.8	42.2	34.7	27.1	15.9	9.7
女性18・19歳 n=5	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0	20.0
女性20歳代 n=57	38.6	36.8	28.1	15.8	12.3	8.8
女性30歳代 n=94	27.7	28.7	25.5	14.9	16.0	8.5
女性40歳代 n=148	35.8	46.6	39.9	16.9	13.5	10.1
女性50歳代 n=174	47.7	37.4	44.3	29.9	16.7	9.8
女性60歳代 n=141	53.9	53.2	32.6	33.3	17.0	11.3
女性70歳以上 n=209	60.8	44.0	29.7	37.3	17.2	8.1

(9) 市民・行政が協働したまちづくりの実態

◇ 《感じている》が46.1%

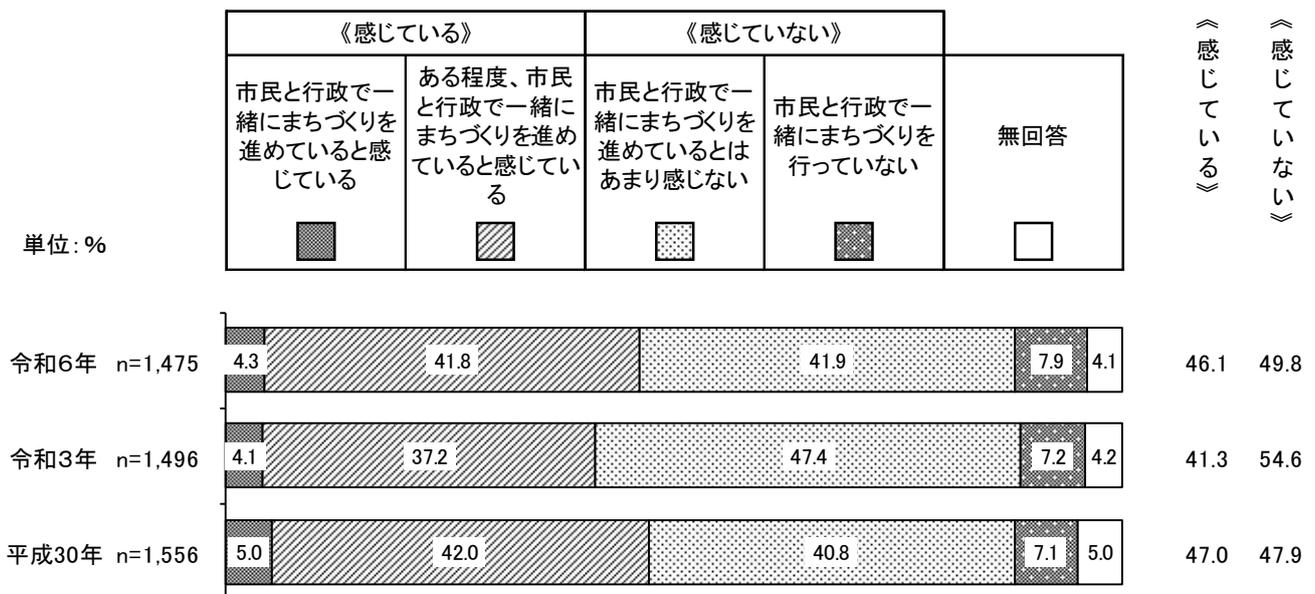
問 57 あなたは、市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じていますか。(1つのみ)

市民・行政が協働したまちづくりの実態については、「市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じている」、「ある程度、市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じている」の合計値《感じている》が46.1%である一方、「市民と行政と一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない」、「市民と行政と一緒にまちづくりを行っていない」の合計値《感じていない》は49.8%と、《感じていない》が3.7ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《感じている》は前回調査より4.8ポイント増加し、《感じていない》は4.8ポイント減少している。



■ 居住地区別

居住地区別でみると、《感じている》は「大東地区」が 52.2%で最も高く、次いで「本庁地区」が 49.3%、「高階地区」が 49.0%、「霞ヶ関北地区」が 48.0%となっている。一方、《感じていない》は「芳野地区」が 63.6%で最も高く、次いで「古谷地区」が 54.3%、「霞ヶ関地区」が 52.7%、「川鶴地区」及び「名細地区」が 52.1%となっている。

単位：%	《感じている》		《感じていない》		無回答	《感じて いる》 合計値	《感じて いない》 合計値
	市民と行政 と一緒にま ちづくりを進 めていると 感じている	ある程度、 市民と行政 と一緒にま ちづくりを進 めていると 感じている	市民と行政 と一緒にま ちづくりを進 めていると はあまり感 じない	市民と行政 と一緒にま ちづくりを 行っていない			
全体 n=1,475	4.3	41.8	41.9	7.9	4.1	46.1	49.8

【居住地区別】

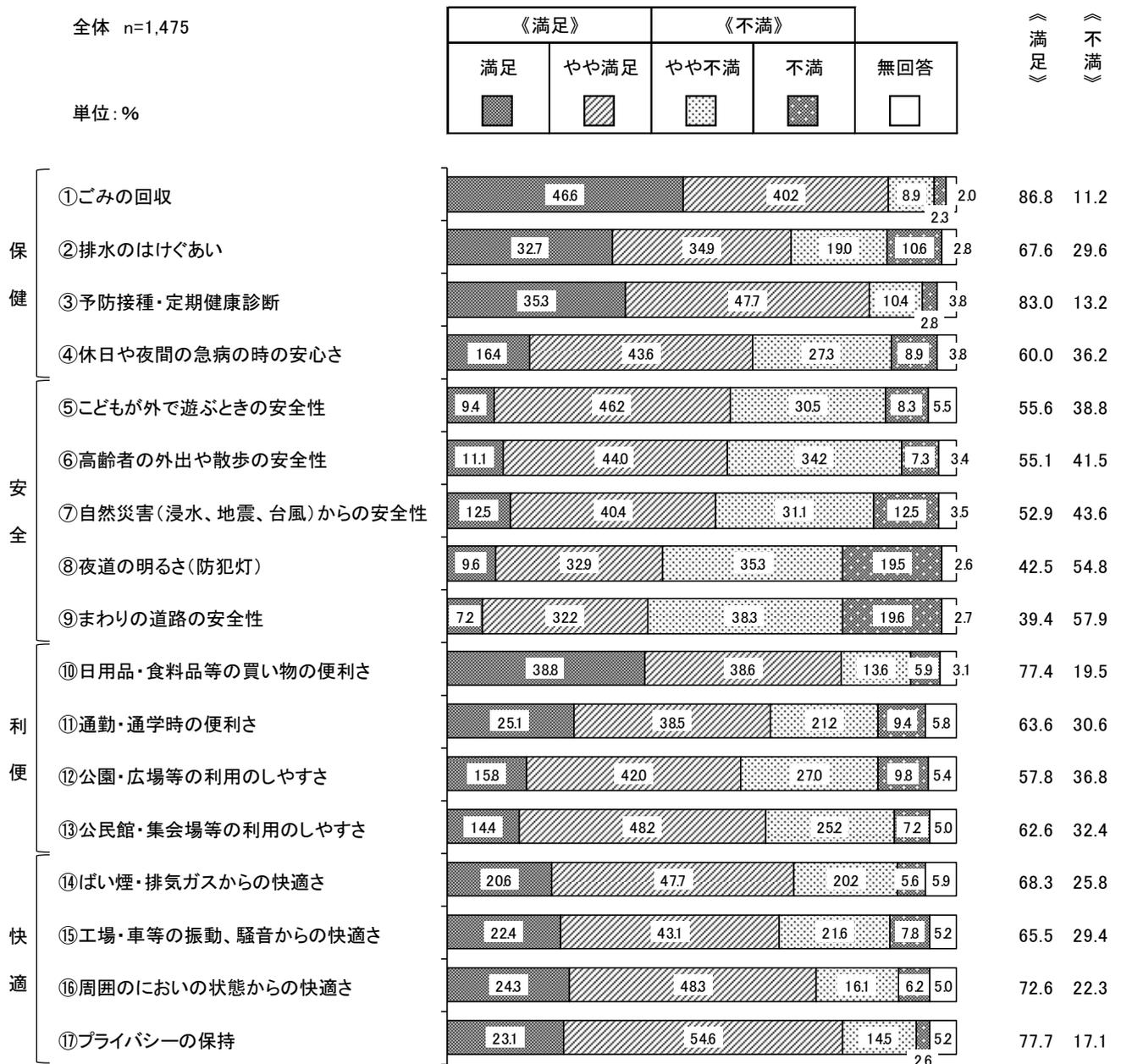
本庁地区 n=330	4.5	44.8	39.7	8.2	2.7	49.3	47.9
芳野地区 n=44	4.5	29.5	59.1	4.5	2.3	34.0	63.6
古谷地区 n=59	5.1	35.6	45.8	8.5	5.1	40.7	54.3
南古谷地区 n=131	5.3	41.2	42.0	8.4	3.1	46.5	50.4
高階地区 n=157	7.0	42.0	36.9	10.8	3.2	49.0	47.7
福原地区 n=94	2.1	45.7	37.2	10.6	4.3	47.8	47.8
大東地区 n=138	5.8	46.4	37.0	8.7	2.2	52.2	45.7
霞ヶ関地区 n=163	1.8	40.5	46.0	6.7	4.9	42.3	52.7
川鶴地区 n=71	4.2	36.6	46.5	5.6	7.0	40.8	52.1
霞ヶ関北地区 n=52	3.8	44.2	42.3	5.8	3.8	48.0	48.1
名細地区 n=96	3.1	43.8	46.9	5.2	1.0	46.9	52.1
山田地区 n=77	2.6	44.2	46.8	3.9	2.6	46.8	50.7

(10) 地域の生活環境の満足度

◇17 項目中 15 項目で《満足》が《不満》を上回っている

**問 58 あなたの住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。**  
 ※①から⑰のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

地域の生活環境の満足度について、「満足」、「やや満足」の合計値《満足》は、“保健の分野”では『①ごみの回収』が 86.8%、“安全の分野”では『⑤子どもが外で遊ぶときの安全性』が 55.6%、“利便の分野”では『⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ』が 77.4%、“快適の分野”では『⑰プライバシーの保持』が 77.7%で最も高くなっている。一方で、「やや不満」、「不満」の合計値《不満》は、“安全の分野”の『⑨まわりの道路の安全性』が 57.9%で最も高く、次いで“安全の分野”の『⑧夜道の明るさ(防犯灯)』が 54.8%となっており、この2項目のみ《不満》が《満足》を上回っている。



## ■ 居住地区別 地域の生活環境の満足度（評価点）

この質問では、項目間の比較を簡単にするため、下式のように5段階評価を与えて、各項目の評価点を算出した。

$$\text{評価点} = \frac{[\text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点}] + [\text{「やや満足」} \times 1 \text{点}] + [\text{「やや不満」} \times (-1 \text{点})] + [\text{「不満」} \times (-2 \text{点})]}{\text{回答者数} - \text{無回答}}$$

この算出方法では、評価点は-2.00点～+2.00点の間に分布し、0.00点が中間点であり、+2.00点に近いほど評価が良く、逆に-2.00点に近いほど評価が悪いことになる。

評価点を居住地区別にみると、“保健の分野”では、市全体の評価は『①ごみの回収』が1.22で最も高くなっている。『③予防接種・定期健康診断』も1.06と高く、マイナスの項目はみられない。これらは全ての地区で0.81以上となっている。一方、『④休日や夜間の急病の時の安心さ』は市全体で0.33と最も低くなっている。また、『②排水のはけぐあい』の「山田地区」のみ-0.05とマイナスになっている。

“安全の分野”では、市全体の評価は『⑤子どもが外で遊ぶときの安全性』が0.19で最も高いが、いずれも0.2未満となっており、『⑧夜道の明るさ（防犯灯）』は-0.23、『⑨まわりの道路の安全性』は-0.32と低くなっている。『⑧夜道の明るさ（防犯灯）』は「本庁地区」と「川鶴地区」以外の10地区、『⑨まわりの道路の安全性』は「川鶴地区」以外の11地区でマイナスとなっており、特に「芳野地区」はどちらも12地区で最も低くなっている。なお、「川鶴地区」は5項目全てがプラスとなっており、一方「古谷地区」は5項目全てがマイナスとなっている。

“利便の分野”では、市全体の評価は『⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ』が0.94で最も高く、マイナスの分野はみられない。「本庁地区」は『⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ』が1.36、『⑪通勤・通学時の便利さ』が1.02と高くなっている。一方、「芳野地区」は『⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ』が-0.11、『⑪通勤・通学時の便利さ』が-0.75と12地区で最も低く、『⑫公園・広場等の利用のしやすさ』も「山田地区」に次いで低くなっている。『⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ』、『⑪通勤・通学時の便利さ』、『⑫公園・広場等の利用のしやすさ』では、マイナスの地区は2～3地区であるものの、地区による差が1.4以上と大きくなっている。

“快適の分野”では、市全体の評価は『⑬プライバシーの保持』が0.85で最も高く、マイナスの分野はみられない。「川鶴地区」は4項目すべてが0.98以上となっており、12地区の中で最も高くなっている。一方、「芳野地区」は4項目すべてが最も低くなっており、『⑭周囲のにおいの状態からの快適さ』は-0.14とマイナス評価になっている。

①から⑬までの評価点の平均値である総合評価点は、すべての地区でプラスとなっており、最も評価点が高いのは「川鶴地区」で0.86、最も評価点が高いのは「芳野地区」で0.12となっている。また、評価点の差が最も大きい分野は『⑪通勤・通学時の便利さ』の1.77となっており、17項目中8項目で、1.0以上の差が生じている。

Ⅲ 調査結果の分析

単位：%

	市全体	本庁地区	芳野地区	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	川鶴地区	霞ヶ関北地区	名細地区	山田地区	評価点の最高と最低の差	
保健	①ごみの回収	1.22	1.32	1.23	1.21	1.26	0.97	1.18	1.27	1.29	1.29	1.27	1.14	1.17	0.35
	②排水のはけぐあい	0.62	1.03	0.72	0.31	0.35	0.33	0.39	0.84	0.61	1.06	0.59	0.41	-0.05	1.11
	③予防接種・定期健康診断	1.06	1.19	0.93	0.81	0.99	0.98	0.98	1.14	1.10	1.13	1.17	1.04	1.01	0.39
	④休日や夜間の急病の時の安心さ	0.33	0.47	0.18	0.16	0.41	0.26	0.32	0.39	0.19	0.43	0.33	0.07	0.46	0.39
安全	⑤こどもが外で遊ぶときの安全性	0.19	0.19	0.33	-0.09	0.12	0.07	0.01	0.24	0.26	0.66	0.18	0.36	0.13	0.75
	⑥高齢者の外出や散歩の安全性	0.18	0.25	0.07	-0.07	0.14	0.08	-0.15	0.16	0.32	0.63	0.21	0.16	0.26	0.77
	⑦自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性	0.10	0.40	-0.32	-0.58	-0.28	-0.14	0.06	0.49	0.19	0.79	0.06	0.05	-0.60	1.40
	⑧夜道の明るさ(防犯灯)	-0.23	0.13	-0.89	-0.69	-0.45	-0.24	-0.27	-0.20	-0.22	0.15	-0.46	-0.35	-0.53	1.04
	⑨まわりの道路の安全性	-0.32	-0.06	-0.73	-0.67	-0.37	-0.40	-0.51	-0.33	-0.46	0.35	-0.17	-0.53	-0.49	1.08
利便	⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ	0.94	1.36	-0.11	-0.02	1.15	0.97	0.76	0.85	1.04	1.19	1.29	0.50	0.45	1.47
	⑪通勤・通学時の便利さ	0.52	1.02	-0.75	-0.32	0.43	0.57	0.28	0.60	0.59	0.77	0.88	0.34	-0.23	1.77
	⑫公園・広場等の利用のしやすさ	0.28	0.24	-0.18	0.05	0.25	0.00	0.15	0.59	0.53	0.98	0.88	0.28	-0.44	1.42
	⑬公民館・集会場等の利用のしやすさ	0.39	0.39	0.33	0.02	0.30	0.42	0.20	0.62	0.40	0.69	0.77	0.42	0.19	0.75
快適	⑭ばい煙・排気ガスからの快適さ	0.61	0.59	0.31	0.48	0.69	0.62	0.35	0.63	0.72	0.98	0.96	0.68	0.42	0.68
	⑮工場・車等の振動、騒音からの快適さ	0.53	0.51	0.33	0.61	0.43	0.68	0.38	0.43	0.49	1.13	0.92	0.65	0.34	0.81
	⑯周囲のにおいの状態からの快適さ	0.72	0.90	-0.14	0.40	0.53	0.80	0.48	0.73	0.64	1.19	1.13	0.96	0.52	1.33
	⑰プライバシーの保持	0.85	0.83	0.72	0.80	0.83	0.79	0.76	0.89	0.95	1.16	1.00	1.01	0.79	0.44
総合評価点		0.47	0.63	0.12	0.14	0.40	0.40	0.32	0.55	0.51	0.86	0.65	0.42	0.20	0.74

※  は、評価点の最高値、 は、評価点の最低値

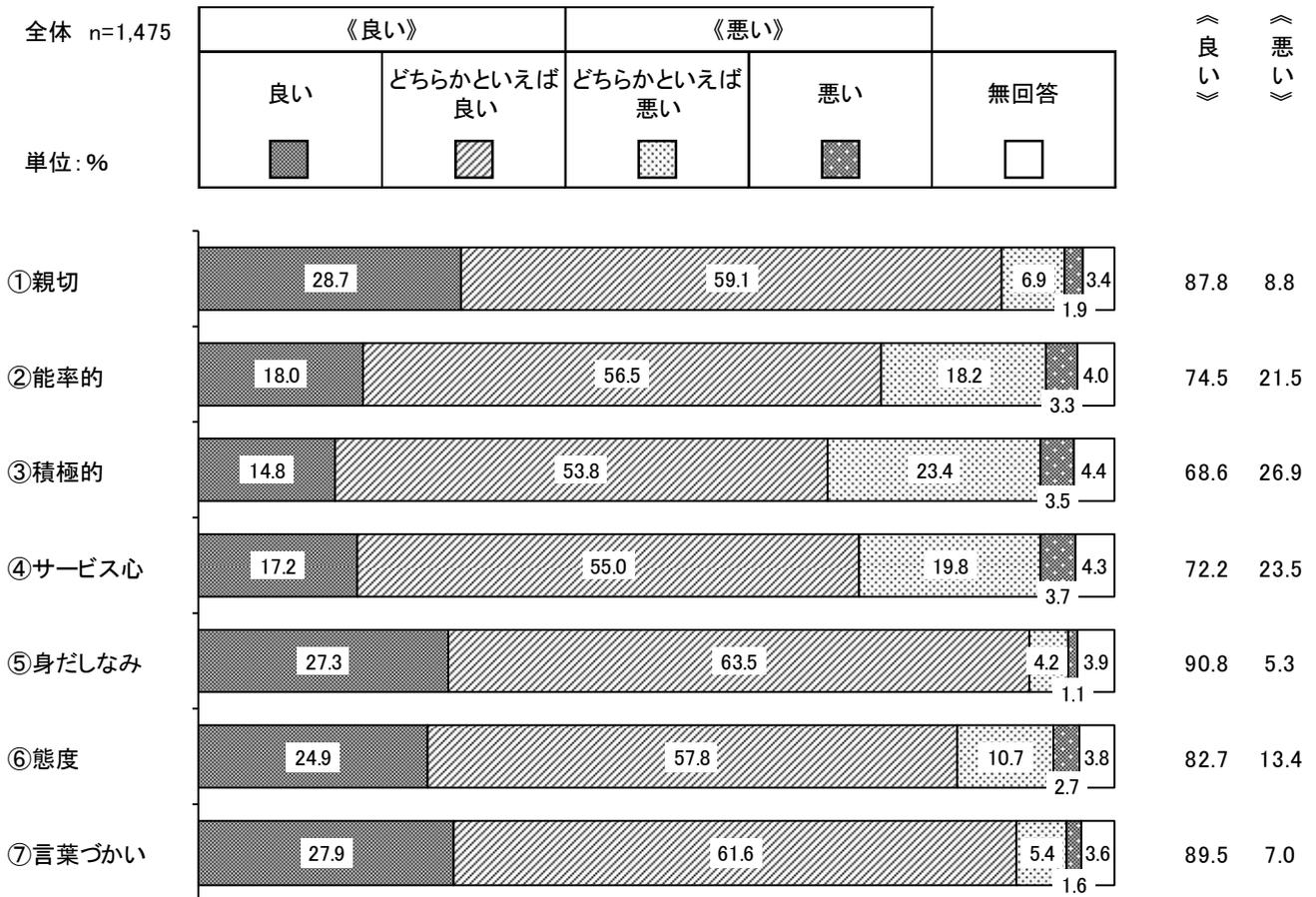
※ 総合評価点は、各項目の評価点の平均値

(11) 市職員へのイメージ

◇ 《良い》:「身だしなみ」が 90.8 %

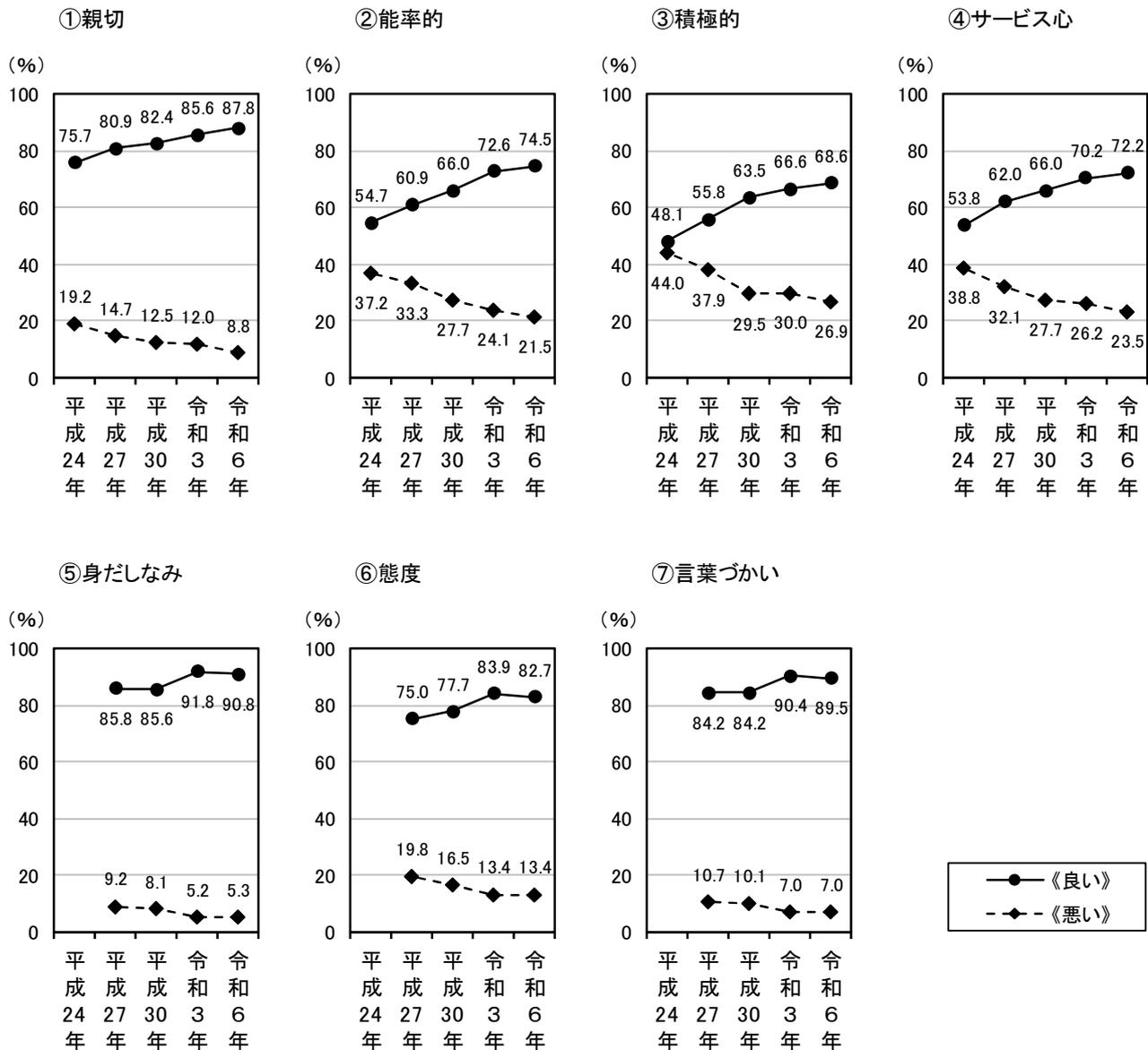
問 59 市役所職員のイメージについてどう思いますか。それぞれのイメージについて評価してください。※①から⑦のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

市職員へのイメージについて、「良い」、「どちらかといえば良い」の合計値《良い》は、『⑤身だしなみ』が 90.8%で最も高く、次いで『⑦言葉づかい』が 89.5%、『①親切』が 87.8%となっている。一方で、「どちらかといえば悪い」、「悪い」の合計値《悪い》は、『③積極的』が 26.9%で最も高く、次いで『④サービス心』が 23.5%、『②能率的』が 21.5%となっている。



■ 時系列での比較

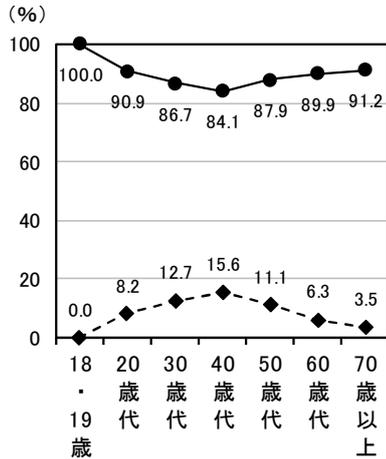
時系列でみると、『①親切』、『②能率的』、『③積極的』、『④サービス心』については、『良い』が増加、『悪い』が減少する傾向が続いている。『⑤身だしなみ』、『⑥態度』、『⑦言葉づかい』については、前回調査より『良い』が減少しているものの、いずれも平成27年度に比べ5ポイント以上高くなっている。



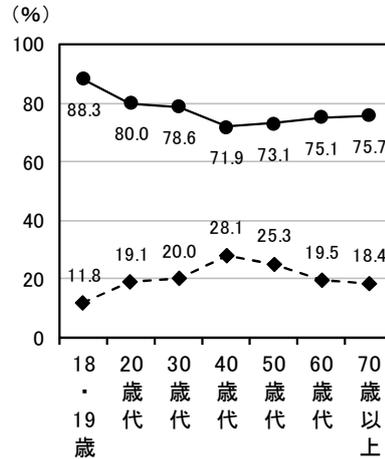
■ 年代別

年代別でみると、『①親切』、『②能率的』、『③積極的』、『⑥態度』は、40歳代で《良い》が最も低く、《悪い》が最も高くなっている。『④サービス心』は年代による評価の差が大きく、《良い》が最も低い30歳代と20歳代で16.7ポイントの差が生じている。一方、『⑤身だしなみ』は、年代が上がるにつれ《良い》がやや減少するものの、おおむね横ばいとなっている。

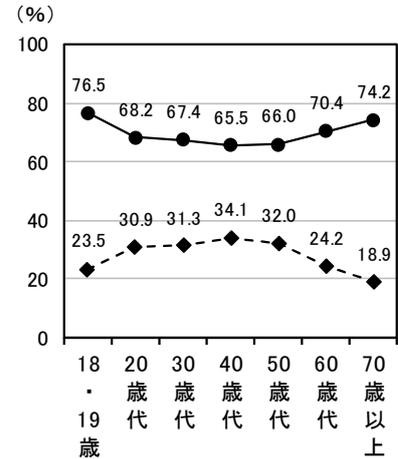
①親切



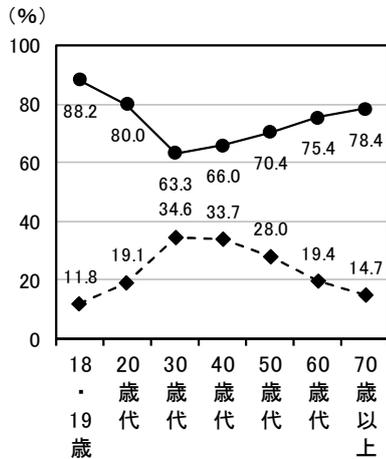
②能率的



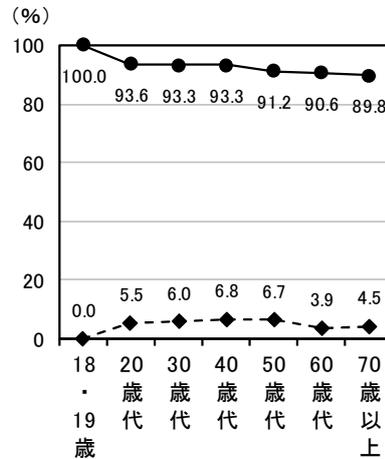
③積極的



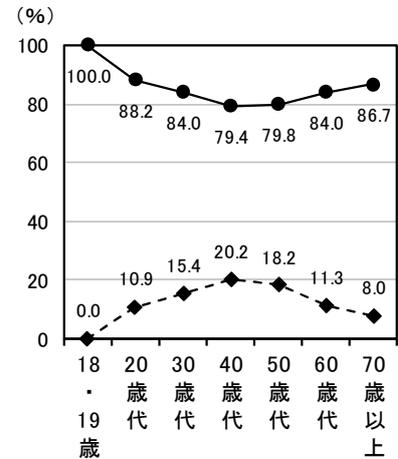
④サービス心



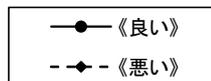
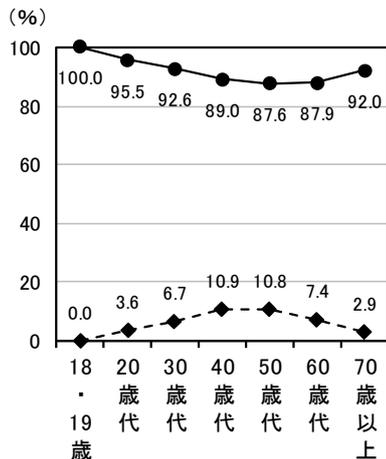
⑤身だしなみ



⑥態度



⑦言葉づかい



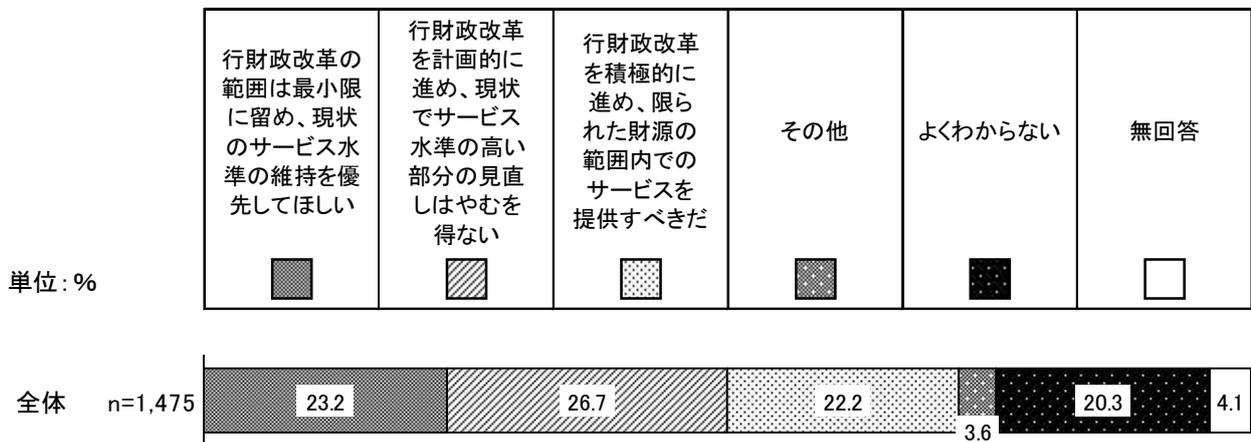
(12) 行財政改革と行政サービスのあり方

◇ 「行財政改革を計画的に進め、現状でサービス水準の高い部分の見直しはやむを得ない」が26.7%

**問 60 持続可能な行財政運営を行うため、行財政改革と行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。（1つのみ）**

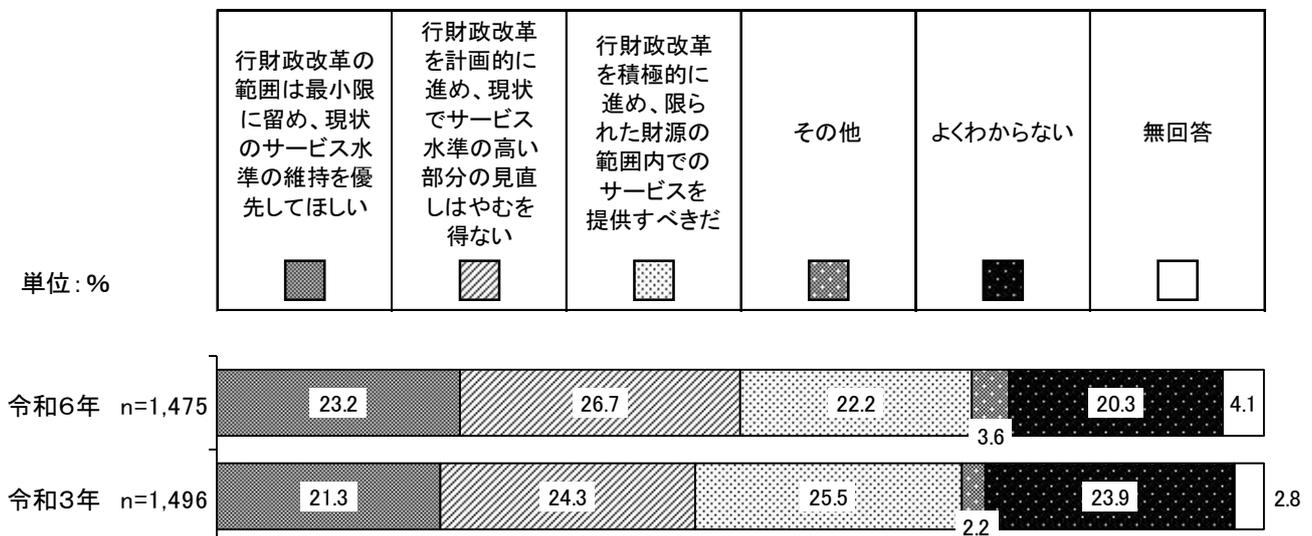
【参考】川越市の財政状況について  
本市は県内の自治体と比べて経常的な経費の割合が高く、将来の備えである財政調整基金残高（市の貯金にあたるもの）が十分ではありません。少子高齢化の進行などにより支出の増や収入の減が見込まれる中、このままでは行政サービスの水準を維持することが難しくなると予測されます。

行財政改革と行政サービスのあり方については、「行財政改革を計画的に進め、現状でサービス水準の高い部分の見直しはやむを得ない」が26.7%で最も高く、次いで「行財政改革の範囲は最小限に留め、現状のサービス水準の維持を優先してほしい」が23.2%、「行財政改革を積極的に進め、限られた財源の範囲内でのサービスを提供すべきだ」が22.2%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「行財政改革を積極的に進め、限られた財源の範囲内でのサービスを提供すべきだ」は前回調査と比べ3.3ポイント減少している。

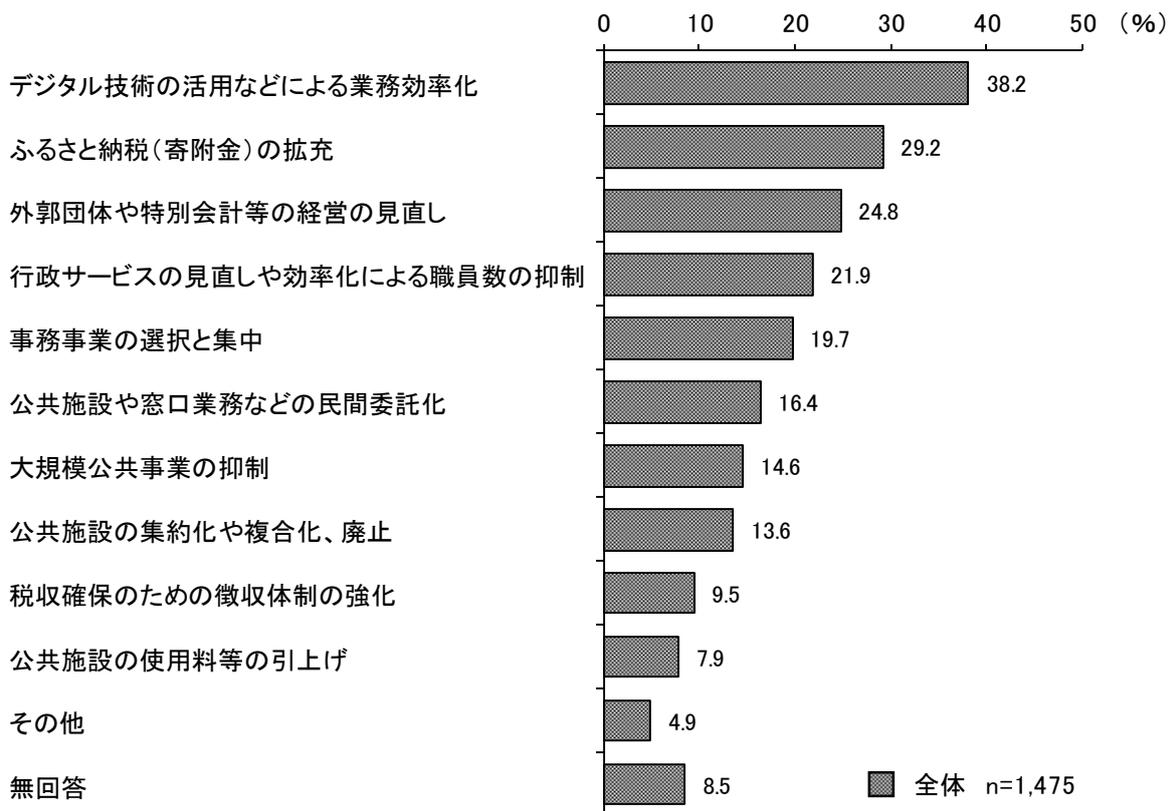


(13) 行財政改革の推進のために必要な取組

◇「デジタル技術の活用などによる業務効率化」が 38.2%

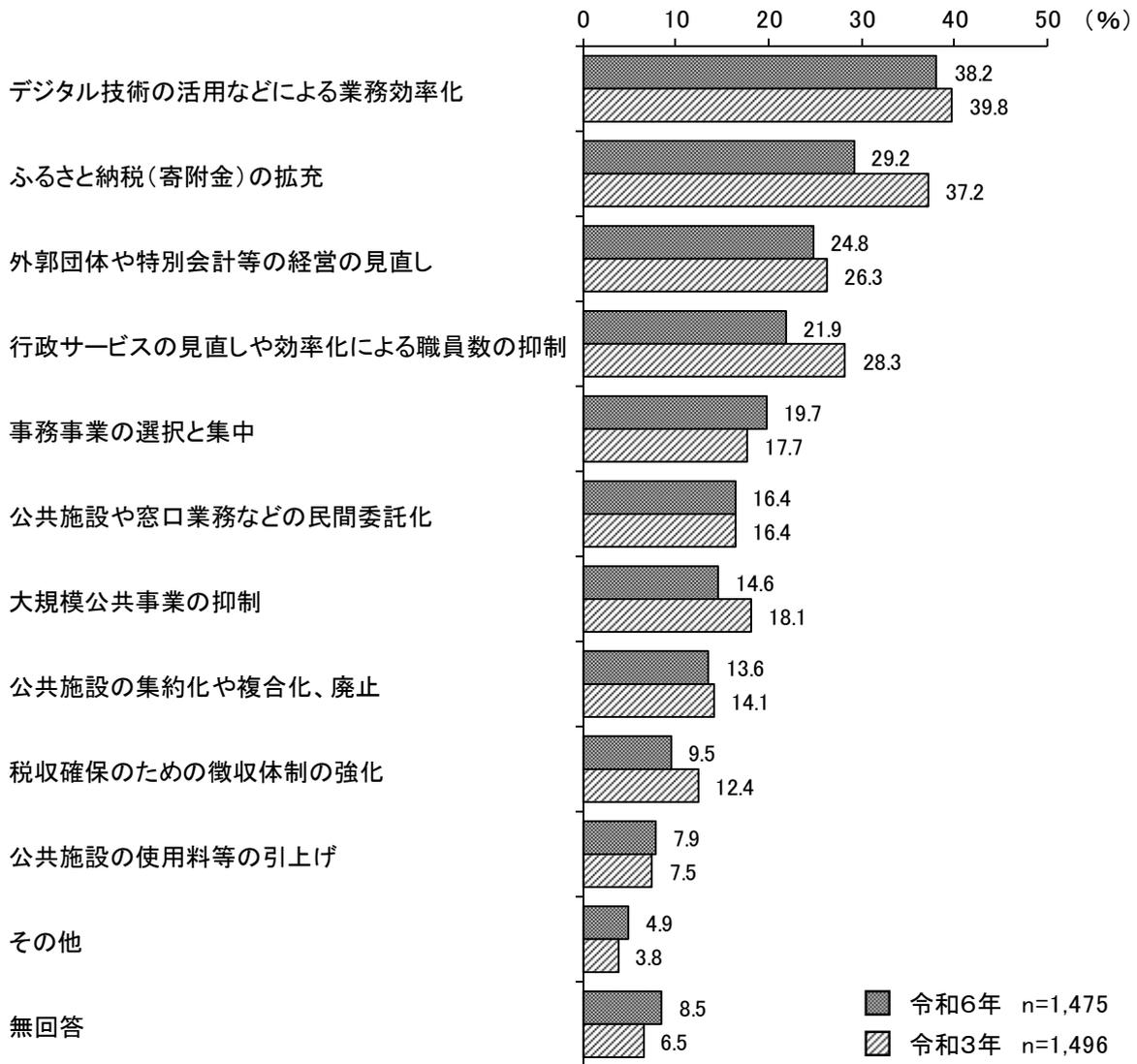
**問 61 川越市が行財政改革を推進する上で、あなたが重点的に取り組む必要があると思うものは何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

行財政改革の推進のために必要な取組については、「デジタル技術の活用などによる業務効率化」が 38.2%で最も高く、次いで「ふるさと納税（寄附金）の拡充」が 29.2%、「外郭団体や特別会計等の経営の見直し」が 24.8%、「行政サービスの見直しや効率化による職員数の抑制」が 21.9%となっている。



■ 時系列での比較

時系列で見ると、上位4項目は前回調査より減少し、「ふるさと納税（寄附金）の拡充」は8.0ポイント、「行政サービスの見直しや効率化による職員数の抑制」は6.4ポイント減少している。「大規模公共事業の抑制」も前回調査より3.5ポイント減少している。



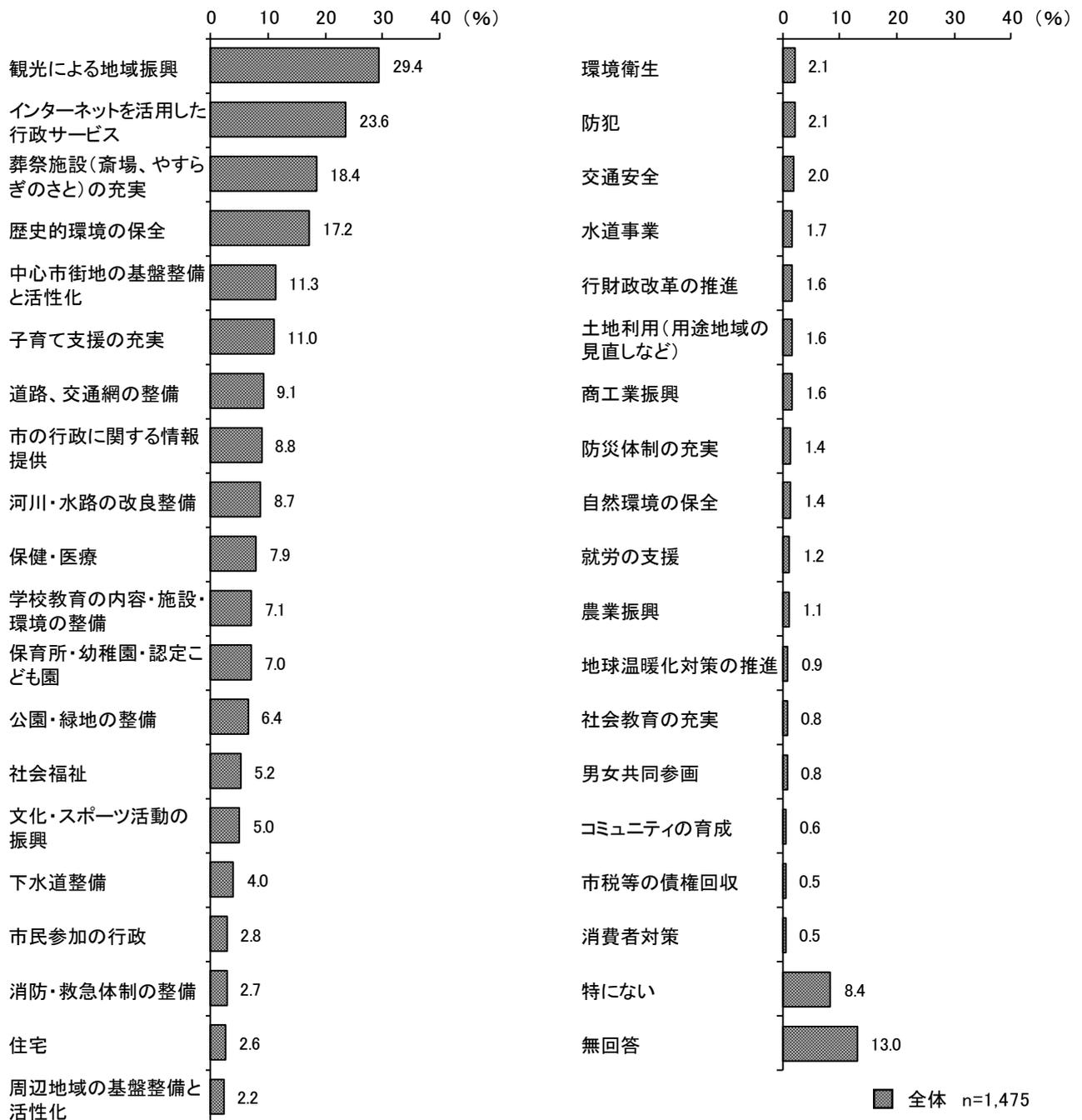
(14) よくなってきた施策／力を入れるべき施策

◇よくなってきた施策：「観光による地域振興」が 29.4%  
力を入れるべき施策：「道路、交通網の整備」が 20.7%

問 62 市政全般について、「よくなってきた施策」、また、「力を入れるべき施策」をそれぞれ3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。

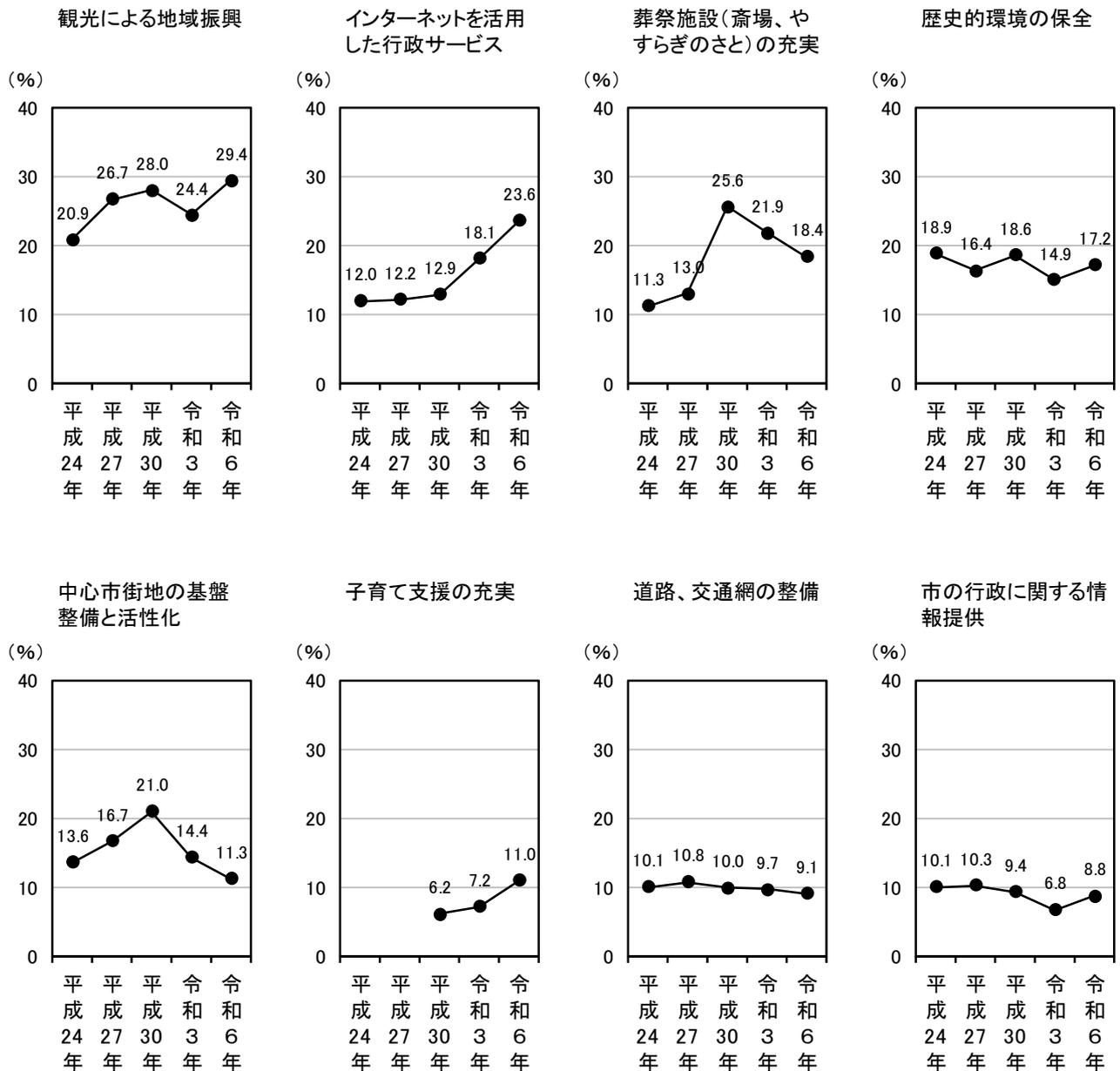
①よくなってきた施策

よくなってきた施策については、「観光による地域振興」が 29.4%で最も高く、次いで「インターネットを活用した行政サービス」が 23.6%、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」が 18.4%、「歴史的環境の保全」が 17.2%となっている。



■ 時系列での比較（上位8項目）

上位8項目を時系列でみると、「インターネットを活用した行政サービス」、「子育て支援の充実」は増加傾向が続いており、「観光による地域振興」も前回調査より 5.0 ポイント増加している。一方、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」、「中心市街地の基盤整備と活性化」は平成 30 年度以降減少傾向となっている。



■ 居住地区別（上位5項目）

上位5項目を居住地区別で見ると、「観光による地域振興」は12地区中8地区で1位となっており、『霞ヶ関北地区』は4割と高くなっている。また、「インターネットを活用した行政サービス」は『大東地区』、『霞ヶ関地区』、『山田地区』の3地区、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」は『芳野地区』、『古谷地区』の2地区で1位となっている。

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,475		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	歴史的環境の保全	中心市街地の基盤整備と活性化
		29.4%	23.6%	18.4%	17.2%	11.3%
【居住地区別】						
本庁地区 n=330		観光による地域振興	歴史的環境の保全	インターネットを活用した行政サービス	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	中心市街地の基盤整備と活性化
		34.2%	25.8%	23.0%	19.4%	13.9%
芳野地区 n=44		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	中心市街地の基盤整備と活性化 河川・水路の改良整備 保健・医療	
		29.5%	22.7%	18.2%		11.4%
古谷地区 n=59		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	中心市街地の基盤整備と活性化
		27.1%	23.7%	22.0%	15.3%	11.9%
南古谷地区 n=131		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	子育て支援の充実	保育所・幼稚園・認定こども園
		34.4%	25.2%	21.4%	14.5%	13.7%
高階地区 n=157		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	子育て支援の充実	歴史的環境の保全
		24.8%	24.2%	16.6%	15.9%	15.9%
福原地区 n=94		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	子育て支援の充実 河川・水路の改良整備
		34.0%	23.4%	22.3%	16.0%	12.8%
大東地区 n=138		インターネットを活用した行政サービス	観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	中心市街地の基盤整備と活性化 道路、交通網の整備	
		26.8%	25.4%	18.8%		14.5%
霞ヶ関地区 n=163		インターネットを活用した行政サービス	観光による地域振興	歴史的環境の保全	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	中心市街地の基盤整備と活性化
			28.2%	15.3%	13.5%	11.7%
川鶴地区 n=71		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	道路、交通網の整備	歴史的環境の保全 公園・緑地の整備	
		36.6%	19.7%	19.7%		16.9%
霞ヶ関北地区 n=52		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	河川・水路の改良整備
		40.4%	26.9%	21.2%	17.3%	15.4%
名細地区 n=96		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	歴史的環境の保全	市の行政に関する情報提供
		33.3%	21.9%	18.8%	15.6%	13.5%
山田地区 n=77		インターネットを活用した行政サービス	観光による地域振興	保健・医療 歴史的環境の保全		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実
		23.4%	16.9%		15.6%	14.3%

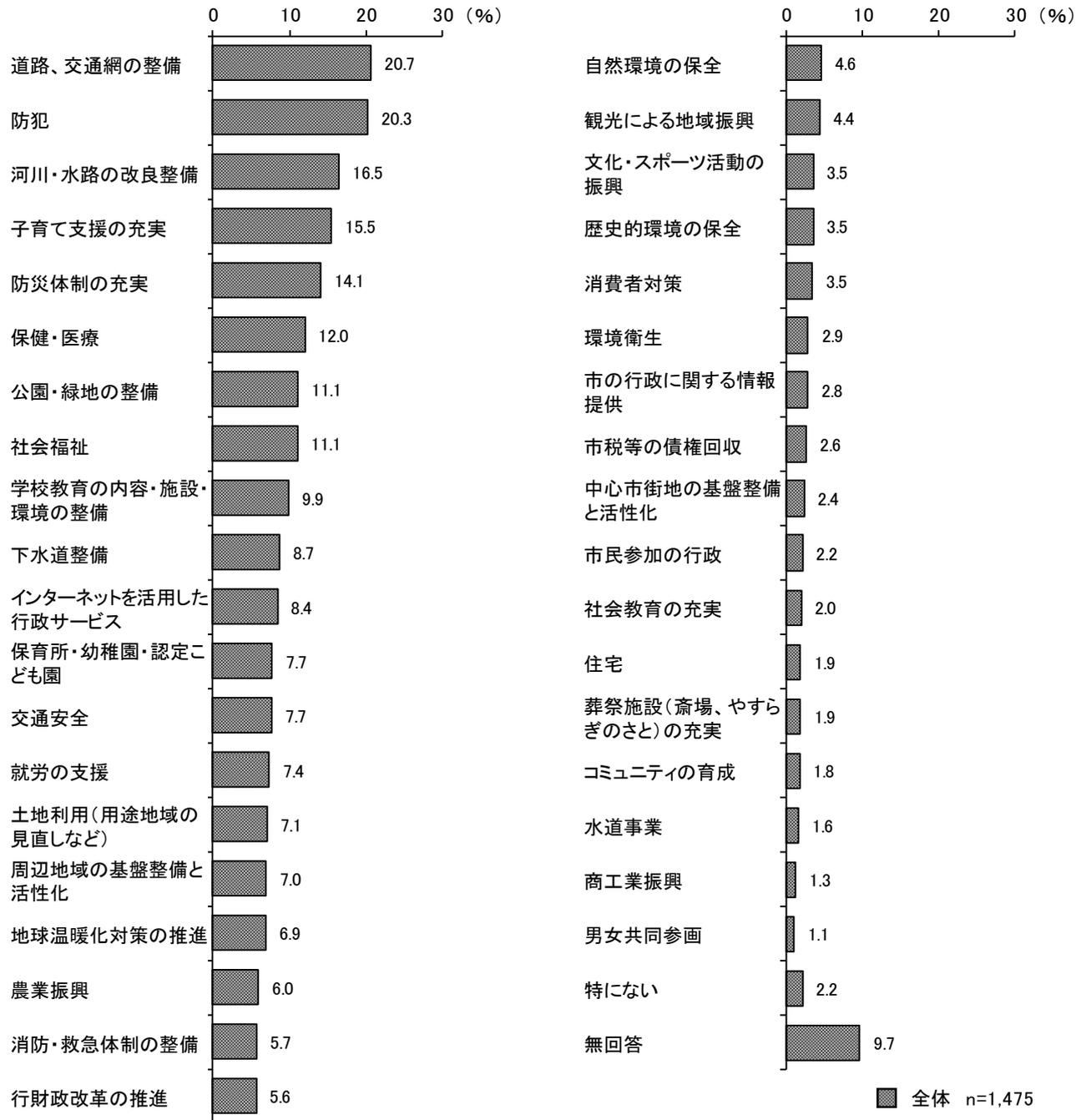
■ 性別・年代別（上位5項目）

上位5項目を性別・年代別でみると、男女とも「観光による地域振興」が最も高く、男性20歳代、30歳代、50歳代以上、女性20歳代、40～60歳代で1位となっている。また、「インターネットを活用した行政サービス」は男性40歳代、女性30歳代、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」は女性70歳以上で1位となっている。

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,475		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	歴史的環境の保全	中心市街地の基盤整備と活性化
		29.4%	23.6%	18.4%	17.2%	11.3%
【性別・年代別】						
男性 n=597		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	歴史的環境の保全	中心市街地の基盤整備と活性化
		28.6%	24.0%	17.4%	17.3%	11.7%
男性18・19歳 n=12		インターネットを活用した行政サービス	観光による地域振興	歴史的環境の保全	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	子育て支援の充実
		41.7%	33.3%	33.3%	25.0%	16.7%
男性20歳代 n=50		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	市の行政に関する情報提供 道路、交通網の整備
		28.0%	22.0%	22.0%	18.0%	14.0%
男性30歳代 n=53		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	保育所・幼稚園・認定こども園 道路、交通網の整備 住宅	
		34.0%	22.6%	20.8%		9.4%
男性40歳代 n=83		インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	観光による地域振興	中心市街地の基盤整備と活性化 葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	
		34.9%	22.9%	21.7%		16.9%
男性50歳代 n=120		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全 葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	道路、交通網の整備	
		35.8%	25.0%		19.2%	15.0%
男性60歳代 n=113		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	中心市街地の基盤整備と活性化	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	歴史的環境の保全
		31.0%	27.4%	19.5%	15.9%	14.2%
男性70歳以上 n=166		観光による地域振興	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	インターネットを活用した行政サービス	保健・医療	市の行政に関する情報提供
		23.5%	19.9%	15.1%	14.5%	13.3%
女性 n=829		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	歴史的環境の保全	子育て支援の充実
		31.2%	23.8%	19.7%	17.4%	14.1%
女性18・19歳 n=5		歴史的環境の保全 観光による地域振興		学校教育の内容・施設・環境の整備	市の行政に関する情報提供 インターネットを活用した行政サービス	
			60.0%	40.0%		20.0%
女性20歳代 n=57		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全 学校教育の内容・施設・環境の整備	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	
		38.6%	19.3%		17.5%	12.3%
女性30歳代 n=94		インターネットを活用した行政サービス	観光による地域振興	子育て支援の充実	保育所・幼稚園・認定こども園 歴史的環境の保全	
		36.2%	34.0%	17.0%		14.9%
女性40歳代 n=148		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	子育て支援の充実	学校教育の内容・施設・環境の整備
		40.5%	30.4%	21.6%	20.9%	18.2%
女性50歳代 n=174		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	歴史的環境の保全	子育て支援の充実
		32.2%	30.5%	24.7%	20.1%	16.7%
女性60歳代 n=141		観光による地域振興	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	中心市街地の基盤整備と活性化
		31.2%	23.4%	20.6%	17.7%	13.5%
女性70歳以上 n=209		葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	観光による地域振興	市の行政に関する情報提供	歴史的環境の保全	インターネットを活用した行政サービス
		24.4%	20.1%	13.4%	12.0%	11.5%

②力を入れるべき施策

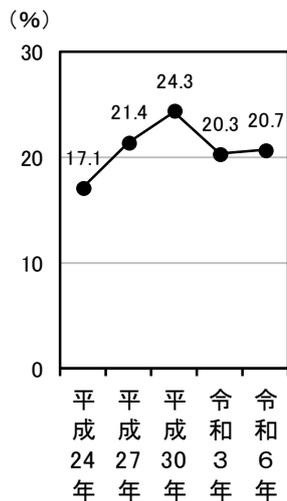
力を入れるべき施策については、「道路、交通網の整備」が 20.7%で最も高く、次いで「防犯」が 20.3%、「河川・水路の改良整備」が 16.5%、「子育て支援の充実」が 15.5%となっている。



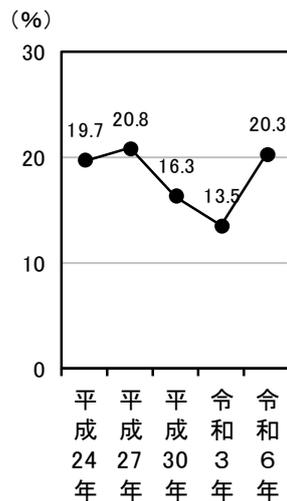
■ 時系列での比較（上位8項目）

上位8項目を時系列でみると、「子育て支援の充実」、「保健・医療」、「公園・緑地の整備」は前回調査から減少している。それ以外の5項目は前回調査を上回り、「防犯」は6.8ポイント増加し、減少傾向から増加に転じている。「河川・水路の改良整備」、「防災体制の充実」も2ポイント以上増加している。

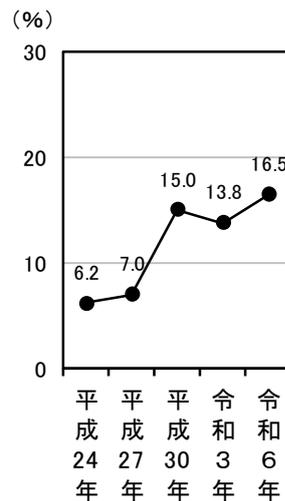
道路、交通網の整備



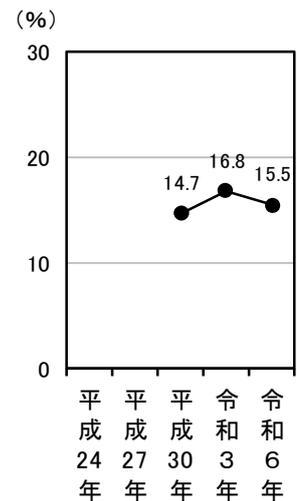
防犯



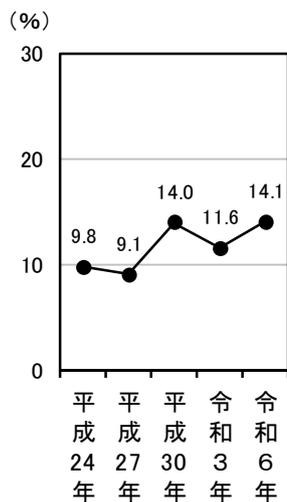
河川・水路の改良整備



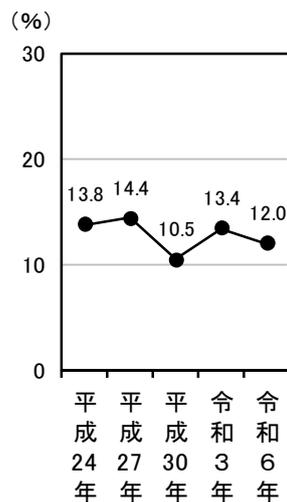
子育て支援の充実



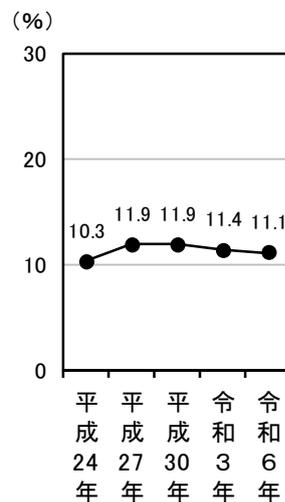
防災体制の充実



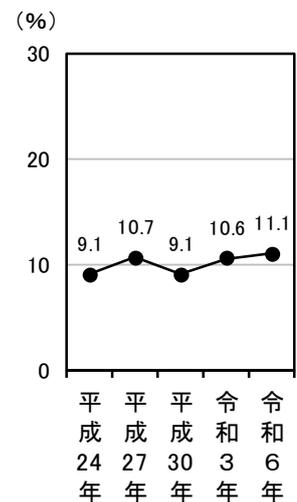
保健・医療



公園・緑地の整備



社会福祉



■ 居住地区別（上位5項目）

上位5項目を居住地区別で見ると、「道路、交通網の整備」は『本庁地区』、『芳野地区』、『南古谷地区』、『福原地区』、『名細地区』の5地区で1位となっている。「防犯」は『古谷地区』、『高階地区』、『大東地区』、『霞ヶ関地区』、『霞ヶ関北地区』の5地区で1位となっている、また、『川鶴地区』は「子育て支援の充実」、「山田地区」は『河川・水路の改良整備』が1位となっている。

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,475		道路、交通網の整備	防犯	河川・水路の改良整備	子育て支援の充実	防災体制の充実
		20.7%	20.3%	16.5%	15.5%	14.1%
【居住地区別】						
本庁地区 n=330		道路、交通網の整備	防犯	河川・水路の改良整備	公園・緑地の整備	子育て支援の充実
		19.7%	18.5%	16.4%	15.2%	14.5%
芳野地区 n=44		道路、交通網の整備	河川・水路の改良整備	防災体制の充実	子育て支援の充実 農業振興 防犯	
		27.3%	20.5%	18.2%		15.9%
古谷地区 n=59		防犯	学校教育の内容・施設・環境の整備 道路、交通網の整備 下水道整備			子育て支援の充実 農業振興 河川・水路の改良整備
		18.6%			15.3%	13.6%
南古谷地区 n=131		道路、交通網の整備	河川・水路の改良整備	防犯	子育て支援の充実 防災体制の充実	
		22.9%	22.1%	19.1%		14.5%
高階地区 n=157		防犯	道路、交通網の整備 防災体制の充実		子育て支援の充実	公園・緑地の整備
		25.5%		17.8%	14.6%	14.0%
福原地区 n=94		道路、交通網の整備	子育て支援の充実	河川・水路の改良整備	下水道整備	防犯
		25.5%	18.1%	16.0%	14.9%	13.8%
大東地区 n=138		防犯	道路、交通網の整備	子育て支援の充実	学校教育の内容・施設・環境の整備	防災体制の充実
		21.7%	20.3%	16.7%	13.8%	13.0%
霞ヶ関地区 n=163		防犯	道路、交通網の整備	河川・水路の改良整備	子育て支援の充実	保健・医療 防災体制の充実
		27.0%	25.2%	16.6%	14.7%	12.9%
川鶴地区 n=71		子育て支援の充実	社会福祉 防犯		道路、交通網の整備	防災体制の充実
		22.5%		21.1%	16.9%	15.5%
霞ヶ関北地区 n=52		防犯	河川・水路の改良整備 防災体制の充実		道路、交通網の整備	土地利用(用途地域の 見直しなど) 交通安全
		30.8%		19.2%	17.3%	15.4%
名細地区 n=96		道路、交通網の整備	防犯	子育て支援の充実 河川・水路の改良整備		社会福祉
		21.9%	20.8%		17.7%	14.6%
山田地区 n=77		河川・水路の改良整備	子育て支援の充実	道路、交通網の整備	下水道整備	保健・医療
		29.9%	20.8%	19.5%	18.2%	15.6%

■ 性別・年代別（上位5項目）

上位5項目を性別・年代別でみると、男女とも「道路、交通網の整備」が最も高く、男性20歳代、40歳代、50歳代、女性20歳代、70歳以上で1位となっている。「防犯」、「子育て支援の充実」、「河川・水路の改良整備」も複数の年代で1位となっている。

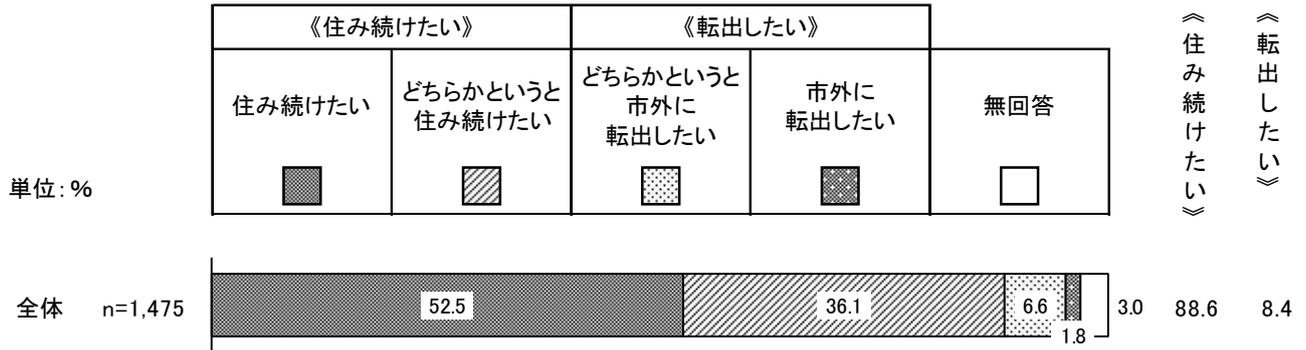
属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,475		道路、交通網の整備 20.7%	防犯 20.3%	河川・水路の改良整備 16.5%	子育て支援の充実 15.5%	防災体制の充実 14.1%
【性別・年代別】						
男性 n=597		道路、交通網の整備 19.1%	防犯 18.9%	子育て支援の充実 16.4%	河川・水路の改良整備 15.6%	防災体制の充実 13.1%
男性18・19歳 n=12		学校教育の内容・施設・環境の整備 33.3%	インターネットを活用した行政サービス 25.0%	就労の支援 25.0%	子育て支援の充実 社会福祉 土地利用(用途地域の見直しなど) 道路、交通網の整備	16.7%
男性20歳代 n=50		道路、交通網の整備 28.0%	インターネットを活用した行政サービス 26.0%	子育て支援の充実 公園・緑地の整備	22.0%	保育所・幼稚園・認定こども園 防犯 14.0%#
男性30歳代 n=53		子育て支援の充実 39.6%	防犯 22.6%	道路、交通網の整備 18.9%	保育所・幼稚園・認定こども園 交通安全	17.0%
男性40歳代 n=83		道路、交通網の整備 33.7%	子育て支援の充実 24.1%	防犯 22.9%	交通安全 18.1%	防災体制の充実 16.9%
男性50歳代 n=120		道路、交通網の整備 防犯	18.3%	保健・医療 17.5%	河川・水路の改良整備 15.0%	公園・緑地の整備 14.2%
男性60歳代 n=113		防犯 23.0%	防災体制の充実 19.5%	河川・水路の改良整備 18.6%	道路、交通網の整備 16.8%	社会福祉 15.0%
男性70歳以上 n=166		河川・水路の改良整備 18.7%	防犯 15.7%	下水道整備 13.3%	保健・医療 12.7%	子育て支援の充実 防災体制の充実 12.0%
女性 n=829		道路、交通網の整備 22.1%	防犯 21.5%	河川・水路の改良整備 17.5%	子育て支援の充実 防災体制の充実	15.2%
女性18・19歳 n=5		公園・緑地の整備 就労の支援 防犯	40.0%	保健・医療 学校教育の内容・施設・環境の整備 土地利用(用途地域の見直しなど) 道路、交通網の整備 自然環境の保全 消費者対策	20.0%	
女性20歳代 n=57		道路、交通網の整備 36.8%	子育て支援の充実 24.6%	防犯 19.3%	保育所・幼稚園・認定こども園 学校教育の内容・施設・環境の整備 交通安全	15.8%
女性30歳代 n=94		子育て支援の充実 35.1%	防犯 27.7%	学校教育の内容・施設・環境の整備 21.3%	保育所・幼稚園・認定こども園 20.2%	道路、交通網の整備 16.0%
女性40歳代 n=148		子育て支援の充実 28.4%	道路、交通網の整備 24.3%	学校教育の内容・施設・環境の整備 防犯	22.3%	河川・水路の改良整備 16.2%
女性50歳代 n=174		防犯 27.0%	道路、交通網の整備 22.4%	河川・水路の改良整備 19.0%	保健・医療 18.4%	社会福祉 防災体制の充実 15.5%
女性60歳代 n=141		河川・水路の改良整備 29.1%	道路、交通網の整備 21.3%	防災体制の充実 18.4%	防犯 17.7%	保健・医療 14.9%
女性70歳以上 n=209		道路、交通網の整備 19.1%	防災体制の充実 17.2%	社会福祉 16.7%	防犯 16.3%	地球温暖化対策の推 河川・水路の改良整備 14.8%

(15) 川越市への定住意向

◇ 《住み続けたい》が 88.6%

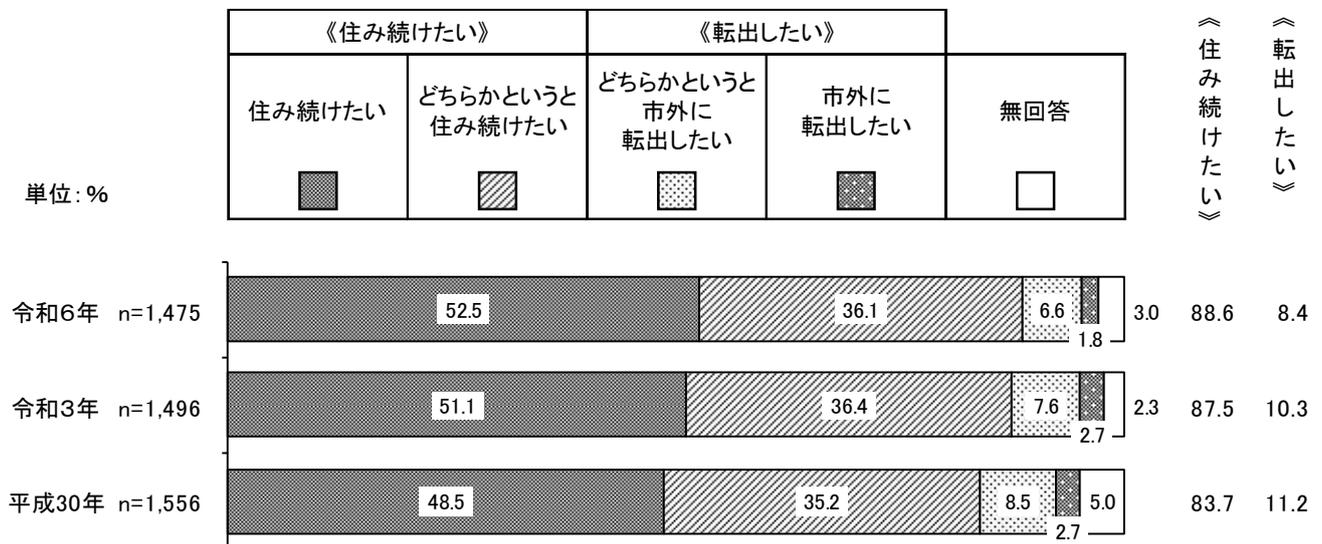
**問 63 あなたは、これからもずっと川越市に住み続けたいと思いますか。それともよそに移りたいと思いますか。(1つのみ)**

川越市への定住意向については、「住み続けたい」、「どちらかというに住み続けたい」の合計値《住み続けたい》が 88.6%である一方、「どちらかというに市外に転出したい」、「市外に転出したい」の合計値《転出したい》は 8.4%と、《住み続けたい》が 80.2 ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《住み続けたい》は前回調査より 1.1 ポイント、平成 30 年度より 4.9 ポイント増加し、増加傾向となっている。一方、《転出したい》は前回調査より 1.9 ポイント減少している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、《住み続けたい》は女性 20 歳代を除き 8 割以上となっており、男性 30 歳代、50 歳代以上、女性 50 歳代以上は 9 割台と高くなっている、一方、《転出したい》は女性 20 歳代が 2 割を超え最も高くなっている。

単位：%	《住み続けたい》		《転出したい》			《住み続けたい》 合計値	《転出したい》 合計値
	住み続けたい	どちらかという と住み続けたい	どちらかという と市外に 転出したい	市外に 転出したい	無回答		
全体 n=1,475	52.5	36.1	6.6	1.8	3.0	88.6	8.4

【性別・年代別】

男性 n=597	57.6	34.3	5.2	1.7	1.2	91.9	6.9
男性18・19歳 n=12	25.0	58.3	8.3	8.3	0.0	83.3	16.6
男性20歳代 n=50	50.0	34.0	14.0	0.0	2.0	84.0	14.0
男性30歳代 n=53	41.5	50.9	5.7	1.9	0.0	92.4	7.6
男性40歳代 n=83	50.6	36.1	9.6	3.6	0.0	86.7	13.2
男性50歳代 n=120	50.0	42.5	5.0	2.5	0.0	92.5	7.5
男性60歳代 n=113	72.6	23.0	2.7	0.9	0.9	95.6	3.6
男性70歳以上 n=166	66.3	28.3	1.8	0.6	3.0	94.6	2.4
女性 n=829	50.9	37.9	7.8	1.9	1.4	88.8	9.7
女性18・19歳 n=5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
女性20歳代 n=57	36.8	40.4	12.3	10.5	0.0	77.2	22.8
女性30歳代 n=94	37.2	45.7	16.0	0.0	1.1	82.9	16.0
女性40歳代 n=148	37.8	50.0	8.1	2.7	1.4	87.8	10.8
女性50歳代 n=174	50.6	40.2	8.0	1.1	0.0	90.8	9.1
女性60歳代 n=141	61.7	29.1	6.4	1.4	1.4	90.8	7.8
女性70歳以上 n=209	63.6	28.7	3.8	1.0	2.9	92.3	4.8

■ 居住地区別

居住地区別でみると、《住み続けたい》は『霞ヶ関北地区』が 98.1%で最も高く、次いで『川鶴地区』が 97.2%、『芳野地区』が 93.1%、『大東地区』と『霞ヶ関地区』が 92.0%となっている。《住み続けたい》はすべての地区で8割以上となっている。一方、《転出したい》は『福原地区』が 13.9%で最も高く、次いで『南古谷地区』が 13.7%、『高階地区』が 12.7%、『古谷地区』が 11.9%となっている。

単位：%	《住み続けたい》		《転出したい》		無回答	《住み続けたい》 合計値	《転出したい》 合計値
	住み続けたい	どちらかという と住み続けたい	どちらかという と市外に 転出したい	市外に 転出したい			
全体 n=1,475	52.5	36.1	6.6	1.8	3.0	88.6	8.4

【居住地区別】

本庁地区 n=330	56.4	35.5	4.8	2.1	1.2	91.9	6.9
芳野地区 n=44	54.5	38.6	4.5	2.3	0.0	93.1	6.8
古谷地区 n=59	62.7	23.7	10.2	1.7	1.7	86.4	11.9
南古谷地区 n=131	54.2	30.5	9.9	3.8	1.5	84.7	13.7
高階地区 n=157	45.2	39.5	12.1	0.6	2.5	84.7	12.7
福原地区 n=94	55.3	30.9	9.6	4.3	0.0	86.2	13.9
大東地区 n=138	56.5	35.5	5.1	1.4	1.4	92.0	6.5
霞ヶ関地区 n=163	55.2	36.8	5.5	1.8	0.6	92.0	7.3
川鶴地区 n=71	46.5	50.7	2.8	0.0	0.0	97.2	2.8
霞ヶ関北地区 n=52	55.8	42.3	0.0	0.0	1.9	98.1	0.0
名細地区 n=96	54.2	37.5	4.2	3.1	1.0	91.7	7.3
山田地区 n=77	51.9	36.4	10.4	0.0	1.3	88.3	10.4

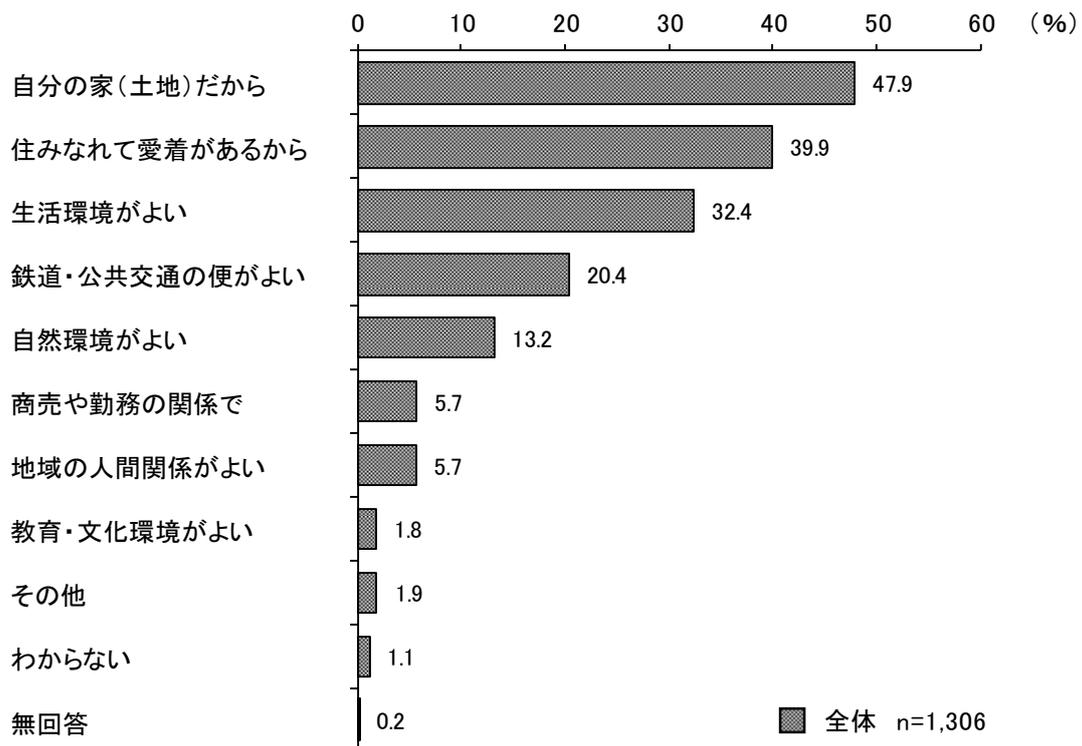
### (16) 住み続けたいと思う理由

◇「自分の家（土地）だから」が47.9%

【問 63 で「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と回答した方におたずねします。】

問 63-1 川越市に住み続けたいというのは、特にどのような理由からですか。  
次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで）

住み続けたいと思う理由については、「自分の家（土地）だから」が47.9%で最も高く、次いで「住みなれて愛着があるから」が39.9%、「生活環境がよい」が32.4%、「鉄道・公共交通の便がよい」が20.4%となっている。



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「自分の家（土地）だから」は男性50歳代以上、女性70歳代以上で5割台と高くなっている。また、「鉄道・公共交通の便がよい」は男性、女性とも20歳代で3割台と高くなっている。

単位：%	自分の家(土地)だから	住みなれて愛着があるから	生活環境がよい	鉄道・公共交通の便がよい	自然環境がよい	商売や勤務の関係で
全体 n=1,306	47.9	39.9	32.4	20.4	13.2	5.7
【性別・年代別】						
男性 n=549	47.7	38.4	34.4	19.3	14.0	5.8
男性18・19歳 n=10	20.0	70.0	30.0	10.0	10.0	0.0
男性20歳代 n=42	23.8	45.2	33.3	35.7	4.8	11.9
男性30歳代 n=49	32.7	24.5	36.7	24.5	18.4	6.1
男性40歳代 n=72	41.7	38.9	31.9	13.9	15.3	8.3
男性50歳代 n=111	53.2	31.5	34.2	23.4	6.3	10.8
男性60歳代 n=108	50.0	40.7	38.0	16.7	13.0	0.9
男性70歳以上 n=157	58.0	42.0	33.1	15.3	21.0	3.2
女性 n=736	47.7	41.3	31.3	21.1	12.6	5.8
女性18・19歳 n=5	20.0	60.0	20.0	100.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=44	29.5	43.2	18.2	31.8	13.6	13.6
女性30歳代 n=78	44.9	39.7	24.4	19.2	6.4	15.4
女性40歳代 n=130	47.7	39.2	31.5	20.0	10.8	6.9
女性50歳代 n=158	46.8	38.6	34.8	15.8	11.4	6.3
女性60歳代 n=128	49.2	47.7	32.8	21.9	5.5	1.6
女性70歳以上 n=193	53.4	40.4	33.2	21.8	22.3	2.1

■ 居住地区別（上位6項目）

上位6項目を居住地区別で見ると、「自分の家（土地）だから」は12地区中10地区で1位となっている。また、『本庁地区』と『川鶴地区』は「生活環境がよい」が1位となっている。

単位：%	自分の家(土地)だから	住みなれて愛着があるから	生活環境がよい	鉄道・公共交通の便がよい	自然環境がよい	商売や勤務の関係で
全体 n=1,306	47.9	39.9	32.4	20.4	13.2	5.7
【居住地区別】						
本庁地区 n=303	40.6	36.3	41.9	29.7	7.3	8.3
芳野地区 n=41	63.4	56.1	7.3	2.4	17.1	2.4
古谷地区 n=51	54.9	51.0	15.7	9.8	19.6	2.0
南古谷地区 n=111	52.3	31.5	29.7	21.6	23.4	4.5
高階地区 n=133	44.4	39.8	31.6	23.3	9.8	4.5
福原地区 n=81	55.6	38.3	18.5	27.2	11.1	7.4
大東地区 n=127	46.5	42.5	33.1	23.6	10.2	6.3
霞ヶ関地区 n=150	52.7	42.0	33.3	14.0	16.7	3.3
川鶴地区 n=69	34.8	37.7	46.4	17.4	15.9	7.2
霞ヶ関北地区 n=51	58.8	39.2	37.3	15.7	11.8	5.9
名細地区 n=88	48.9	39.8	28.4	9.1	20.5	3.4
山田地区 n=68	55.9	45.6	25.0	13.2	11.8	2.9

(17) 転出したいと思う理由

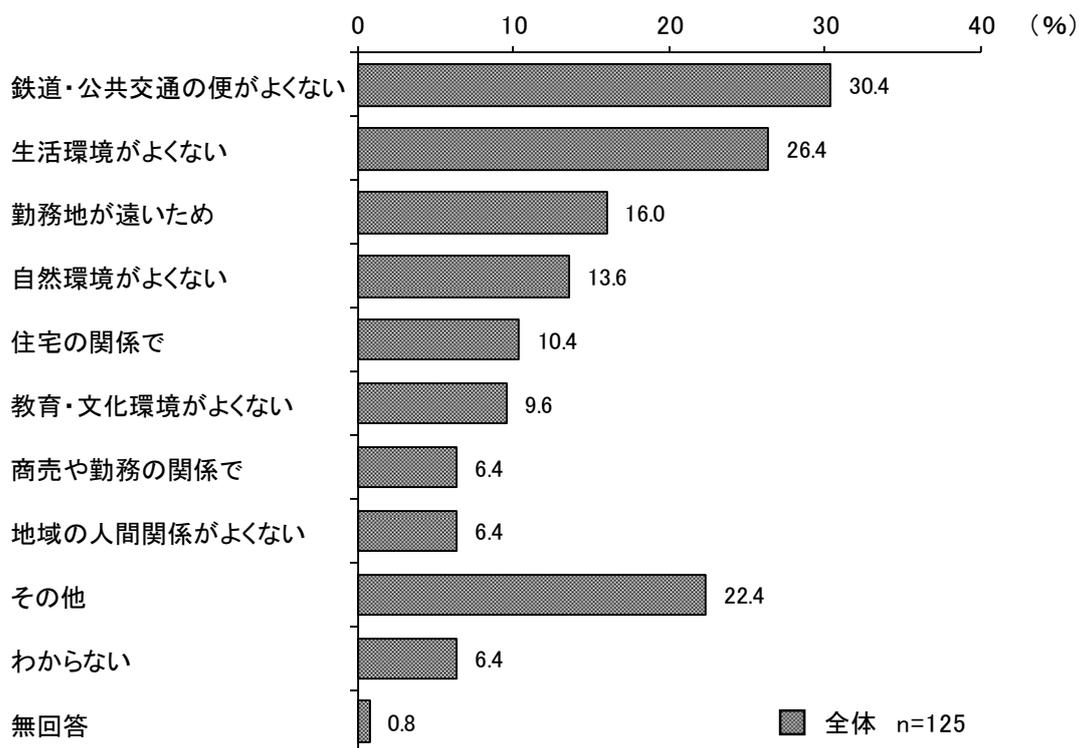
◇「鉄道・公共交通の便がよくない」が 30.4%

【問 63 で「どちらかというとし外に転出したい」「市外に転出したい」と回答した方におたずねします。】

問 63-2 市外へ移りたいというのは、特にどのような理由からですか。

次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで)

転出したいと思う理由については、「鉄道・公共交通の便がよくない」が 30.4%で最も高く、次いで「生活環境がよくない」が 26.4%、「勤務地が遠いため」が 16.0%、「自然環境がよくない」が 13.6%となっている。

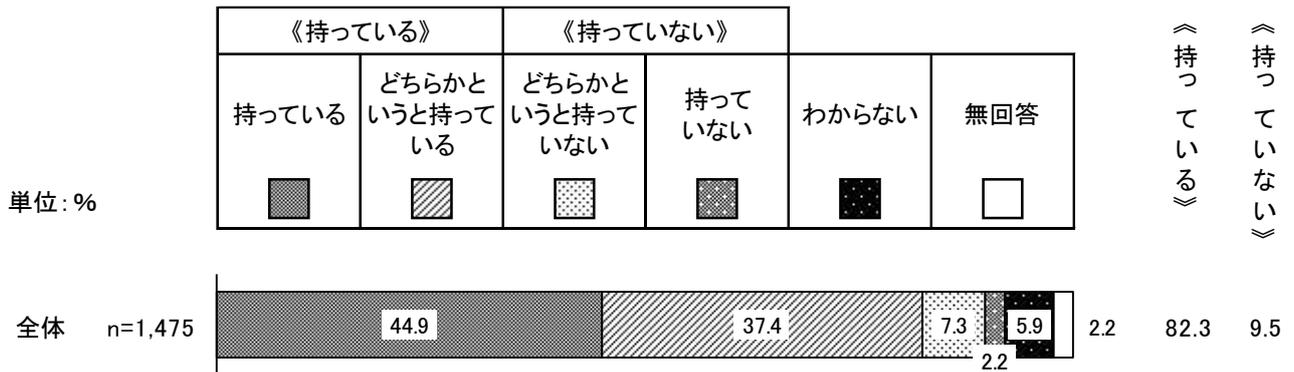


(18) 川越市への愛着

◇ 《持っている》が82.3%

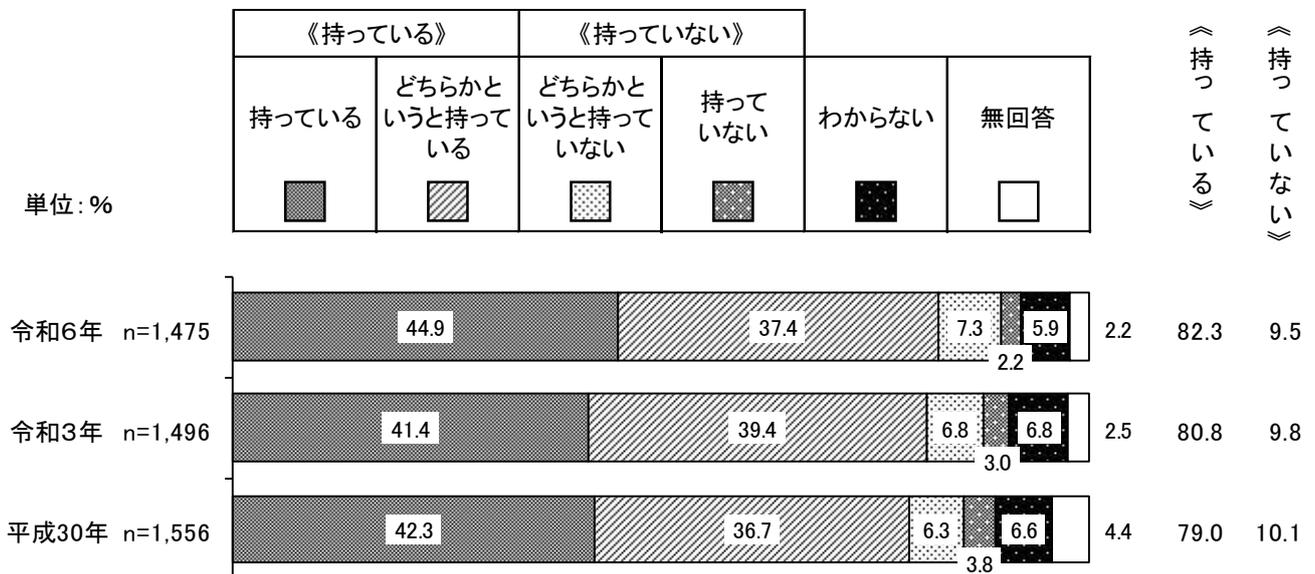
問 64 あなたは、川越市に愛着をお持ちですか。(1つのみ)

川越市への愛着については、「持っている」、「どちらかというを持っている」の合計値《持っている》は82.3%である一方、「どちらかというと持っていない」、「持っていない」の合計値《持っていない》は9.5%と、《持っている》が72.8ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《持っている》は前回調査より1.5ポイント、平成30年度より3.3ポイント増加し、増加傾向となっている。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、《持っている》は男女とも全ての年代で7割以上となっており、女性70歳代以上は9割を超え高くなっている。一方、《持っていない》は男性40歳代で2割近くとなっている。

単位: %	《持っている》		《持っていない》		わからない	無回答	《持っている》 合計値	《持っていない》 合計値	
	持っている	どちらかという と持っている	どちらかという と持っていない	持って いない					
全体 n=1,475	44.9	37.4	7.3	2.2	5.9	2.2	82.3	9.5	
【性別・年代別】									
男性 n=597	50.4	34.2	8.7	2.0	4.4	0.3	84.6	10.7	
男性18・19歳 n=12	33.3	41.7	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	
男性20歳代 n=50	52.0	36.0	8.0	0.0	4.0	0.0	88.0	8.0	
男性30歳代 n=53	43.4	39.6	7.5	3.8	5.7	0.0	83.0	11.3	
男性40歳代 n=83	48.2	27.7	12.0	6.0	6.0	0.0	75.9	18.0	
男性50歳代 n=120	40.8	42.5	8.3	4.2	4.2	0.0	83.3	12.5	
男性60歳代 n=113	57.5	31.0	7.1	0.0	4.4	0.0	88.5	7.1	
男性70歳以上 n=166	56.6	30.7	7.8	0.0	3.6	1.2	87.3	7.8	
女性 n=829	42.6	40.8	6.5	2.3	7.0	0.8	83.4	8.8	
女性18・19歳 n=5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
女性20歳代 n=57	36.8	45.6	7.0	3.5	7.0	0.0	82.4	10.5	
女性30歳代 n=94	27.7	47.9	13.8	2.1	7.4	1.1	75.6	15.9	
女性40歳代 n=148	41.2	35.8	6.8	5.4	10.1	0.7	77.0	12.2	
女性50歳代 n=174	42.0	42.5	6.9	2.9	5.7	0.0	84.5	9.8	
女性60歳代 n=141	44.7	37.6	6.4	1.4	9.9	0.0	82.3	7.8	
女性70歳以上 n=209	50.7	40.7	2.9	0.0	3.8	1.9	91.4	2.9	

■ 居住地区別

居住地区別でみると、《持っている》は『霞ヶ関北地区』が94.2%で最も高く、次いで『古谷地区』が88.1%、『南古谷地区』が87.1%となっている。一方、《持っていない》は『高階地区』が15.9%で最も高くなっている。

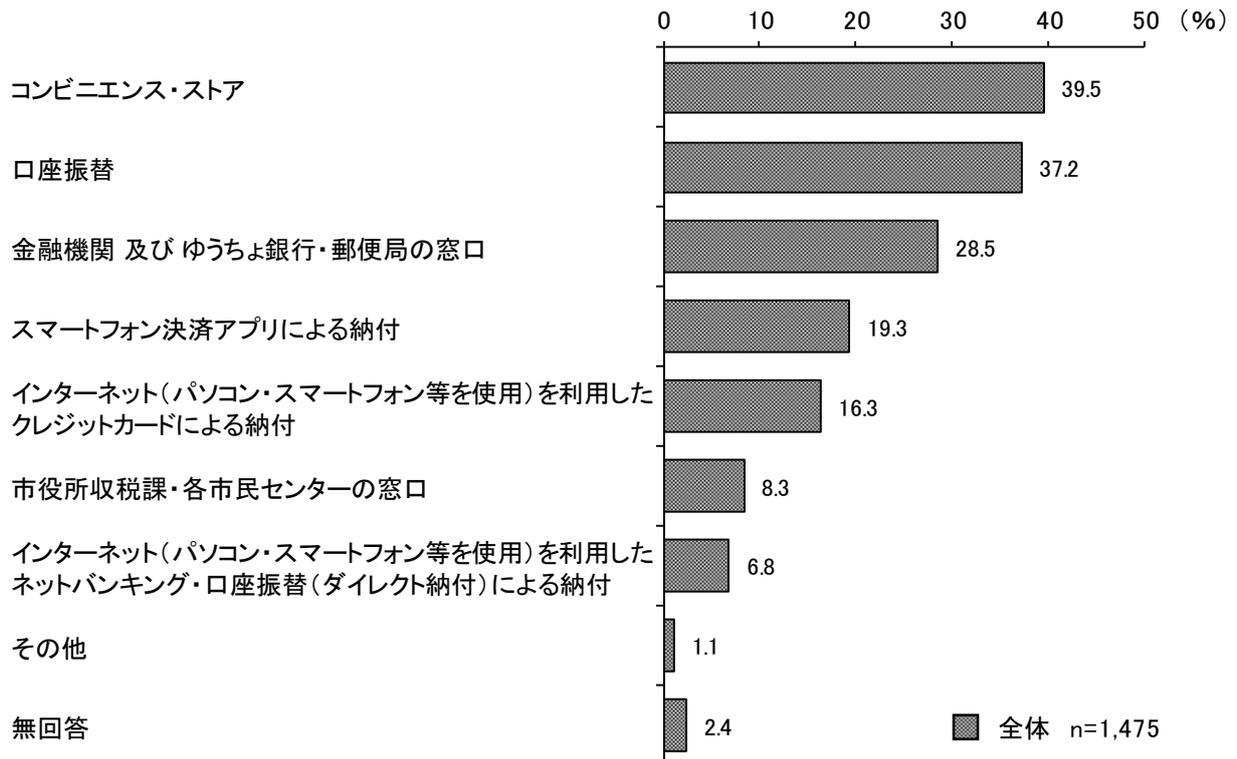
単位: %	《持っている》		《持っていない》		わからない	無回答	《持っている》 合計値	《持っていない》 合計値	
	持っている	どちらかという と持っている	どちらかという と持っていない	持って いない					
全体 n=1,475	44.9	37.4	7.3	2.2	5.9	2.2	82.3	9.5	
【居住地区別】									
本庁地区 n=330	52.1	33.9	6.4	1.5	5.8	0.3	86.0	7.9	
芳野地区 n=44	45.5	40.9	2.3	2.3	9.1	0.0	86.4	4.6	
古谷地区 n=59	59.3	28.8	5.1	3.4	1.7	1.7	88.1	8.5	
南古谷地区 n=131	40.5	46.6	5.3	2.3	5.3	0.0	87.1	7.6	
高階地区 n=157	39.5	37.6	12.7	3.2	6.4	0.6	77.1	15.9	
福原地区 n=94	43.6	39.4	4.3	7.4	5.3	0.0	83.0	11.7	
大東地区 n=138	49.3	37.0	7.2	0.0	5.8	0.7	86.3	7.2	
霞ヶ関地区 n=163	44.8	37.4	9.8	0.0	7.4	0.6	82.2	9.8	
川鶴地区 n=71	43.7	39.4	8.5	1.4	7.0	0.0	83.1	9.9	
霞ヶ関北地区 n=52	44.2	50.0	3.8	0.0	0.0	1.9	94.2	3.8	
名細地区 n=96	37.5	37.5	10.4	4.2	9.4	1.0	75.0	14.6	
山田地区 n=77	48.1	37.7	5.2	2.6	5.2	1.3	85.8	7.8	

## (19) 希望する市税納付方法

◇「コンビニエンス・ストア」が39.5%

**問 65 あなたが市税（国民健康保険税を含む）を納める方法として希望するのは次のどれですか。  
次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで）**

希望する市税納付方法については、「コンビニエンス・ストア」が39.5%で最も高く、次いで「口座振替」が37.2%、「金融機関 及び ゆうちょ銀行・郵便局の窓口」が28.5%、「スマートフォン決済アプリによる納付」が19.3%となっている。



## 8 市政運営に対する意見・まちづくりへの要望

最後に、市に対するご意見やこれからのまちづくりについてのご希望がありましたら、ご自由にお書きください。

「市政運営に対する意見・まちづくりへの要望」欄には、508人（34.4%）の方からの記入があった。その中で、具体的な要望やアイデアを記入していただいたものについて、地区別にその内容を分類し、表にした。

また、複数の記入はそれぞれ1件に数えてあるので、意見要望は合計で927件となっている。

なお、記入していただいた多くの意見の中から、各カテゴリー別にいくつかの内容を掲載している。

	本庁地区	芳野地区	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	川鶴地区	霞ヶ関北地区	名細地区	山田地区	地区不明	合計	比率
全体合計	212	28	43	85	74	66	94	97	47	37	77	45	22	927	100.0%
1. 都市基盤・生活基盤	72	9	16	38	34	30	33	36	10	11	31	15	6	341	36.8%
交通安全・事故防止	10	2	1	7	4	6	4	2	1	1	3	4	2	47	
まちづくり全般・将来のビジョン	13	1	2	2	2	2	4	5	2	3	5	3	0	44	
道路の整備・バリアフリー・渋滞対策	7	0	0	4	7	4	5	8	1	1	2	2	0	41	
路線バス・コミュニティバス	1	3	3	3	4	1	5	5	0	1	4	0	0	30	
公園の整備	9	0	0	2	4	4	1	1	2	0	4	2	0	29	
駅・駅前・駅周辺の整備	9	2	1	7	1	0	3	0	0	2	0	0	0	25	
下水道・排水溝の整備	1	0	1	5	3	5	0	4	0	0	2	1	1	23	
歩道・自転車道の整備	2	1	1	3	1	4	2	2	0	1	3	0	0	20	
地域格差是正・周辺地域の開発	1	0	3	1	1	0	2	4	2	1	3	0	1	19	
街灯の整備	2	0	1	1	2	2	6	2	0	0	2	0	0	18	
交通網の充実・移手段の確保	2	0	3	2	2	2	0	1	1	1	0	0	2	16	
住宅・マンションの整備	5	0	0	0	1	0	0	1	1	0	2	2	0	12	
鉄道路線の整備	8	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	10	
現状に満足	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	5	
電線類地中化	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
2. 産業・観光	32	6	5	7	3	12	12	8	5	7	4	6	1	108	11.7%
観光行政	19	1	0	5	3	3	7	4	1	4	3	3	1	54	
商業・産業全般、経済活性化	6	4	1	0	0	4	2	1	3	2	1	2	0	26	
農業振興・地産地消の推進	2	1	1	2	0	3	1	3	0	0	0	1	0	14	
イベント・祭	4	0	2	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	10	
就業支援・労働環境	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4	
3. 教育・文化・スポーツ	13	1	4	3	0	1	4	7	4	1	4	2	0	44	4.7%
教育施設・教育環境	8	0	1	3	0	0	2	4	3	0	3	1	0	25	
スポーツの振興・施設整備	3	1	3	0	0	0	1	2	1	1	0	1	0	13	
歴史・文化の保全・振興	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	6	
4. 保健・医療・福祉・子ども	23	2	4	6	10	4	14	15	6	2	14	6	3	109	11.8%
児童福祉・子育て支援	11	0	3	2	6	0	8	4	4	1	8	3	1	51	
高齢者福祉	4	1	0	3	1	1	1	1	1	1	2	2	2	20	
医療機関の整備	2	0	0	0	1	0	2	2	0	0	1	0	0	8	
障害者福祉	2	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	8	
福祉全般	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	2	0	0	6	
ワクチン・不妊治療への助成	0	0	0	0	1	1	0	3	0	0	1	0	0	6	
健診・検診	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	
その他（健康づくり、電磁波過敏症対策など）	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	5	

	本庁地区	芳野地区	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	川鶴地区	霞ヶ関北地区	名細地区	山田地区	地区不明	合計	比率
<b>5. 環境</b>	12	3	1	10	4	8	10	8	3	2	13	5	2	81	8.7%
雑草・街路樹・下草などの適切な管理・剪定	5	0	1	2	3	5	4	1	3	2	2	1	0	29	
ごみ収集・処理	2	0	0	2	0	2	4	2	0	0	2	1	1	16	
良好な住環境の維持	2	2	0	4	1	0	0	1	0	0	3	1	0	14	
環境保全・緑化	3	0	0	0	0	1	0	2	0	0	5	1	0	12	
街の美化・ポイ捨て対策	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	5	
地球温暖化対策	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	5	
<b>6. 地域社会と市民生活</b>	21	4	4	8	9	2	7	8	6	4	3	7	2	85	9.2%
防災関連	8	1	1	4	5	0	0	5	0	3	2	3	0	32	
防犯関連	5	1	1	2	2	2	3	2	1	0	0	1	1	21	
外国人への対応	3	1	0	0	0	0	4	0	2	0	1	2	0	13	
自治会活動	3	0	2	2	2	0	0	1	1	1	0	0	0	12	
近所付き合い・近隣とのトラブル	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	
地域活動	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	
<b>7. 市政全般</b>	39	3	9	13	14	9	14	15	13	10	8	4	8	159	17.2%
今回のアンケート調査に関して	4	0	1	2	2	2	2	4	5	0	2	1	2	27	
広報・情報発信	5	0	1	2	5	1	4	1	1	2	1	0	2	25	
公共施設の整備・管理	7	0	1	4	0	0	1	2	1	2	3	0	0	21	
市長、市・公共施設職員について	5	0	3	1	2	3	0	1	2	0	0	0	3	20	
行財政改革の推進	6	1	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	13	
市政運営全般	2	0	1	0	1	1	0	2	2	0	1	0	1	11	
税制	3	0	0	1	1	1	1	2	0	2	0	0	0	11	
公共施設の移転・集約	2	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	6	
各種手続きについて	0	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	6	
市議会議員について	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
挨拶・応援	5	0	0	1	1	0	3	1	1	0	1	2	0	15	
その他（チャイムなど）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	

## 1. 都市基盤・生活基盤

### <交通安全・事故防止>

- 川越駅前や本川越駅前に止めてる車を取り締まってほしい。バスの運転手さんが大変そうな場面をよく見る。【女性／50～59歳／福原地区】
- 旧道の整備をして欲しいです。ガードレールもない道を車とギリギリのところを通っている小学生を見て、危ないなあと毎日心配しています。【女性／30～39歳／大東地区】
- 入間川街道に、車やバイクが法定速度を守らず走っている事が多々あり、とても危なく困っています。歩道がなく、通学の子も達やベビーカー連れも通るので、特に朝や夕方に警察官の配置等してもらえると助かります。【男性／20～29歳／大東地区】
- 蔵造りの町並みの観光客が多く、車道にはみ出て歩く感じになっている。大変危ないので、何か対策をしてほしい。【男性／60～64歳／名細地区】

### <まちづくり全般・将来のビジョン>

- 川越は歴史のある古くからのまちです。歴史的建造物を中心としたまちづくりを更に進めてほしい。【男性／65～69歳／本庁地区】
- 歴史的な川越の町は、住民よりも観光客向けな気がします。【女性／30～39歳／名細地区】
- 「まちづくり」に関しては、市民の意見を嫌がらず、必ず話を聞き、多数の意見の中から優先順位を付けるのが良いのではと思います。【女性／60～64歳／名細地区】
- ほどよく都会でほどよく田舎な所がウリだと思いますが、中途半端な感じを受けます。もう少し手を入れていく事が必要なのでは？と思っています。観光客も住民もリラックスしたり、楽しく過ごせる空間作りに力を入れてほしいです。【女性／40～49歳／本庁地区】
- これからのまちづくりは、コミュニティが活発な所も必要だが、生活の基本的な所がしっかりと管理できている行政活動に期待しています。【男性／65～69歳／山田地区】

### <道路の整備・バリアフリー・渋滞対策>

- 蔵造りの町並みの交通の流れが悪すぎる。バス会社が注意喚起しているけど意味ない。【男性／30～39歳／高階地区】
- 警察と連携して、市内の渋滞対策を推進してほしい。例えば、西武線踏切がある脇田町交差点の、川越駅東口方面からの右折渋滞対策。また、特に札の辻、仲町、市役所前は、横断中歩行者が渋滞に拍車をかけていると感じるため、歩車分離信号化などの対策で、渋滞はかなり解消できるのではないのでしょうか。【男性／50～59歳／山田地区】
- 道路、車椅子を押してみてください。ちょっとした段差でも大変です。水はけのためカーブしすぎているので、車椅子がだんだん坂下に行ってしまう。介護している人への配慮願う。【女性／75歳以上／名細地区】
- 観光客の通る箇所はすぐきれいに舗装するのに、愛和病院の道路など舗装状態が悪い箇所が多い。小仙波（信号）の渋滞が酷い。東松山への登りが二車線から一車線になるのはなんとかならないのか。【女性／30～39歳／南古谷地区】

### <路線バス・コミュニティバス>

- （免許）返納しても、シャトルバスとかかわまるがあるから大丈夫と感じる様な運行状況になればよい

などと思いますが…。シャトルバスは便数が少ないので、利用せずに終わる様な気がします。かわまるは、買い物や病院に行く際に慣れれば便利かと思います。ただ、娯楽要素がある場所へは予約する際に気がひけてしまう様な気がします。【女性／50～59歳／高階地区】

- 川越シャトルの増便を希望します。30分に1本程度走っていたら、利用客も増えると思います。また、障害者のバス料金をせめて子ども料金と同額にするのはいかがですか。子どももおり減便は困るため、バスの維持費のためにも協力を願いたいです。【男性／20～29歳／大東地区】
- 近くにコミュニティバスしか走っていないので、路線バスでのアクセス向上を図ってほしい。【男性／30～39歳／大東地区】
- 南古谷と川越を結ぶバス（観光の方も利用できる様な経路など）を作ってもらえないでしょうか？南古谷にはユニクスもあり映画館もあるので、蔵の町を観光した方など川越駅まで戻らずに、バス等で南古谷に来れると便利だと思います。【女性／60～64歳／南古谷地区】

### <公園の整備>

- 公園の内容も良くありません。雑草は生えており、遊具が減っている中、故障していても直して貰えず(お金の問題で)、子どもたちの遊び場所も減少しています。【女性／40～49歳／大東地区】
- 市営の公園があると嬉しいです。私の近くの公園はボール遊びなどが禁止されていたり、近隣住民などの苦情で、最近子ども達が遊んでいない様に感じます。【女性／20～29歳／南古谷地区】
- 公園の遊具について、安全の確認をしてほしい。特に笠幡にある、いか公園の滑り台は危ないと思います。【女性／75歳以上／霞ヶ関地区】
- 蔵の街や寺院など観光施設は充実しているが、他の市に比べて子供の遊べる施設、地域の公園などが圧倒的に少ない。わざわざ車で行かなくても徒歩や自転車で利用できる公園が欲しい。【女性／60～64歳／本庁地区】

### <駅・駅前・駅周辺の整備>

- 丸広だよりの駅周辺はもう時代遅れです。周辺地域のようにショッピングモールを作ってください。【女性／50～59歳／芳野地区】
- 南古谷駅北口開発、とても期待しております。【女性／40～49歳／古谷地区】
- 駅周辺における駐輪場不足。ほぼすべて有料化になり駐輪台数が減少したため、改悪だと思う。【男性／30～39歳／本庁地区】
- 新河岸駅を最寄りとしていますが、昔の駅周辺には色々なお店があり、とても活気があり、駅まで行けば何でも揃った様に思います(スーパー、書店、花屋)。今の新河岸駅周辺には、コンビニ、歯医者、接骨院ばかりで何の楽しみもありません。もっと活気のある、コミュニティ広場や商業施設が立ち並ぶようにしてほしいです。【女性／60～64歳／高階地区】

### <下水道・排水溝の整備>

- 道路が狭く、車が乗っても大丈夫なU字溝と蓋にする事を強く要望しています。市はブリーチングにする予定はありますが、U字溝も老朽化しており、崩れたり、ヒビが入ったり、欠けたり、土砂で機能なくなったりしています。早急に何とかしてほしいです。【男性／65～69歳／本庁地区】
- 今住んでいる所は排水がとても悪くて、大雨の日になると駐車場は雨水でいっぱい溜まっていて、車で帰宅できなくなります。排水の改良工事はとても個人の力でできないので、ぜひ市の方で対策、対応を取って頂けたらありがたいです。【女性／40～49歳／福原地区】

### Ⅲ 調査結果の分析

- 地区道路の側溝が詰まっている。以前は自治会で集まって側溝の掃除をしていた。しかし地区の高齢化が進んでなかなか出来ていない。大雨が降るとたちまち水が溢れてしまっている。何とかならないものだろうか？【女性／50～59歳／高階地区】

#### <歩道・自転車道の整備>

- 車中心の道路が多く、自転車、徒歩での通行に恐怖を覚える。歩道等の整備を望む。【男性／70～74歳／名細地区】
- 私の近くは道路が狭く、歩道もなく、側溝の上を歩く事になっています。段差やガタガタになって、足元が本当に危ない。買い物カート、シニアカー、乳母車等々のためにも歩道があればと感じる事が多いです。【女性／75歳以上／大東地区】
- 街の中心部だけでなく、全体的に遊歩道を整備し、川沿いに誰でも散歩できるような歩道を県とも協議し、実現してほしい。【男性／75歳以上／福原地区】

#### <地域格差是正・周辺地域の開発>

- 街中（川越中心部）は観光の方も多く、道路事情以外は素晴らしいと思いますが、差が激しいと思うので、中心外の場所でも子ども、お年寄り、若い人も住み続けたいような街を作っていただけたら嬉しいです。【女性／50～59歳／霞ヶ関北地区】
- 中心部だけでなく、周辺地域でも同じサービス（交通、文化等）が受けられるようにしてほしい。【女性／60～64歳／古谷地区】
- 市街中心地から一歩踏み出すと、道路は不連続、混雑、歩道は少ない、公園や街路樹も少なく、川越市の裏の顔は目に余るものがあります。【男性／70～74歳／大東地区】

#### <街灯の整備>

- 古屋小学校周辺に街灯を付けるべき。真っ暗で歩けない。懐中電灯を持ち歩かないと足元が見えない。12月頃は17時でも暗くなるから、子どもの帰りが危ない。【女性／40～49歳／古谷地区】
- 住宅がこの10年でかなり増えているが、外灯の数が全く増えていなくてかなり不便だし、防犯リスクも高くなると思う。住宅の増数と比例して外灯の数も増してほしい。【女性／50～59歳／大東地区】
- 街灯を増やし、中高生の部活後の安全確保。【答えたくない／50～59歳／福原地区】

#### <交通網の充実・移動手段の確保>

- レンタサイクル置場が少なく利用できない。【女性／50～59歳／南古谷地区】
- デマンド交通、ありがたいと思いましたが、蓋を開ければ連絡つかない、時間の希望できない、利用したくても全く使えません。【答えたくない／40～49歳／無回答】
- 病院へ行くのに大変です。以前は駅と病院間のバスがありましたがなくなり、タクシーも予約ができず、かわまるの世話になっています。【男性／75歳以上／南古谷地区】

#### <住宅・マンションの整備>

- マンションが増えすぎて景観が悪くなってきたと感じる。【男性／30～39歳／本庁地区】
- 近年市内の木造家屋（町屋）等が多く取り壊されている光景を目にする事があり、少し残念に思います。防火や耐震など、課題はたくさんありますが、「城下町川越」らしい風景を残すため、保全をして頂きたいです。【男性／30～39歳／本庁地区】

○自然と歴史と住宅をテーマにした住宅環境があれば川越に永住したい。住宅サポートを手厚くし、駅から離れた場所でも理想のマイホームが建てられるようにしてほしい。【男性／30～39歳／山田地区】

#### <鉄道路線の整備>

○東武鉄道と協力し、池袋駅までの所要時間短縮にも力を入れてほしいです。【女性／40～49歳／本庁地区】

○川越駅、本川越駅（JR、東上線、西武線）の統合化により、更なる発展が見込まれると考えます。【男性／40～49歳／本庁地区】

○鉄道線（特に川越駅や本川越駅）の地下化 or 高架にしてほしい。交通渋滞がひどい。【男性／30～39歳／高階地区】

#### <電線類地中化>

○観光スポット全体を電柱地中化。【男性／40～49歳／本庁地区】

## 2. 産業・観光

#### <観光行政>

○土日祝など観光客が増える日は、蔵造りの町並みの通りは車が通れないようにしてほしいです。混雑するような日だけでも歩行者天国にして、もっと歩きやすく、ゆっくり町並みを見れる様にしてほしいと思います。【男性／40～49歳／本庁地区】

○コロナがピークの時期は、観光客などが減って川越市がどうなってしまうか心配でした。今は観光客がほぼ戻って、活気が戻った感じがしました。【女性／30～39歳／南古谷地区】

○川越のまちが観光客で賑わっている事は喜ばしい反面、オーバーツーリズムで市民の不満が募る懸念があります。また、観光される方からも道路が歩きにくい、気軽に入れる食堂が少ないなどの不満もあるようです。より魅力のある観光都市を目指してほしいです。【女性／75歳以上／本庁地区】

○観光客が蔵の町に集中してしまう。喜多院や本丸、芋掘り体験など、興味をもう少し分散させれば、何度でも川越に遊びに来てくれると思う。【女性／50～59歳／本庁地区】

#### <商業・産業全般、経済活性化>

○プレミアム商品券の事業を毎年実施してほしい。【男性／40～49歳／芳野地区】

○地域の商業、サービス業と共存できるショッピングモールを作してほしい。映画館も充実してほしい。【男性／50～59歳／大東地区】

○観光に頼っても、財政を豊かにするのは難しいと思う。やはり工業用地の拡充にもっと力を入れるべきだと思う。【女性／75歳以上／本庁地区】

#### <農業振興・地産地消の推進>

○郊外の農村風景が荒れています。今後、川越の農業の整備を考えて欲しい。後継者がいなくて荒地地になっていくのが不安。【女性／70～74歳／本庁地区】

○地産地消の推進と、その大切さを教育にも積極的に取り入れてほしい。【女性／30～39歳／霞ヶ関地区】

### Ⅲ 調査結果の分析

○川越市は田んぼがとでも美しい街。田んぼが住宅になるのはもうやめてほしい。農家でバイト、パートを忙しい時期だけ雇うのに市がサポートしてあげてほしい。無農薬米への斡旋、高価買い取りなどしてあげてほしい。【女性／40～49 歳／南古谷地区】

#### <イベント・祭>

- ユニクス川越やウエスタ川越のホールを使って、川越映画祭を市の協力で開催してほしい。【男性／65～69 歳／福原地区】
- 毎年行われる川越まつり（夏・秋）が大好きで、欠かさず足を運んでいます。運営等大変なこともあるかと思いますが、川越のステキを他市町村、他県の方々に知ってもらえる機会になりますし、文化の保全にもつながると思います。【女性／20～29 歳／川鶴地区】
- 川越まつりなどの伝統行事に対する補助が市民（自治会）任せの面があり、市民への負担が大きいと思います。山車を出す町会への金銭的補助の拡充を望みます。【男性／60～64 歳／本庁地区】

#### <就業支援・労働環境>

- シルバー人材センターへの職の供給を、市に積極的に取り組んでほしい。【女性／70～74 歳／霞ヶ関北地区】

## 3. 教育・文化・スポーツ

#### <教育施設・教育環境>

- 小学校の給食が私達の頃と比べて少なくて、いつも子ども達はお腹を空かせて帰ってきます。給食費を上げてでも子ども達の食だけは優先してほしいです。【女性／30～39 歳／名細地区】
- 将来を担う子ども達の予算（学校教育）を増やしてほしい。【女性／60～64 歳／古谷地区】
- 学校施設や設備、備品等は、周りの市町村の整備状況よりも常に2～3歩遅い様に感じます。西部地区をリードする子育て、教育環境を整備して下さる事を強く願っております。【男性／40～49 歳／川鶴地区】

#### <スポーツの振興・施設整備>

- 運動、スポーツ、野球ができる環境の施設をもっと増やしてほしい。【男性／20～29 歳／古谷地区】
- 初雁球場に代わる市民野球場の復活を望みます。【女性／70～74 歳／古谷地区】
- 市民（老若男女）が熱狂的に応援できるプロスポーツがない。【男性／70～74 歳／霞ヶ関北地区】

#### <歴史・文化の保全・振興>

- 観光の町として発展するのは大変うれしい。しかし、文化財の保全も充実することが川越の魅力となるのでは！【女性／70～74 歳／本庁地区】
- 川越は小江戸と呼ばれる歴史を誇りにしたいと思っています。福祉や健康、防災などは当然意識すべきものですが、歴史に関するものは守り続ける意志が重要です。【女性／75 歳以上／名細地区】

## 4. 保健・医療・福祉・子ども

### <児童福祉・子育て支援>

- 子育てに対する支援、子ども手当の他に備品補助の拡充（おむつ、ベビーカー、チャイルドシートの補助金など）、それらを川越市の方で考えてくれると助かります。物価が上がり、子ども手当の額が追いついていないので、プラスアルファで考えてほしい。【男性／30～39歳／名細地区】
- 今年子どもが生まれて、川越駅近くのU-PLACEの授乳室が整っていたり、子育て支援センターや図書館のありがたみを受け、助かっています。ぜひこれからも子どもに優しいまちづくりをよろしく願います。【男性／20～29歳／大東地区】
- 子育てをしながら働きやすい環境にしてほしい（学童の費用負担軽減、児童館の充実など）。川越市内に引っ越してきて以来、子どもが室内で遊べる場所が非常に少なく、夏の暑い日、梅雨時期など頭を悩ませています。幼児～学童の子が体を動かせるような屋内の場所を増やしてほしいです。【女性／40～49歳／川鶴地区】
- 認可保育園の選考基準が未だに納得がいけない。市内で働き、近所に住んでいる事を一番に優先してほしい。また、働いていない親がプレ保育で幼稚園に安く預けられる事も納得がいけない。あとは学童も19:00まで預かってもらえるようにしてほしい。【女性／40～49歳／本庁地区】
- 川越は保育園やこども園の数が増えてきて良いと思いますが、現場はまだまだゆとりがなく大変です。主に保育士不足です。給料が安いことが主な要因かと思います。もっともっと給料のベースアップをしてほしいです。【女性／40～49歳／霞ヶ関地区】

### <高齢者福祉>

- 高齢化対策…助け合い事業の推進。【女性／70～74歳／名細地区】
- 現在自家用車の運転で病院、買い物は間に合っていますが、数年後免許を返納したらすぐに移動手段の問題が出てきます。デマンドはとても便利ですが、バス停まで歩ける人でないと利用できません。いい案が出て、老人も出かけることができる将来になるといいですね。老人だから無料にするのは反対です。【女性／無回答／無回答】
- 高齢者や障害者が共有できるグループホーム（施設）の充実化（買い物、医者等に困らない場所にしてほしい）。【男性／20～29歳／本庁地区】

### <医療機関の整備>

- 大きい病院が少ないため、待ち時間が長く、身体の大変な時に辛い事が多い。【女性／70～74歳／霞ヶ関地区】
- 大東地区の総合病院（武蔵野病院）の設備を充実してほしい。補助金の支出はできないものか。【男性／70～74歳／大東地区】

### <障害者福祉>

- 福祉の方を沢山利用させていただいていますが、視覚障害の同行サービスなど、人が足りない様なので、サービスを使いたくてもなかなかできません。ホームに入れたくても2人となると…金額面などもっと安くなればと思ってしまいます。【女性／75歳以上／霞ヶ関地区】
- 障害を持っている人の理解をもっと深めてほしい。市役所職員は全員理解していない。【男性／30～39歳／高階地区】

### <福祉全般>

- 弱い立場の人達が安心して住み、そして安心して人生を終えるように支えてほしいと思います。【女性／75歳以上／川鶴地区】
- 妻が指定難病のため、難病見舞金がありません。【男性／50～59歳／福原地区】

### <ワクチン・不妊治療への助成>

- 带状疱疹ワクチン接種の補助制度新設を希望します。【男性／50～59歳／福原地区】
- 不妊治療について、もっと力を入れてほしい！！【男性／30～39歳／霞ヶ関地区】

### <健診・検診>

- 川越市の、子どもの市の健診が2回しかない事に驚きました。市で2回しかできないのであれば、希望者には病院で受けられる健診の費用一部負担などがあると嬉しい。【女性／30～39歳／南古谷地区】
- がん検診無料年齢の引き下げ。川越市は50歳だと思うが、さいたま市では40歳だそうです。【男性／40～49歳／芳野地区】

## 5. 環境

### <雑草・街路樹・下草などの適切な管理・剪定>

- 初雁橋の下を通りたいのですが、雑草が多くて歩きも困難、自転車も通れる状態ではありません。除草を頻繁にやってもらいたいと思います。【男性／30～39歳／本庁地区】
- 公園や道路等の緑地帯の木、草等がかなり乱れていると思われます。年2回程度は現在も除草して頂いていますが、もう少し回数を増やしてほしいと思います。【女性／60～64歳／霞ヶ関北地区】
- 市の管理地の管理が悪く、草が生え放題で蚊が大量に発生しているが、市の担当者は「そうした土地は市内に多く、全てを管理できない」との言動があります。こうした管理地の適正な管理をお願いしたい。【男性／65～69歳／山田地区】

### <ごみ収集・処理>

- ごみ捨て場をもっと増やしてほしい！カラス対策やネットを二重にして大きくするなど。どんどん家が増えたのにごみ捨て場が増えず、パンク状態です！早くに捨てる人もいて、ボヤもあり本当に困っています！【女性／40～49歳／南古谷地区】
- 周辺に住む一軒家の住人達が町内会に入らず、私の住むマンションの集積所に捨てています。草むしりで出た草を捨てたり、分別せず捨てていくので、いつまでも回収してもらえず、衛生的な問題になっています。【男性／50～59歳／大東地区】
- ごみの有料化について、沿道の街路樹の落ち葉掃除をしています。ボランティアです。特に秋になると、1月に1袋以上落ち葉のごみが出ることもあり、これらの費用を個人で負担となると辛いものがあります。ごみの有料化は仕方ない事だと思いますが、上の点のご配慮いただけるとありがたいです。【男性／30～39歳／大東地区】
- 不燃ごみの回収が月2回になるとうれしい。忘れてしまうと翌月まで捨てられない。【女性／50～59歳／南古谷地区】

### <良好な住環境の維持>

- 市立川越高校の近くに住んでいます。市道の通行量が多く、騒音等に悩まされております。街路樹 etc. の対策を取って頂く事はできますか？【女性／50～59 歳／本庁地区】
- 家の前に公園ができましたが、地面が砂のようで、秋～春に沢山の砂が風で流れてきます。一度お電話しましたが、何の改善もありません。予算の問題はあるかもしれませんが、事前にその様な影響が出る事を調査したり、近隣に説明すべき事と考えます。【女性／50～59 歳／名細地区】
- 近隣の田畑で野焼きがあり、とても苦手で、窓を開ける事はもちろん、夜も鼻咽が辛く、眠れない時期があります。【女性／20～29 歳／南古谷地区】

### <環境保全・緑化>

- 住宅が増えて、緑が減って景観が悪くなっているのに対し、不満があります。【男性／20～29 歳／山田地区】
- 市の中に花が少ない気がします。【女性／65～69 歳／名細地区】
- 近年、田畑や緑が減少していると感じる。市街地は観光客で賑わっているが、周りは静かで緑が多い、都内とは異なる魅力のある川越であって欲しい。【女性／40～49 歳／本庁地区】

### <街の美化・ポイ捨て対策>

- 川越の田園風景が好きなのですか、農地に明らかなポイ捨てごみが落ちているのがとても気になります。市民意識の問題かもしれませんが、とても残念に思います。【男性／50～59 歳／山田地区】
- 歩きたばこの禁止条例の整備をお願いしたい。決まった喫煙スペースを設ける等、歩きたばこをしないで済む仕組みと合わせてお願いできれば幸いです。【無回答／無回答／無回答】

### <地球温暖化対策>

- 地球温暖化は大きな問題だと思います。私たち1人1人にもできる対策等発信してほしいと思います。【女性／70～74 歳／南古谷地区】
- 気温上昇の緩和が急務。川越に木を増やす、コンクリートからチップ敷きなど照り返しに有効な改善をした家庭には税制優遇。【女性／60～64 歳／霞ヶ関地区】

## 6. 地域社会と市民生活

### <防災関連>

- 災害発生時、行政が具体的にどの様に動くのか、災害別に対応のタイムラインのようなもの（発生後○時間以内に避難所開設・受付等）を平時から示して頂いてあると、被災時の不安感が多少なりと軽減できると思います。また、避難所の運営など、日頃から行政と市民で話し合う機会を作って、大まかな枠組みを決めておくのもよいのではないのでしょうか。【女性／50～59 歳／霞ヶ関北地区】
- 土地が低いので水害の不安がありますが、大雨時、台風接近時など情報が少なく不安が増します。Xをもっと活用して情報を提供してほしいです。今年の大雨の際、夜中に突然警戒レベル5が出され、何がどう危ないのか分からず、ずっと不安でした。現場に行っている職員の方などがいらっしゃるなら、現状を提供してほしいです。【女性／40～49 歳／高階地区】
- 自治会が開催する防災避難訓練に疑問があります。本番通り小中学校の体育館を開けてもらい、利用

### Ⅲ 調査結果の分析

するかもしれないトイレ、食料、水、寝具を使ってみるべきだと思います。【男性／65～69 歳／霞ヶ関地区】

- 災害が起きても行政だけでは難しいと感じている。日頃から地域で防災に備えるコミュニケーションができる組織などを作って、みんなで助け合える社会になればと願っている。【女性／60～64 歳／南古谷地区】

#### <防犯関連>

- 私が住む場所は防犯カメラがなく、日が暮れると路上駐車している車があり、周りが田んぼが多く、歩いて帰るのが怖いです。【女性／70～74 歳／山田地区】
- 犯罪の発生（未遂含む）の情報を知らせてほしい（市内で侵入窃盗の被害が出ている様ですが、メールなどへの配信はされていない様です）。【女性／50～59 歳／霞ヶ関地区】
- 治安を良くしたい。警察だけでなく、自治体等で協力し、子どもや高齢者が安心して暮らせる場所にしたい。【男性／40～49 歳／福原地区】

#### <外国人への対応>

- 外国人を多く見かけるようになったが、日本のルール等に慣れていない人も散見する。行政なりのフォローがもっと必要だと感じる。【男性／70～74 歳／名細地区】
- 外国人がまちに増えてきて、日本の生活習慣やルールが守れるのか不安を感じる事がある。安易に外国人を増やす事に不満に思う。【男性／65～69 歳／本庁地区】
- 近隣に外国人住民を多く見かけられるが、文化的な違いからマナーがないと感じる事が多々ある。川口市の外国人増加による治安の悪化などもよく聞くようになっている為、共存に向けた行政の施策を考えて欲しい。【男性／30～39 歳／大東地区】

#### <自治会活動>

- 各自治会の存続が危ない状況です。地域住民のための活動が成し得ない状態で、市やその他の機関の仕事も受け持っています。また、自治会の役員のなり手も少なく、困っているようです。市行政として対応し、救うことができると良いと思いますが…。【男性／75 歳以上／本庁地区】
- 自治会にもずっと加入していますが、メリットが理解できません。災害が起きた時のため、一応加入していますが…。【女性／40～49 歳／本庁地区】
- 高齢化により自治会活動が衰退しており、コミュニティ基盤も脆弱になって来ている。働く世代でも、会社に働きながら自治会やコミュニティ活動に参加出来るよう、市として自治会のデジタル化を総合的に推進する体制を整備し活動の効率と質を上げる施策をお願いします。【男性／60～64 歳／川鶴地区】

#### <近所付き合い・近隣とのトラブル>

- 住宅が密集している場所での近所のバスケットボールの音、近所である事、持ち家である事で言いづら。警察に言うまでもないが苦痛。回覧板などで周知してほしい。自治会で目安箱のようなものがあれば、穏便に済ませられると思う。【女性／40～49 歳／本庁地区】

#### <地域活動>

- 交通安全母の会のようなもので、高齢者世帯をまわる事をするように言われているが、民生委員でも

ないのに個人情報の取り扱いはどうなっているのか？また、役員は1年に1人1000円もらえるが、その経費はもう出さなくてもいいのではないか？【女性／40～49歳／本庁地区】

## 7. 市政全般

### <今回のアンケート調査に関して>

- アンケートの結果とその後の対策について、メール配信などで知らせてほしい。【男性／65～69歳／大東地区】
- 私は70代で終活を考えており、まちづくりや行政に対し、参加するという事に対し積極的（前向き）な意見を発するという年齢ではなく、アンケートにお答えできるか心配しております。ランダムとはいえ、もう少し若い年代の方のご意見の方が適当であると考えております。【女性／70～74歳／福原地区】
- 1回の調査としては設問が多すぎると思います。ジャンル毎に分けて数回にするとか。非常に疲れます。設問に対する回答も、色々な考えの人がいるので、選択肢を広げて回答しやすくする様な検討をお願いします。【男性／70～74歳／古谷地区】
- この様な意識調査を、市のホームページからできる様にして下さると良いと思います。ペーパーレス、経費削減になると思います。【男性／60～64歳／南古谷地区】
- アンケートによって川越で知らなかった文化や取り組みについて知る機会になった。【男性／20～29歳／大東地区】

### <広報・情報発信>

- 情報について多くの方法で発信しているが、受け手側の意識が低いため効果が低くなっている気がする。ノーアイデアで申し訳ないが、読んでもらう工夫が必要だと思う。また、個人的だが、X、フェイスブック等を利用していないので、情報発信内訳に偏りが無いかは不明であるが、無いことを信じる。【男性／60～64歳／高階地区】
- メディアで小江戸川越を見る機会が非常に増えました。今後も情報発信し、多くの人々に認知される事で、町の発展に寄与すると思われれます。【男性／40～49歳／南古谷地区】
- 川越市民でも行った事がない場所（観光、カフェなど）が沢山あります。広報にお勧めや新しいオープンのお店など、乗せてほしいです！！【女性／40～49歳／大東地区】
- 「市民のしおり」を今後も発行してほしい（とてもわかりやすく、便利です）。【女性／50～59歳／霞ヶ関地区】

### <公共施設の整備・管理>

- 川越市の図書館は古い本やCDが多く、蔵書数も少なく、利用するのを止めてしまいました。まだ蔵書が充実していないようなら、市民から読まなくなった状態の良い本を寄付をしてもらうのはどうでしょうか？【女性／50～59歳／南古谷地区】
- 公民館は地域に根付いた場所で、コミュニケーションを図れる所です。文化活動や体操・運動などができる身近な施設は必要不可欠なもの。その規模が縮小されているのは市民の声を聞いていないように思う。【女性／65～69歳／霞ヶ関地区】
- 保育所や会館を建設するにあたっては、その場所で働く人の意見を大切に作ってほしい。導線など。

### Ⅲ 調査結果の分析

できてからでは作り直せないのです。【女性／60～64歳／古谷地区】

- 近年、新しい公共施設を次々と作っていますが、既存のものを修繕したり、既存の場所で改築するなど節約した方が良いのではないかと思います。【男性／40～49歳／大東地区】

#### <市長、市・公共施設職員について>

- 市役所では、案内、説明をわかりやすくして下さる職員の方がいらっしゃるのです、とても助かります。【女性／60～64歳／高階地区】
- 福祉の窓口などあり、相談できそうに思うが、表面的な対応。寄り添えていない印象。声に挙げない方ほど真の思いを引き出すのが大事では？【男性／70～74歳／古谷地区】
- 市町村で働く方々はとても余裕があるように感じます。民間の労働内容と同等の作業内容・業務内容となるような人員の配置をされることで、経費を抑えることはできないのでしょうか？【女性／40～49歳／古谷地区】

#### <行財政改革の推進>

- 収益事業を考えていただきたい(市役所のムダ使い点検して)。できる物事は人員大幅削減、とにかく金(財政)が生まれる事を考えて。【答えたくない／50～59歳／本庁地区】
- 外国人、高齢者に寄り添った行政改革などはメリットが薄い。働いて税金を納めているのは日本人の若い世代なので、働いている人に寄り添ってほしい。【答えたくない／40～49歳／大東地区】
- もっと無駄の削減をして市税の負担を軽減して欲しい。経営コンサルタントをリタイヤした人をもっと市役所の改革にもっと参加させるべき。【男性／75歳以上／本庁地区】

#### <市政運営全般>

- 観光地がお金になるのはわかるが、子育てや住みやすさといった市民の生活に直結する取り組みを求める。【女性／30～39歳／川鶴地区】
- 人口減少化の今、行政としても人に関わる部分で大変さが今後多く出ることが予測されます。市民とのコミュニケーションを活性化させて、優先順位を付けて、確実な計画実行で期待される役所でいてください。【男性／75歳以上／本庁地区】
- ほぼ全ての役所関係がふじみ野市の方が近いので、ぜひ協業してほしいです。【男性／60～64歳／福原地区】

#### <税制>

- 育休中の市民税をもう少し料金を下げていただけませんか。生活が辛いです。【男性／20～29歳／大東地区】
- 観光事業による増収を実現し、市民の税負担の軽減に繋げてほしい。【男性／65～69歳／霞ヶ関地区】
- 自身が住む街に税金を使って頂きたいと思い、ふるさと納税は利用していない。なのにふるさと納税をした人が配当として物品等を得ることができる仕組みは納得がいかない。【女性／50～59歳／霞ヶ関北地区】

#### <公共施設の移転・集約>

- 市役所、保健所等、1つの場所で用事が済ませるようにしてほしい。【女性／65～69歳／古谷地区】
- 市役所を駅近くへの移転を希望します(西口連絡所で全ての手続きができれば、移転の必要はありません)

せん)。【男性／65～69 歳／本庁地区】

- 川越市役所は駅前など行かないで下さい。今でも何にもないこの地域で変化がなく、市民にアピールする所が少ないので、現状のままにして下さい。【女性／70～74 歳／本庁地区】

#### <各種手続きについて>

- すべてネットで繋げば経費も人件費も浮くと思いますが、高齢の方には難しいです。わからず聞きに行く事もできない方もいらっしゃるはず。そういう方を置いてけぼりにする事のないようお願いします。【女性／40～49 歳／霞ヶ関地区】
- 大多数の人間は平日に市役所等を利用する事ができないので、その辺をどうにかしてほしい。【男性／50～59 歳／南古谷地区】

#### <市議会議員について>

- 議員が住民の声、望む事に気を回してほしい。【女性／70～74 歳／福原地区】



# 第 15 回川越市市民意識調査 報告書

令和 7 年 2 月

発 行：川越市 市民部 広聴課 広聴担当  
〒350-8601  
埼玉県川越市元町一丁目 3 番地 1  
電 話：049-224-5011（直通）

